

令和元年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
(18歳以上の区民の方が対象)
(小学生以下のお子様の保護者の方が対象)
報告書

令和2年2月

大田区

目次

I	調査概要	2
1	調査の目的	3
2	調査の内容	3
3	調査設計	3
4	報告書の見方について	4
5	標本誤差について	5
II	18歳以上の区民の方が対象 ①地域力・まちづくり・環境分野などの調査結果	7
1	回答者の属性	9
2	地域活動・生涯学習について	15
(1)	連携・協働をするために重要なこと	15
(2)	参加したことがある地域活動	18
(3)	現在の地域活動への参加状況	21
(4)	地域活動に参加しない理由	23
(5)	区民活動情報サイト「オーちゃんネット」の認知度	25
(6)	区民活動情報サイト「オーちゃんネット」の利用状況	27
(7)	最近1年間の生涯学習の活動と新たに始めたいもの	28
(8)	生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしているか	32
(9)	生涯学習の活動をしていない理由	35
(10)	生涯学習情報紙「WaKuWaKuおおた」の認知度	37
(11)	生涯学習情報紙「WaKuWaKuおおた」について	39
3	公共交通機関・耐震改修について	40
(1)	公共交通機関の環境	40
(2)	大田区の公共交通機関網の満足度	42
(3)	大田区の公共交通への要望	44
(4)	住まいや所有建築物の耐震改修状況	47
(5)	耐震改修を行わない理由	49
(6)	耐震改修の助成制度について	52
4	自転車の利用について	54
(1)	大田区内でのコミュニティサイクル運営の認知度	54
(2)	コミュニティサイクルの利用の有無	56
(3)	コミュニティサイクルの利用目的	58
(4)	コミュニティサイクルを利用しない理由	59
(5)	自転車の利用について	61
(6)	自転車を盗まれた経験	64
(7)	自転車の鍵をかけるかについて	66
(8)	自転車に鍵をかけない時は、どのような時か	68

(9) 駅周辺の駐輪場の数について	69
(10) 駐輪場が不足していると感じる駅	71
(11) 駐輪場の利用について	72
(12) 駐輪場を利用しない理由	74
5 食品ロス・フードドライブについて	75
(1) 食生活の中で「もったいない」と意識したとき	75
(2) 「食品ロス」の認知度	78
(3) 「食品ロス」を減らすための取り組み	80
(4) 食べ残しをしないためにお店にして欲しいこと	83
(5) 「食品ロス」削減に取り組むお店の利用の希望	86
(6) 「フードドライブ」への提供について	88
(7) 「フードドライブ」に提供する際、重要視すること	90
(8) 「フードドライブ」に提供したくない理由	92
Ⅲ 18歳以上の区民の方が対象 ②スポーツ・福祉・保健分野などの調査結果	95
1 回答者の属性	97
2 スポーツ・文化活動について	103
(1) 大田区の文化・芸術について	103
(2) 最近1年間で行った運動・スポーツ	106
(3) 最近1年間の運動・スポーツの活動頻度	109
(4) 東京2020大会について	112
(5) 大田区内での事前キャンプや競技開催の認知度	114
3 バリアフリー・福祉施策などについて	118
(1) 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度	118
(2) 大田区役所内の案内表示について	122
(3) 駅周辺のバリアフリー化について	124
(4) 福祉施策等の認知度	127
4 通院・喫煙について	135
(1) かかりつけの医療機関について	135
(2) 「在宅医療」の認知度	137
(3) 緊急医療救護所及び軽症者救護所の認知度	139
(4) 喫煙について	142
(5) 禁煙願望の有無	144
(6) 喫煙時に注意していることについて	146
(7) 新型たばこのイメージ	148
(8) 受動喫煙について	151
(9) 受動喫煙防止に向け、大田区が推進すべき取り組みについて	153

IV	18歳以上の区民の方が対象 ③産業分野の調査結果	157
1	回答者の属性	159
2	普段の買い物について	165
(1)	普段の買い物で利用するお店	165
(2)	買い物をする時間帯について	167
(3)	「ずっと残ってほしい」と思うお店の有無	170
(4)	キャッシュレス支払いの利用状況	172
(5)	キャッシュレス支払いを使用する理由	174
(6)	キャッシュレス支払いを使用しない理由	177
V	小学生以下のお子様の保護者の方が対象の調査	181
1	回答者の属性	183
2	子育ての相談相手などについて	186
(1)	子育てにおける孤独感について	186
(2)	子育ての相談ができる相手・場所の有無	188
(3)	子育ての相談ができる相手・場所について	190
3	子育ての環境や支援などについて	192
(1)	区の子育て環境や支援の満足度	192
(2)	大田区の子育て環境・支援で満足している点について	194
VI	資料編	197

I 調査概要

I 調査概要

1：調査の目的

各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

2：調査の内容

[18歳以上の区民の方が対象]

①地域力・まちづくり・環境分野などの調査

- (1) 回答者の属性
- (2) 地域活動・生涯学習について
- (3) 公共交通機関・耐震改修について
- (4) 自転車の利用について
- (5) 食品ロス・フードドライブについて

②スポーツ・福祉・保健分野などの調査

- (1) 回答者の属性
- (2) スポーツ・文化活動について
- (3) バリアフリー・福祉施策などについて
- (4) 通院・喫煙について

③産業分野の調査

- (1) 回答者の属性
- (2) 普段の買い物について

[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]

- (1) 回答者の属性
- (2) 子育ての相談相手などについて
- (3) 子育ての環境や支援などについて

3：調査設計

(1) 調査地域 大田区全域

(2) 調査対象 [18歳以上の区民の方が対象]

大田区内に居住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）

[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]

大田区内に居住する12歳以下の子どもがいる世帯の保護者の方（外国人を含む）

(3) 標本数 [18歳以上の区民の方が対象]

上記「2：調査内容」の①～③の各調査：2,000人

[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]：2,000人

(4) 抽出方法 層化無作為抽出法

(5) 調査方法 配付は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式

(18歳以上の区民の方が対象③産業分野の調査は郵送方式)

(6) 有効回収数

[18歳以上の区民の方が対象]

①地域力・まちづくり・環境分野などの調査：797件（郵送661件＋電子申請136件）

②スポーツ・福祉・保健分野などの調査：858件（郵送741件＋電子申請117件）

③産業分野の調査：669件（郵送669件）

[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]：1,252件（郵送1,024件＋電子申請228件）

(7) 有効回収率 [18歳以上の区民の方が対象]

①地域力・まちづくり・環境分野などの調査：39.9%

②スポーツ・福祉・保健分野などの調査：42.9%

③産業分野の調査：33.5%

[小学生以下のお子様の保護者の方が対象]：62.6%

4：報告書の見方について

(1) 結果の数値は原則として回答率（%）で表記している。回答率（%）は、その質問項目に該当する回答者の数を出しており、『n=』と表記している。また、複数回答についても回答者の数としているため、合計しても100.0%とならない場合がある。

(2) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記してある。このため、各回答率（%）を合計しても100.0%とならない場合がある。

(3) 分析の軸（＝縦軸）としたプロフィールや設問は、無回答を除いているため、各プロフィールの回答者の合計が全体と一致しない場合がある。

(4) 回答者数が30人未満と少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

(5) 年代別において、男女ともに「18～19歳」は回答者が少ないため、「10・20代」とまとめて掲載している。

(6) グラフや表のタイトルなどは、なるべく調査票そのままの表現を用いているが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。

5：標本誤差について

今回のような調査対象（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全数調査（全ての人を調査）と比べ、調査結果に差が生じることがある。その誤差を標本誤差という。

標本誤差は、95%の信頼度で以下の式から得られる数値であり、真の値（全数調査をした場合に得られる数値）は標本調査で得られた結果に、この標本誤差を引いた値と加えた値の範囲内にあることとなる。

$$\text{標準偏差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N：母集団の大きさ
n：回答者数
p：回答の比率（%）

各調査回答率における標本誤差早見表（信頼度 95%で算出している）

回答の比率 (P) 回答者数 (n)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,252	±1.7	±2.3	±2.6	±2.8	±2.8
1,000	±1.9	±2.5	±2.9	±3.1	±3.2
858	±2.1	±2.7	±3.1	±3.3	±3.4
797	±2.1	±2.8	±3.2	±3.5	±3.5
669	±2.3	±3.1	±3.5	±3.8	±3.9
500	±2.7	±3.6	±4.1	±4.4	±4.5

早見表の見方

たとえば、今回の「18歳以上の区民の方が対象①地域力・まちづくり・環境分野などの調査」の回答者数（858人）を100%とする比率で、ある質問の回答が50%であった場合、大田区民（区内在住の18歳以上の方）のこの質問に対する回答は、46.6%～53.4%の間にあると考えられる。

Ⅱ 18歳以上の区民の方が対象

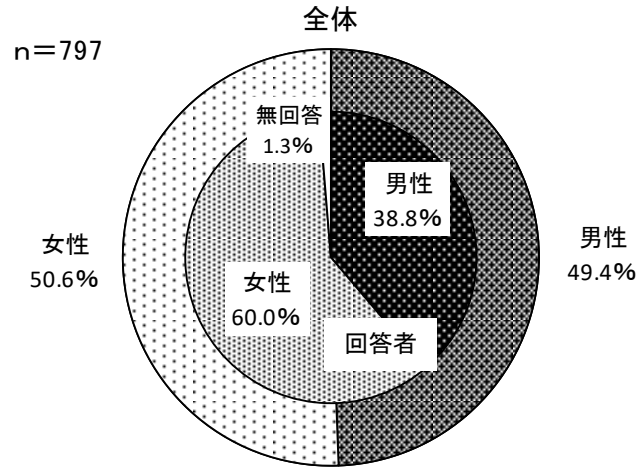
①地域力・まちづくり・環境分野などの調査結果

1 回答者の属性

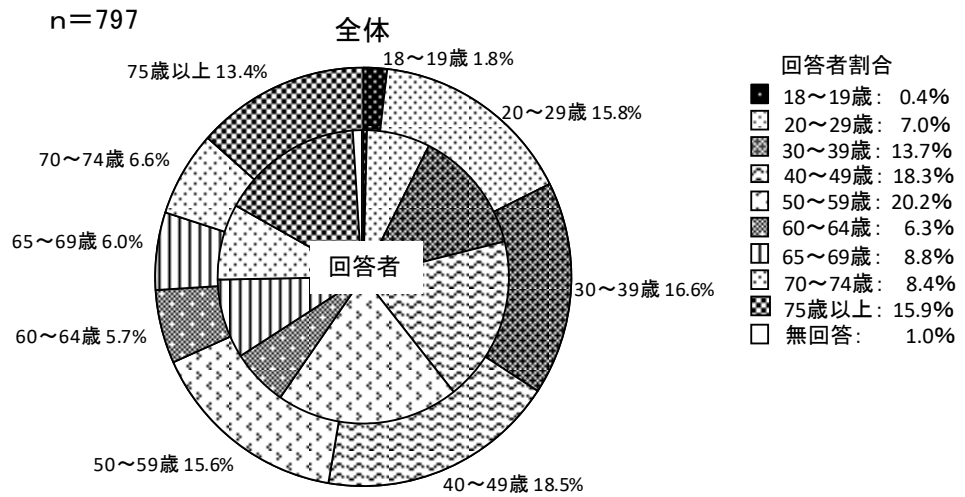
【性別】

全体：大田区の18歳以上の人口（n=638,789）※令和2年1月1日

回答者：有効回収数（n=797）

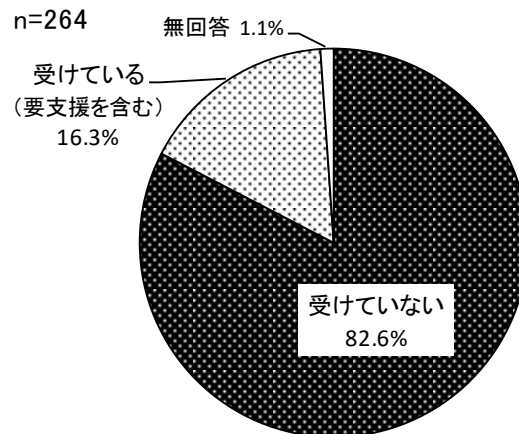


【年齢】

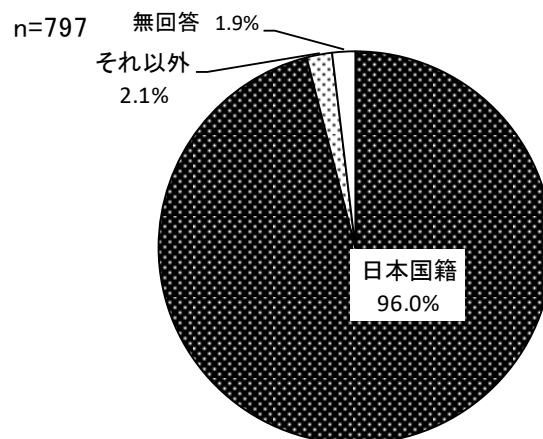


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和2年1月1日現在版

【介護保険制度の要介護認定を受けているか（65歳以上の方）】



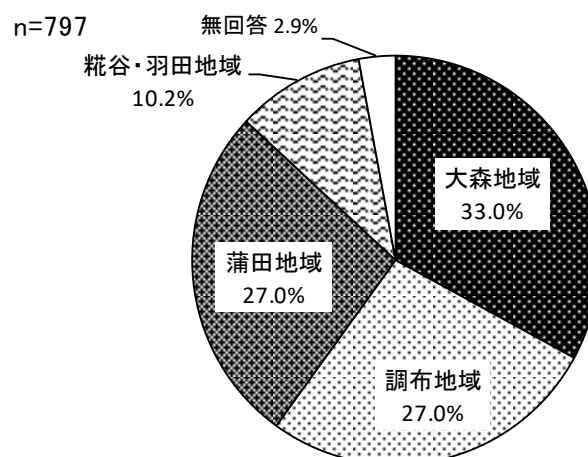
【国籍】



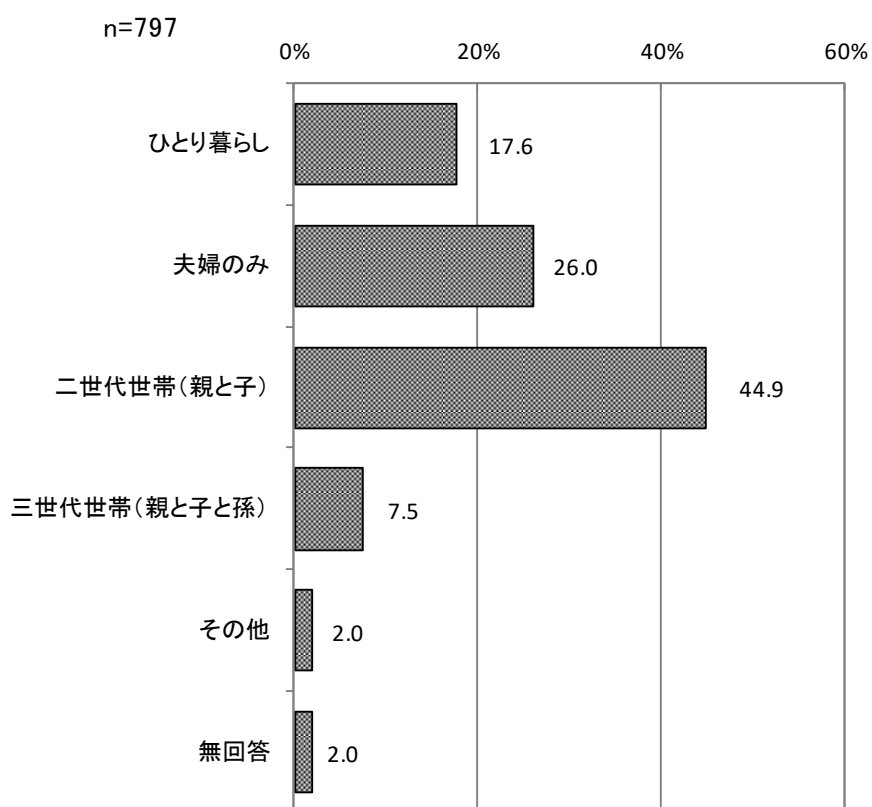
(日本国籍以外)

	中国	韓国	台湾	フィリピン	アルゼンチン	ネパール	無回答
人数	9	2	2	2	1	1	0

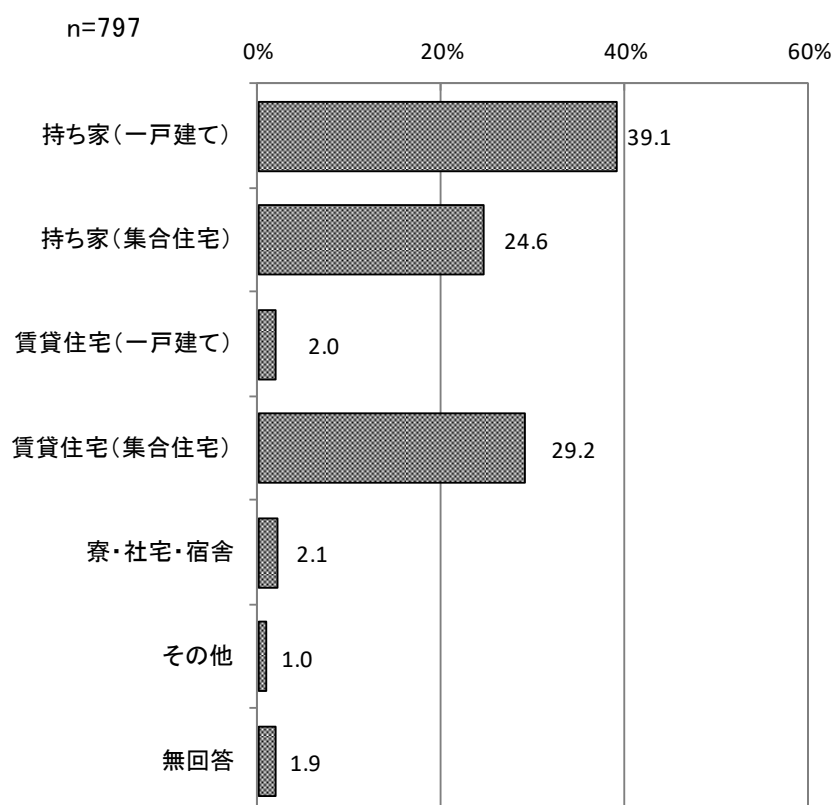
【住まいの地域】



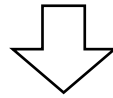
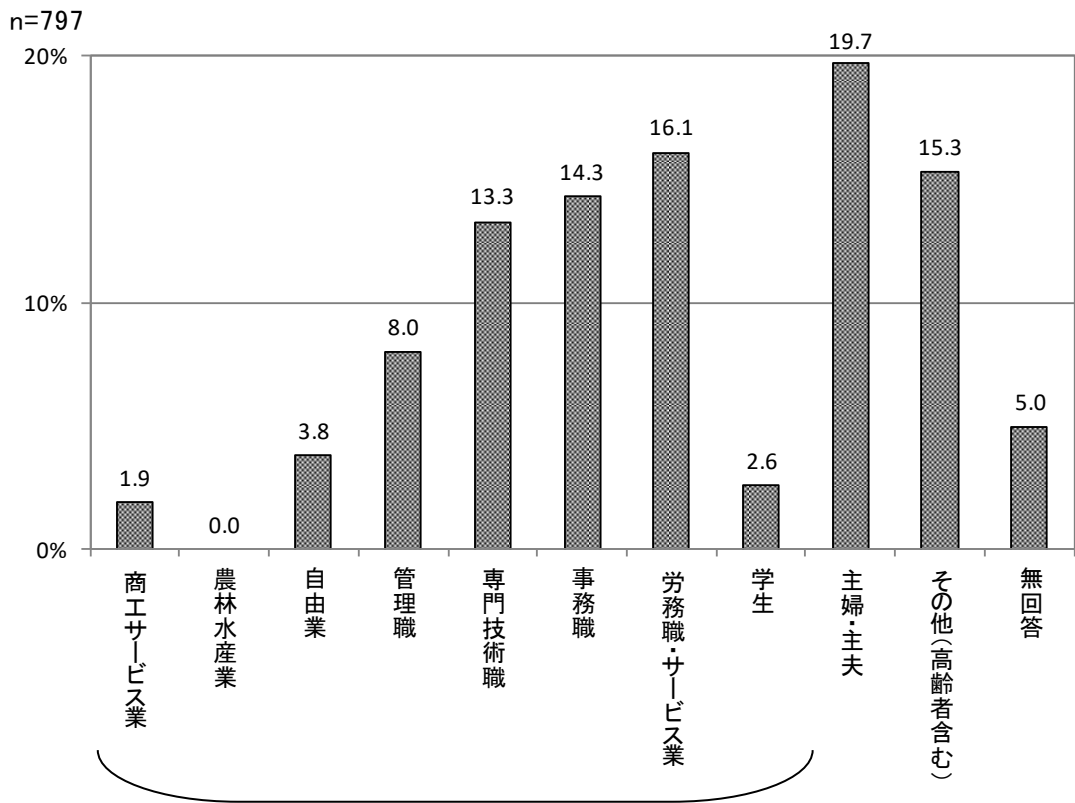
【家族構成】



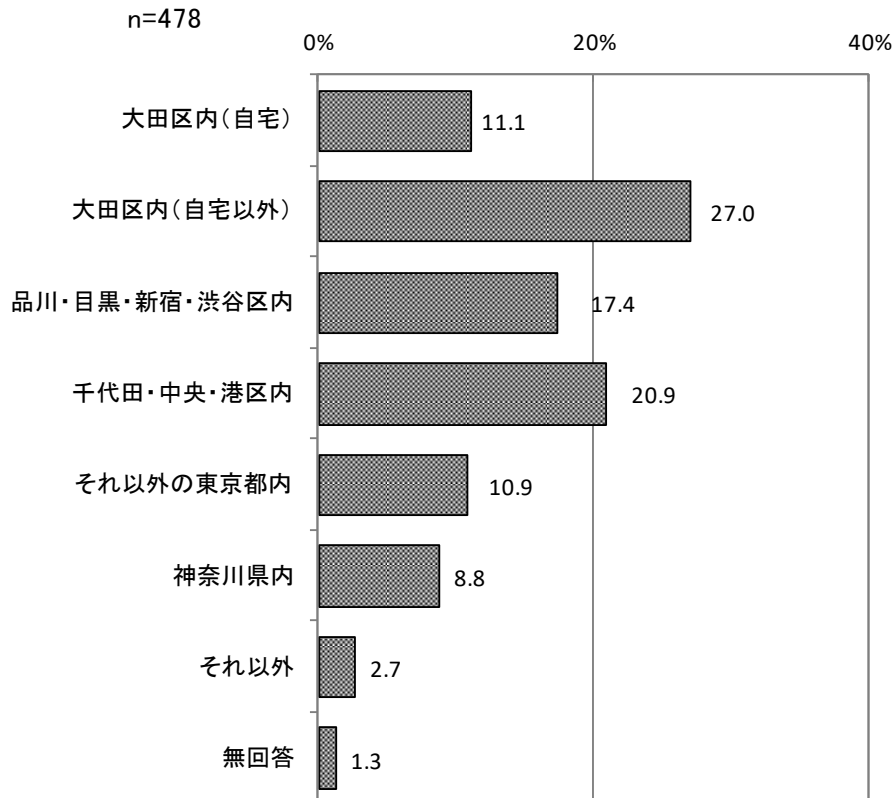
【住まいの種類】



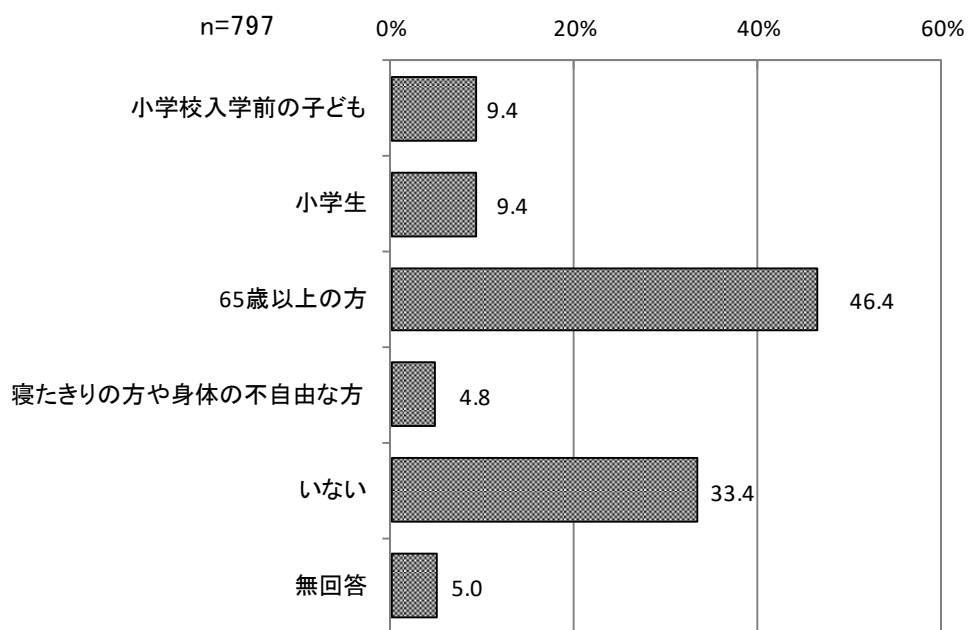
【職業】



【主な通勤・通学先】

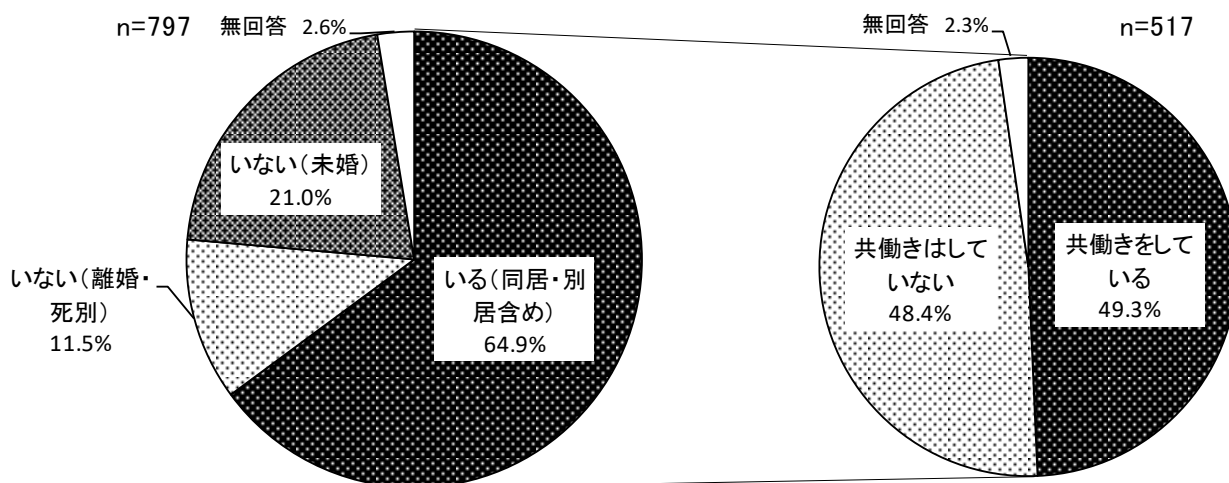


【同居家族】

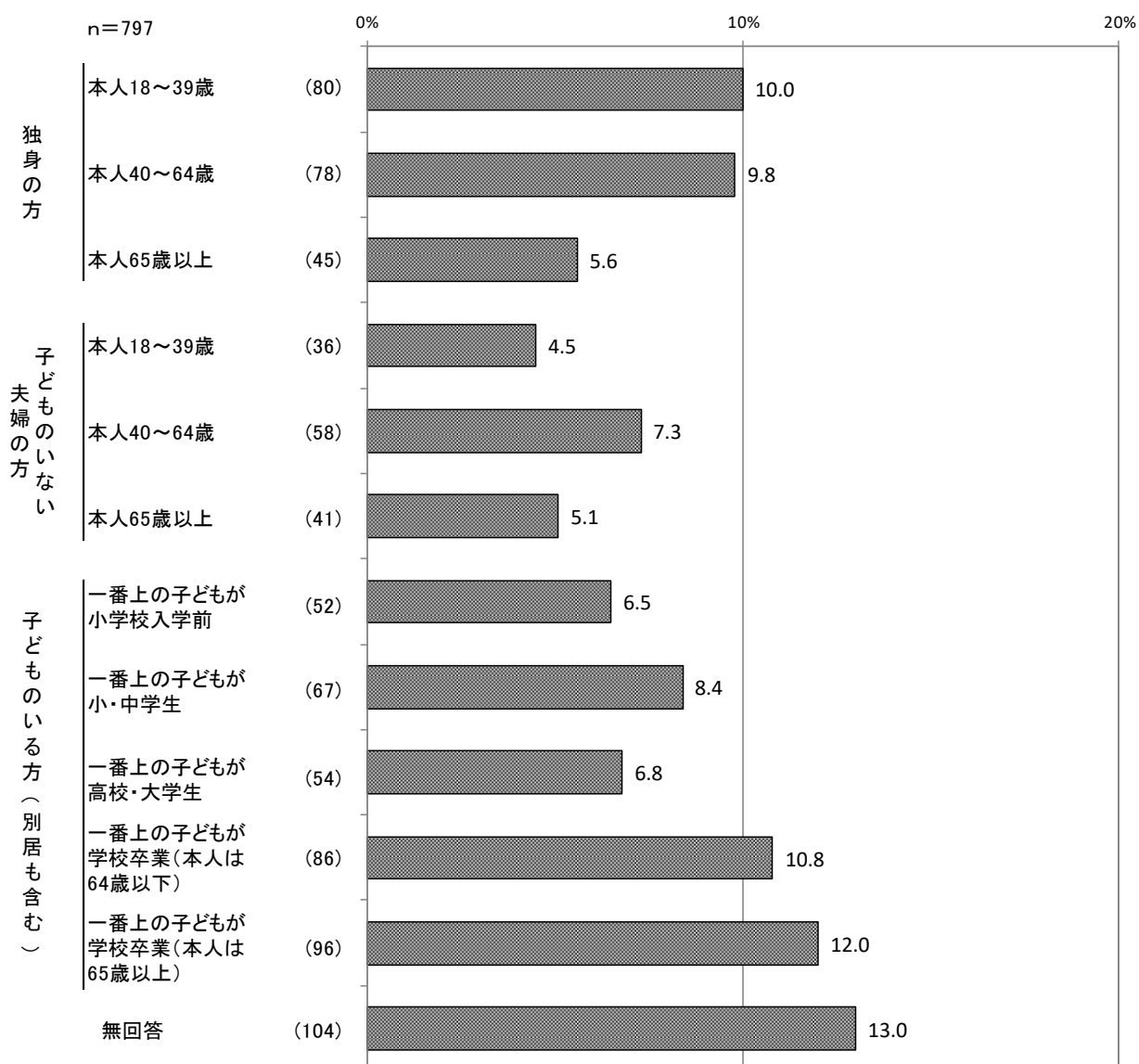


【配偶者の有無】

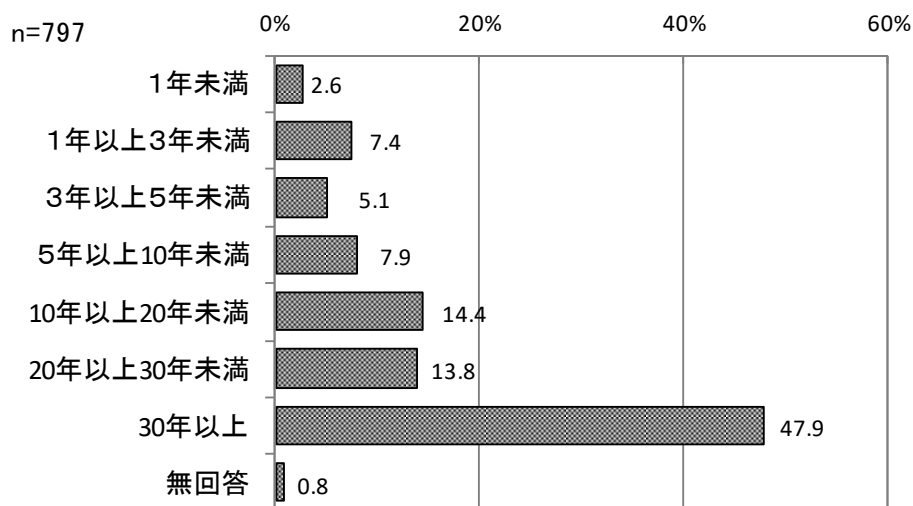
【(配偶者のいる方) 共働きについて】



【ご自身のステージ】



【大田区にお住まいの期間】



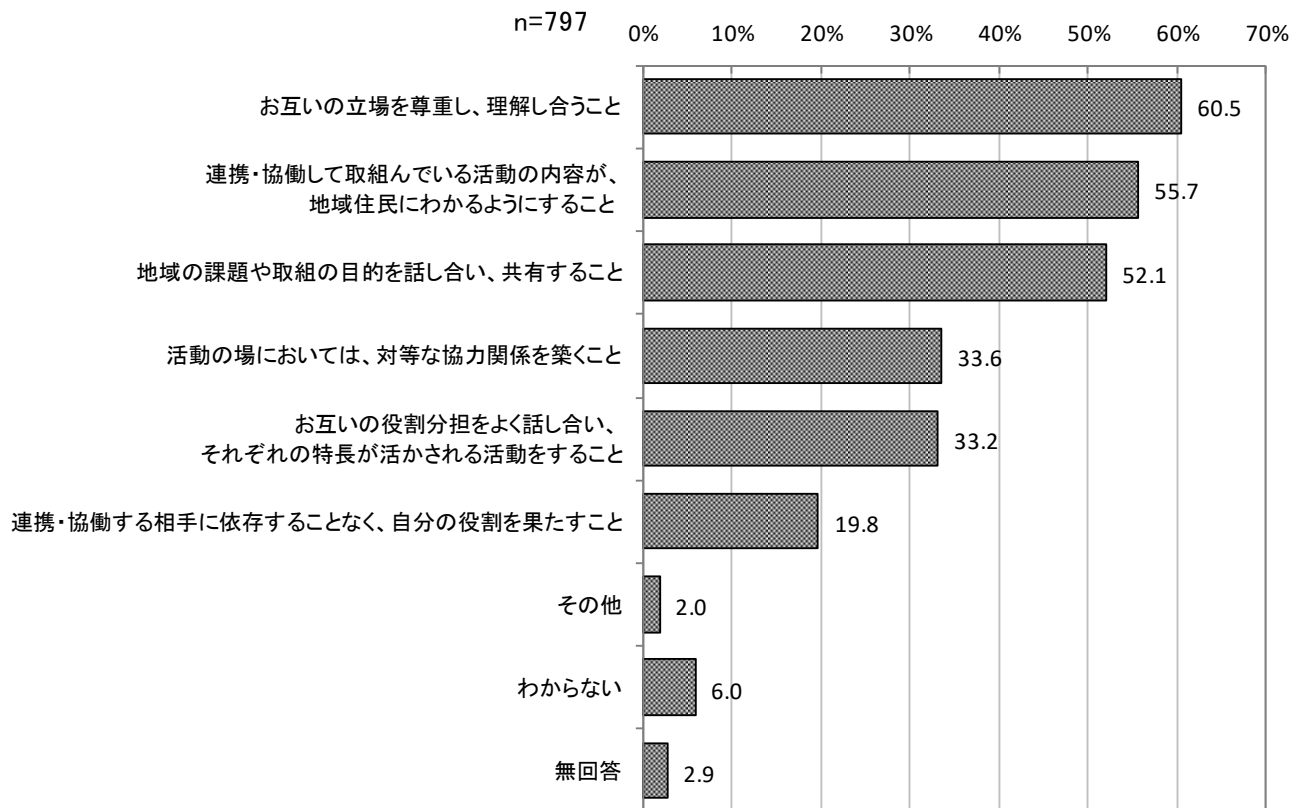
2 地域活動・生涯学習について

(1) 連携・協働をするために重要なこと

◎ 「お互いの立場を尊重し、理解し合うこと」が約6割で最も高くなっている

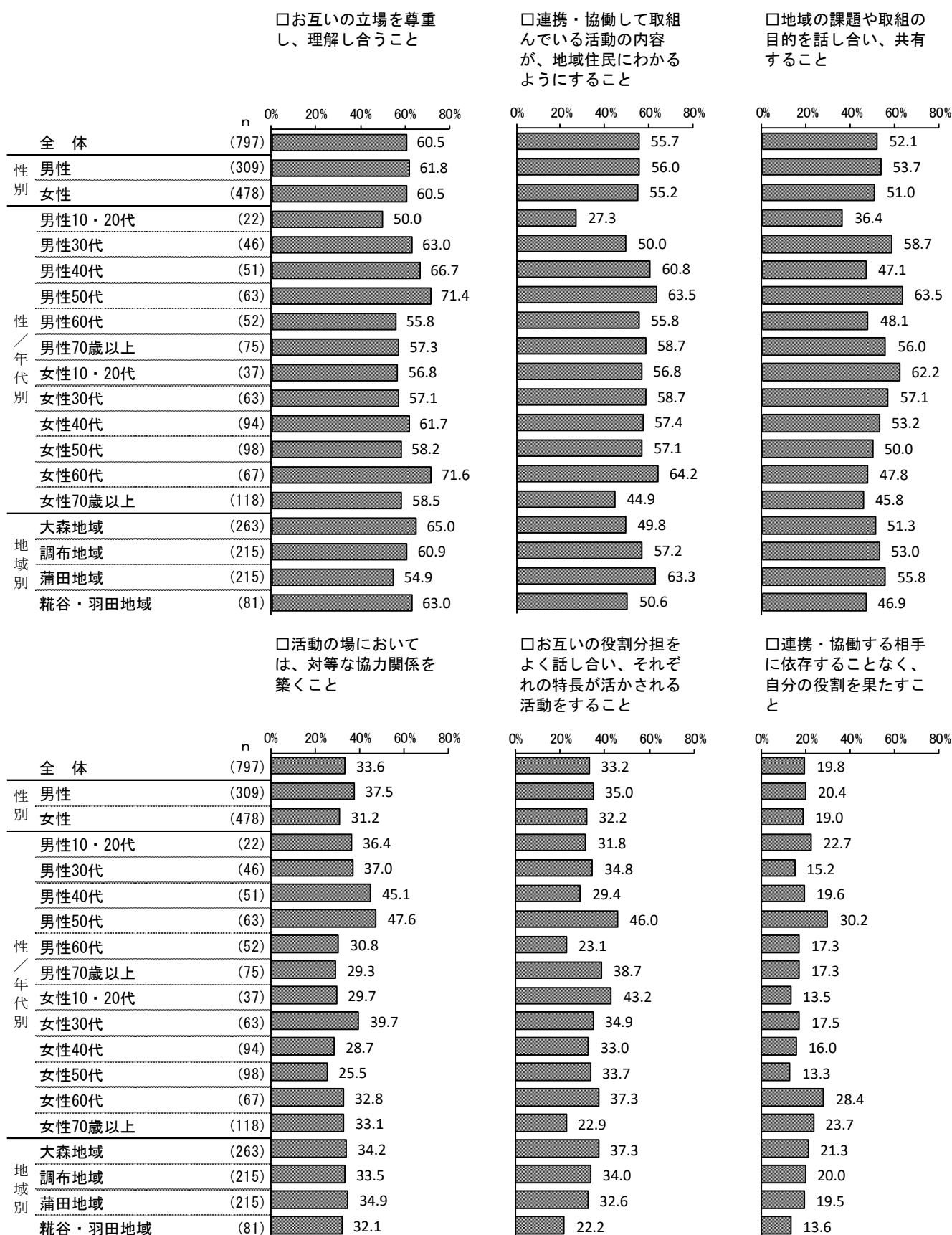
問1 豊かで魅力に満ちたまちづくりを進めるための連携や協働をするにあたり、どのようなことが重要だとお考えですか。(〇はいくつでも)

図表2-1 連携・協力をするために重要なこと



連携・協働をするために重要なことについて聞いたところ、「お互いの立場を尊重し、理解し合うこと」が60.5%で最も高く、次いで、「連携・協働して取組んでいる活動の内容が、地域住民にわかるようにすること」(55.7%)、「地域の課題や取組の目的を話し合い、共有すること」(52.1%) などとなっている。(図表2-1)

図表2-2 連携・協力をするために重要なこと（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



連携・協働をするために重要なことについて、上位6項目を性別で見ると、「お互いの立場を尊重し、理解し合うこと」では男女ともに大きな差異は見られない。「活動の場においては、対等な協力関係を築くこと」では男性（37.5%）、女性（31.2%）と、男性が女性を6.3ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「お互いの立場を尊重し、理解し合うこと」では男性50代、女性60代が7割台で他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「お互いの立場を尊重し、理解し合うこと」では全ての地域で5割を超えている。

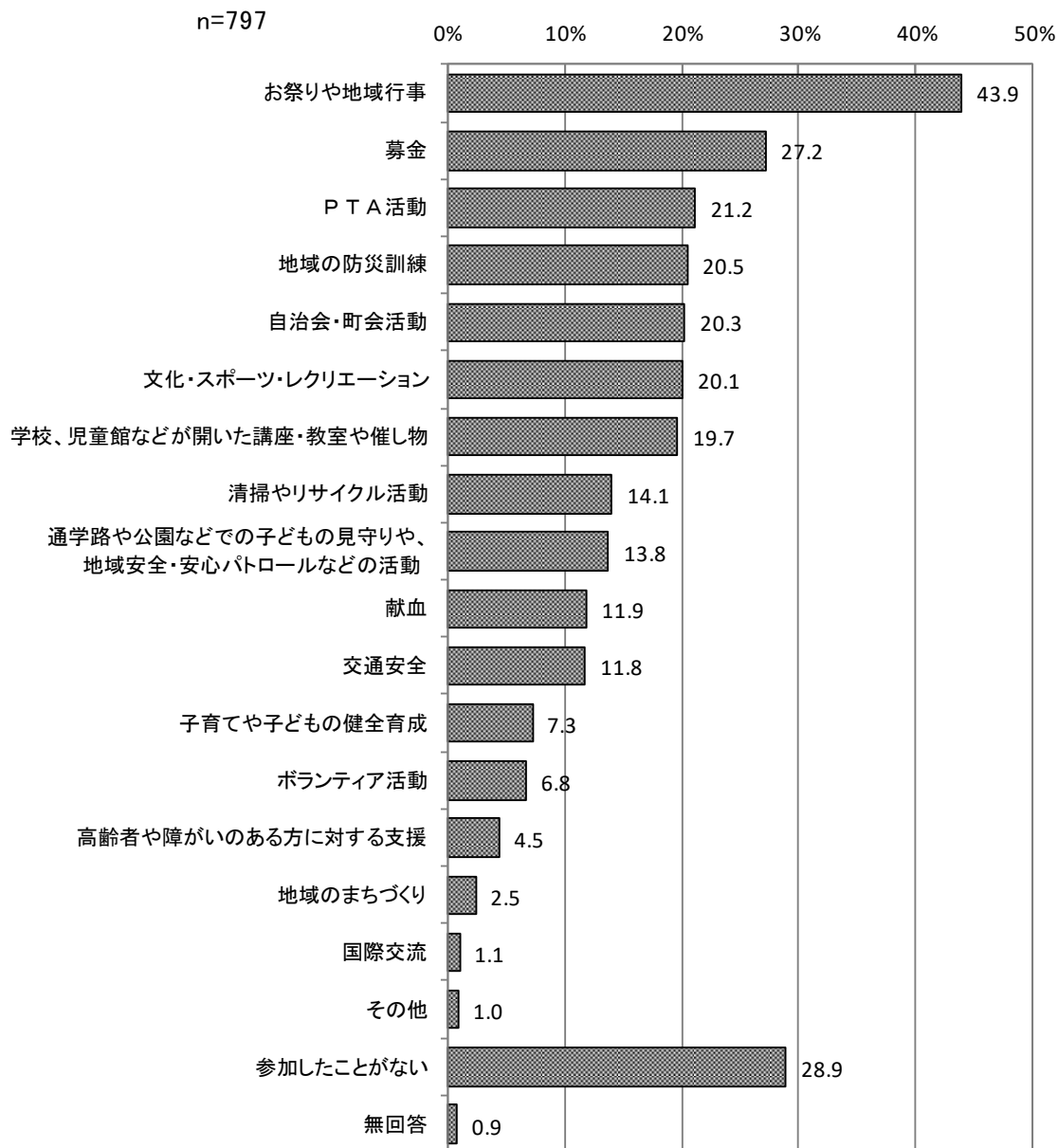
（図表2-2）

(2) 参加したことがある地域活動

◎ 「お祭りや地域行事」が4割前半で最も高くなっている

問2 今まで、大田区内の地域活動に一度でも参加したことがありますか。参加したことがある活動をお答えください。(〇はいくつでも)

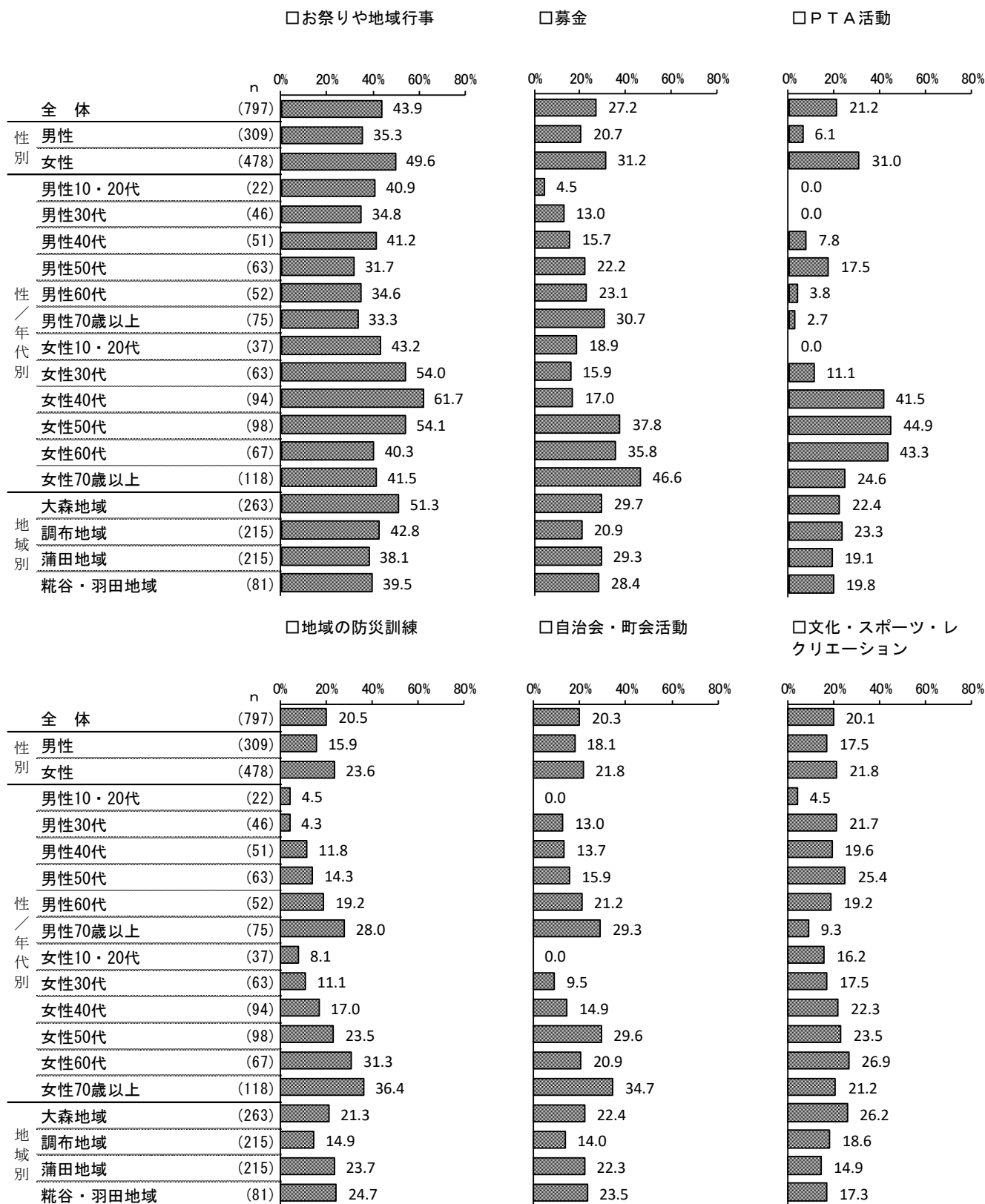
図表2-3 参加したことがある地域活動



今まで参加したことがある大田区内の地域活動を聞いたところ、「お祭りや地域行事」が43.9%で最も高く、次いで、「募金」(27.2%)、「P T A 活動」(21.2%) などとなっている。

一方、「参加したことがない」は28.9%となっている。(図表2-3)

図表2-4 参加したことがある地域活動（性別・性／年代別・地域別 上位6項目）



今まで参加したことがある大田区内の地域活動について、上位6項目を性別で見ると、「お祭りや地域行事」では男性(35.3%)、女性(49.6%)、「募金」では男性(20.7%)、女性(31.2%)、「PTA活動」では、男性(6.1%)、女性(31.0%)と、それぞれ女性が男性を14.3ポイント、10.5ポイント、24.9ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「お祭りや地域行事」では女性40代が61.7%で他の年代より高く、全ての年代で女性が男性を上回っている。「募金」では女性70歳以上が46.6%で他の年代より高くなっている。「PTA活動」は女性の40~60代が4割台となっている。「地域の防災訓練」では男女ともに年代が上がるにつれ高く、全ての年代で女性が男性を上回っている。

地域別で見ると、「お祭りや地域行事」では大森地域が51.3%となっている。(図表2-4)

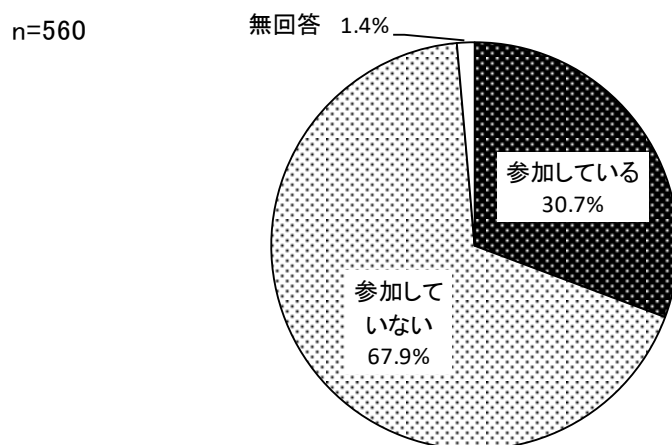
(3) 現在の地域活動への参加状況

◎ 「参加している」は約3割となっている

【問2で「1」～「17」と回答された方（大田区内の地域活動に参加したことがある方）】

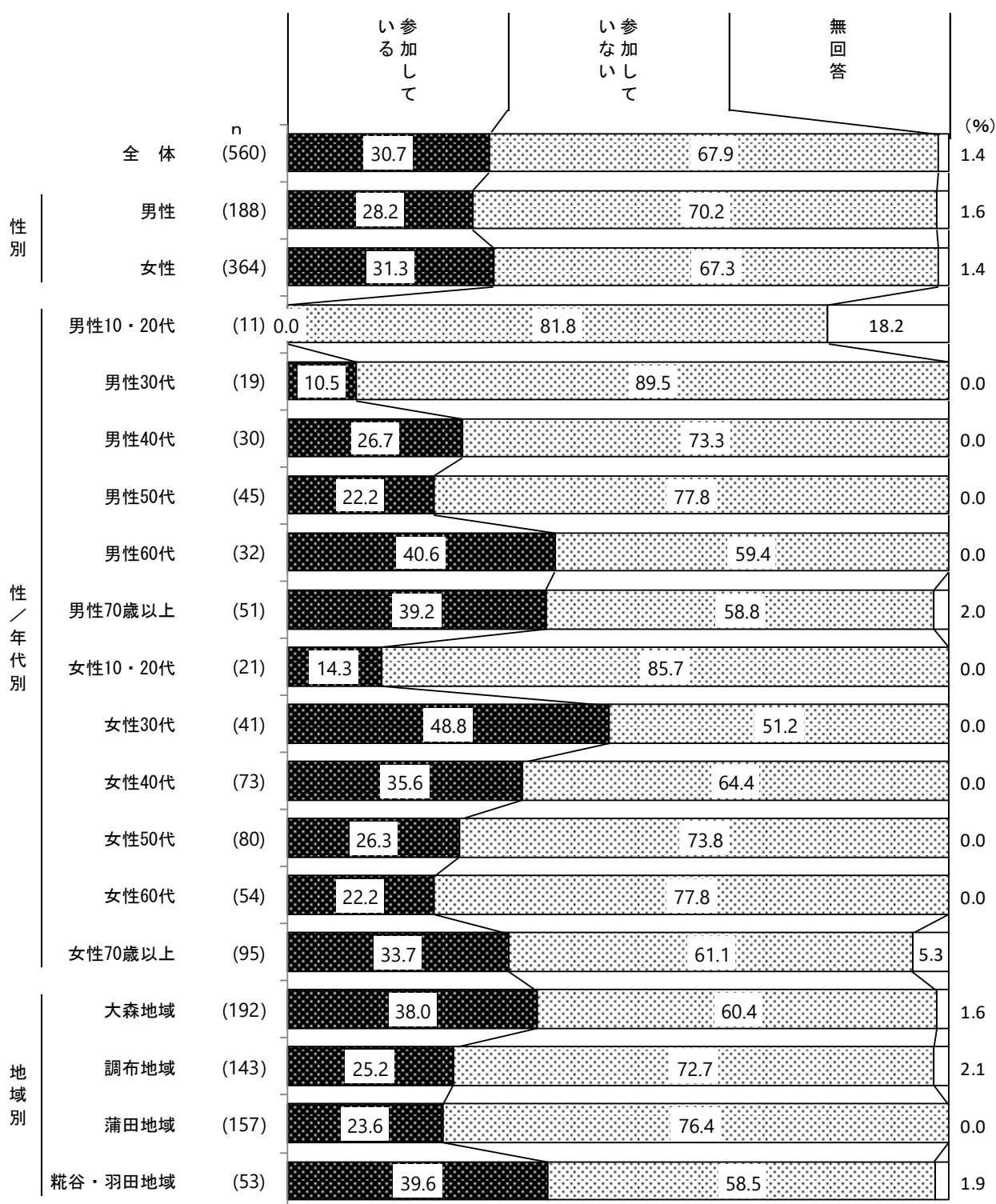
問2-1 現在、地域活動に参加していますか。（○は1つ）

図表2-5 現在の地域活動への参加状況



大田区内の地域活動に参加したことがある方に現在の参加状況を聞いたところ、「参加している」が30.7%、「参加していない」が67.9%となっている。（図表2-5）

図表 2-6 現在の地域活動への参加状況（性別・性/年代別・地域別）



現在の地域活動への参加状況について、性別で見ると大きな差異は見られない。

性/年代別で見ると、「参加している」は男性では60代、70歳以上が約4割と高齢層で高く、女性では30代が48.8%で最も高くなっている。

地域別で見ると、大森地域、糀谷・羽田地域が3割後半となっている。(図表2-6)

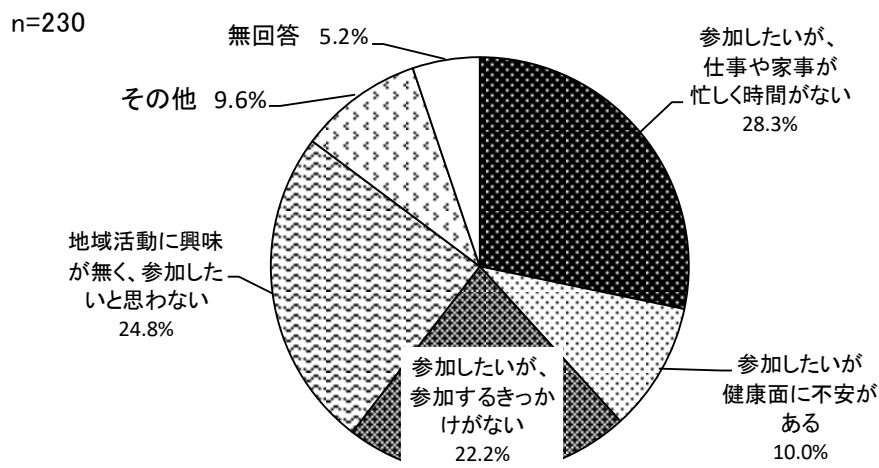
(4) 地域活動に参加しない理由

◎ 「参加したいが、仕事や家事が忙しく時間がない」が2割後半で最も高くなっている

【問2で「18. 参加したことがない」と回答された方】

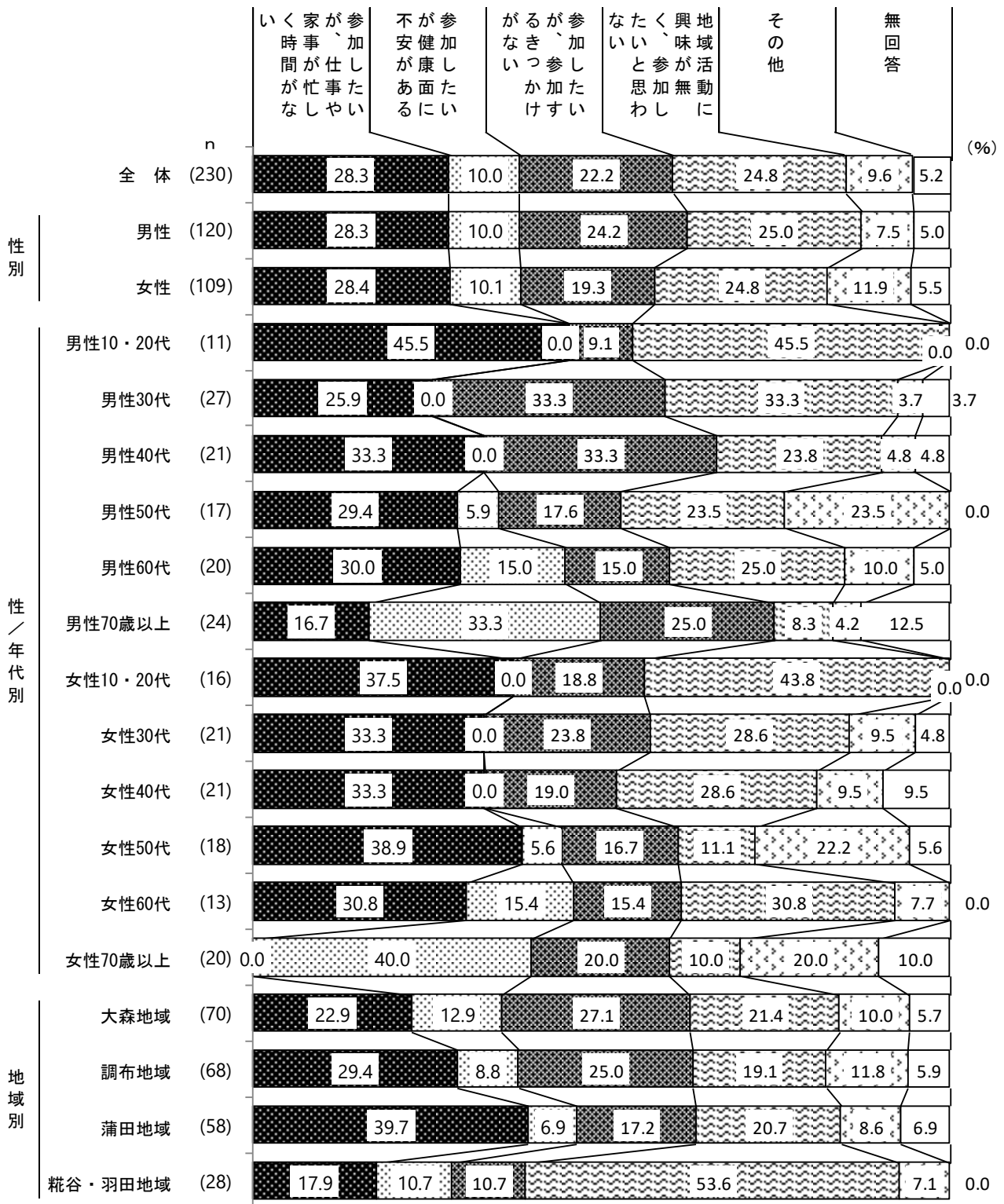
問2-2 地域活動に参加していない最も大きな理由は何ですか。(〇は1つ)

図表2-7 地域活動に参加しない理由



大田区内の地域活動に参加したことがない方に、参加していない最も大きな理由を聞いたところ、「参加したいが、仕事や家事が忙しく時間がない」が28.3%で最も高く、次いで、「地域活動に興味無く、参加したいと思わない」(24.8%)、「参加したいが、参加するきっかけがない」(22.2%)などとなっている。(図表2-7)

図表2-8 地域活動に参加しない理由（性別・性/年代別・地域別）



地域活動に参加しない理由について、性別で見ると、男女ともに「参加したいが、仕事や家事が忙しく時間がない」が最も高くなっている。

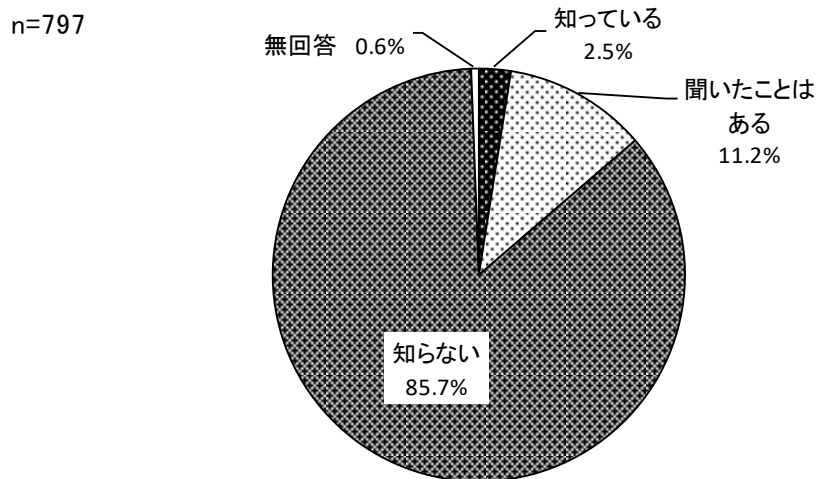
地域別で見ると、「参加したいが、仕事や家事が忙しく時間がない」は蒲田地域が39.7%、調布地域が29.4%、「参加したいが、参加するきっかけがない」は大森地域が27.1%、調布地域が25.0%となっている。(図表2-8)

(5) 区民活動情報サイト「オーちゃんネット」の認知度

◎ 「知らない」が8割半ばとなっている

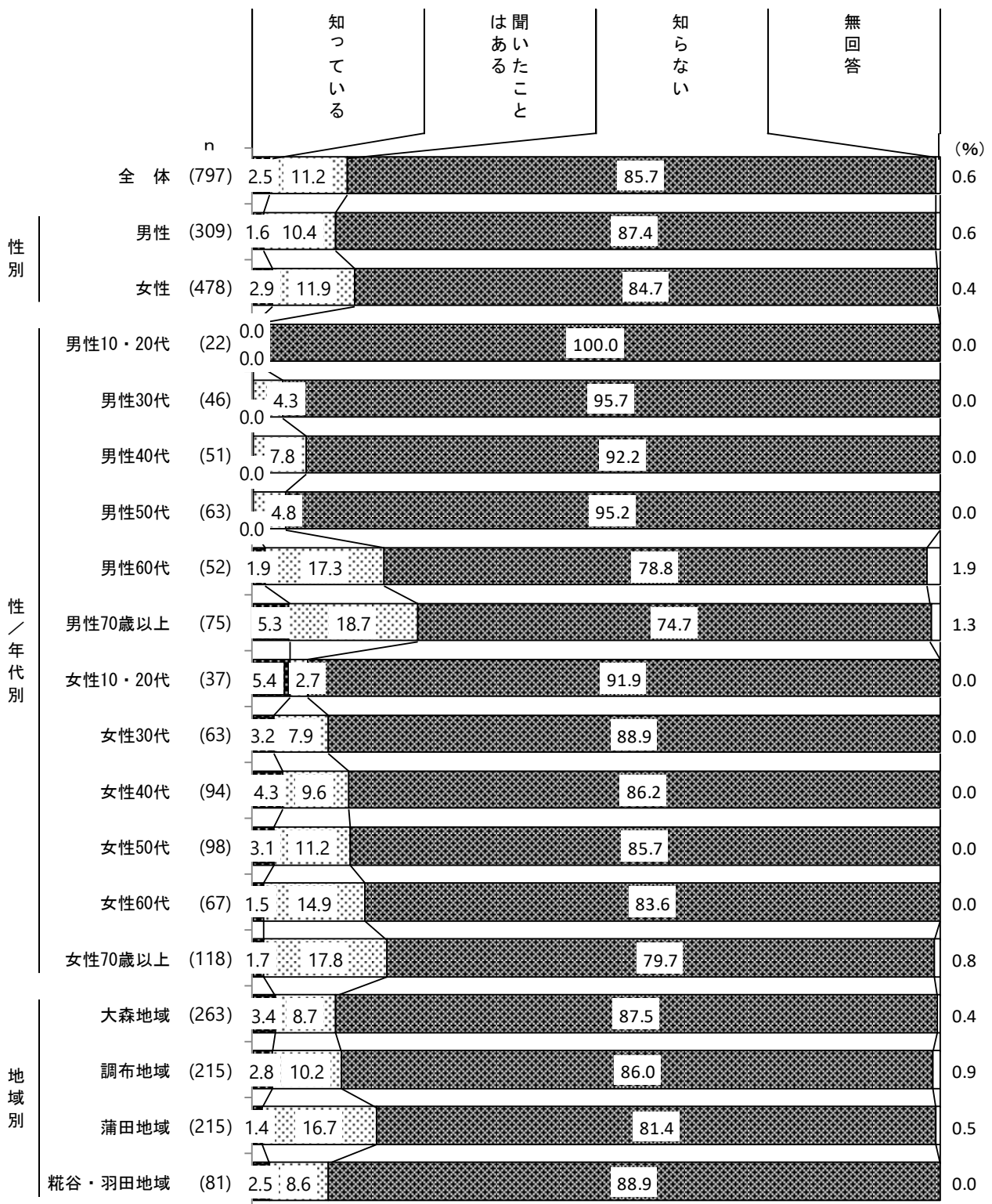
問3 地域活動の情報を発信する区民活動情報サイト「オーちゃんネット」を知っていますか。
(〇は1つ)

図表2-9 区民活動情報サイト「オーちゃんネット」の認知度



区民活動情報サイト「オーちゃんネット」を知っているか聞いたところ、「知っている」が2.5%、「聞いたことはある」が11.2%、「知らない」が85.7%となっている。(図表2-9)

図表2-10 区民活動情報サイト「オーちゃんネット」の認知度（性別・性／年代別・地域別）



区民活動情報サイト「オーちゃんネット」の認知度について、性別で見ると、大きな差異は見られない。

性／年代別で見ると、「聞いたことはある」は男女ともに年代が上がるにつれ高くなっている。地域別で見ると、「聞いたことはある」は蒲田地域で16.7%となっている。(図表2-10)

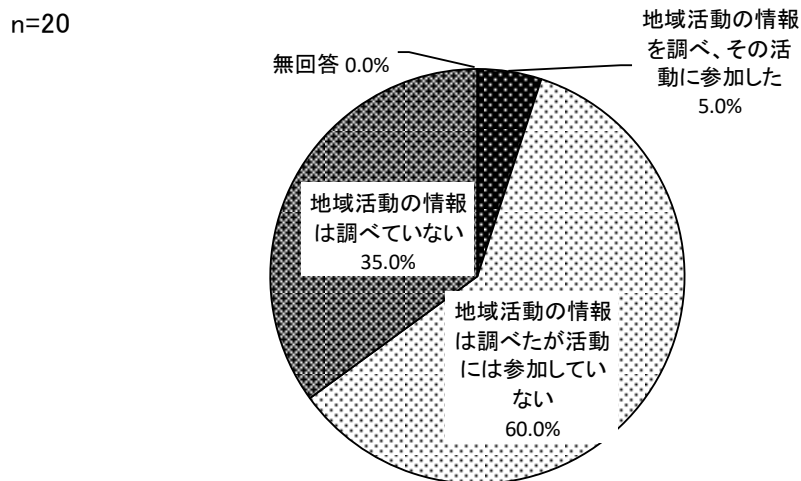
(6) 区民活動情報サイト「オーちゃんネット」の利用状況

◎ 「地域活動の情報は調べたが活動には参加していない」が6割となっている

【問3で「1. 知っている」と回答された方】

問3-1 区民活動情報サイト「オーちゃんネット」で大田区内の地域活動の情報を調べたことがありますか。(○は1つ)

図表2-11 区民活動情報サイト「オーちゃんネット」の利用状況



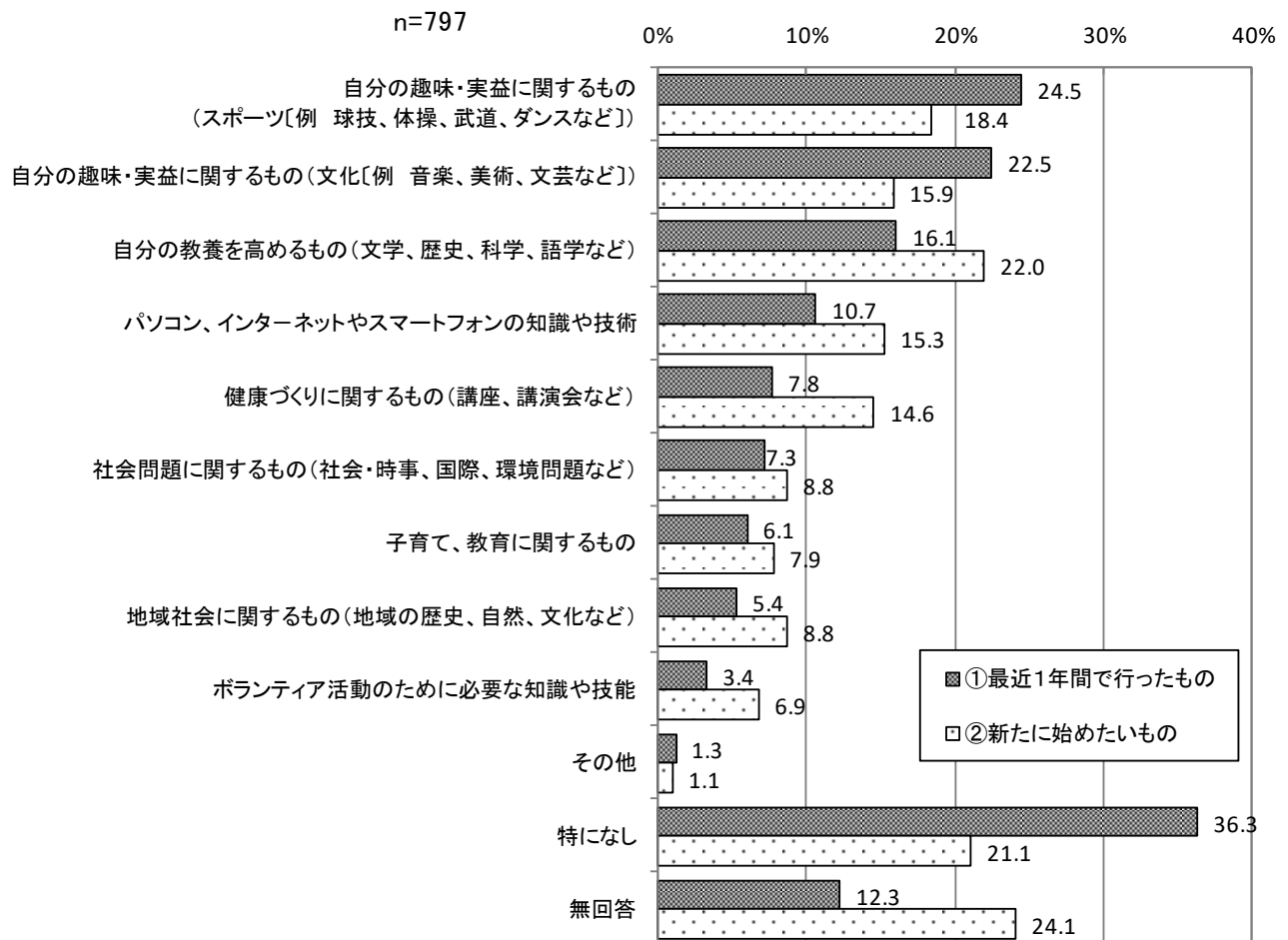
区民活動情報サイト「オーちゃんネット」を知っている方に利用状況を聞いたところ、「地域活動の情報を調べ、その活動に参加した」が5.0%、「地域活動の情報は調べたが活動には参加していない」が60.0%、「地域活動の情報は調べていない」が35.0%となっている。(図表2-11)

(7) 最近1年間の生涯学習の活動と新たに始めたいもの

- ◎ 行った活動は「自分の趣味・実益に関するもの（スポーツ）」が2割半ば、
 新たに始めたい活動は「自分の教養を高めるもの」が2割前半で最も高くなっている

問4 あなたは、最近1年間にどのような生涯学習の活動を行いましたか。
 また、新たに始めてみたいことはありますか。該当する番号に○を付けてください。
 (「①最近1年間で行ったもの」「②新たに始めたいもの」、それぞれ○はいくつでも)

図表2-12 最近1年間の生涯学習の活動と新たに始めたいもの



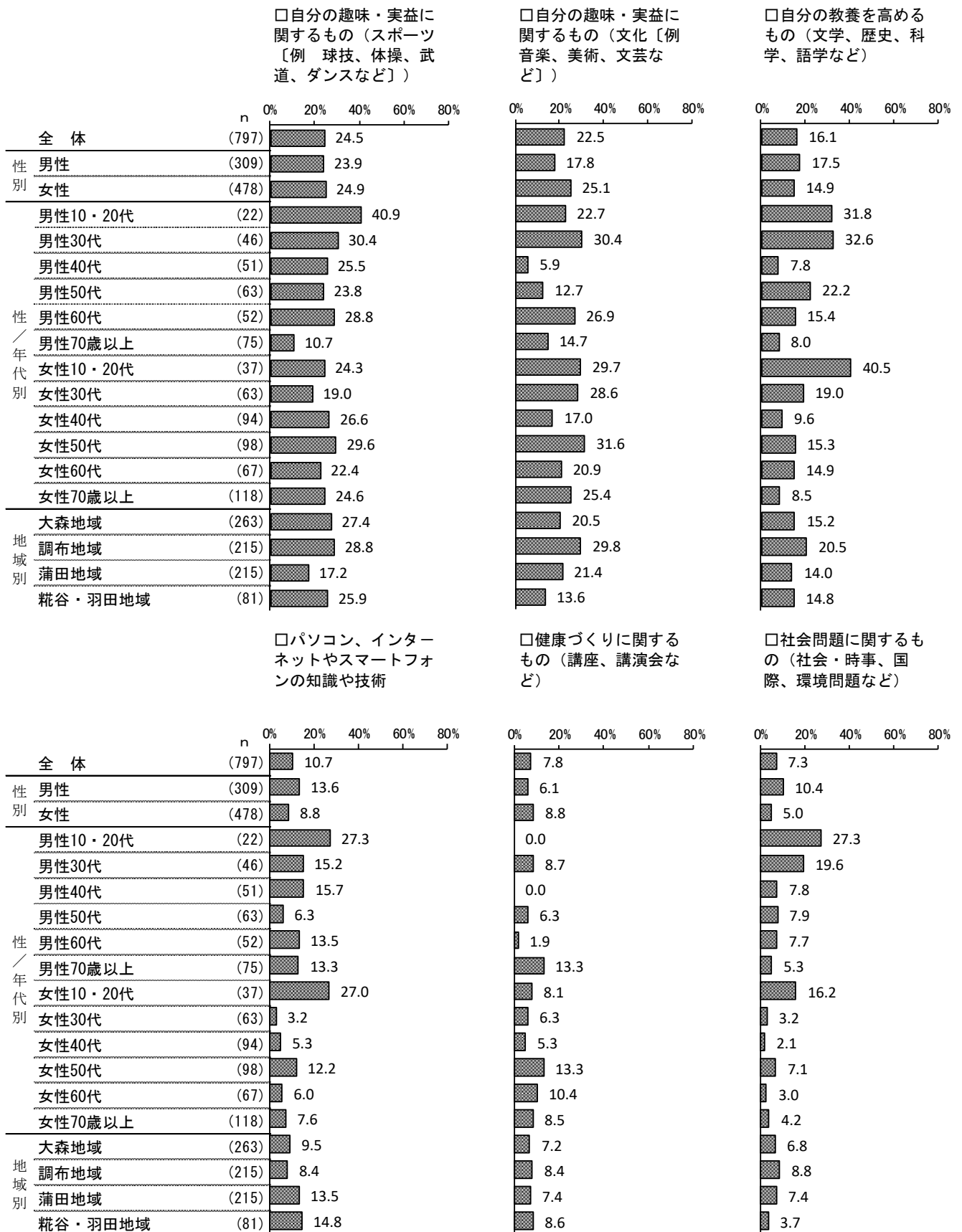
【最近1年間で行った】生涯学習について聞いたところ、「自分の趣味・実益に関するもの（スポーツ）」が24.5%で最も高く、次いで、「自分の趣味・実益に関するもの（文化）」(22.5%)、「自分の教養を高めるもの（文学、歴史、科学、語学など）」(16.1%) などとなっている。

一方、「特になし」は36.3%となっている。

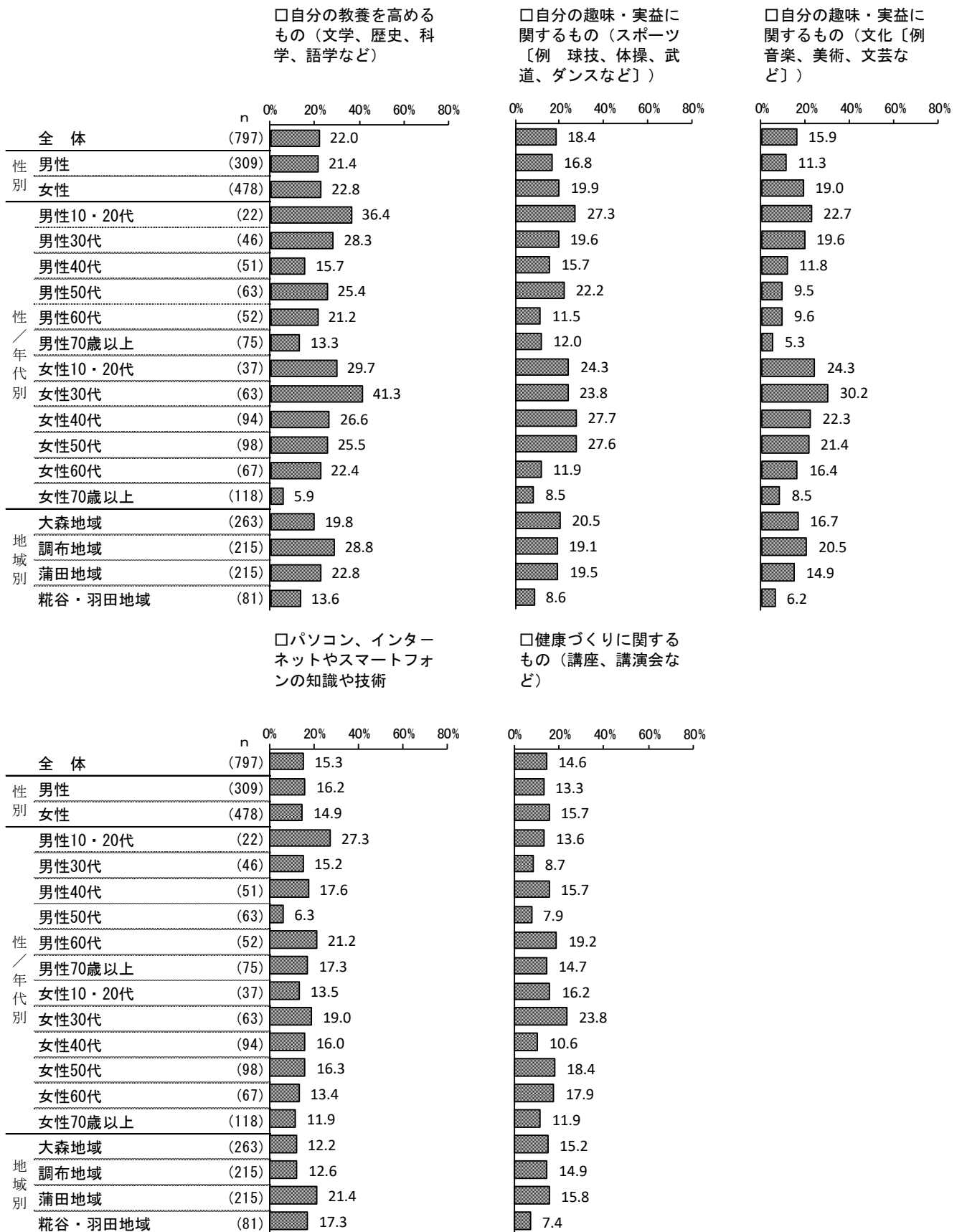
【新たに始めたい】生涯学習について聞いたところ、「自分の教養を高めるもの（文学、歴史、科学、語学など）」が22.0%で最も高く、次いで、「自分の趣味・実益に関するもの（スポーツ）」(18.4%)、「自分の趣味・実益に関するもの（文化）」(15.9%) などとなっている。

一方、「特になし」は21.1%となっている。(図表2-12)

図表2-13 最近1年間の生涯学習の活動（性別・性／年代別・地域別 上位6項目）



図表2-14 新たに始めたい生涯学習の活動（性別・性／年代別・地域別 上位5項目）



【最近1年間で行った】生涯学習について、上位6項目を性別で見ると、「自分の趣味・実益に関するもの（スポーツ）」では大きな差異は見られない。「自分の趣味・実益に関するもの（文化）」では男性（17.8%）、女性（25.1%）と、女性が男性を7.3ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「自分の趣味・実益に関するもの（文化）」では男性は30代、女性は50代が他の年代より高くなっている。「自分の教養を高めるもの（文学、歴史、科学、語学など）」では女性10・20代が40.5%、男性30代が32.6%で他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「自分の趣味・実益に関するもの（文化）」では調布地域が29.8%となっている。
(図表2-13)

【新たに始めたい】生涯学習について、上位5項目を性別で見ると、「自分の教養を高めるもの（文学、歴史、科学、語学など）」では大きな差異は見られない。「自分の趣味・実益に関するもの（文化）」では男性（11.3%）、女性（19.0%）と、女性が男性を7.7ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「自分の教養を高めるもの（文学、歴史、科学、語学など）」で女性30代が41.3%で他の年代より高くなっている。「自分の趣味・実益に関するもの（文化）」では、全ての年代で女性が男性を上回っている。

地域別で見ると「自分の教養を高めるもの（文学、歴史、科学、語学など）」では調布地域が28.8%となっている。(図表2-14)

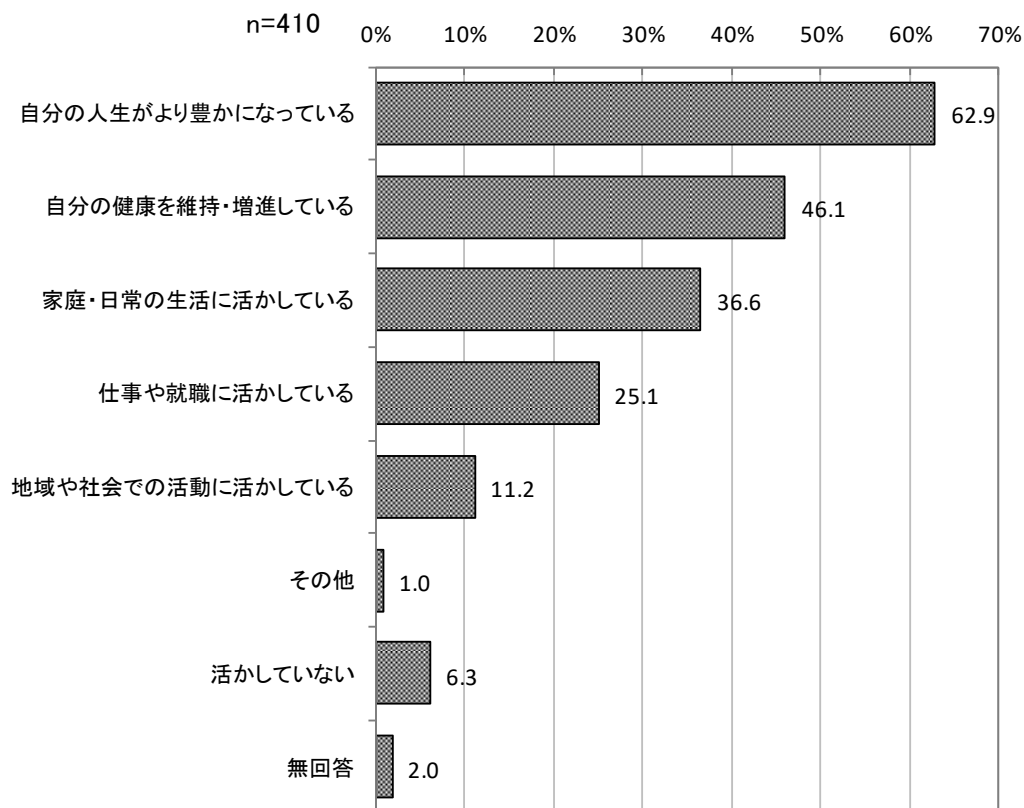
(8) 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしているか

◎ 「自分の人生がより豊かになっている」が6割前半で最も高くなっている

【問4①最近1年間で行ったもので「1」～「10」と回答された方】

問4-1 あなたは生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。
(〇はいくつでも)

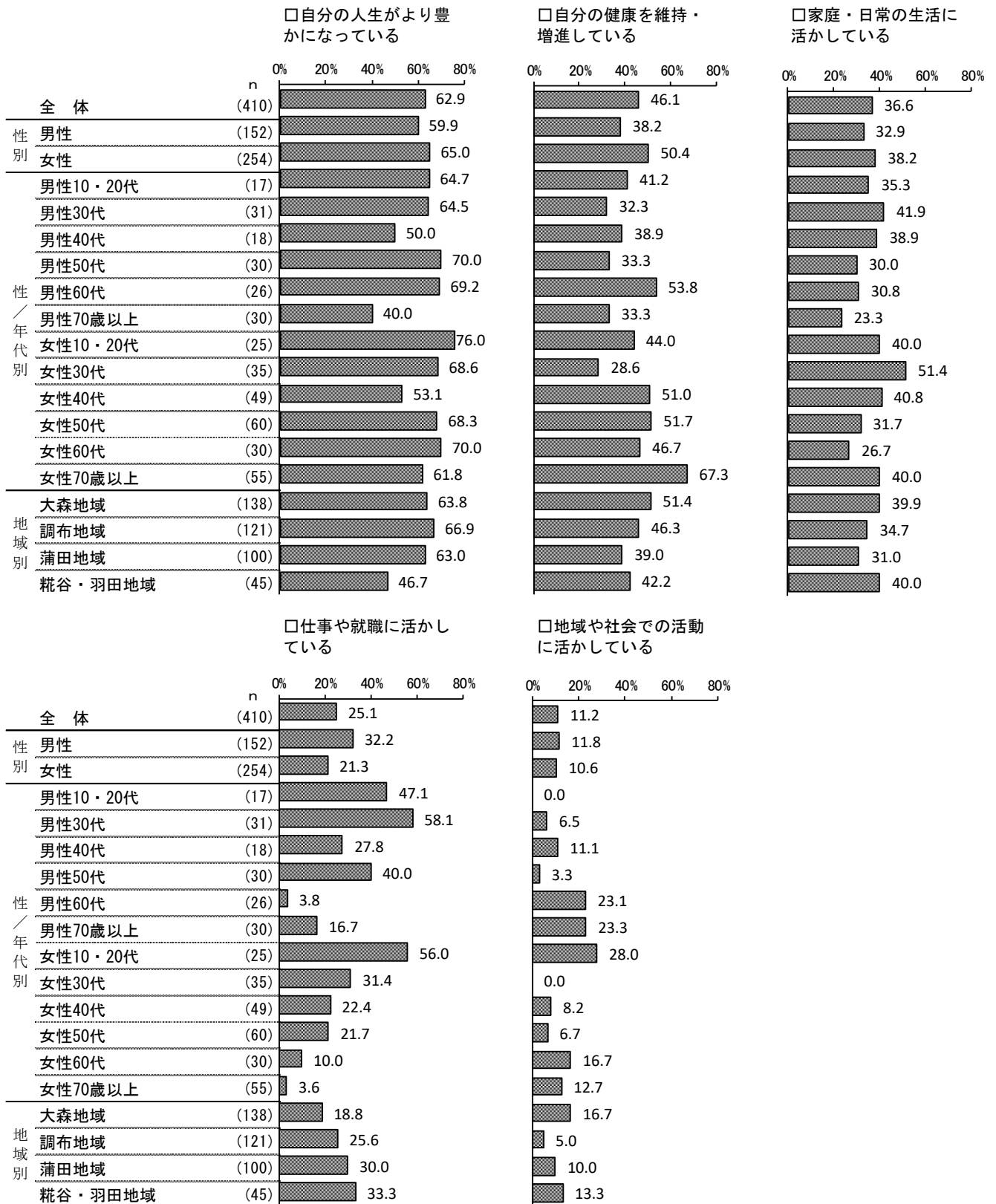
図表2-15 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしているか



最近1年間に生涯学習の活動を行った人に生涯学習で身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしているか聞いたところ、「自分の人生がより豊かになっている」が62.9%で最も高く、次いで、「自分の健康を維持・増進している」(46.1%)、「家庭・日常の生活に活かしている」(36.6%)となっている。

一方、「活かしていない」は6.3%となっている。(図表2-15)

図表2-16 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしているか
(性別・性/年代別・地域別 上位5項目)



最近1年間に生涯学習の活動を行った人が身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしているかについて、上位5項目を性別で見ると「自分の人生がより豊かになっている」、「自分の健康を維持・増進している」、「家庭・日常の生活に活かしている」では女性が男性を上回っている。(図表2-16)

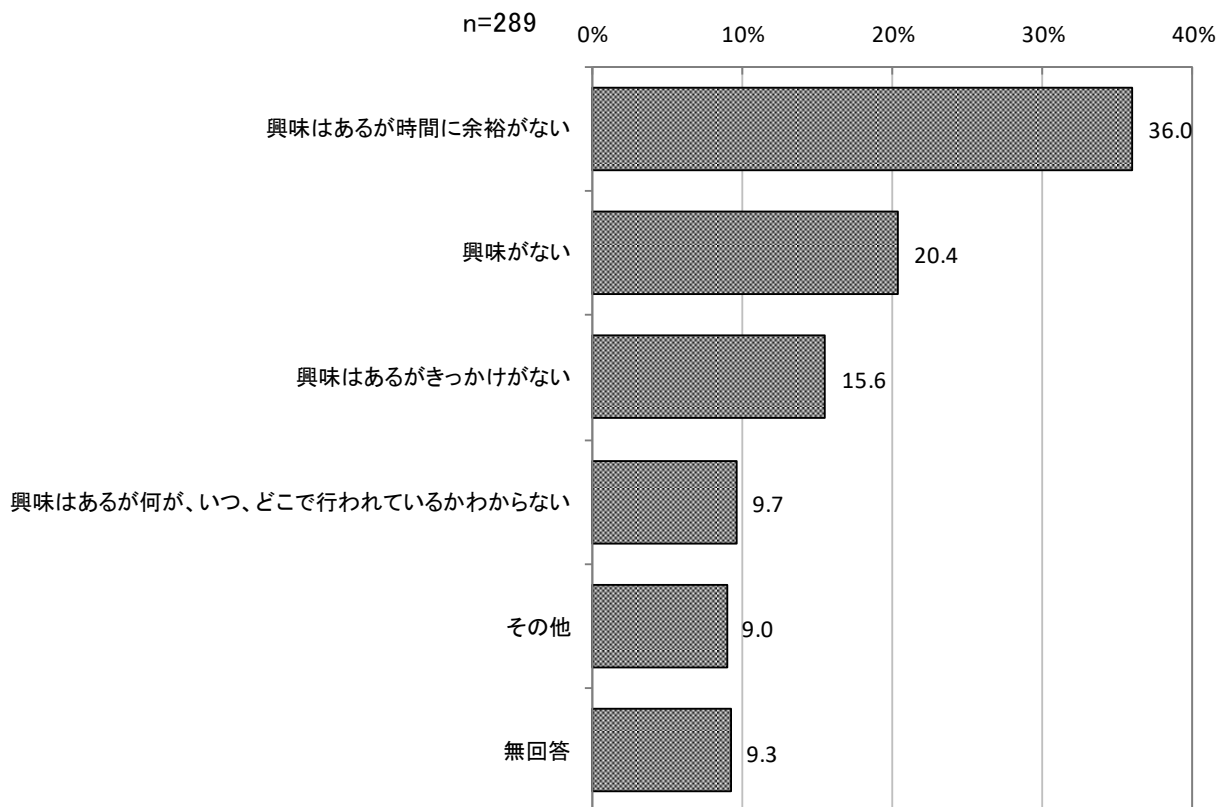
(9) 生涯学習の活動をしていない理由

◎ 興味はあるが時間に余裕がない」が3割半ばで最も高くなっている

【問4①最近1年間で行ったもので「11. 特になし」と回答された方】

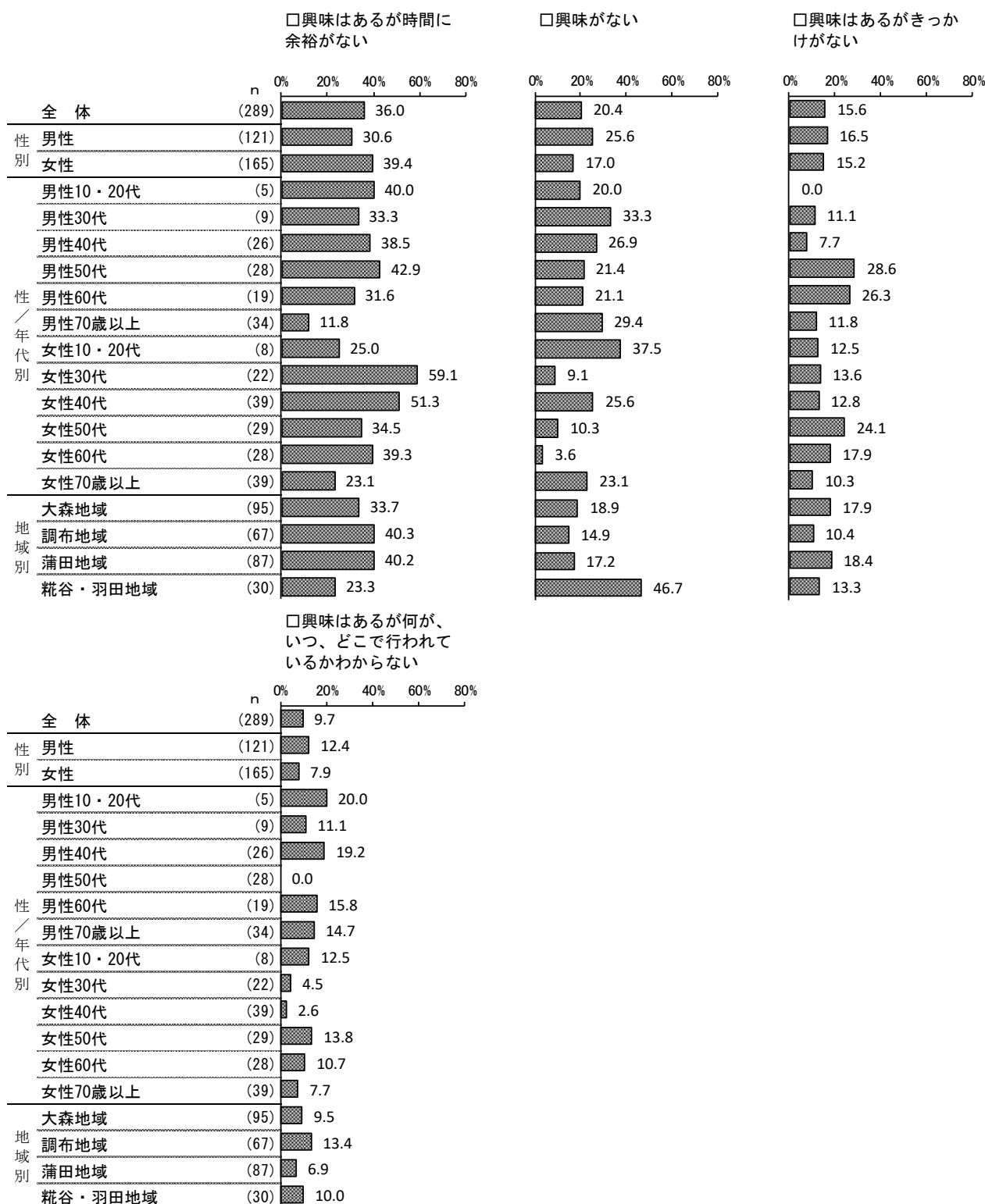
問4-2 生涯学習の活動をされていない理由は何ですか。(○は1つ)

図表2-17 生涯学習の活動をしていない理由



最近1年間で行った生涯学習の活動が特にない人に活動をしていない理由を聞いたところ、「興味はあるが時間に余裕がない」が36.0%で最も高く、次いで、「興味がない」(20.4%)、「興味はあるがきっかけがない」(15.6%) などとなっている。(図表2-17)

図表2-18 生涯学習の活動をしていない理由（性別・性/年代別・地域別 上位4項目）



生涯学習の活動をしていない理由について、性別で見ると「興味があるが時間に余裕がない」は男性（30.6%）、女性（39.4%）と、女性が男性を8.8ポイント上回っている。「興味がない」では男性（25.6%）、女性（17.0%）と、男性が女性を8.6ポイント上回っている。

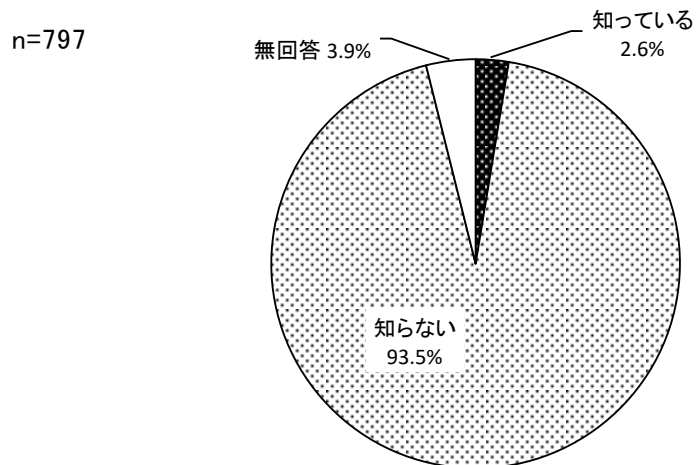
地域別で見ると、「興味があるが時間に余裕がない」では、調布地域、蒲田地域が4割台となっている。（図表2-18）

(10) 生涯学習情報紙「WaKuWaKuおおた」の認知度

◎ 「知らない」が9割前半となっている

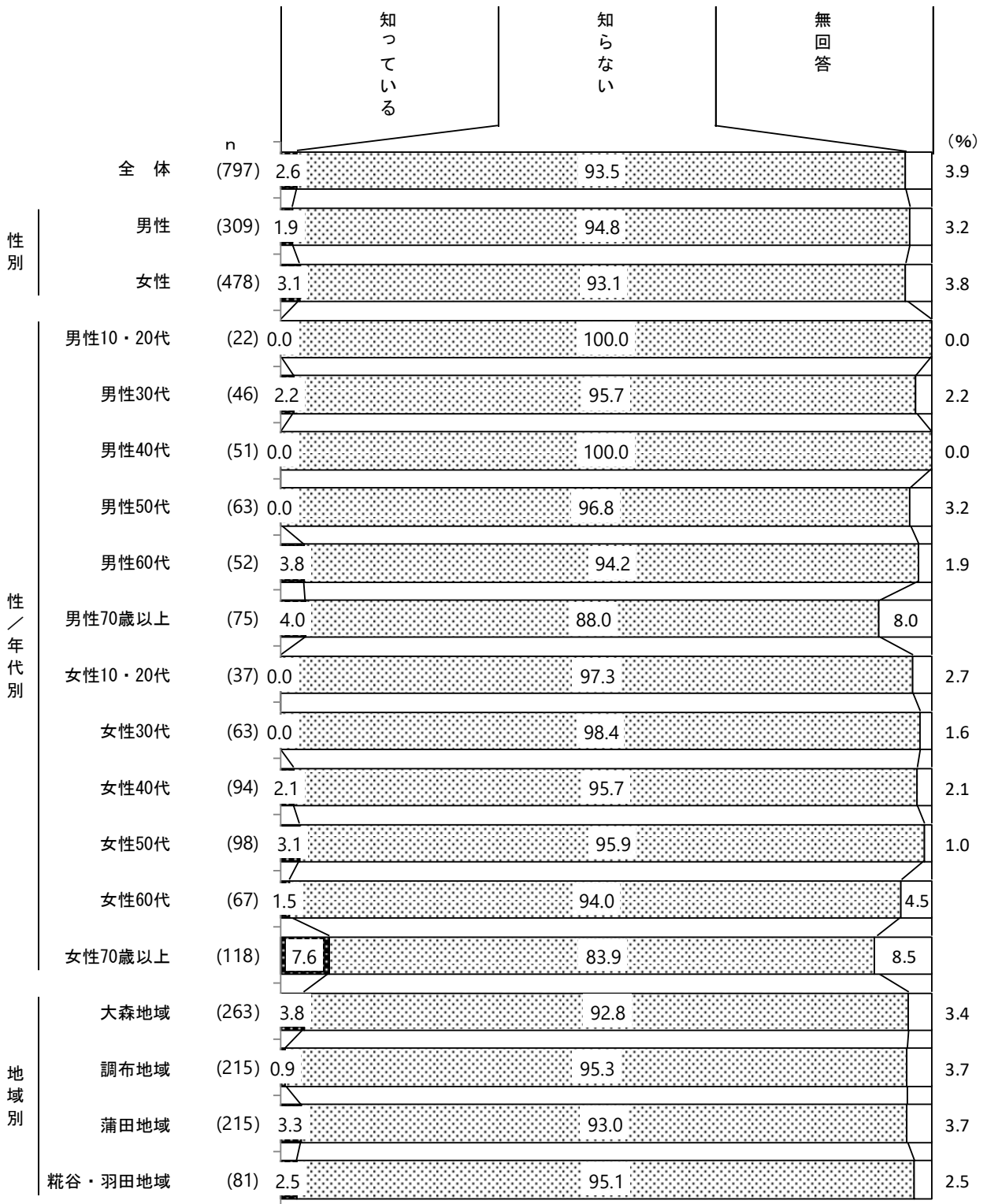
問5 生涯学習情報紙「WaKuWaKuおおた(わくわくおおた)」を知っていますか。(○は1つ)

図表2-19 生涯学習情報紙「WaKuWaKuおおた」の認知度



生涯学習情報誌「WaKuWaKuおおた」を知っているか聞いたところ、「知っている」が2.6%、「知らない」が93.5%となっている。(図表2-19)

図表 2-20 生涯学習情報誌「WaKuWaKuおおた」の認知度（性別・性／年代別・地域別）



生涯学習情報誌「WaKuWaKuおおた」の認知度について、性別、性／年代別ともに認知度が低くなっている。(図表 2-20)

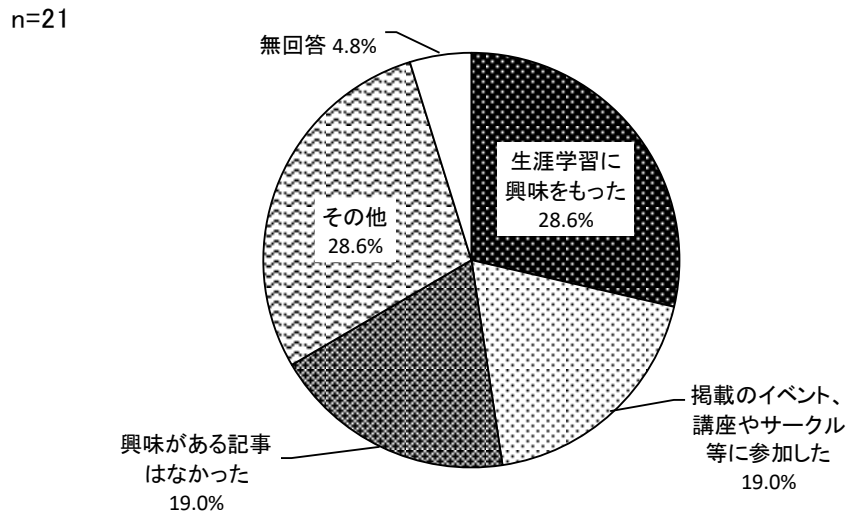
(11) 生涯学習情報紙「WaKuWaKuおおた」について

◎ 「生涯学習に興味をもった」が2割後半となっている

【問5で「1. 知っている」と回答された方】

問5-1 生涯学習情報紙「WaKuWaKuおおた（わくわくおおた）」を読みどのように感じましたか。（○は1つ）

図表2-21 生涯学習情報紙「WaKuWaKuおおた」について



生涯学習情報誌「WaKuWaKuおおた」を知っている人に読んだ感想を聞いたところ、「生涯学習に興味をもった」が28.6%、「掲載のイベント、講座やサークル等に参加した」が19.0%などとなっている。（図表2-21）

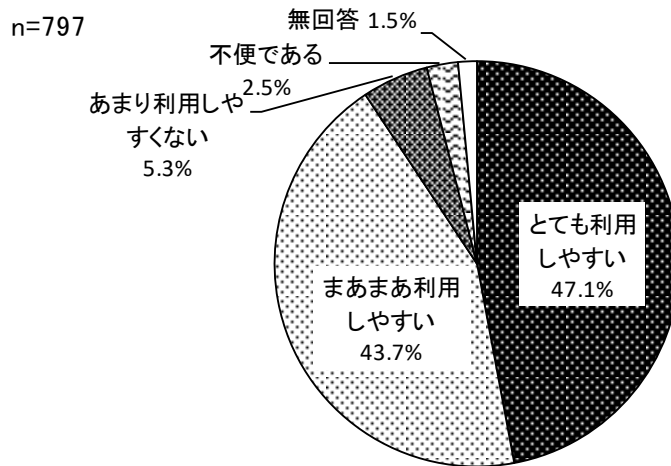
3 公共交通機関・耐震改修について

(1) 公共交通機関の環境

◎ 「とても利用しやすい」が4割後半となっている

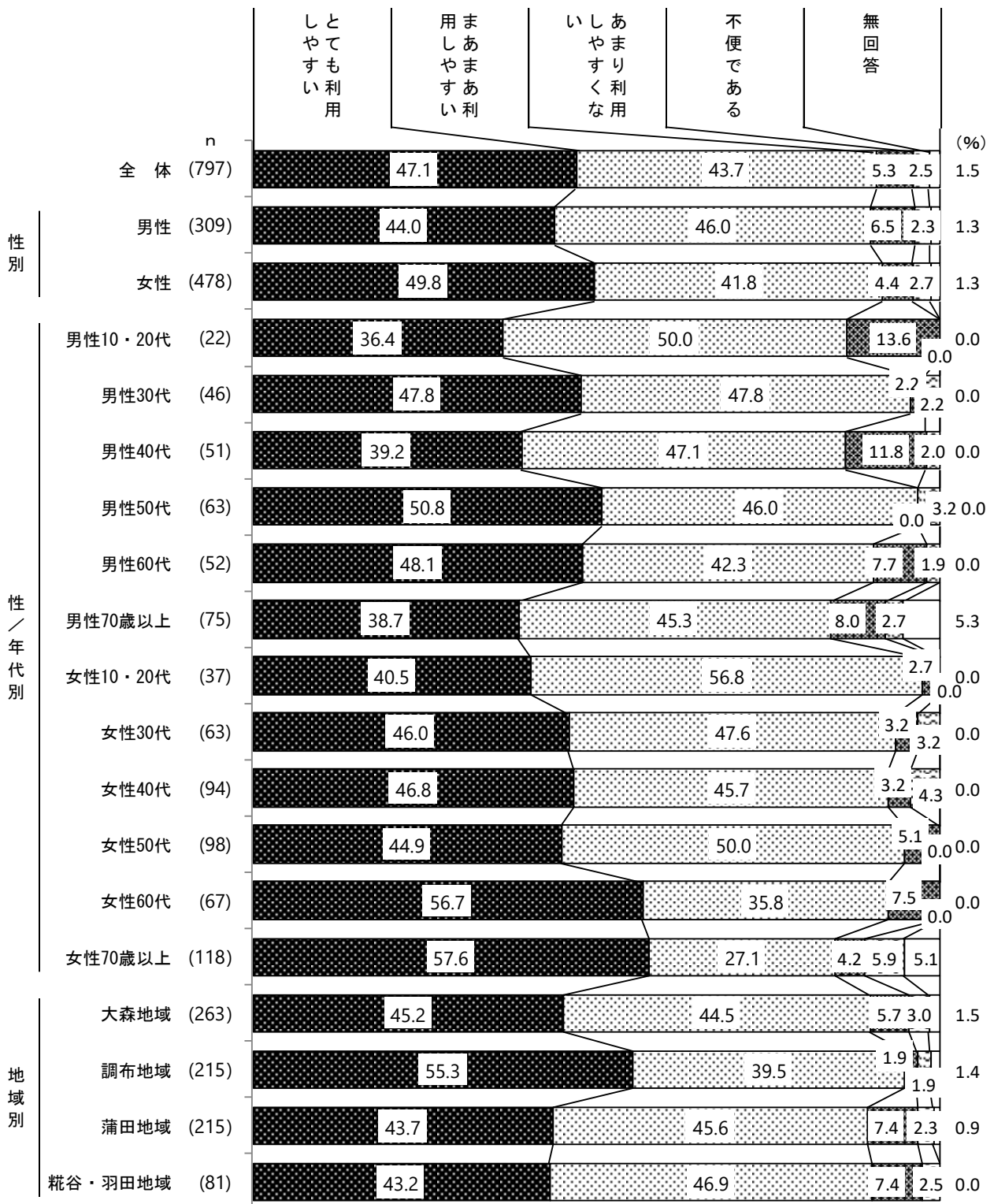
問6 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(○は1つ)

図表3-1 公共交通機関の環境



自宅の近くの公共交通機関の環境について聞いたところ、「とても利用しやすい」が47.1%で最も高く、次いで、「まあまあ利用しやすい」(43.7%)、「あまり利用しやすすくない」(5.3%)、「不便である」(2.5%)となっている。(図表3-1)

図表3-2 公共交通機関の環境（性別・性／年代別・地域別）



公共交通機関の環境について、性別で見ると大きな差異は見られない。

性／年代別で見ると、「とても利用しやすい」は男性50代、女性60代、70歳以上で5割台となっている。

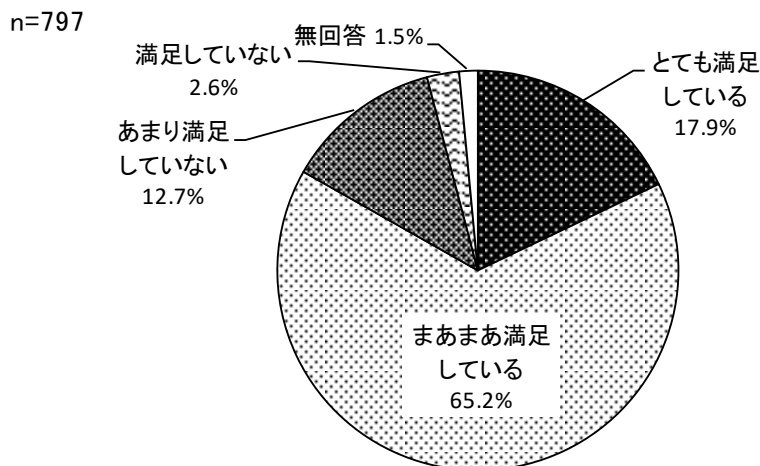
地域別で見ると「とても利用しやすい」は調布地域で55.3%となっている。(図表3-2)

(2) 大田区の公共交通機関網の満足度

◎ 「まあまあ満足している」が6割半ばで最も高くなっている

問7 大田区内の公共交通機関網に満足していますか。(○は1つ)

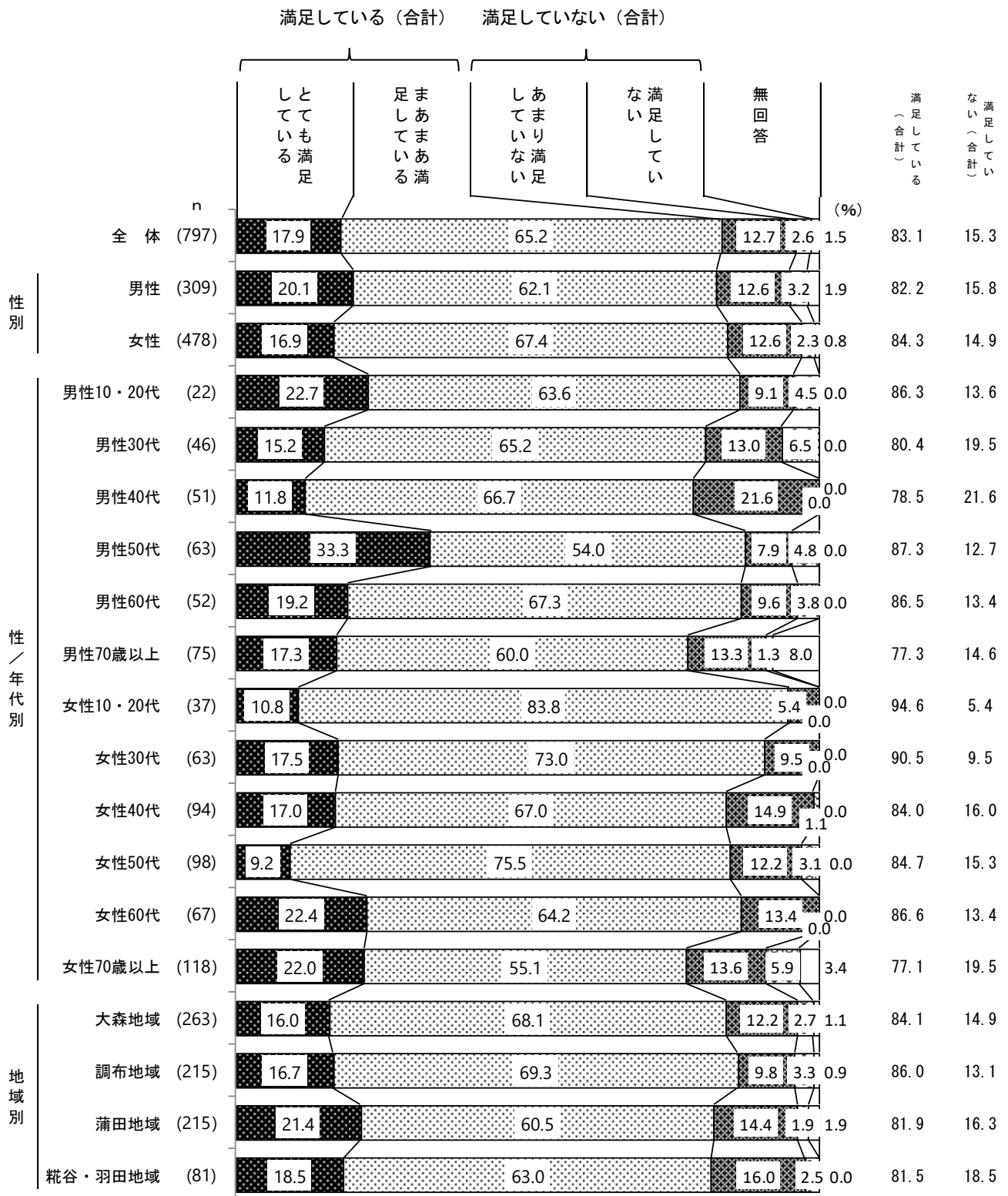
図表3-3 大田区の公共交通機関網の満足度



大田区の公共交通機関網の満足度について聞いたところ、「まあまあ満足している」が65.2%で最も高くなっている。「とても満足している」(17.9%)と合わせた《満足している(合計)》は83.1%となっている。

一方、「あまり満足していない」(12.7%)、「満足していない」(2.6%)を合わせた《満足していない(合計)》は15.3%となっている。(図表3-3)

図表3-4 大田区の公共交通機網の満足度（性別・性／年代別・地域別）



大田区の公共交通機網の満足度について、性別で見ると大きな差異は見られない。

性／年代別で見ると「とても満足している」は男性50代が33.3%で他の年代より高くなっている。

「あまり満足していない」は男性40代が21.6%で他の年代より高くなっている。

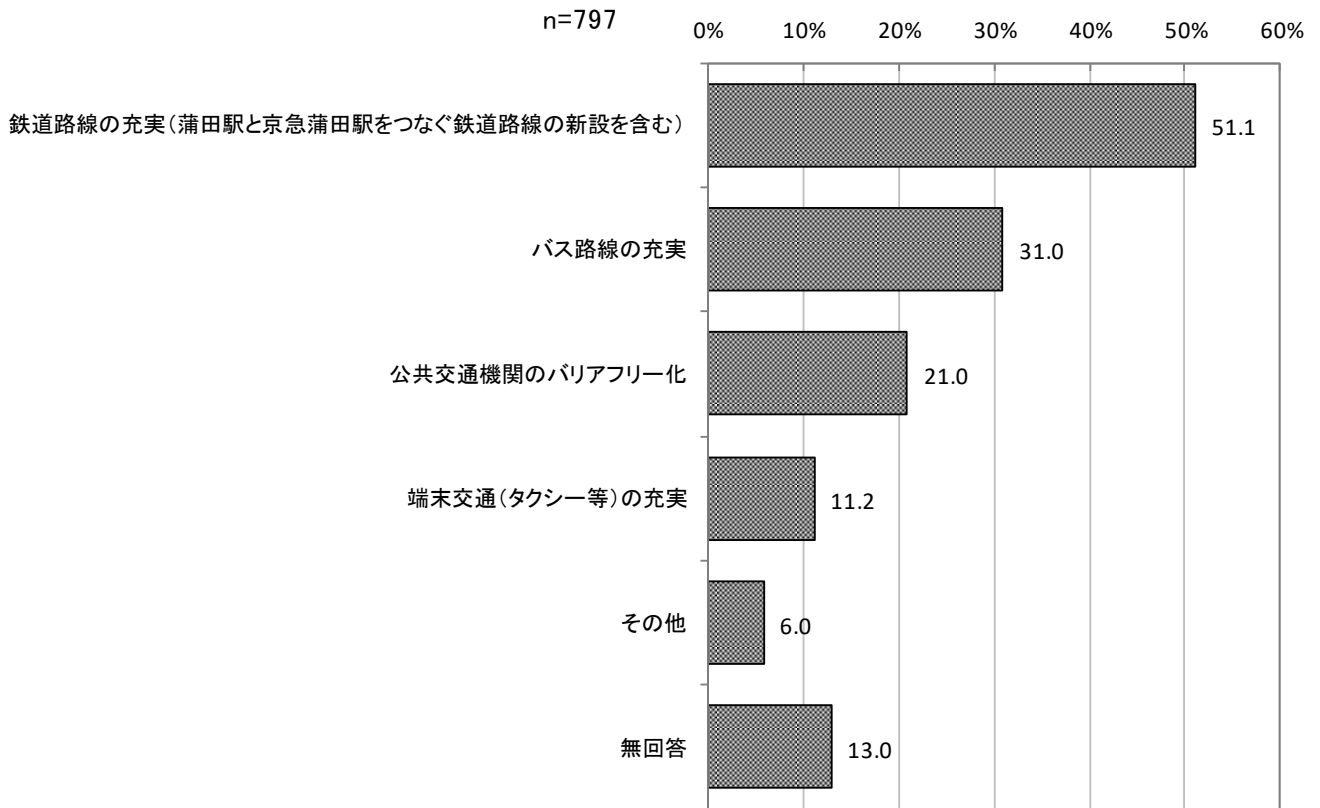
地域別で見ると、全ての地域で《満足している（合計）》が8割台となっている。（図表3-4）

(3) 大田区の公共交通への要望

◎ 「鉄道路線の充実」が約5割で最も高くなっている

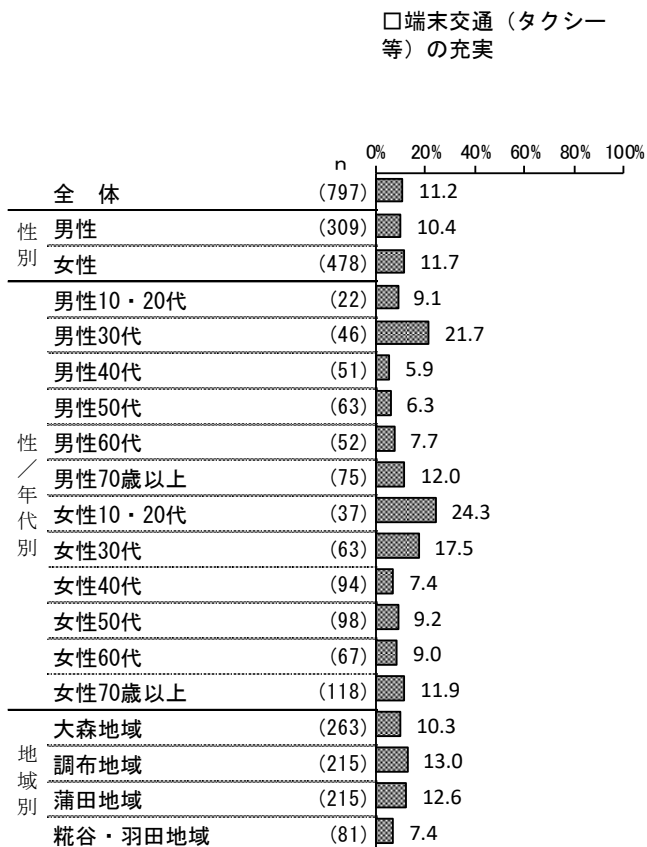
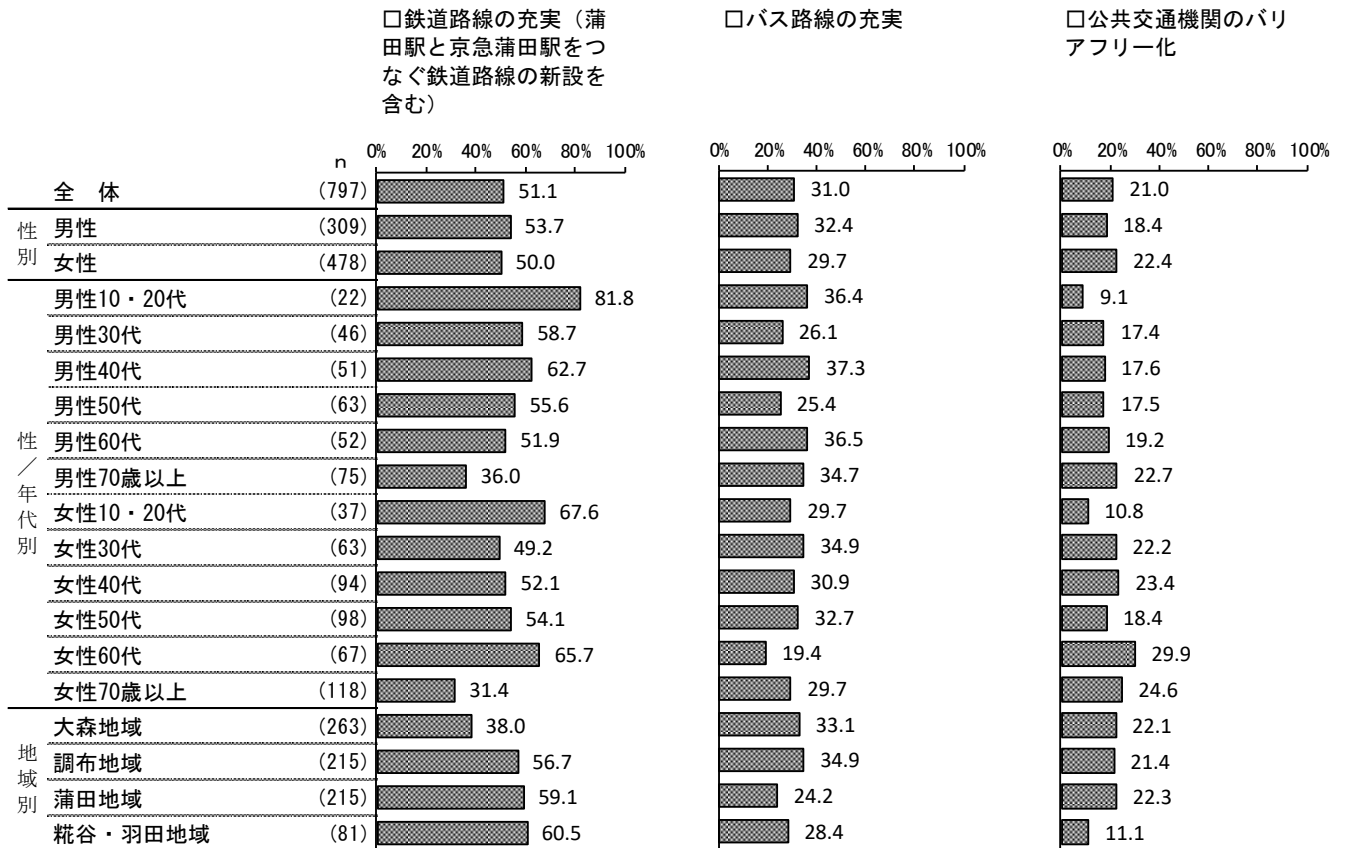
問8 区内の公共交通について、改善を望むものがありますか。(〇はいくつでも)

図表3-5 大田区の公共交通への要望



大田区の公共交通への要望について聞いたところ、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の 신설を含む）」が51.1%で最も高く、次いで「バス路線の充実」（31.0%）、「公共交通機関のバリアフリー化」（21.0%）などとなっている。（図表3-5）

図表3-6 大田区の公共交通への要望（性別・性/年代別・地域別 上位4項目）



大田区の公共交通機関への要望について、上位4項目を性別では大きな差異は見られない。

性／年代別でみると、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」では男女ともに70歳以上が3割台で他の年代より低くなっている。

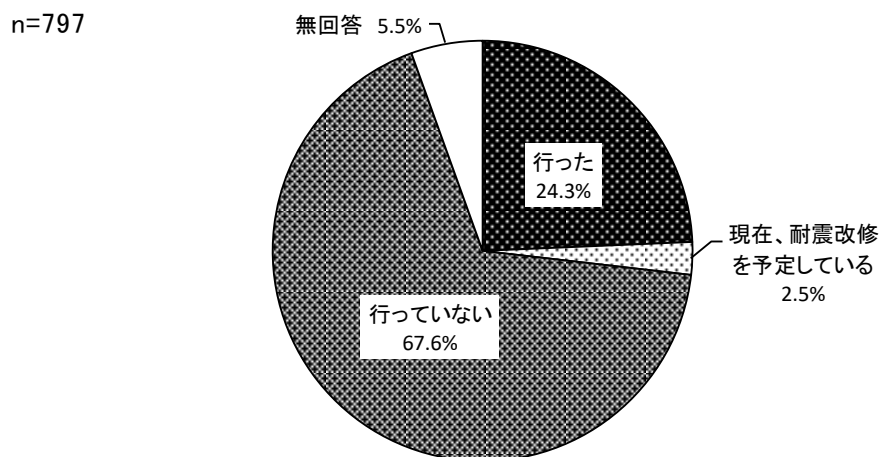
地域別でみると、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」では大森地域が38.0%となっている。（図表3-6）

(4) 住まいや所有建築物の耐震改修状況

◎ 「行った」は2割半ばとなっている

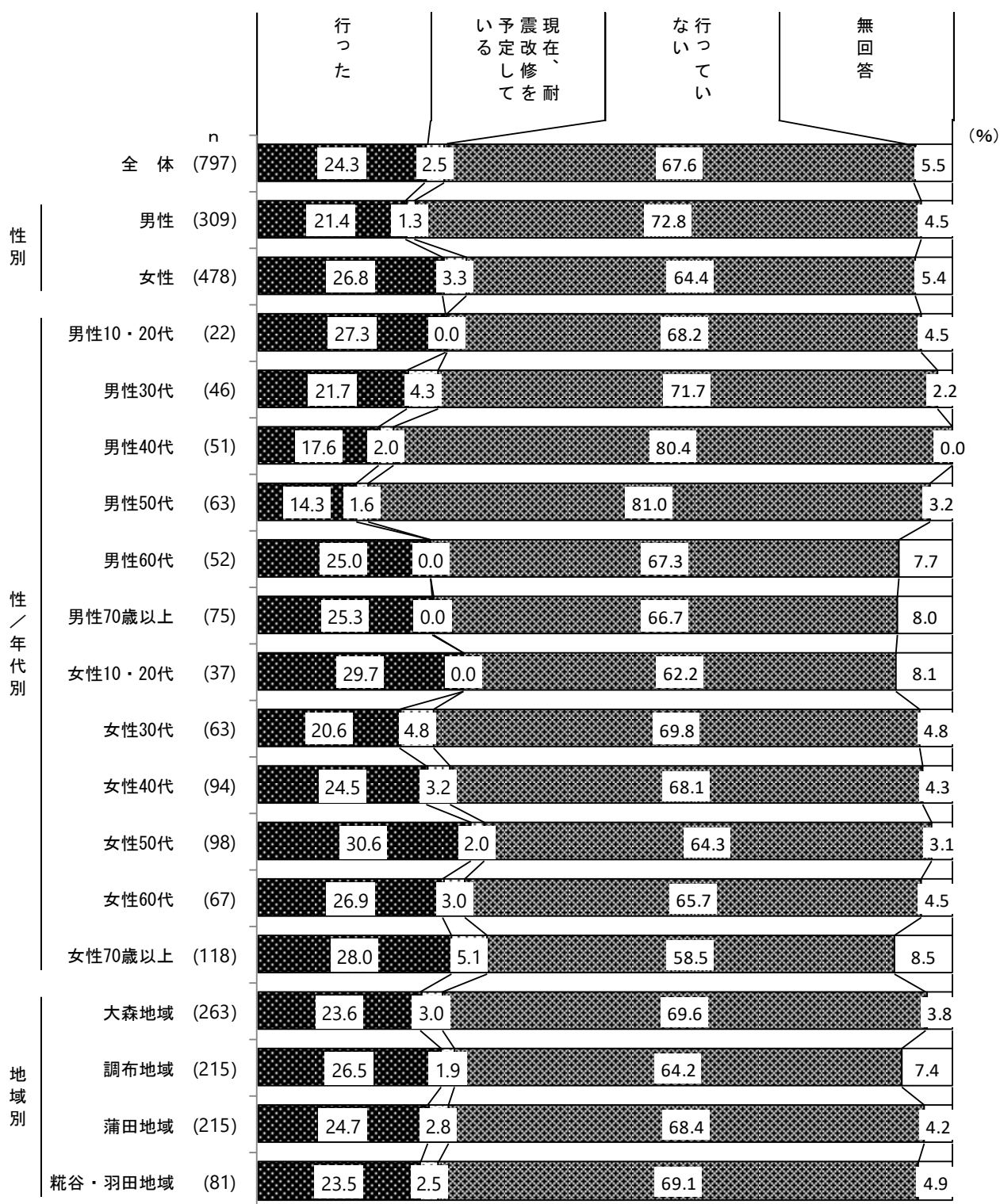
問9 あなたは、現在のお住まいや所有している建物の耐震改修を行いましたか。(○は1つ)

図表3-7 住まいや所有建築物の耐震改修状況



住まいや所有建築物の耐震改修状況を聞いたところ、「行った」が24.3%、「現在、耐震改修を予定している」が2.5%、「行ってない」が67.6%となっている。(図表3-7)

図表3-8 住まいや所有建築物の耐震改修状況（性別・性/年代別・地域別）



住まいや所有建築物の耐震改修状況について、性別で見ると大きな差異は見られない。性/年代別で見ると「行った」は女性50代で30.6%と他の年代より高くなっている。地域別で見ると、全ての地域で「行った」が2割台となっている。(図表3-8)

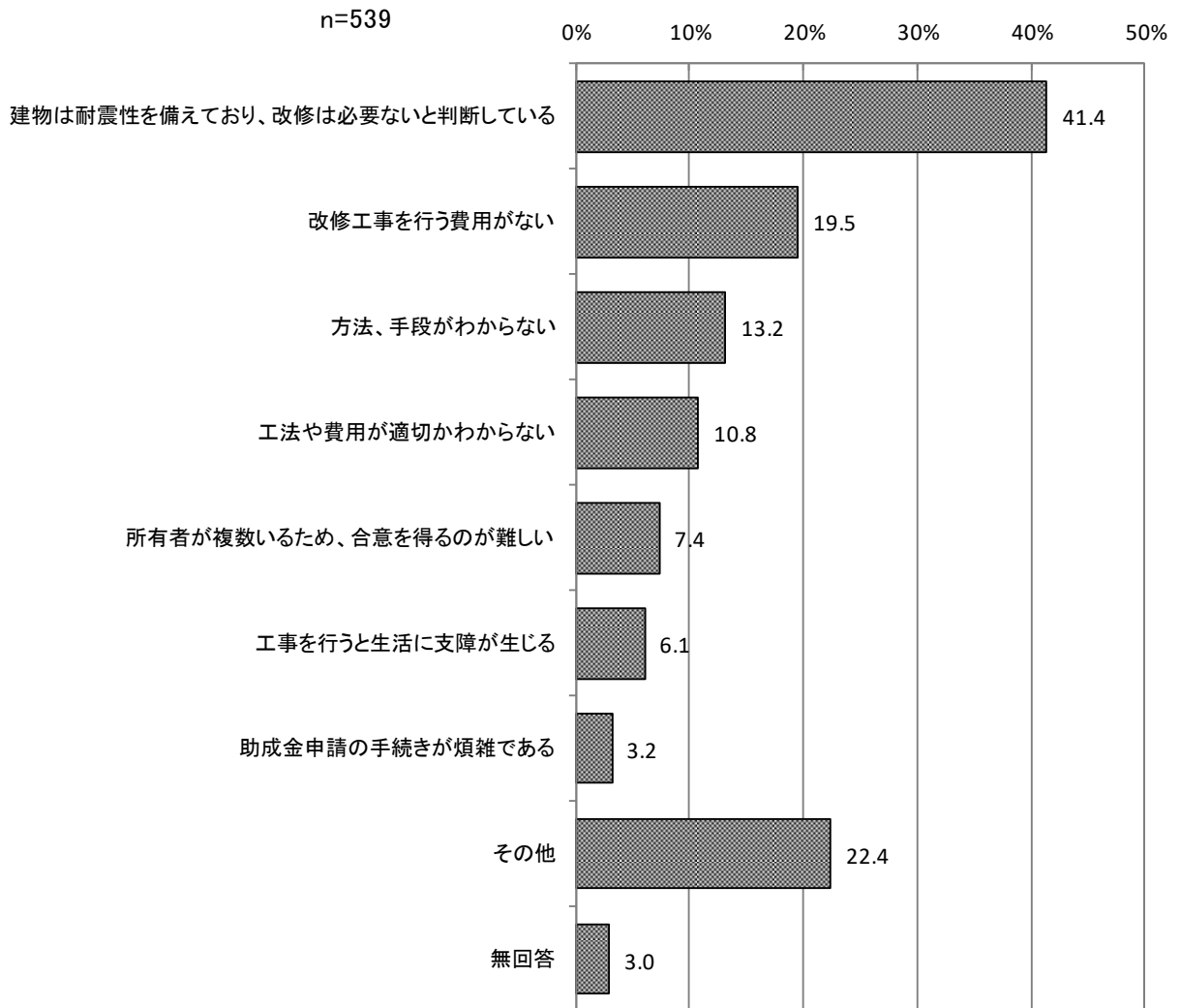
(5) 耐震改修を行わない理由

◎ 「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が約4割で最も高くなっている

【問9で「3. 行っていない」と回答された方】

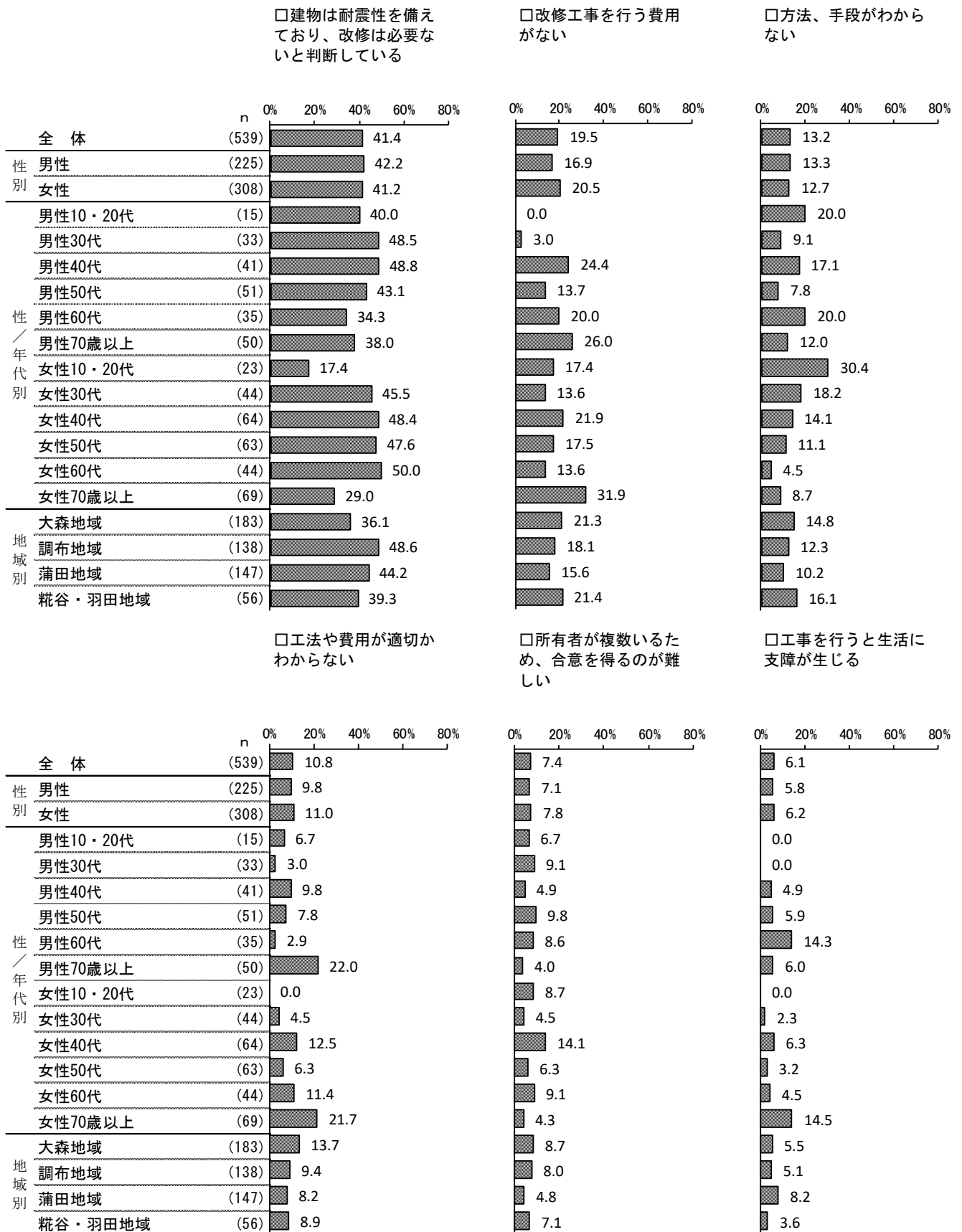
問9-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表3-9 耐震改修を行わない理由



建物の耐震改修を行っていない人にその理由を聞いたところ、「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が41.4%で最も高く、次いで、「改修工事を行う費用がない」(19.5%)、「方法、手段がわからない」(13.2%)となっている。(図表3-9)

図表3-10 耐震改修を行わない理由（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



耐震改修を行わない理由について、上位6項目を性別で見ると「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」では男女ともに4割台で大きな差異は見られない。

性／年代別で見ると「工法や費用が適切かわからない」は男女ともに70歳以上が2割台で他の年代より高くなっている。

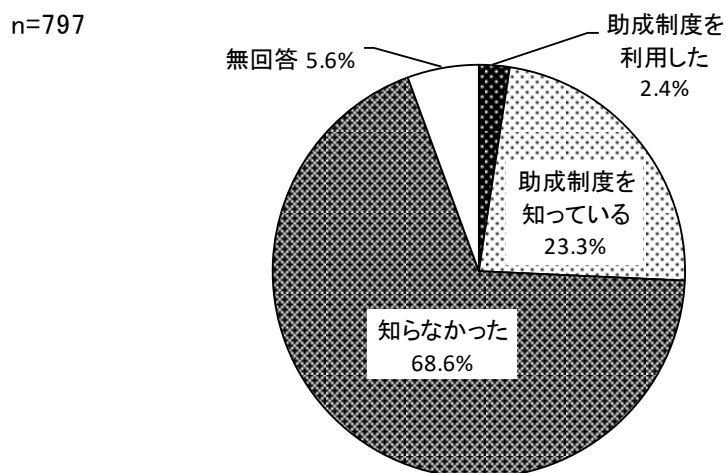
地域別で見ると、「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」では調布地域、蒲田地域が4割台となっている。(図表3-10)

(6) 耐震改修の助成制度について

◎ 「知らなかった」が6割後半となっている

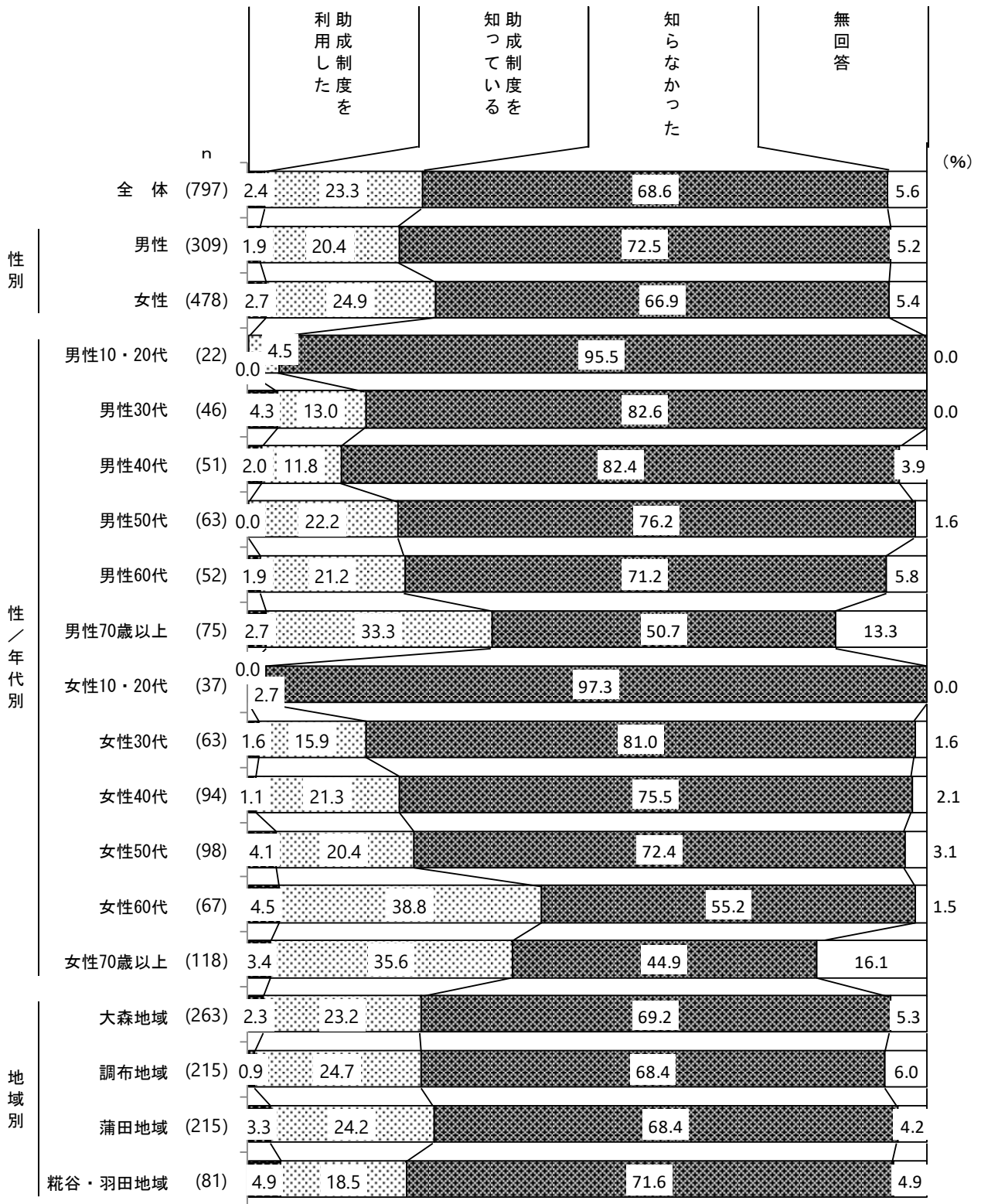
問 10 大田区は昭和 56 年 5 月 31 日以前に新築着工した建物を耐震改修する場合、経費の一部を負担する助成制度を設けています。助成制度があることをご存知でしたか。(〇は1つ)

図表 3-11 耐震改修の助成制度について



耐震改修の助成制度について聞いたところ、「助成制度を利用した」が2.4%、「助成制度を知っている」が23.3%、「知らなかった」が68.6%となっている。(図表3-11)

図表 3-12 耐震改修の助成制度について（性別・性／年代別・地域別）



耐震改修の助成制度について、性別でみると大きな差異は見られない。

性／年代別でみると「助成制度を知っている」は男性70歳以上、女性60代、70歳以上が3割台で他の年代より高くなっている。

地域別でみると、大きな差異は見られない。(図表3-12)

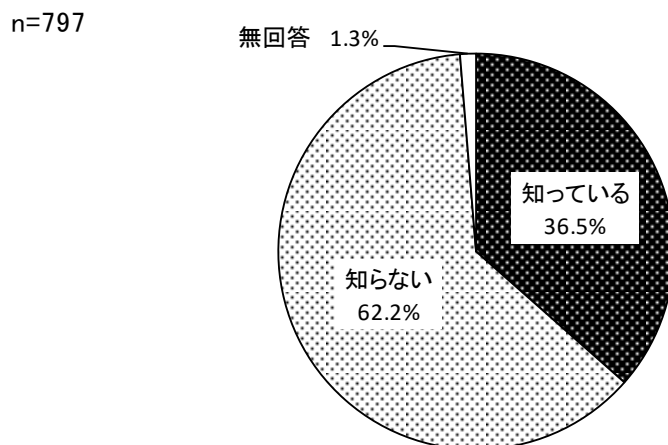
4 自転車の利用について

(1) 大田区内でのコミュニティサイクル運営の認知度

◎ 「知っている」は3割半ば

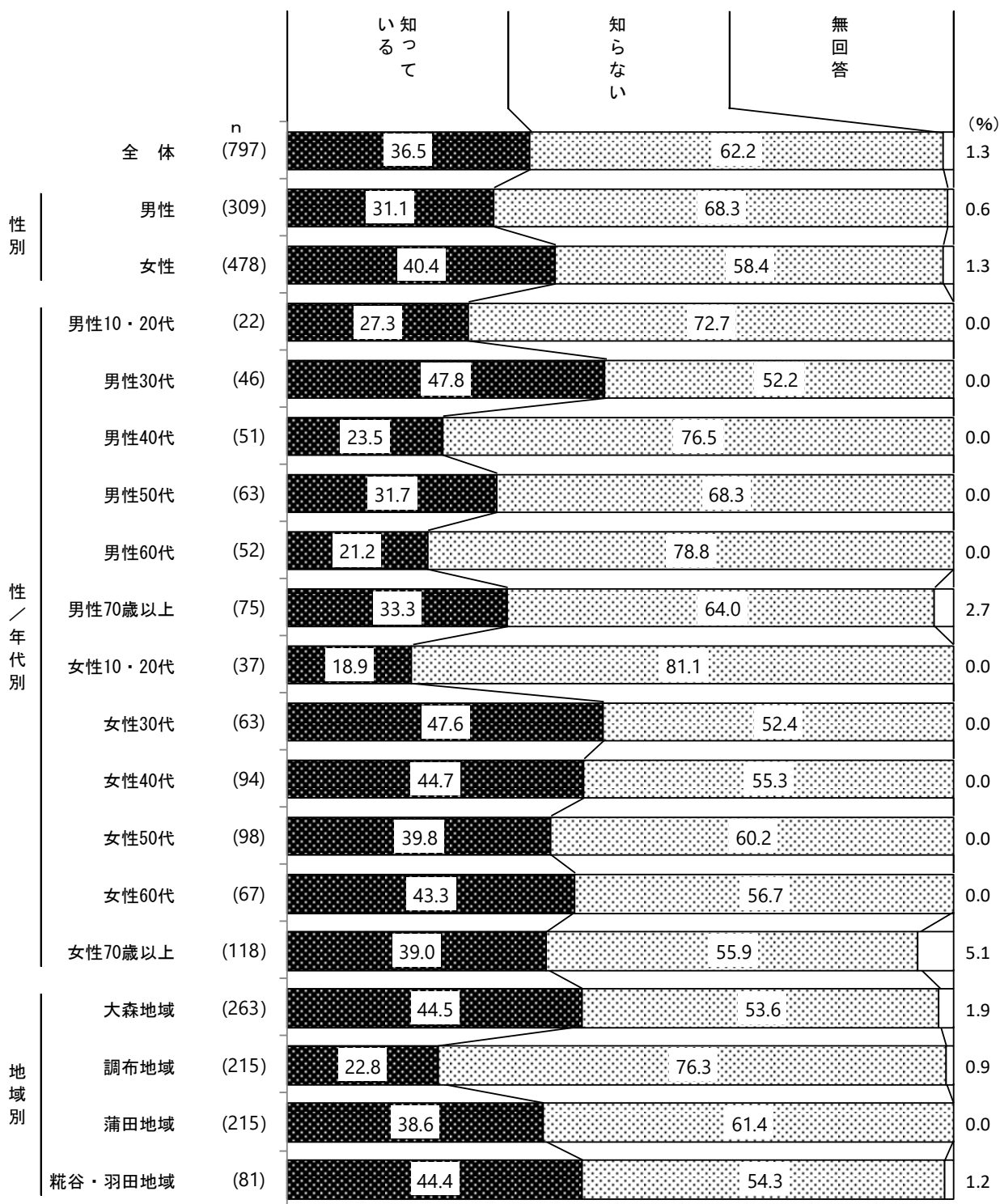
問11 あなたは大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることを知っていますか。
(○は1つ)

図表4-1 大田区内でのコミュニティサイクル運営の認知度



大田区内でのコミュニティサイクル運営されていることを知っているか聞いたところ、「知っている」が36.5%、「知らない」が62.2%となっている。(図表4-1)

図表4-2 大田区内でのコミュニティサイクル運営の認知度（性別・性/年代別・地域別）



大田区内でのコミュニティサイクル運営の認知度について、性別で見ると「知っている」は男性（31.1%）、女性（40.4%）と、女性が男性を9.3ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「知っている」は男性では30代が47.8%、女性では30代が47.6%でそれぞれ最も高く、40代～70歳以上の全ての年代で女性が男性を上回っている。

地域別で見ると、「知っている」は大森地域、糞谷・羽田地域で4割台となっている。（図表4-2）

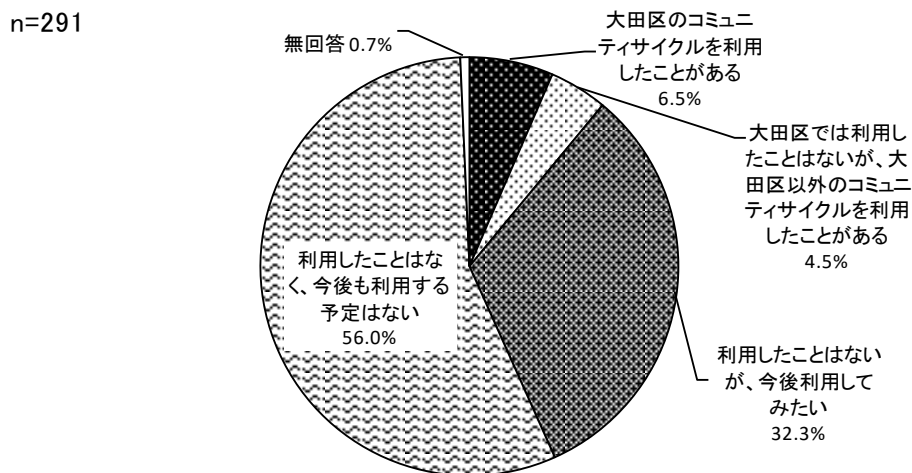
(2) コミュニティサイクルの利用の有無

◎ 「利用したことはなく、今後も利用する予定はない」が5割半ばで最も高くなっている

【問11で「1. 知っている」と回答された方】

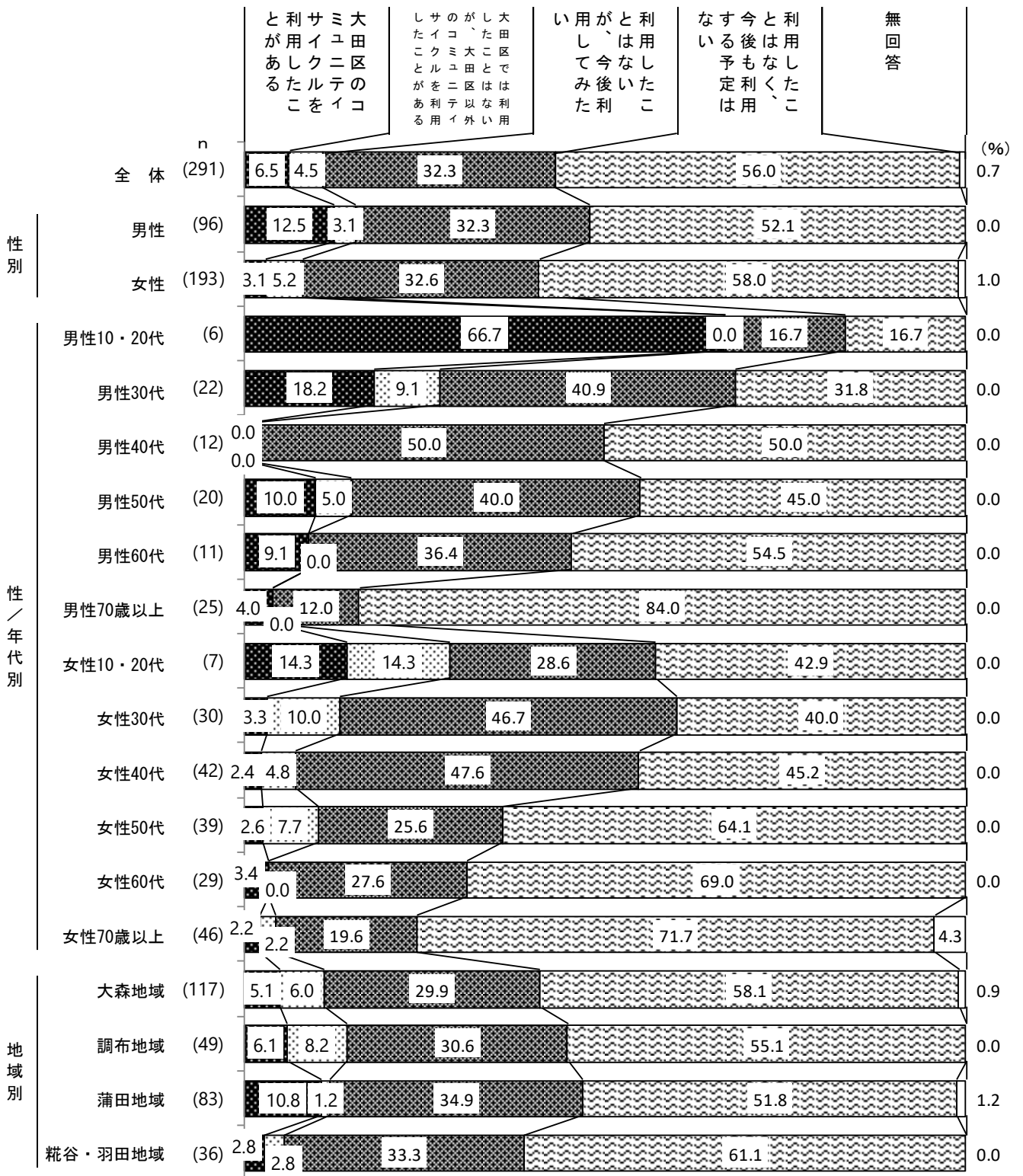
問11-1 あなたはコミュニティサイクルを利用したことがありますか。(○は1つ)

図表4-3 コミュニティサイクルの利用の有無



大田区内でコミュニティサイクルが運営されていることを知っている人に、利用したことがあるか聞いたところ、「大田区のコミュニティサイクルを利用したことがある」が6.5%、「大田区では利用したことはないが、大田区以外のコミュニティサイクルを利用したことがある」が4.5%、「利用したことはないが、今後利用してみたい」が32.3%、「利用したことはなく、今後も利用する予定はない」が56.0%となっている。(図表4-3)

図表 4-4 コミュニティサイクルの利用の有無（性別・性／年代別・地域別）



コミュニティサイクルの利用の有無について、性別で見ると「大田区のコミュニティサイクルを利用したことがある」は男性（12.5%）、女性（3.1%）と、男性が女性を9.4ポイント上回っている。（図表4-4）

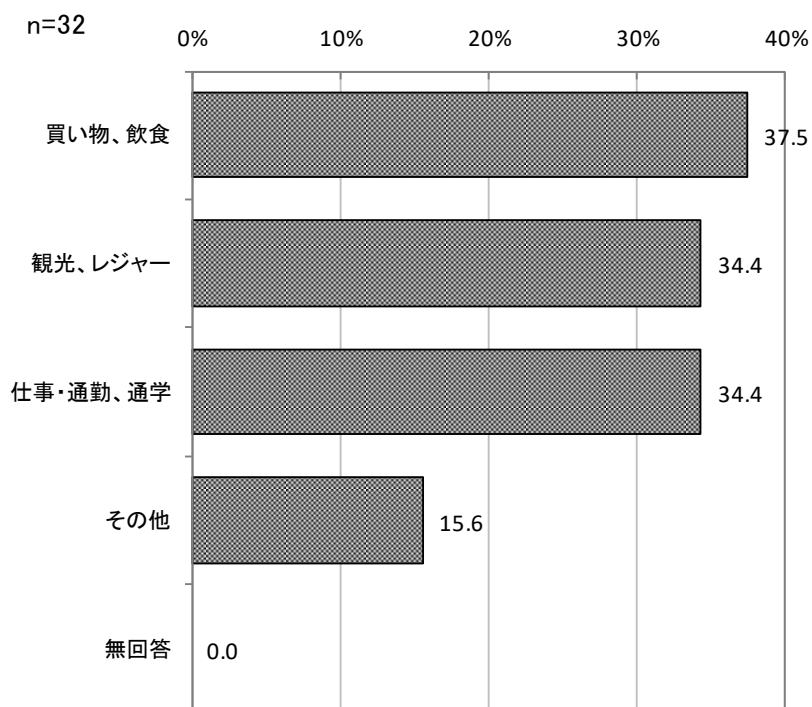
(3) コミュニティサイクルの利用目的

◎ 「買い物、飲食」が3割後半で最も高くなっている

【問11-1で「1」または「2」と回答された方】

問11-1-1 コミュニティサイクルの利用目的は何ですか。(〇はいくつでも)

図表4-5 コミュニティサイクルの利用目的



コミュニティサイクルを利用したことがある人に利用目的を聞いたところ、「買い物、飲食」が37.5%で最も高く、次いで、「観光、レジャー」(34.4%)、「仕事・通勤、通学」(34.4%) などとなっている。(図表4-5)

(4) コミュニティサイクルを利用しない理由

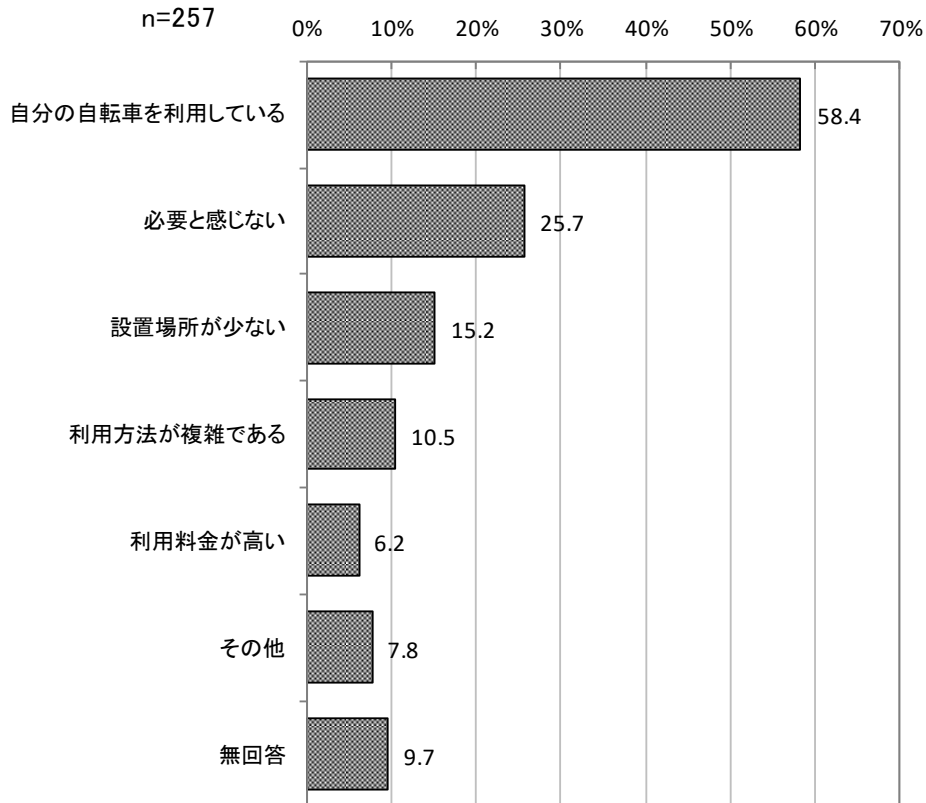
◎ 「自分の自転車を利用している」が5割後半で最も高くなっている

【問 11-1 で「3」または「4」と回答された方】

問 11-1-2 コミュニティサイクルを利用しない（利用したことがない）理由を教えてください。
（〇はいくつでも）

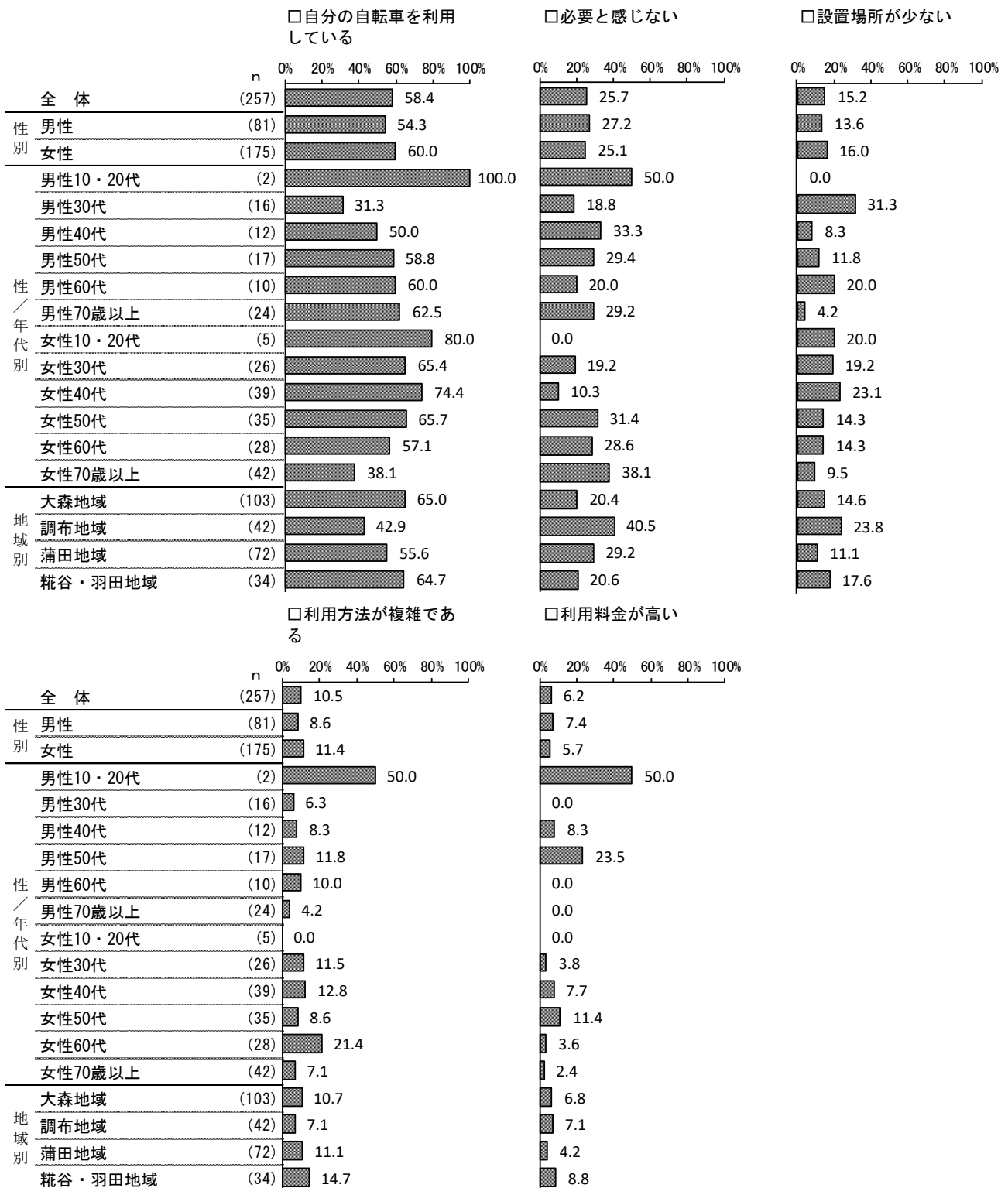
図表 4-6 コミュニティサイクルを利用しない理由

n=257



コミュニティサイクルを利用したことがない人にその理由を聞いたところ、「自分の自転車を利用している」が58.4%で最も高く、次いで、「必要と感しない」(25.7%)、「設置場所が少ない」(15.2%)などとなっている。(図表4-6)

図表4-7 コミュニティサイクルを利用しない理由（性別・性/年代別・地域別 上位5項目）



コミュニティサイクルを利用しない理由について、上位5項目を性別で見ると大きな差異は見られない。

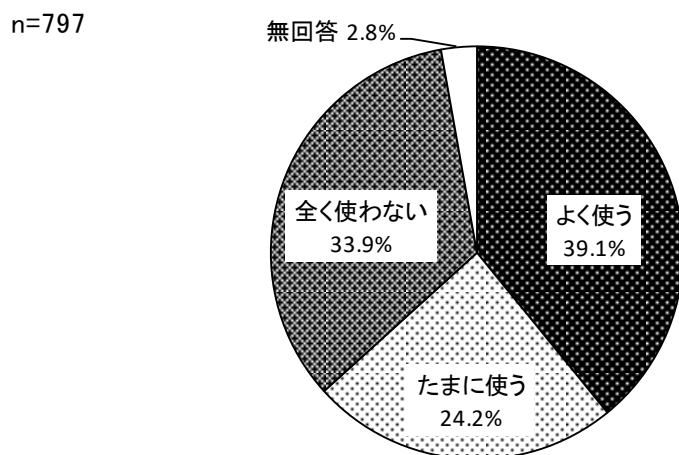
地域別で見ると、「自分の自転車を利用している」では大森地域、糀谷・羽田地域で6割台となっている。「必要と感じない」では調布地域が40.5%となっている。（図表4-7）

(5) 自転車の利用について

◎ 「よく使う」は約4割となっている

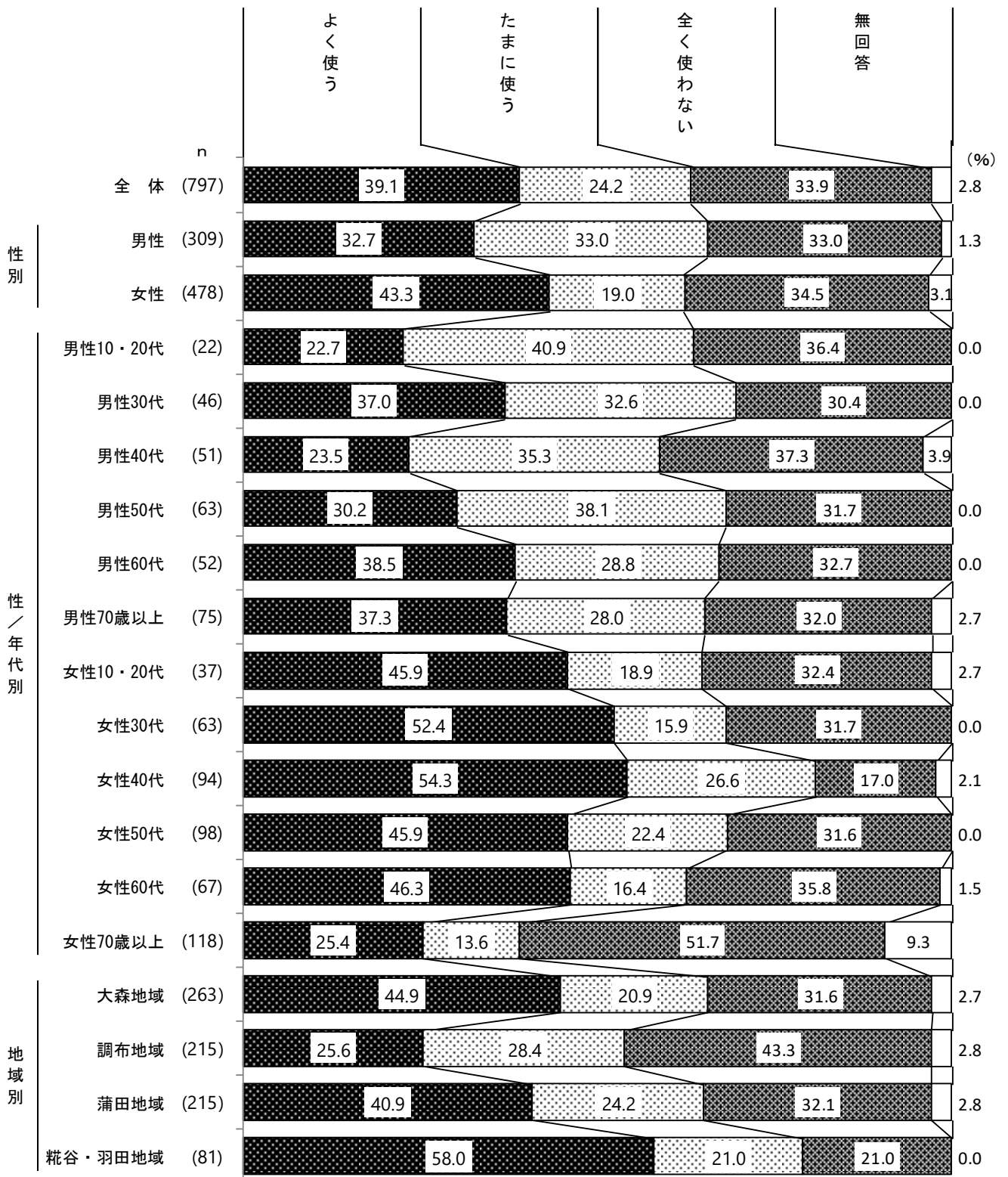
問12 あなたは、普段から自転車を使いますか。(○は1つ)

図表4-8 自転車の利用について



自転車の利用について聞いたところ、「よく使う」が39.1%、「たまに使う」が24.2%、「全く使わない」が33.9%となっている。(図表4-8)

図表4-9 自転車の利用について（性別・性/年代別・地域別）



自転車の利用について、性別で見ると「よく使う」は男性（32.7%）、女性（43.3%）と、女性が男性を10.6ポイント上回っている。「たまに使う」は男性（33.0%）、女性（19.0%）と、男性が女性を14.0ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「よく使う」では女性30代、40代が5割台と高く、70歳以上を除く全ての年代で女性が男性を上回っている。

地域別で見ると、「よく使う」は糀谷・羽田地域が58.0%となっている。（図表4－9）

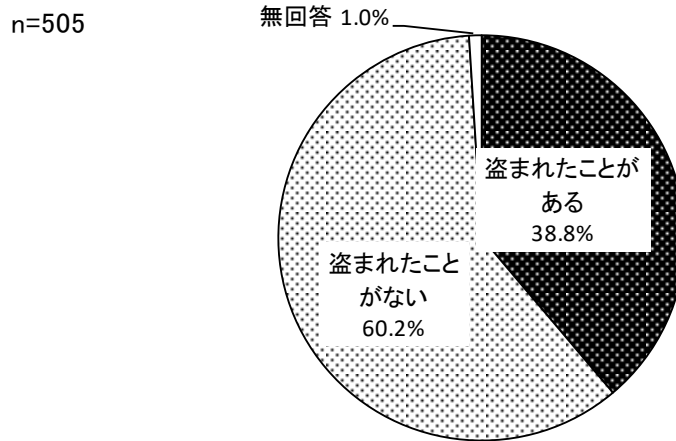
(6) 自転車を盗まれた経験

◎ 「盗まれたことがある」は3割後半

【問12で「1」または「2」と回答された方】

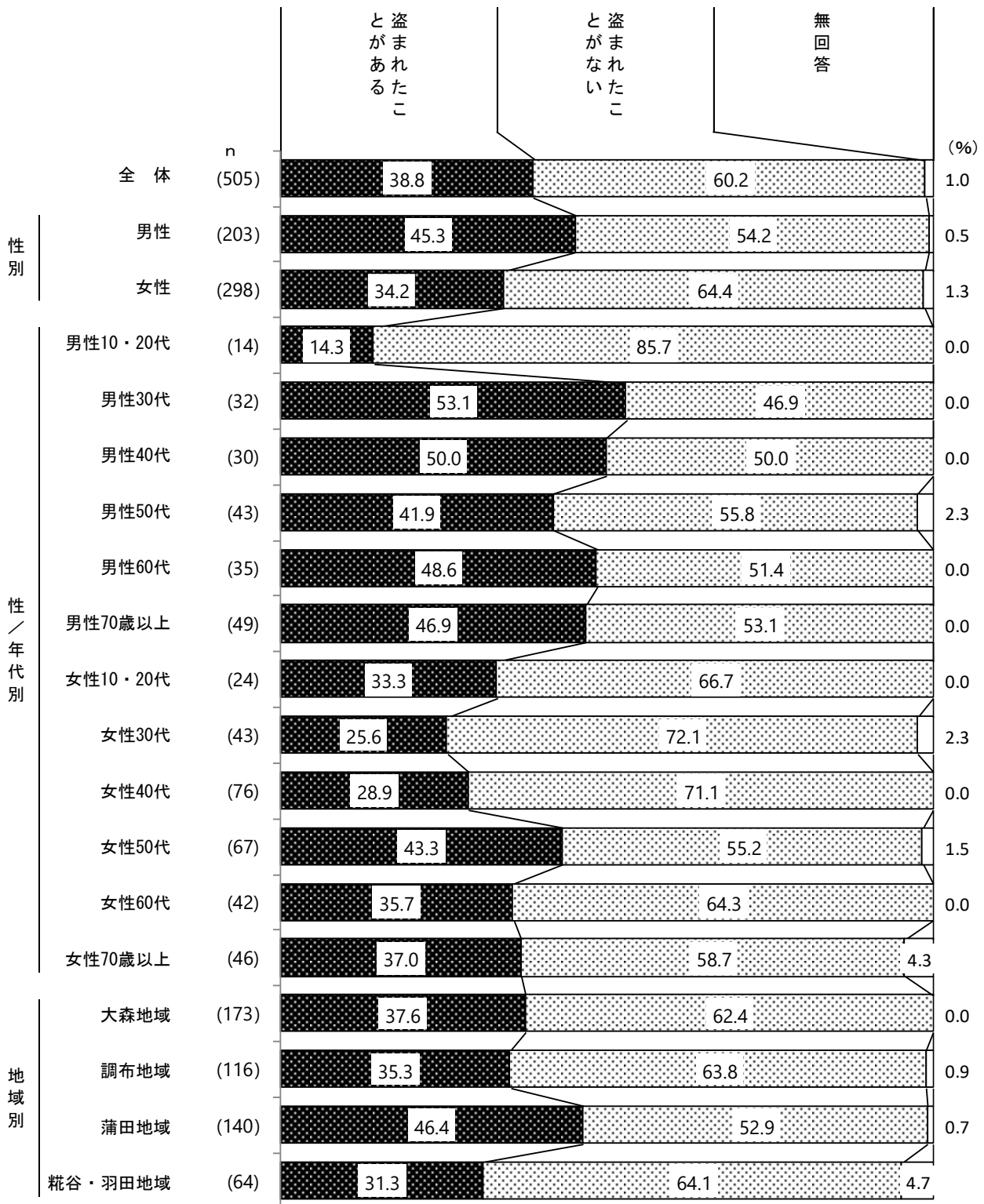
問13 あなたは、過去に自転車を盗まれたことがありますか。(○は1つ)

図表4-10 自転車を盗まれた経験



自転車を使う人に自転車を盗まれた経験を聞いたところ、「盗まれたことがある」が38.8%、「盗まれたことがない」が60.2%となっている。(図表4-10)

図表4-11 自転車に盗まれた経験（性別・性／年代別・地域別）



自転車に盗まれた経験について、性別で見ると「盗まれたことがある」は男性(45.3%)、女性(34.2%)と、男性が女性を11.1ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「盗まれたことがある」は男性30代、40代が5割台と他の年代より高くなっている。(図表4-11)

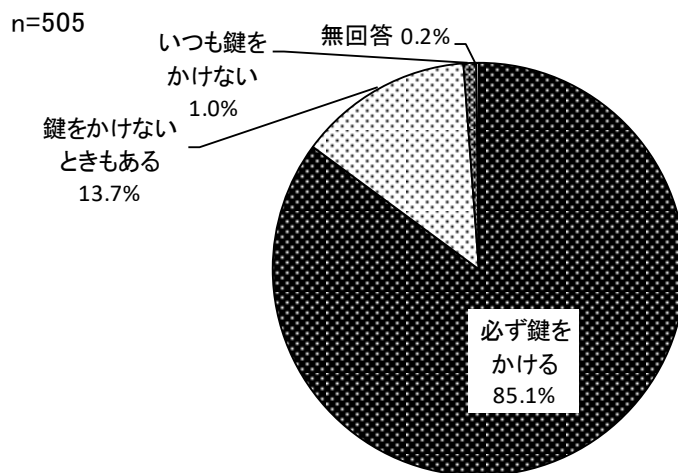
(7) 自転車の鍵をかけるかについて

◎ 「必ず鍵をかける」が8割半ばとなっている

【問12で「1」または「2」と回答された方】

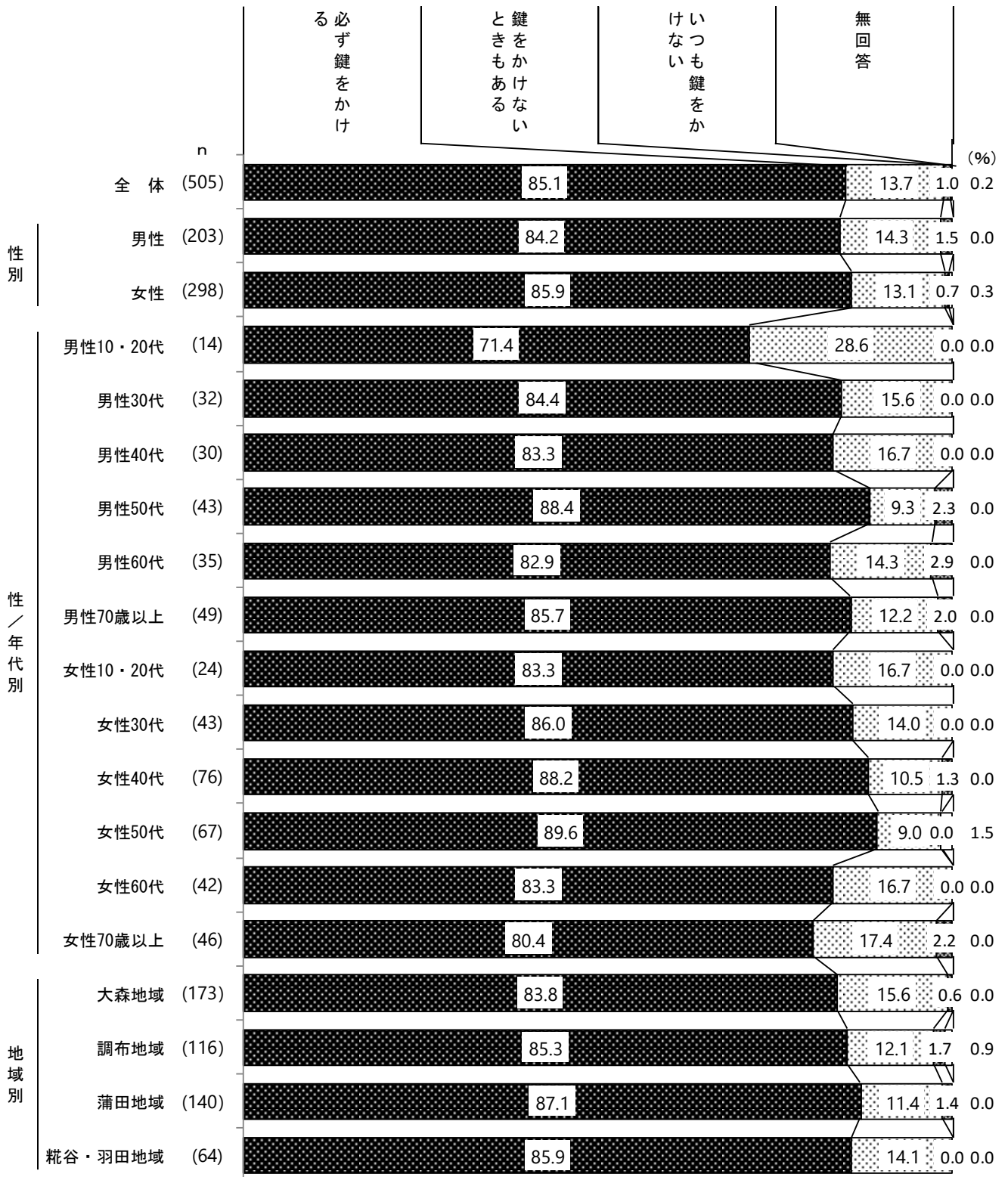
問14 あなたは、普段自転車から降りた後、鍵をかけますか。(○は1つ)

図表4-12 自転車の鍵をかけるかについて



自転車を使う人に自転車の鍵をかけるかについて聞いたところ、「必ず鍵をかける」が85.1%、「鍵をかけないときもある」が13.7%、「いつも鍵をかけない」が1.0%となっている。(図表4-12)

図表4-13 自転車の鍵をかけるかについて（性別・性/年代別・地域別）



自転車の鍵をかけるかについて、性別で見ると「必ず鍵をかける」が男女ともに8割半ばと大きな差異は見られない。

地域別で見ると、全ての地域で「必ず鍵をかける」が8割台となっている。(図表4-13)

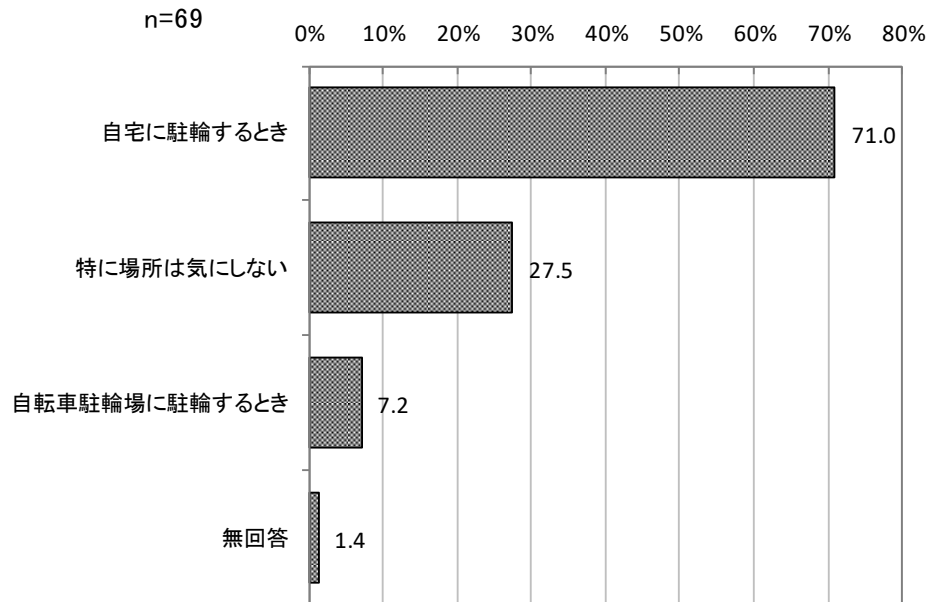
(8) 自転車に鍵をかけない時は、どのような時か

◎ 「自宅に駐輪するとき」が約7割と最も高くなっている

【問 14 で「2. 鍵をかけないときもある」と回答された方】

問 14-1 あなたが自転車に鍵をかけないのは、どのような場所ですか。(〇はいくつでも)

図表 4-14 自転車に鍵をかけない時は、どのような時か



自転車に鍵をかけないときもある人に鍵をかけない時は、どのような時か聞いたところ、「自宅に駐輪するとき」が71.0%で最も高く、次いで、「特に場所は気にしない」が27.5%、「自転車駐輪場に駐輪するとき」が7.2%となっている。(図表4-14)

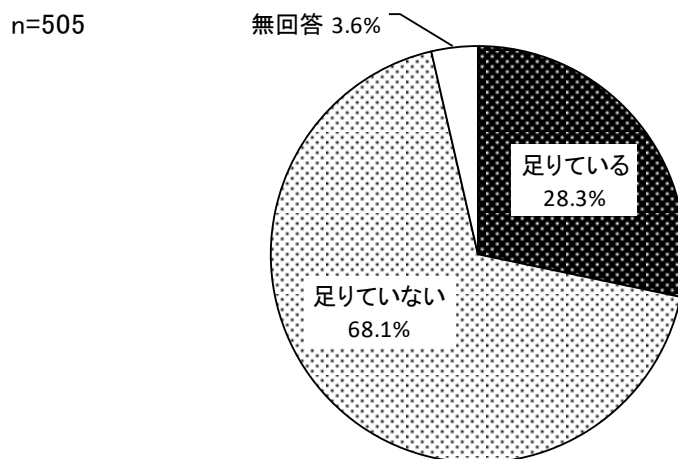
(9) 駅周辺の駐輪場の数について

◎ 「足りていない」が6割後半となっている

【問12で「1」または「2」と回答された方】

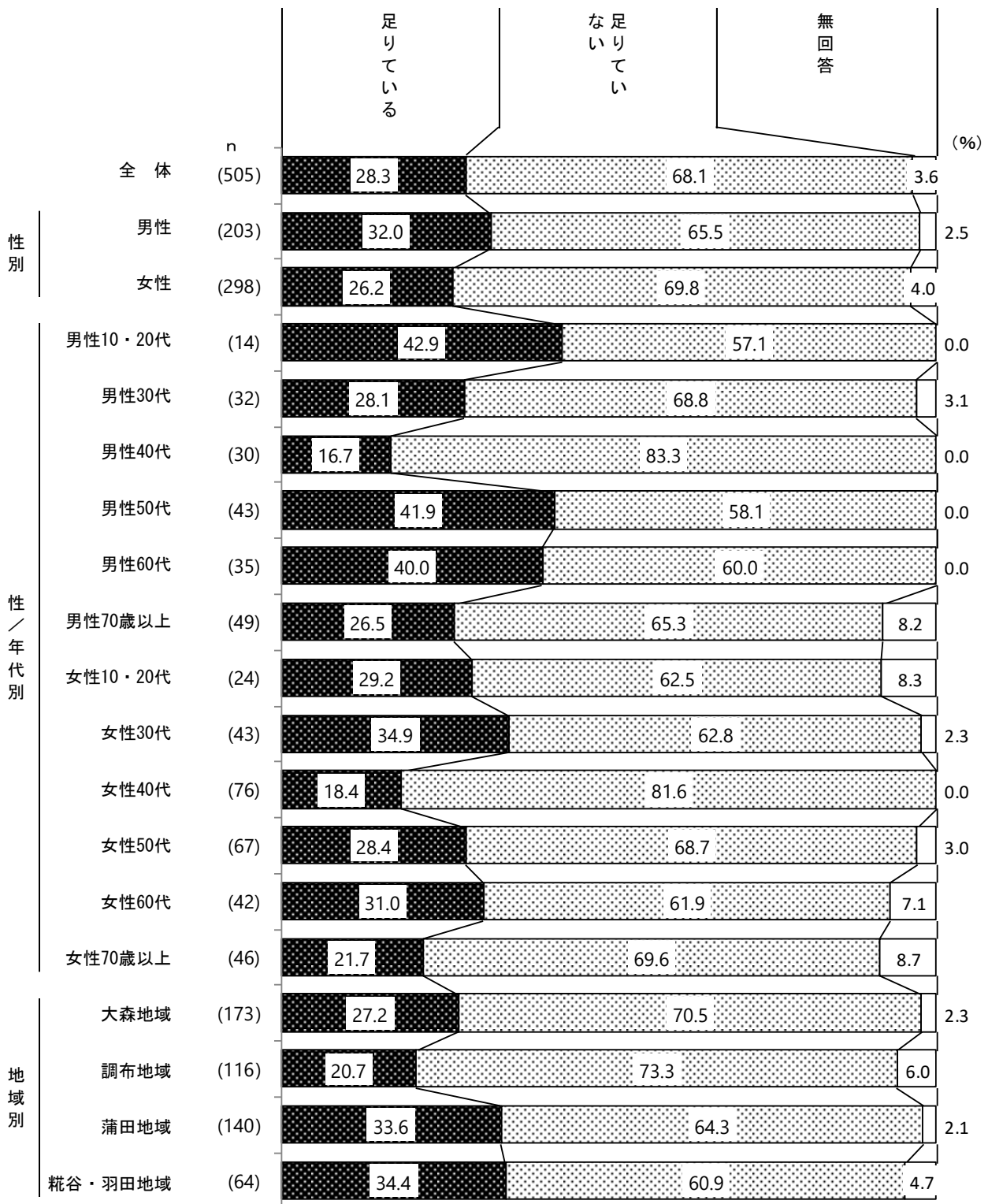
問15 駅周辺の自転車駐輪場の数は、足りていると感じますか。(〇は1つ)

図表4-15 駅周辺の駐輪場の数について



自転車を使う人に駅周辺の駐輪場の数について聞いたところ、「足りている」が28.3%、「足りていない」が68.1%となっている。(図表4-15)

図表4-16 駅周辺の駐輪場の数について（性別・性/年代別・地域別）



駅周辺の駐輪場の数について、地域別でみると「足りている」は大森地域、調布地域で2割台、蒲田地域、糀谷・羽田地域で3割台となっている。(図表4-16)

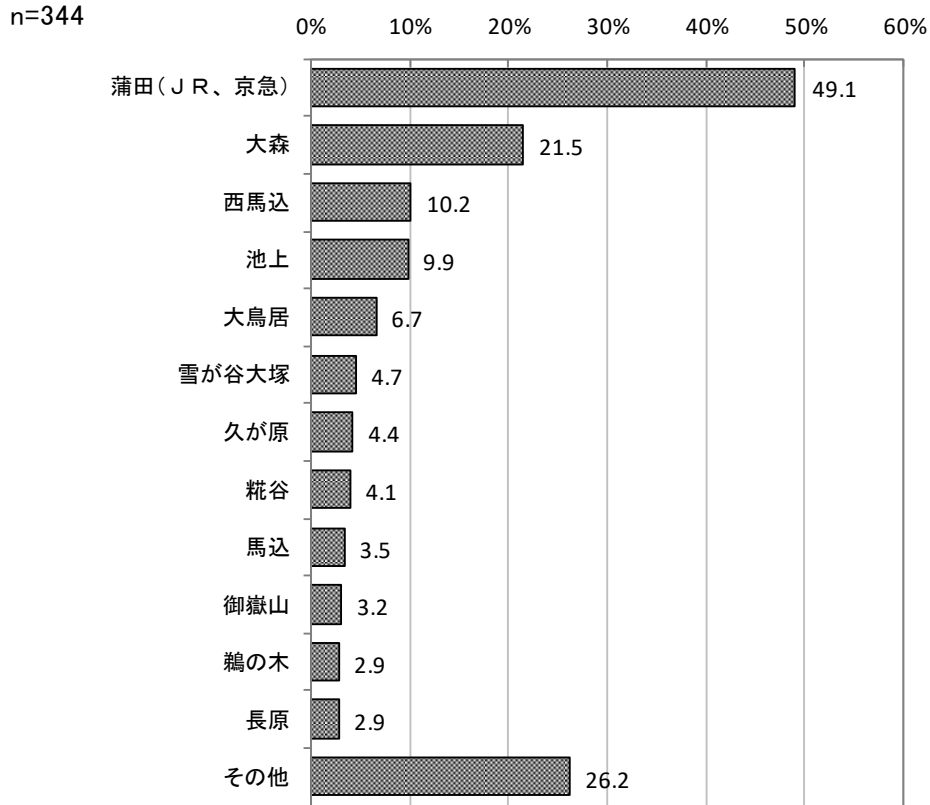
(10) 駐輪場が不足していると感じる駅

◎ 「蒲田」が約5割で最も高くなっている

【問 15 で「2. 足りていない」と回答された方】

問 15-1 何駅周辺で不足していると感じますか。(最大3つまでご記入ください)

図表 4-17 駐輪場が不足していると感じる駅



駐輪場が足りていないと回答した人に不足していると感じる駅を最大3つまで聞いたところ、「蒲田(JR、京急)」が49.1%で最も高く、次いで、「大森」(21.5%)、「西馬込」(10.2%)となっている。(図表4-17)

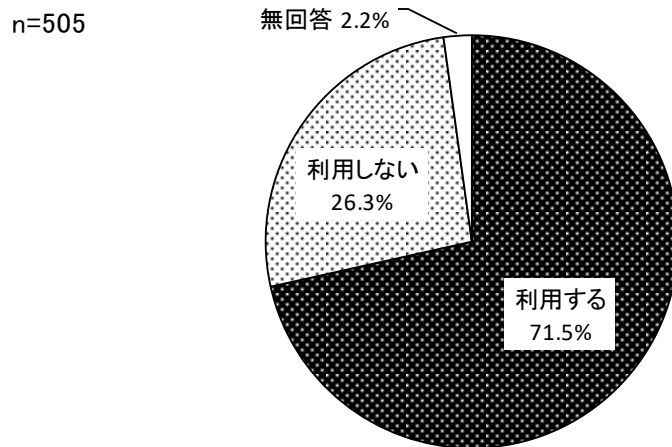
(11) 駐輪場の利用について

◎ 「利用する」が約7割となっている

【問12で「1」または「2」と回答された方】

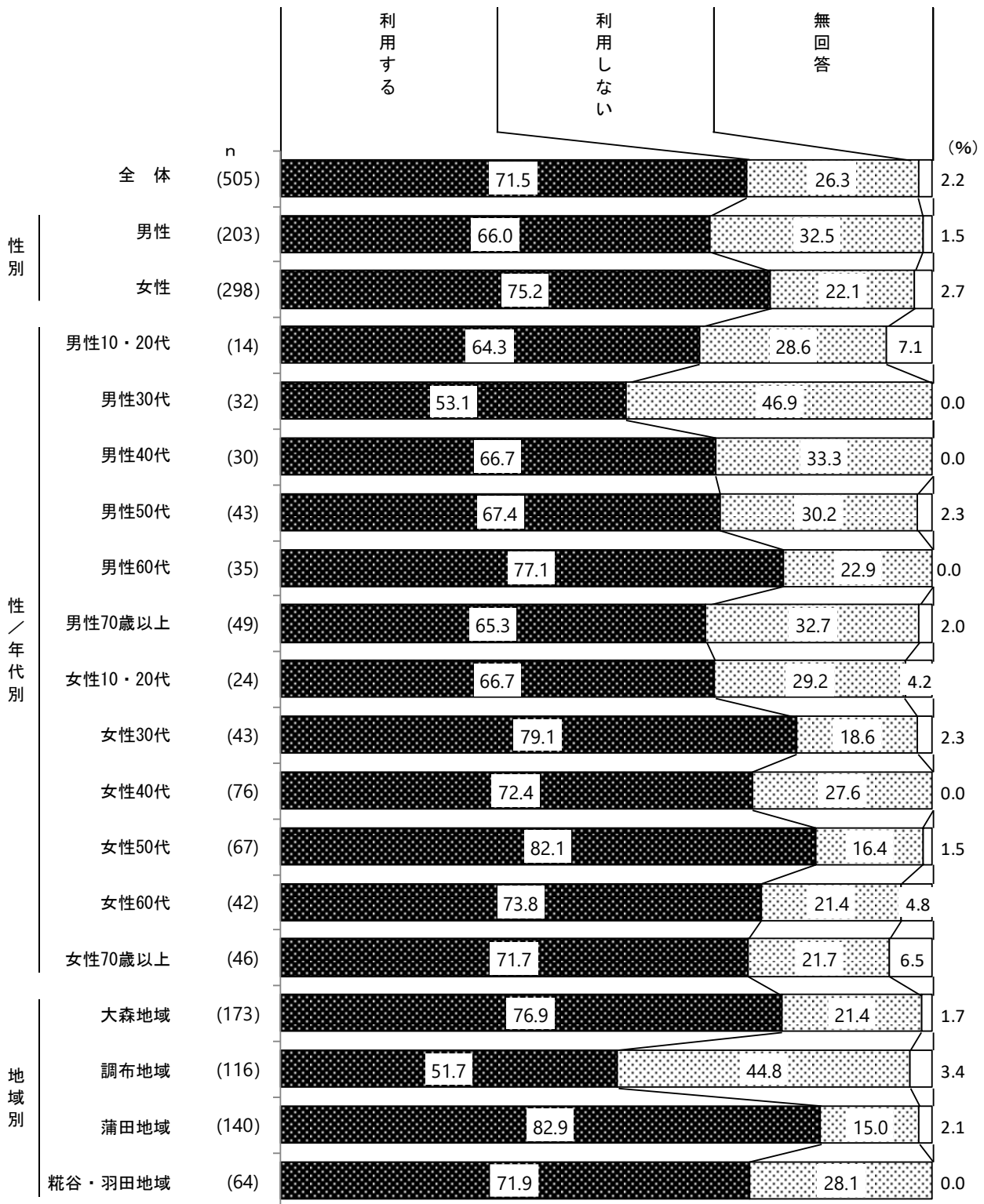
問16 買い物や飲食のために駅まで使った自転車は、駐輪場を利用していますか。(○は1つ)

図表4-18 駐輪場の利用について



自転車を使う人に駐輪場の利用について聞いたところ、「利用する」が71.5%、「利用しない」が26.3%となっている。(図表4-18)

図表 4-19 駐輪場の利用について（性別・性／年代別・地域別）



駐輪場の利用について、性別で見ると「利用する」は男性（66.0%）、女性（75.2%）と、女性が男性を9.2ポイント上回っている。

地域別で見ると、「利用する」は蒲田地域が82.9%となっている。（図表4-19）

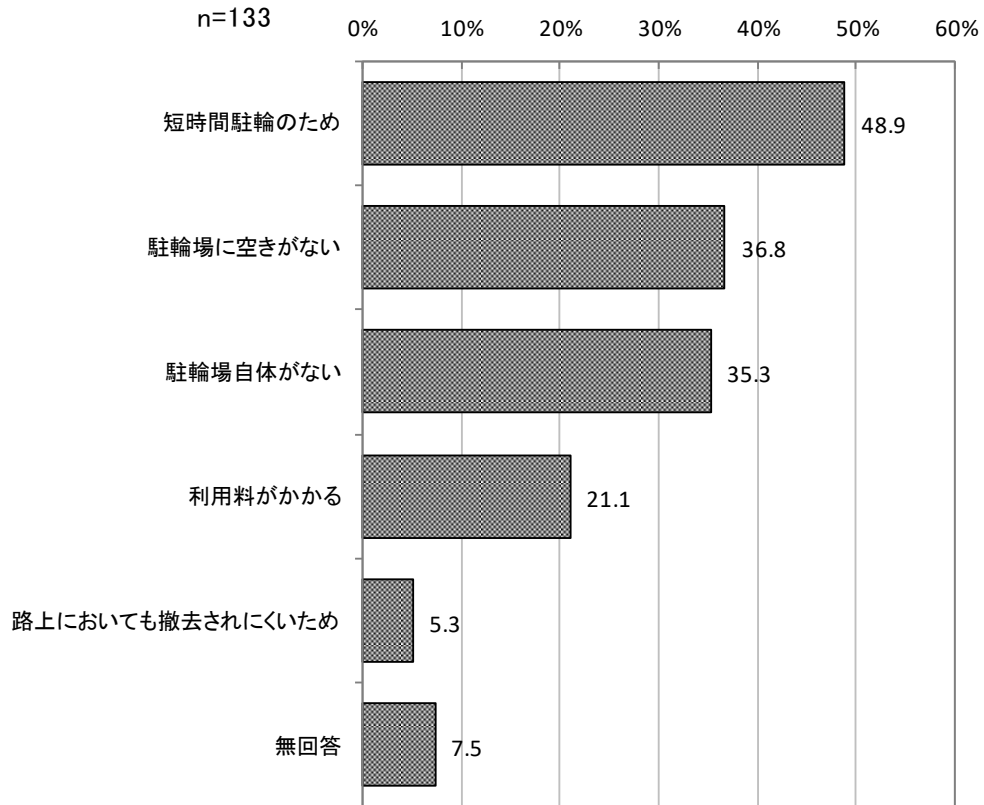
(12) 駐輪場を利用しない理由

◎ 「短時間駐輪のため」が4割後半で最も高くなっている

【問 16 で「2. 利用しない」と回答された方】

問 16-1 あなたが利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表 4-20 駐輪場を利用しない理由



駐輪場を利用しない人にその理由を聞いたところ、「短時間駐輪のため」が 48.9%で最も高く、次いで、「駐輪場に空きがない」(36.8%)、「駐輪場自体がない」(35.3%) などとなっている。(図表 4-20)

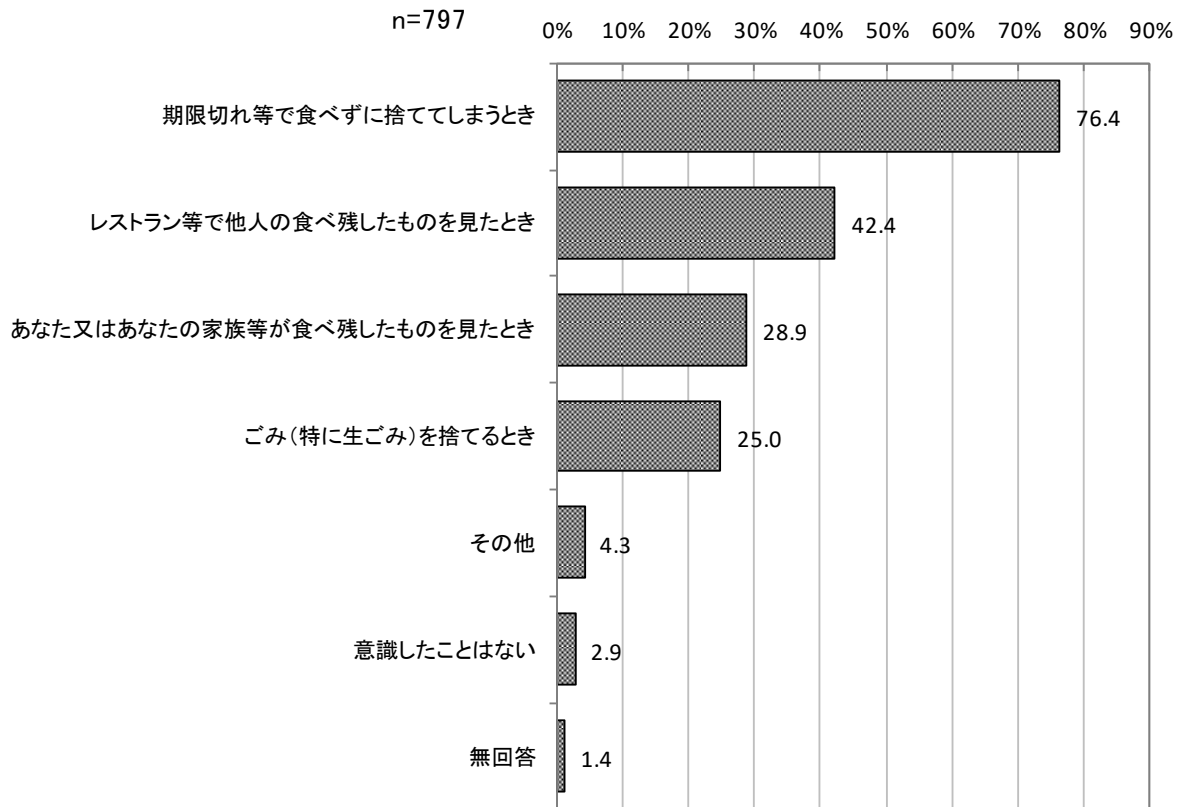
5 食品ロス・フードドライブについて

(1) 食生活の中で「もったいない」と意識したとき

◎ 「期限切れ等で食べずに捨ててしまうとき」が7割半ばで最も高くなっている

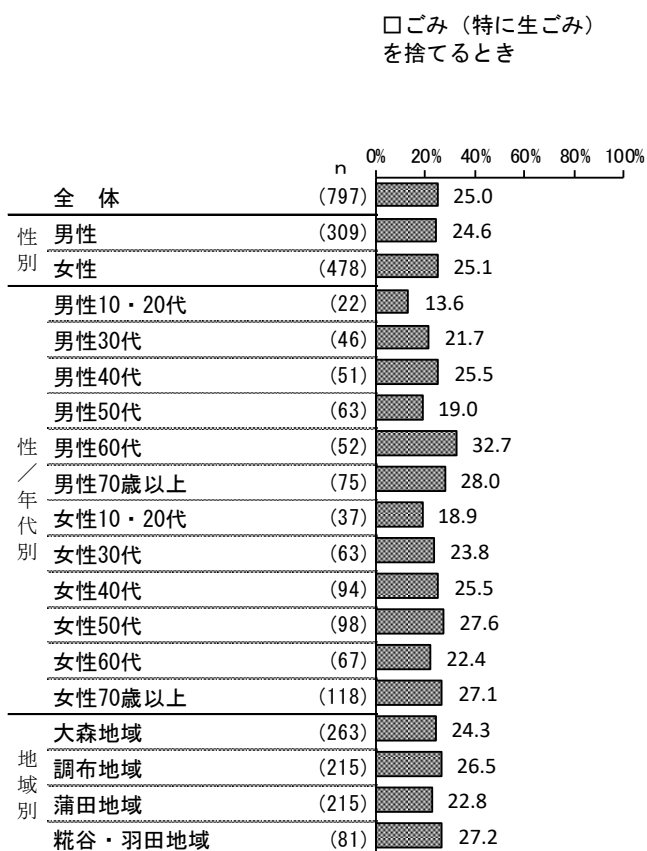
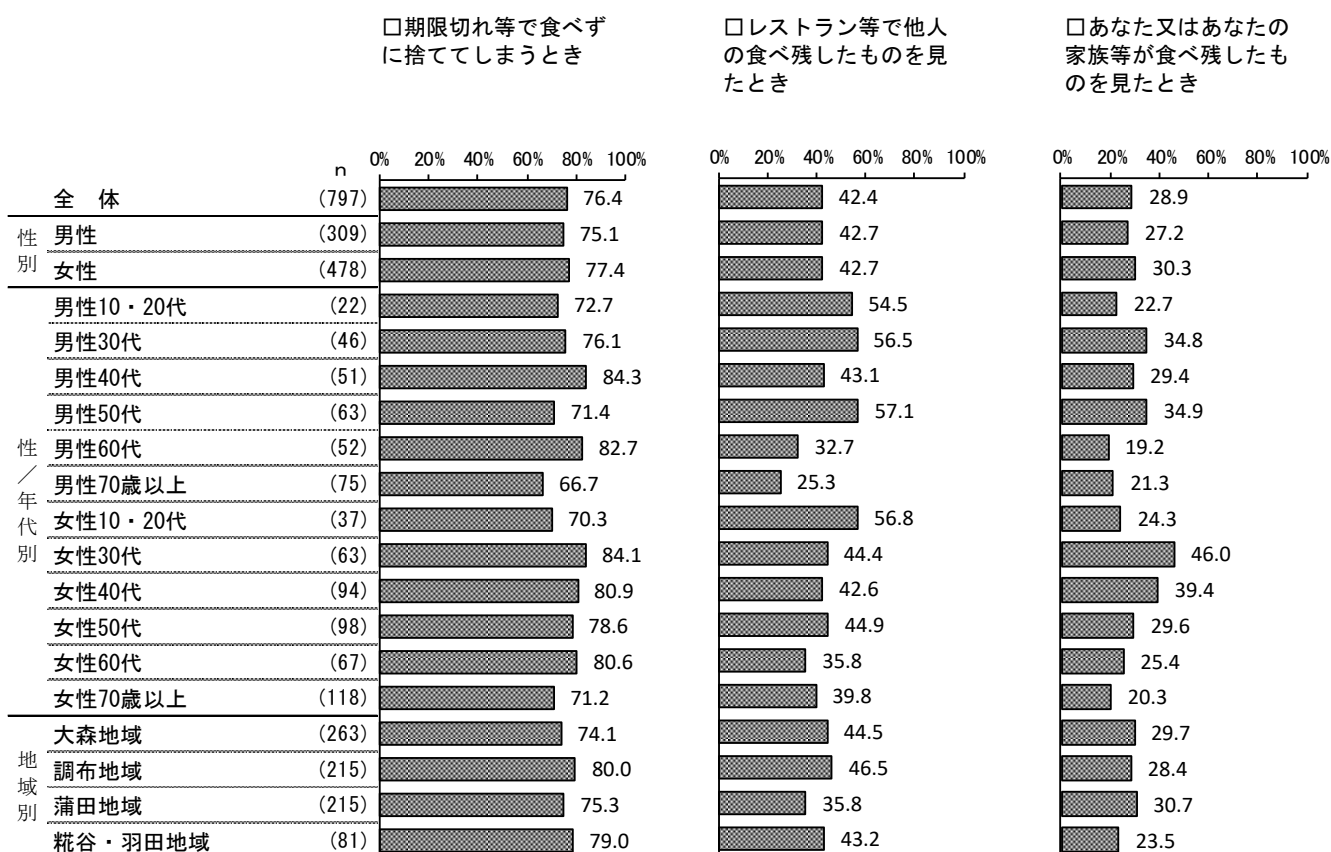
問17 あなたは、食生活の中で「もったいない」と意識したことがあるのはどんなときですか。
(〇はいくつでも)

図表5-1 食生活の中で「もったいない」と意識したとき



食生活の中で「もったいない」と意識したときを聞いたところ、「期限切れ等で食べずに捨ててしまうとき」が76.4%で最も高く、次いで、「レストラン等で他の人の食べ残したのを見たとき」(42.4%)、「あなた又はあなたの家族等が食べ残したのを見たとき」(28.9%)などとなっている。(図表5-1)

図表5-2 食生活の中で「もったいない」と意識したとき（性別・性／年代別・地域別 上位4項目）



食生活の中で「もったいない」と意識したときについて、上位4項目を性別で見ると「期限切れ等で食べずに捨ててしまうとき」では男女ともに7割台で大きな差異は見られない。

性/年代別で見ると、「期限切れ等で食べずに捨ててしまうとき」では男性40代、女性30代が8割半ばとなっている。「レストラン等で他人の食べ残したのを見たとき」は男性30代、50代、女性10・20代が5割後半となっている。「あなた又はあなたの家族等が食べ残したのを見たとき」は女性30代が46.0%で他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、大きな差異は見られない。(図表5-2)

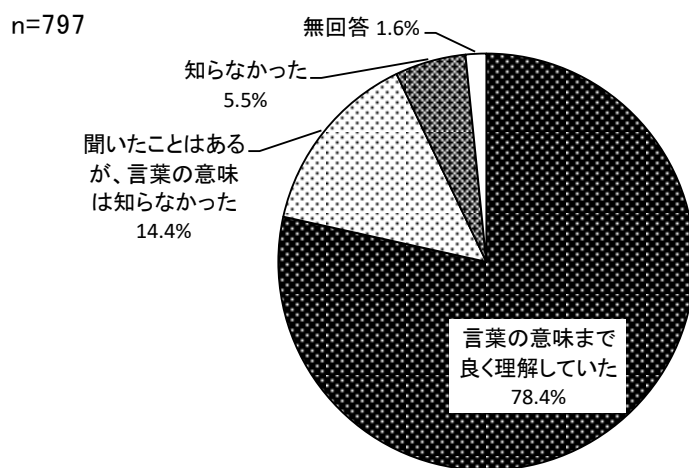
(2) 「食品ロス」の認知度

◎ 「言葉の意味まで良く理解していた」が7割後半となっている

問 18 あなたは、「食品ロス」という言葉をご存知ですか。(〇は1つ)

※食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品

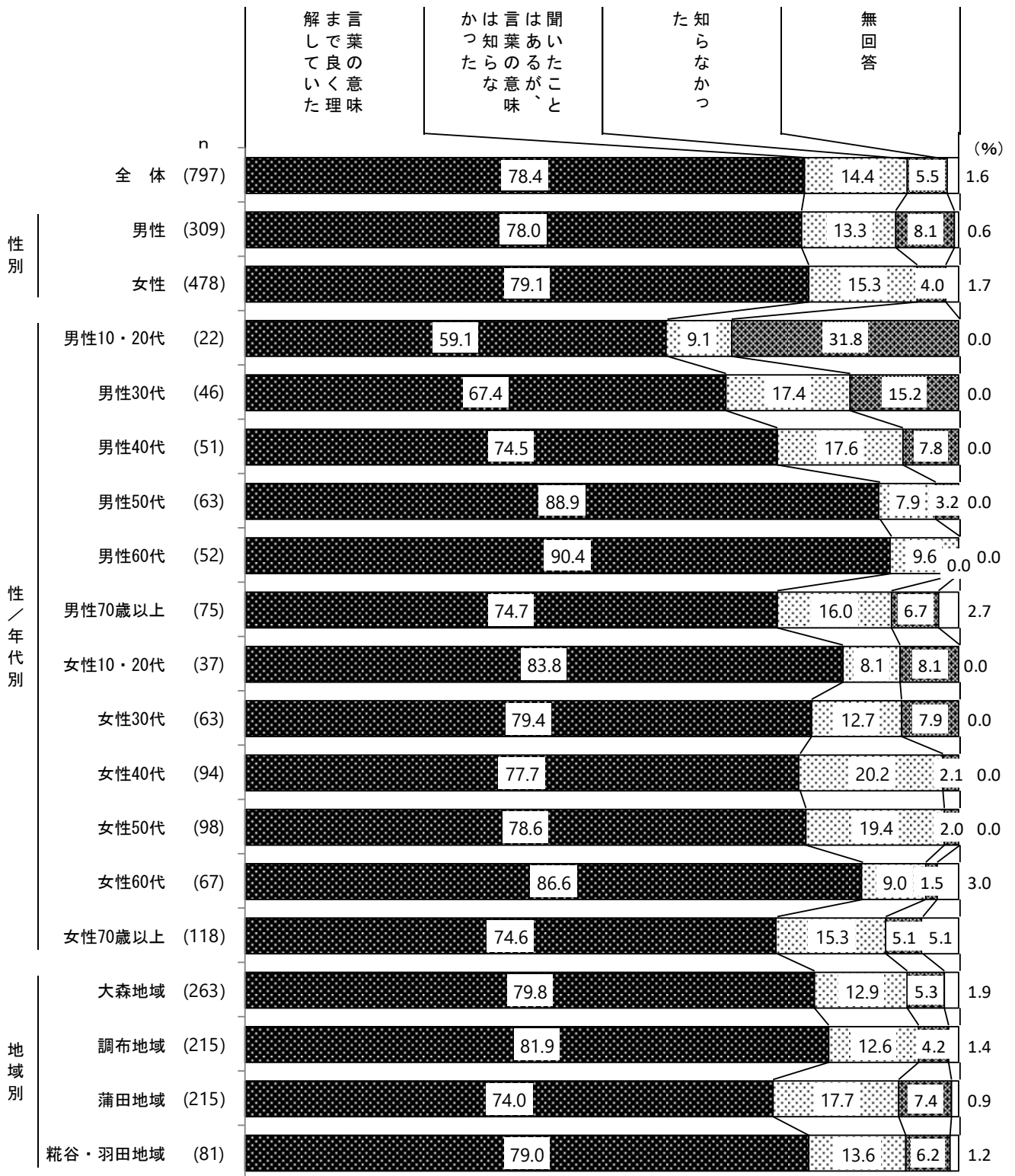
図表 5-3 「食品ロス」の認知度



「食品ロス」について聞いたところ、「言葉の意味まで良く理解していた」が78.4%、「聞いたことはあるが、言葉の意味は知らなかった」が14.4%、「知らなかった」が5.5%となっている。

(図表 5-3)

図表5-4 「食品ロス」の認知度（性別・性/年代別・地域別）



「食品ロス」の認知度について、性別で見ると「言葉の意味まで良く理解していた」は男女ともに7割台と大きな差異は見られない。

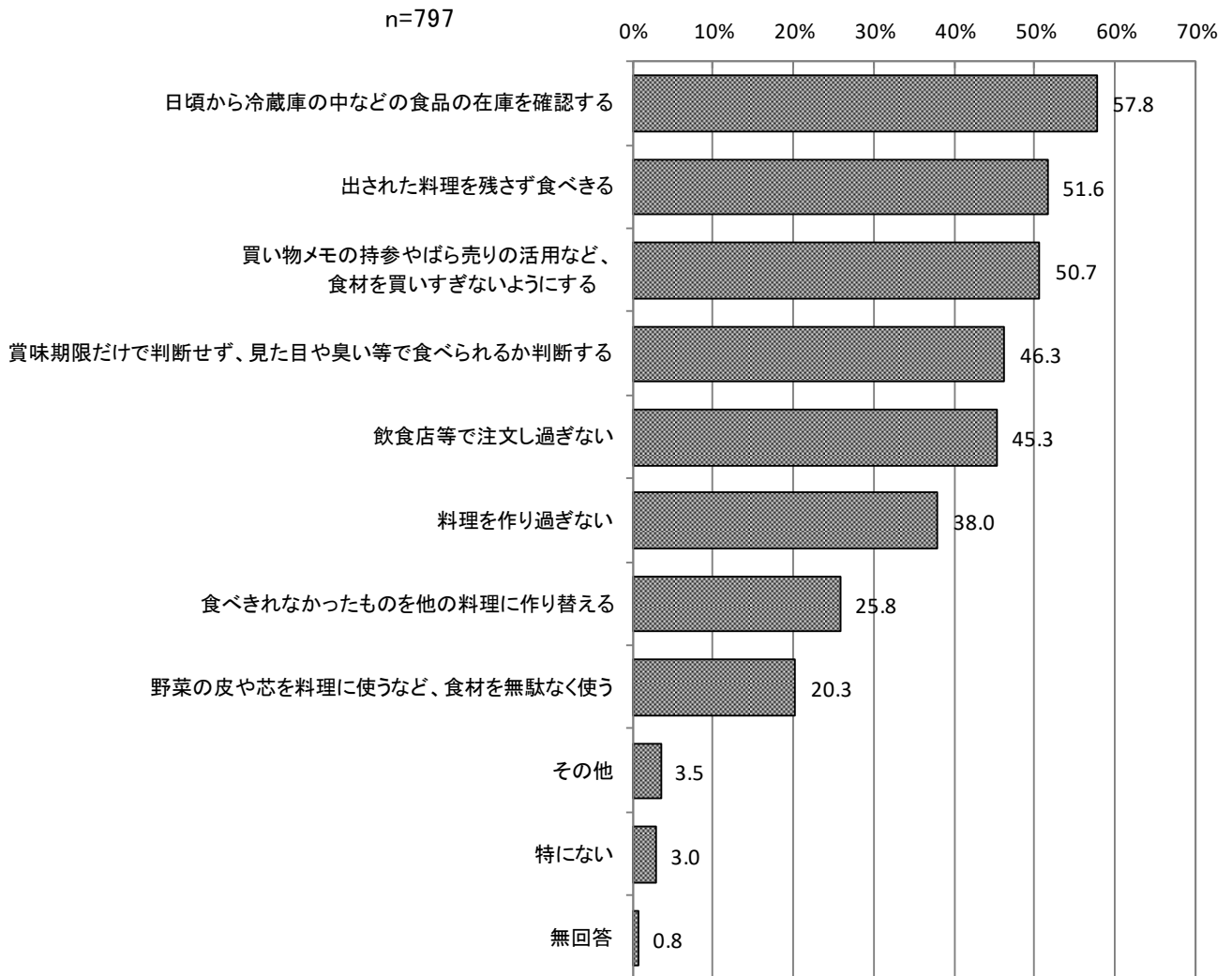
性/年代別で見ると、「言葉の意味まで良く理解していた」は、男性では60代が90.4%、女性では60代が86.6%でそれぞれ最も高くなっている。(図表5-4)

(3) 「食品ロス」を減らすための取り組み

◎ 「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が5割後半で最も高くなっている

問 19 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。
(〇はいくつでも)

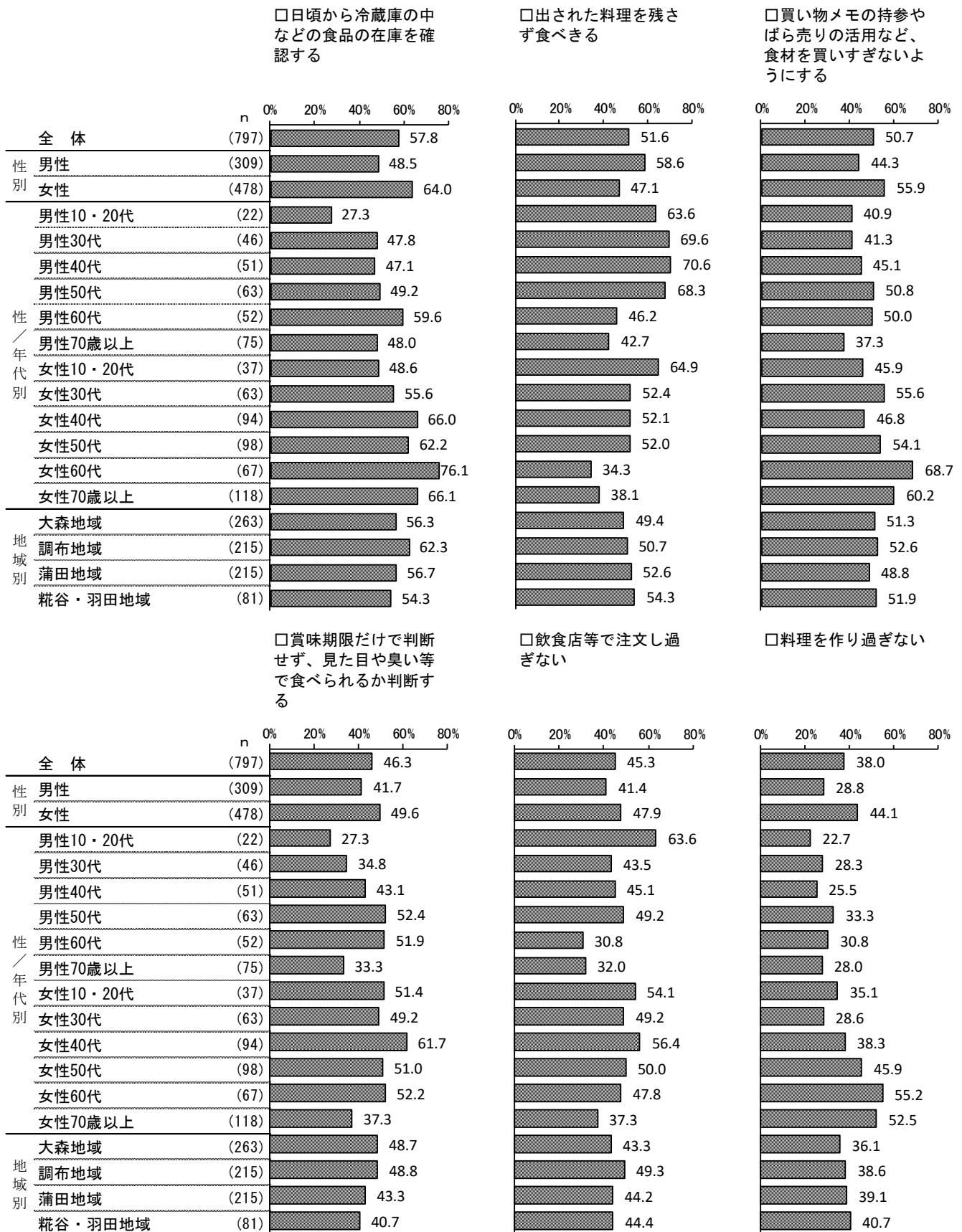
図表5-5 「食品ロス」を減らすための取り組み



食品ロスを減らすために取り組んでいることを聞いたところ、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が57.8%で最も高く、次いで、「出された料理を残さず食べきる」(51.6%)、「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」(50.7%) などとなっている。

(図表5-5)

図表5-6 「食品ロス」を減らすための取り組み（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



「食品ロス」を減らすための取り組みについて、上位6項目を性別で見ると「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」では男性（48.5%）、女性（64.0%）、「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」では男性（44.3%）、女性（55.9%）、「料理を作り過ぎない」では男性（28.8%）、女性（44.1%）と、それぞれ女性が男性を15.5ポイント、11.6ポイント、15.3ポイント上回っている。「出された料理を残さず食べきる」では男性（58.6%）、女性（47.1%）と、男性が女性を11.5ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」では女性60代が76.1%で他の年代より高くなっている。「出された料理を残さず食べきる」では、男女ともに60歳以上が低くなっている。「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」は女性60代が68.7%で他の年代より高くなっている。（図表5-6）

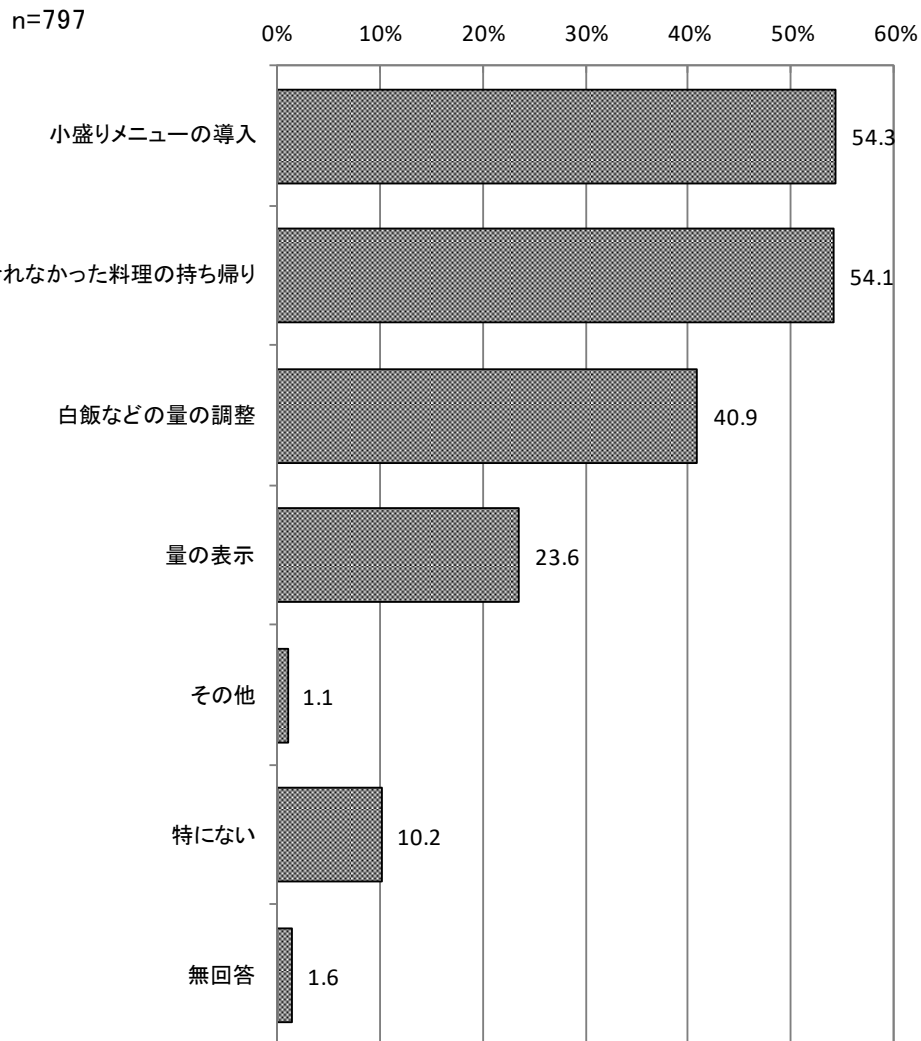
(4) 食べ残しをしないためにお店にして欲しいこと

◎ 「小盛りメニューの導入」、「食べきれなかった料理の持ち帰り」が5割半ば

問 20 外食をするとき、食べ残しをしないためにお店にして欲しいことは何ですか。

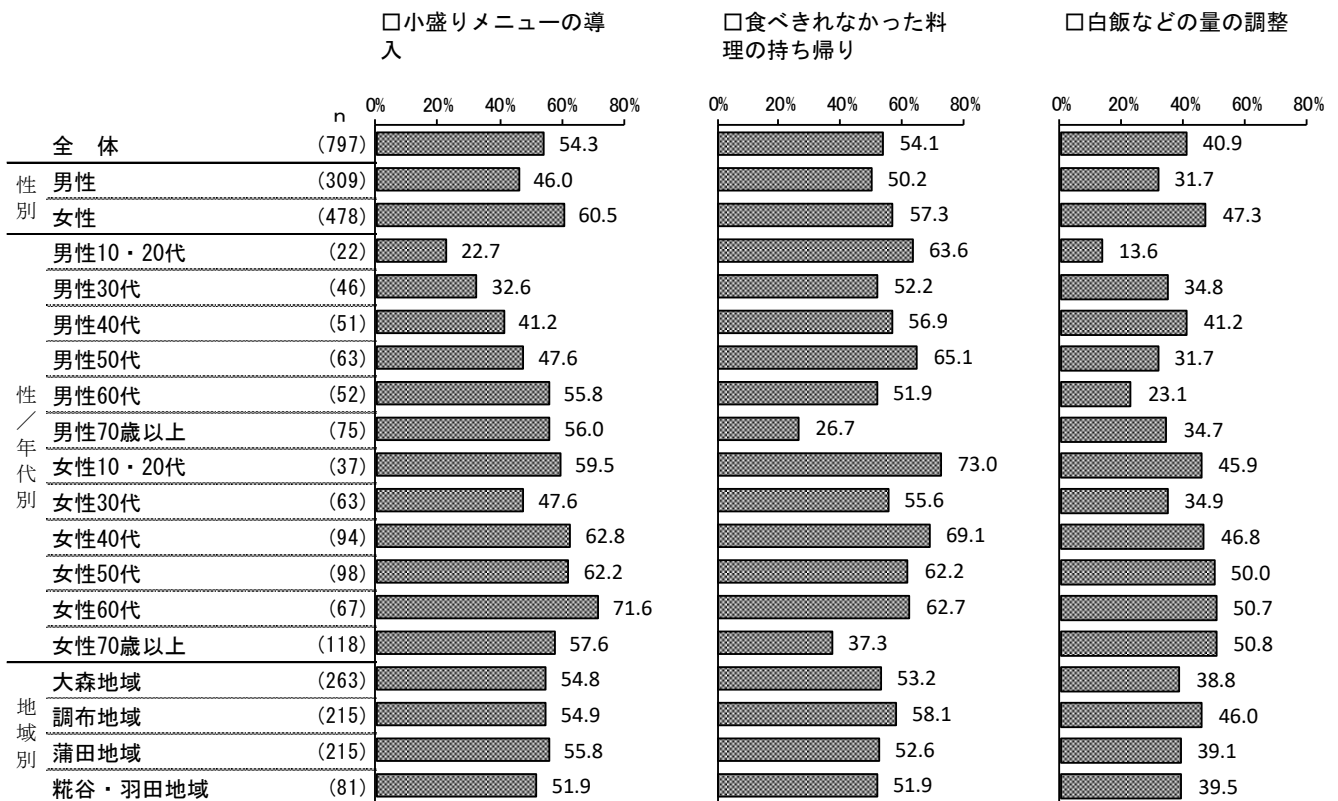
(○はいくつでも)

図表5-7 食べ残しをしないためにお店にして欲しいこと

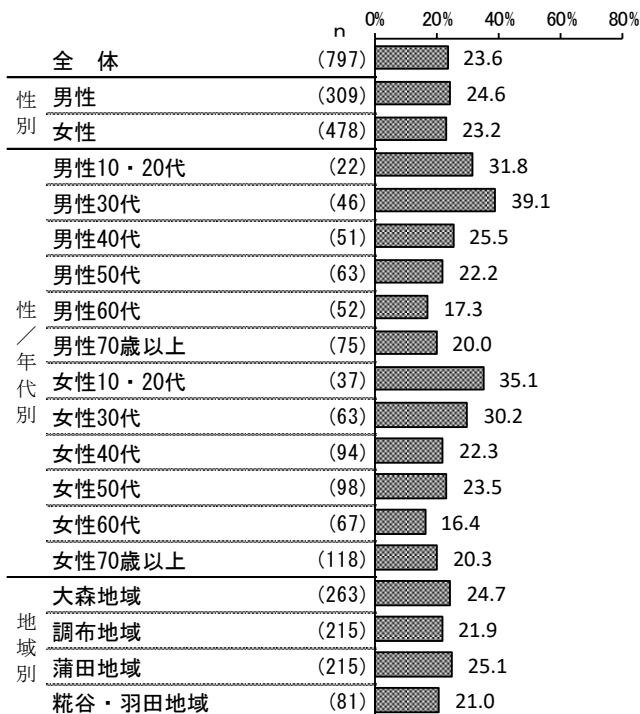


食べ残しをしないためにお店にして欲しいことを聞いたところ、「小盛りメニューの導入」が54.3%で最も高く、次いで、「食べきれなかった料理の持ち帰り」(54.1%)、「白飯などの量の調整」(40.9%)などとなっている。(図表5-7)

図表5-8 食べ残しをしないためにお店にして欲しいこと(性別・性/年代別・地域別 上位4項目)



□量の表示



食べ残しをしないためにお店にして欲しいことについて、性別で見ると「小盛メニューの導入」では男性（46.0%）、女性（60.5%）、「白飯などの量の調整」では男性（31.7%）、女性（47.3%）と、それぞれ女性が男性を14.5ポイント、15.6ポイント上回っている。

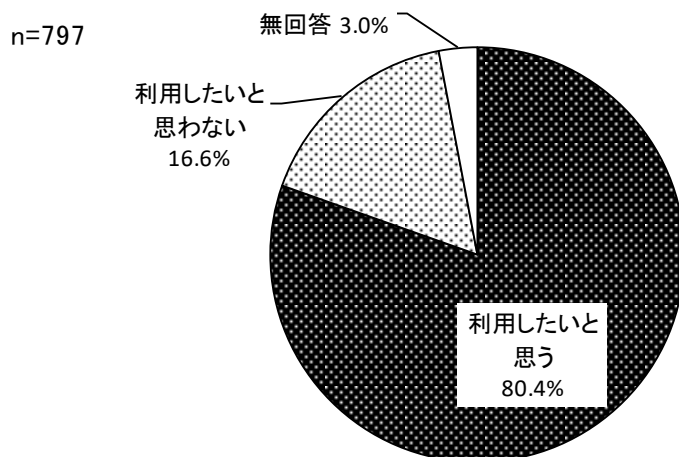
性／年代別で見ると、「小盛メニューの導入」は女性60代が71.6%で他の年代より高く、全ての年代で女性が男性を上回っている。また、男性では年代が上がるにつれ高くなっている。「食べきれなかった料理の持ち帰り」では男女ともに70歳以上が低くなっている。「白飯などの量の調整」では全ての年代で女性が男性を上回っている。（図表5－8）

(5) 「食品ロス」削減に取り組むお店の利用の希望

◎ 「利用したいと思う」が約8割となっている

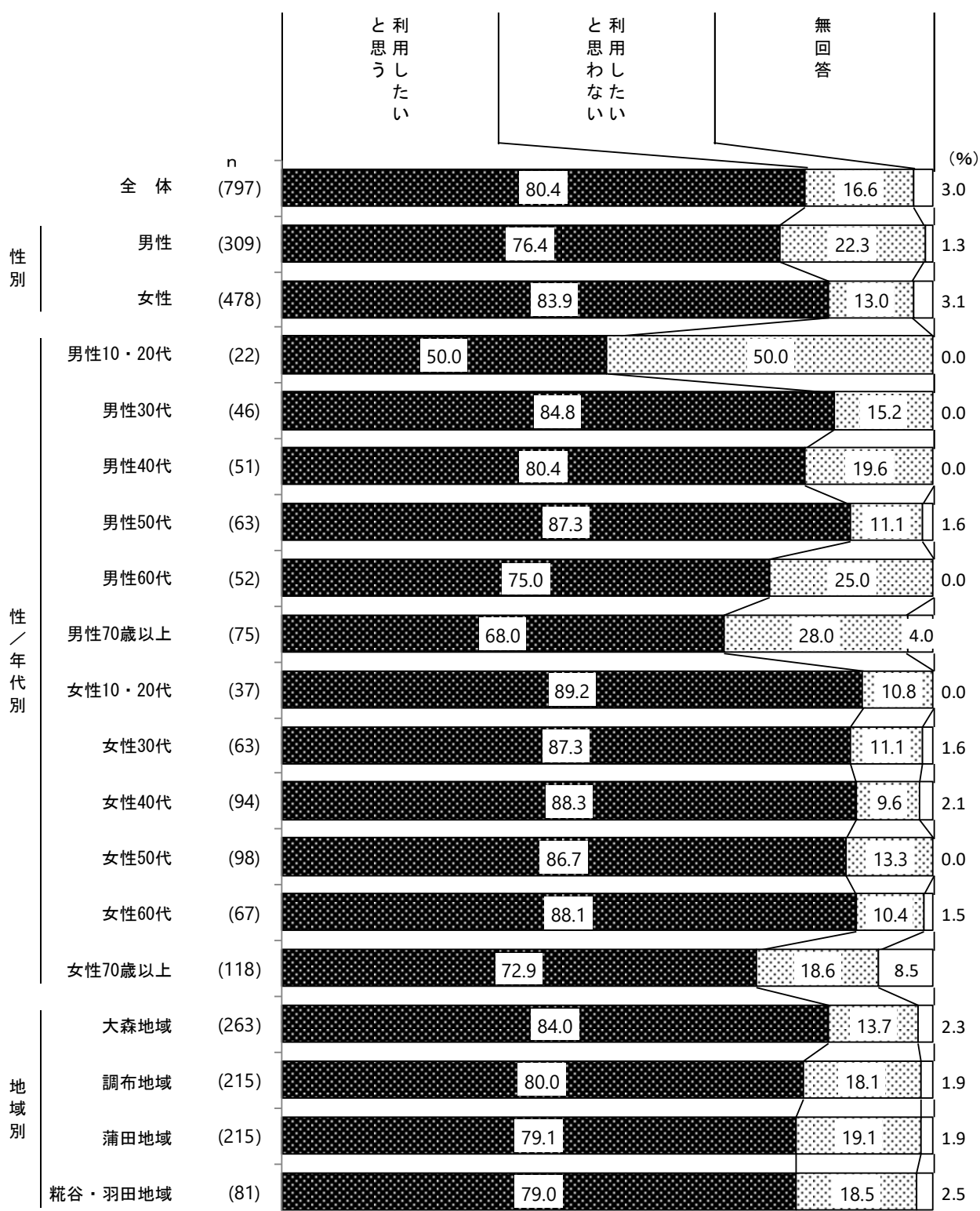
問 21 食品ロス削減に取り組む飲食店や食料品小売店等の情報があれば、そのお店を利用したいと思いますか。(○は1つ)

図表 5-9 「食品ロス」削減に取り組むお店の利用の希望



食品ロス削減に取り組むお店の情報があれば、そのお店を利用したいか聞いたところ、「利用したいと思う」が80.4%、「利用したいと思わない」が16.6%となっている。(図表5-9)

図表5-10 「食品ロス」削減に取り組むお店の利用の希望（性別・性／年代別・地域別）



「食品ロス」削減に取り組むお店の利用の希望について、性別で見ると「利用したいと思う」は男性（76.4%）、女性（83.9%）と、女性が男性を7.5ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「利用したいと思う」は男性30代～50代、女性10代～60代で8割台となっている。（図表5-10）

(6) 「フードドライブ」への提供について

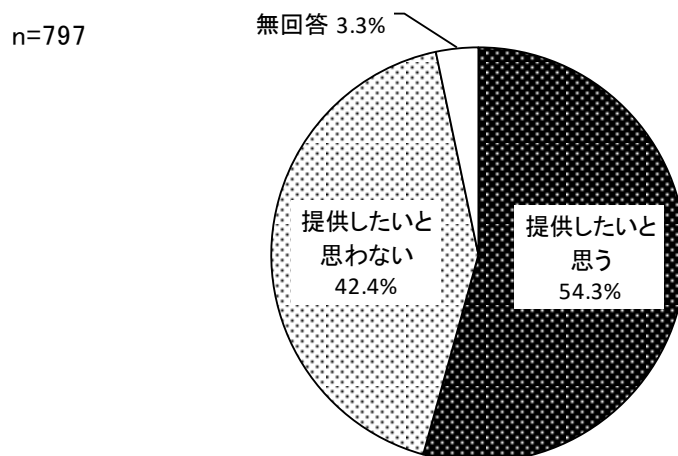
◎ 「提供したいと思う」が5割半ば

問 22 ご家庭の未利用食品を集めて、必要としている団体等に提供する活動を「フードドライブ」といいます。あなたの家で未利用食品が出た際、フードドライブに提供したいと思えますか。

(○は1つ)

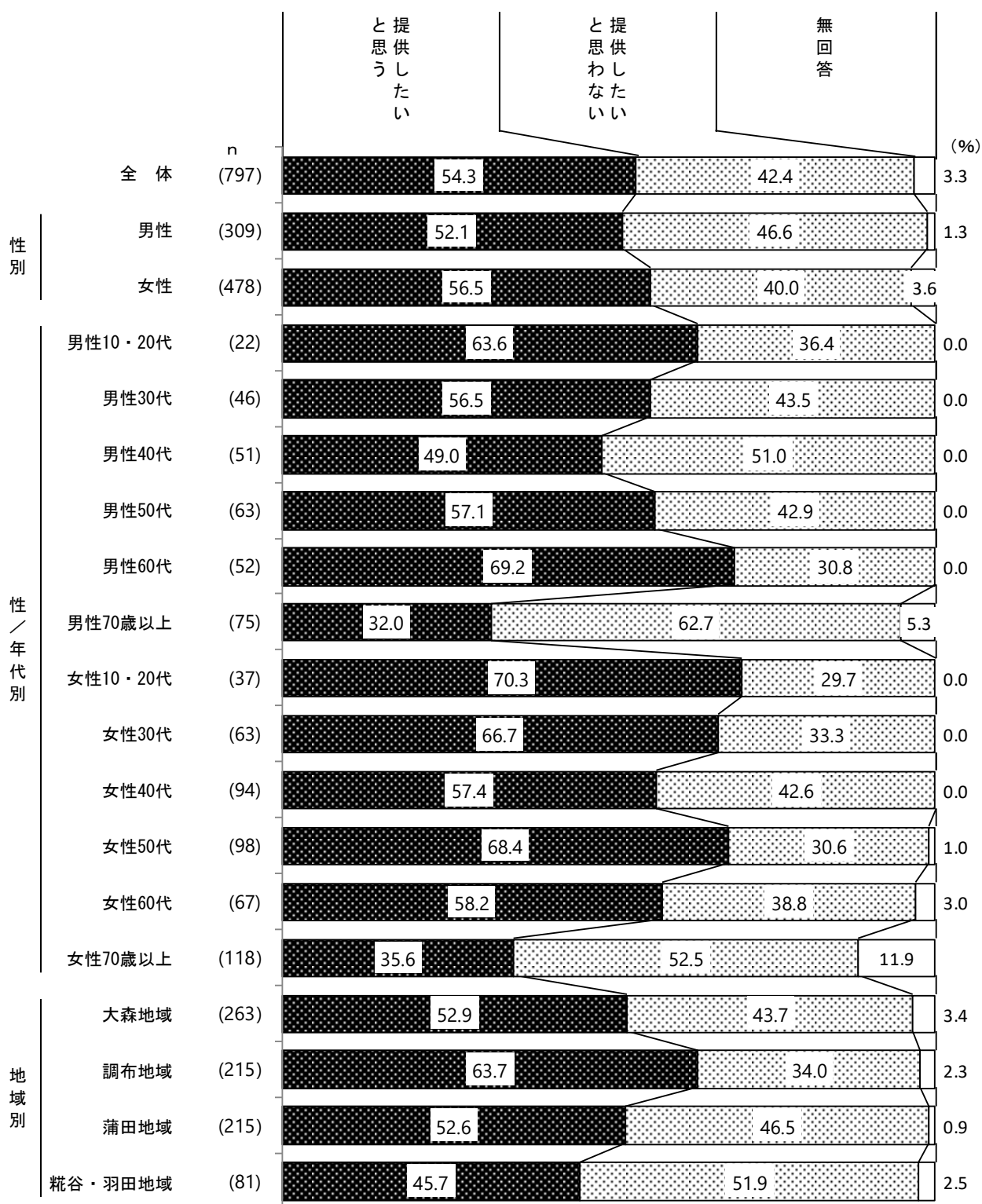
※フードドライブに提供できる食品…主に米などの穀類、調味料、缶詰、インスタント食品など

図表5-11 「フードドライブ」への提供について



「フードドライブ」への提供について聞いたところ、「提供したいと思う」が54.3%、「提供したいと思わない」が42.4%となっている。(図表5-11)

図表 5-12 「フードドライブ」への提供について（性別・性/年代別・地域別）



「フードドライブ」への提供について、性別でみると大きな差異は見られない。

性/年代別でみると、「提供したいと思う」が、女性10・20代が70.3%と他の年代より高くなっている。

地域別でみると、「提供したいと思う」は調布地域が63.7%となっている。(図表5-12)

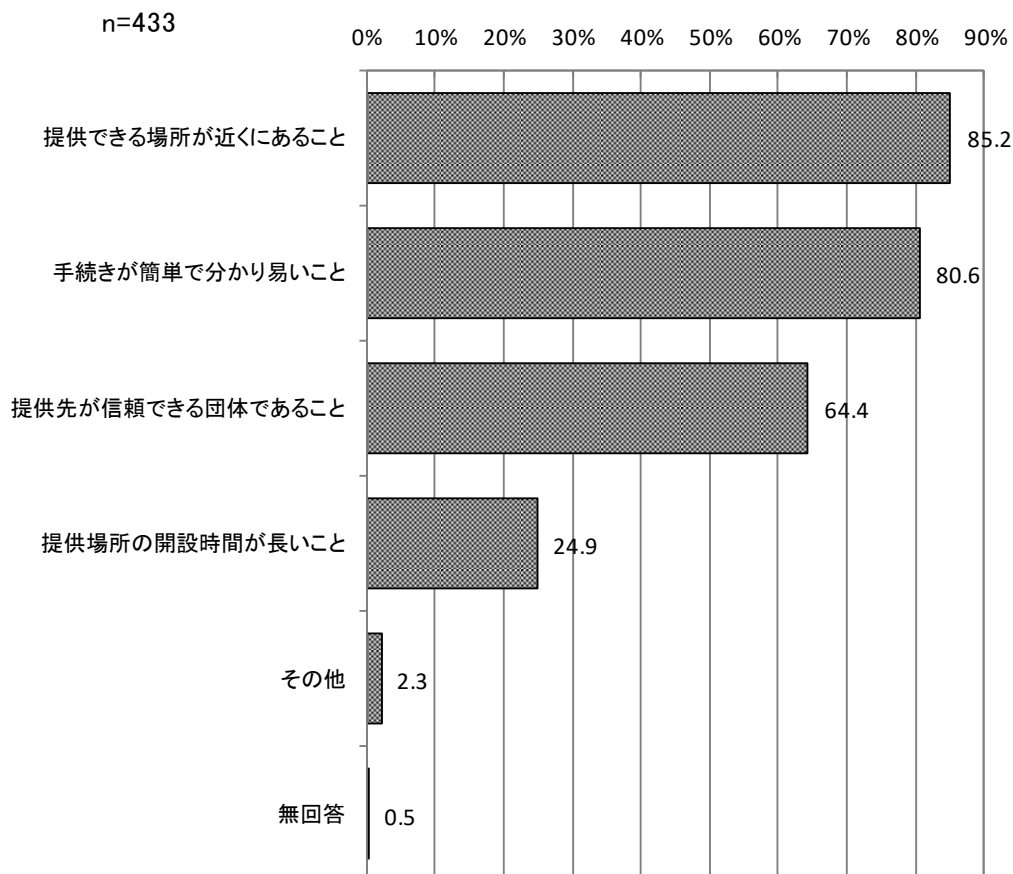
(7) 「フードドライブ」に提供する際、重要視すること

◎ 「提供できる場所が近くにあること」が8割半ばで最も高くなっている

【問 22 で「1. 提供したいと思う」と回答された方】

問 22-1 フードドライブに提供する際、あなたが重要と思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

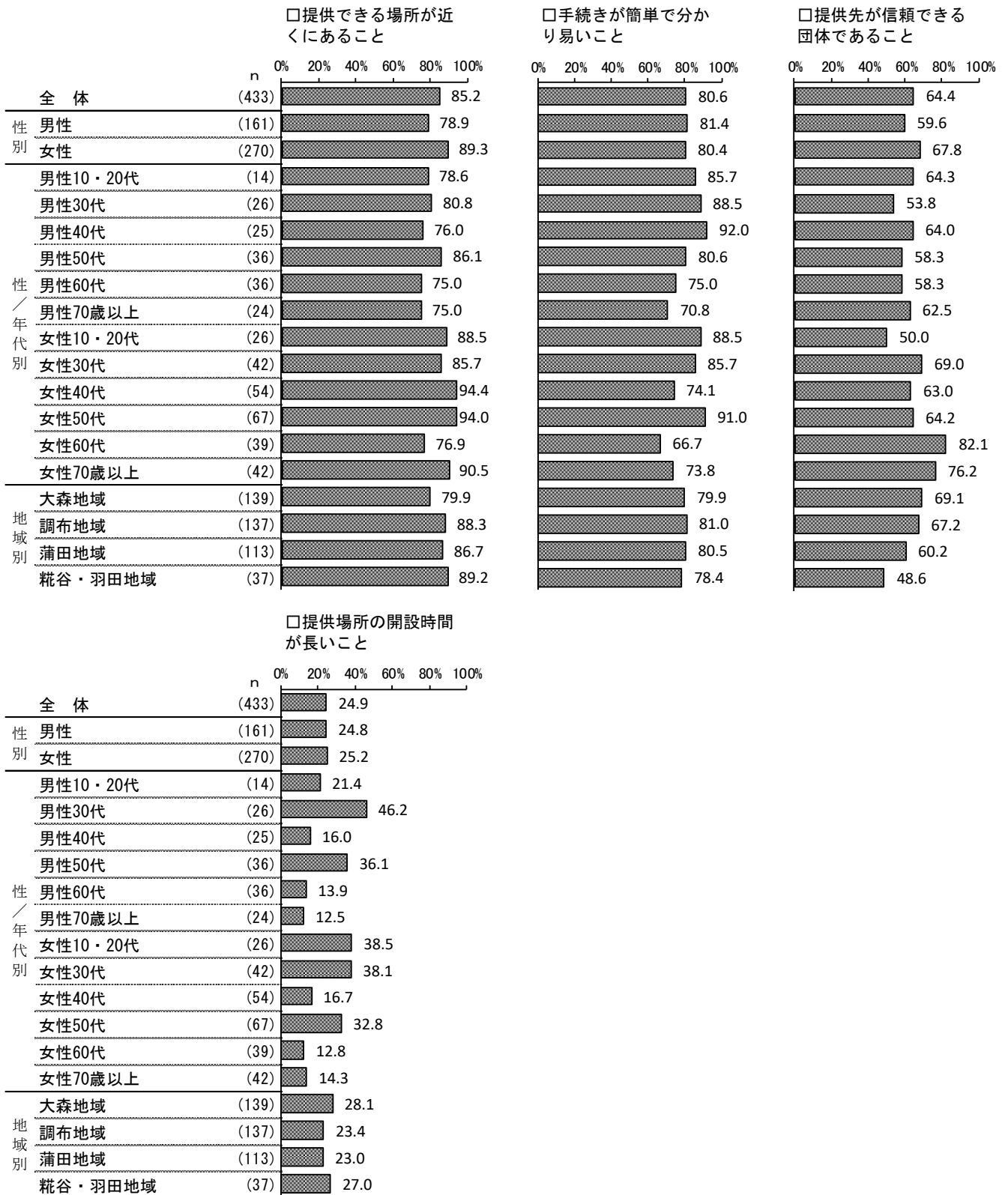
図表 5-13 「フードドライブ」への提供する際、重要視すること



フードドライブに提供したいと思う人に、提供する際に重要視することを聞いたところ、「提供できる場所が近くにあること」が85.2%で最も高く、次いで、「手続きが簡単で分かり易いこと」(80.6%)、「提供先が信頼できる団体であること」(64.4%) などとなっている。(図表 5-13)

図表5-14 「フードドライブ」に提供する際、重要視すること

(性別・性/年代別・地域別 上位4項目)



「フードドライブ」に提供する際、重要視することについて、上位4項目を性別で見ると「提供できる場所が近くにあること」は男性（78.9%）、女性（89.3%）と、女性が男性を10.4ポイント上回っている。（図表5-14）

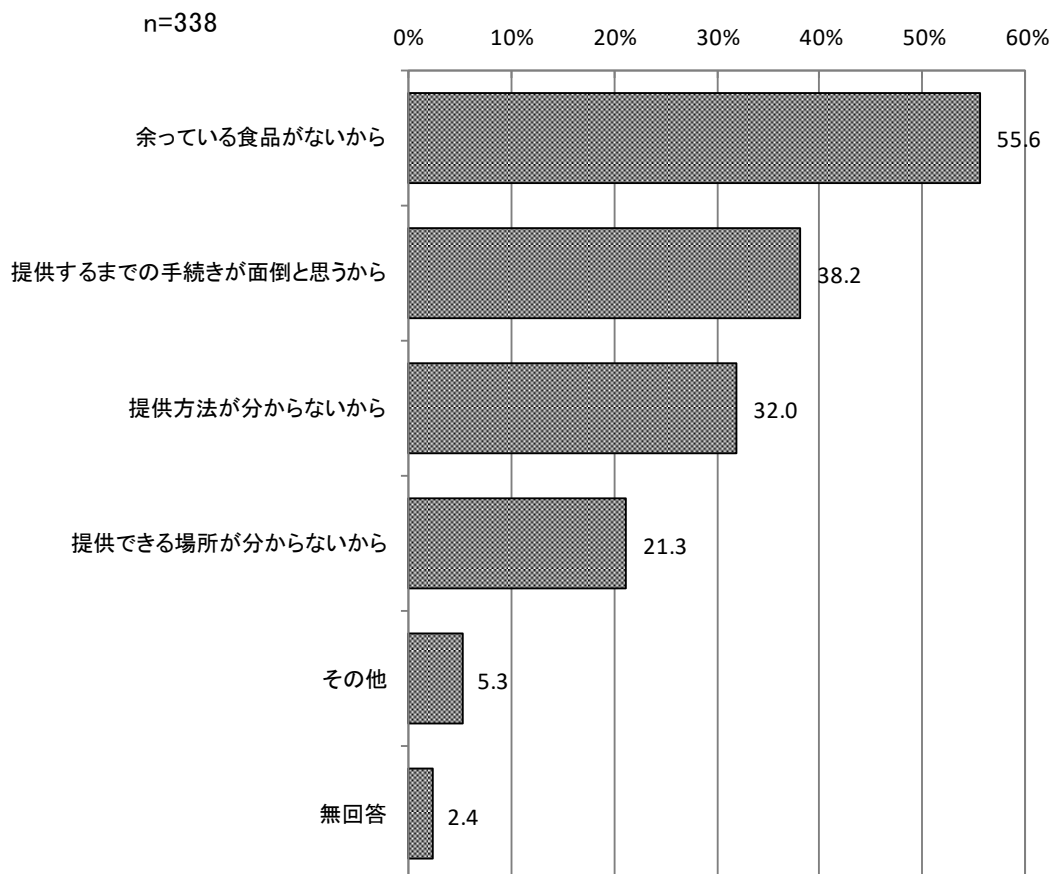
(8) 「フードドライブ」に提供したくない理由

◎ 「余っている食品がないから」が5割半ばで最も高くなっている

【問 22 で「2. 提供したいと思わない」と回答された方】

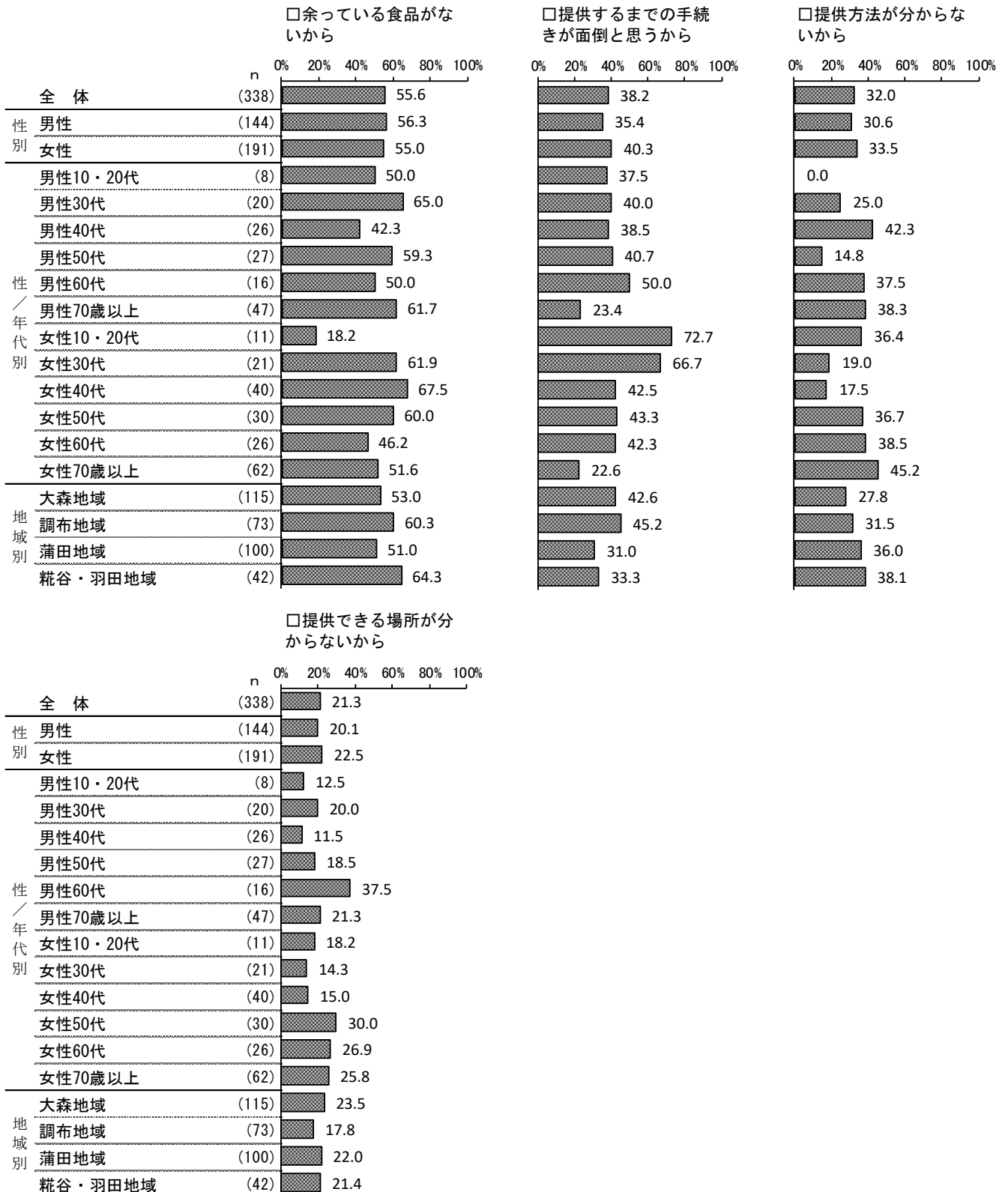
問 22-2 フードドライブに提供したいと思わないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

図表 5-15 「フードドライブ」に提供したくない理由



「フードドライブ」に提供したいと思わない人にその理由を聞いたところ、「余っている食品がないから」が55.6%で最も高く、次いで、「提供するまでの手続きが面倒と思うから」(38.2%)、「提供方法が分からないから」(32.0%) などとなっている。(図表 5-15)

図表5-16 「フードドライブ」に提供したくない理由（性別・性/年代別・地域別 上位4項目）



「フードドライブ」に提供したくない理由について、上位4項目を性別で見ると、「余っている食品がないから」が男女ともに5割半ばで大きな差異は見られない。

地域別で見ると、「提供方法が分からないから」では蒲田地域、糀谷・羽田地域が3割後半となっている。(図表5-16)

Ⅲ 18歳以上の区民の方が対象

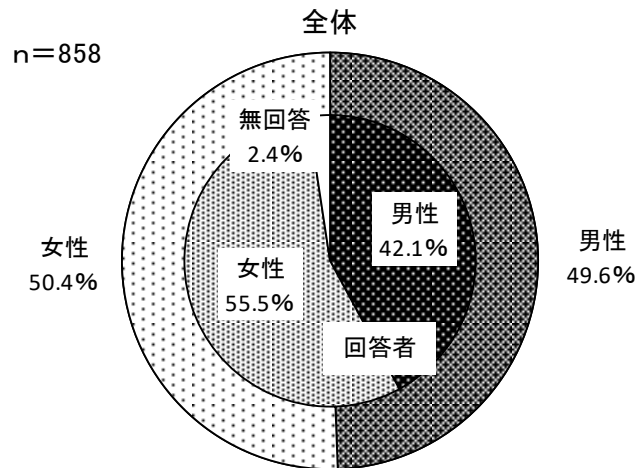
②スポーツ・福祉・保健分野などの調査結果

1 回答者の属性

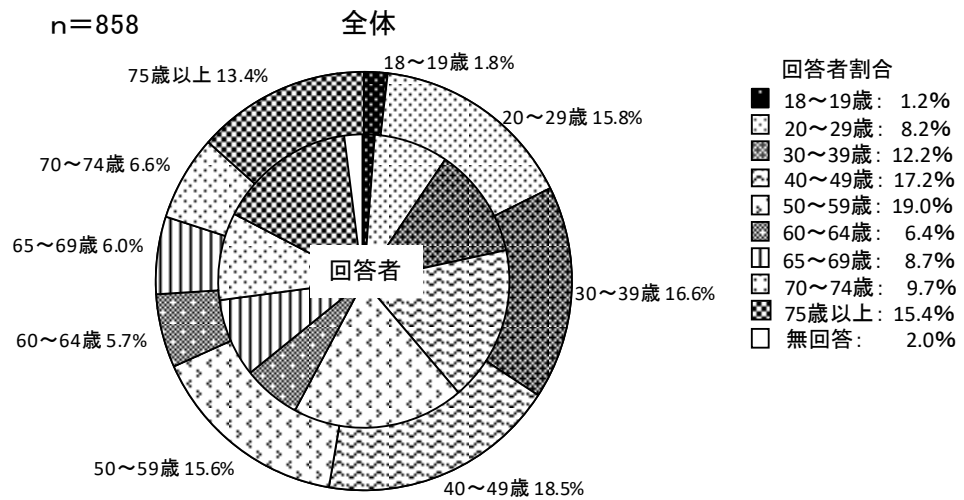
【性別】

全体：大田区の18歳以上の人口（n=638,789）※令和2年1月1日

回答者：有効回収数（n=858）

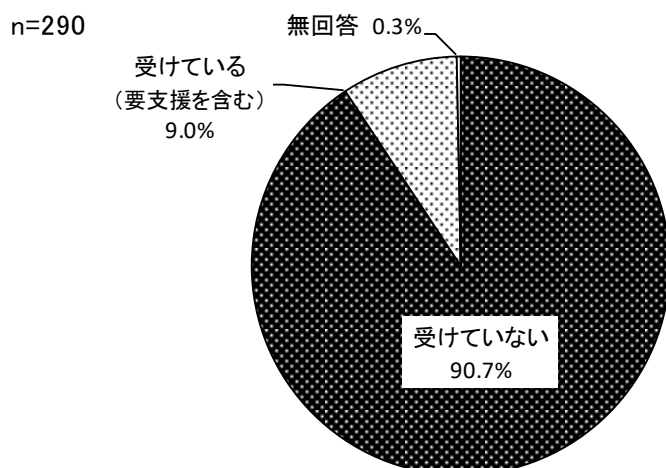


【年齢】

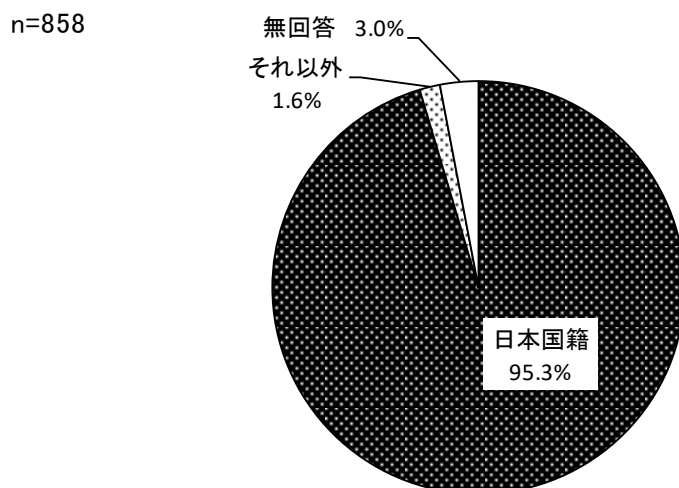


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和2年1月1日現在版

【介護保険制度の要介護認定を受けているか（65歳以上の方）】



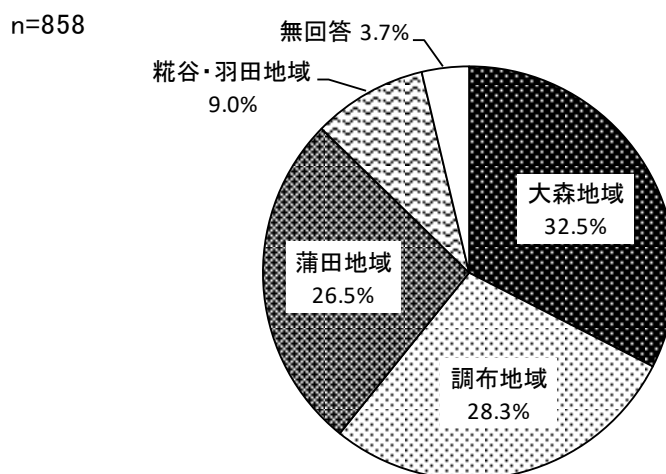
【国籍】



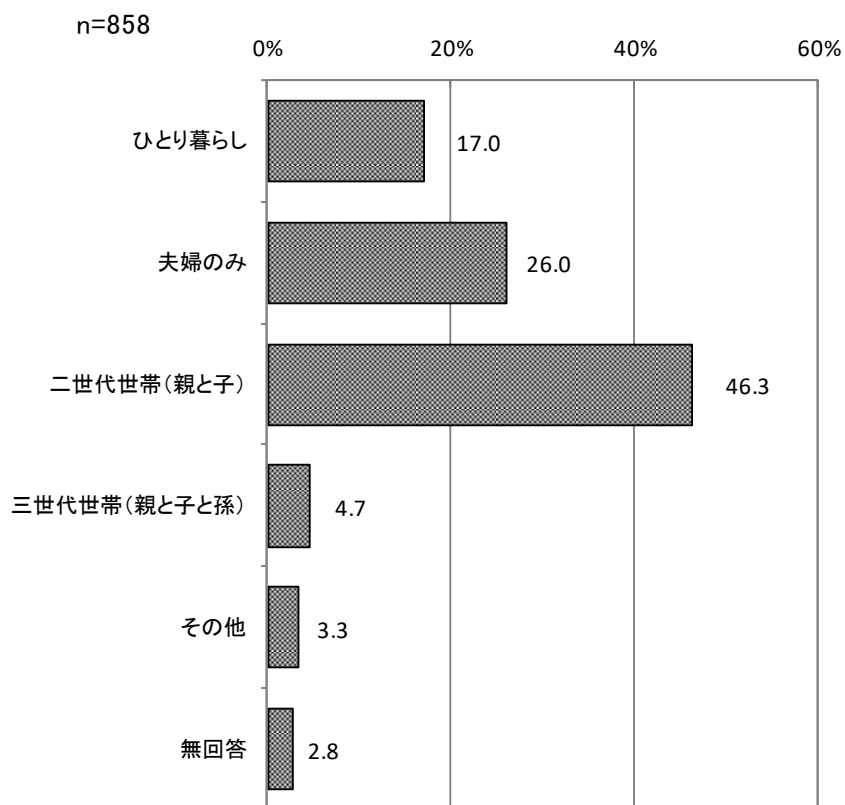
(日本国籍以外)

	中国	フィリピン	韓国	タイ	ブラジル	アメリカ	無回答
人数	5	3	1	1	1	1	2

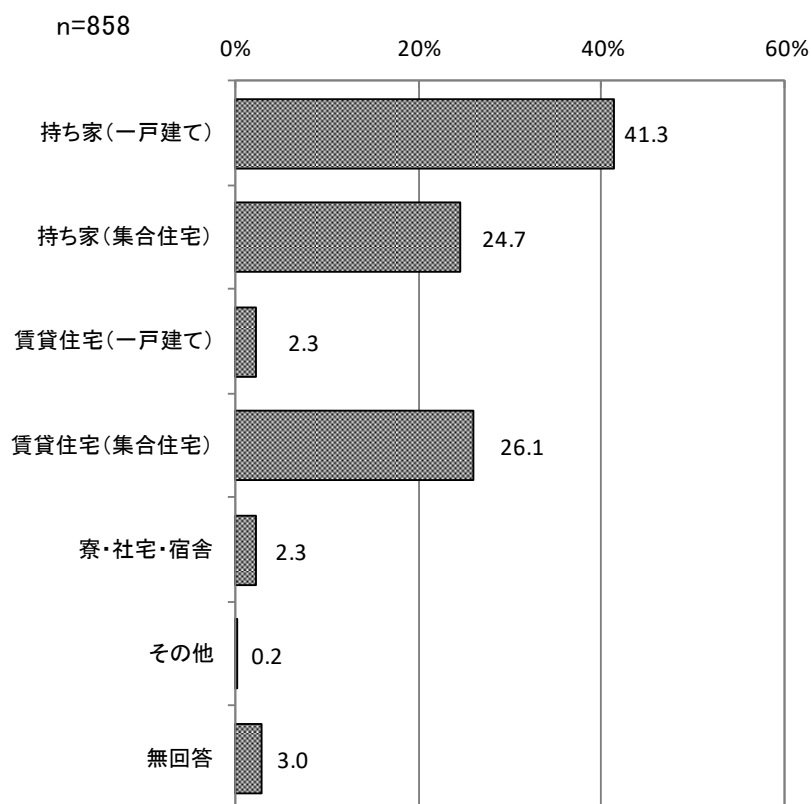
【住まいの地域】



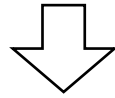
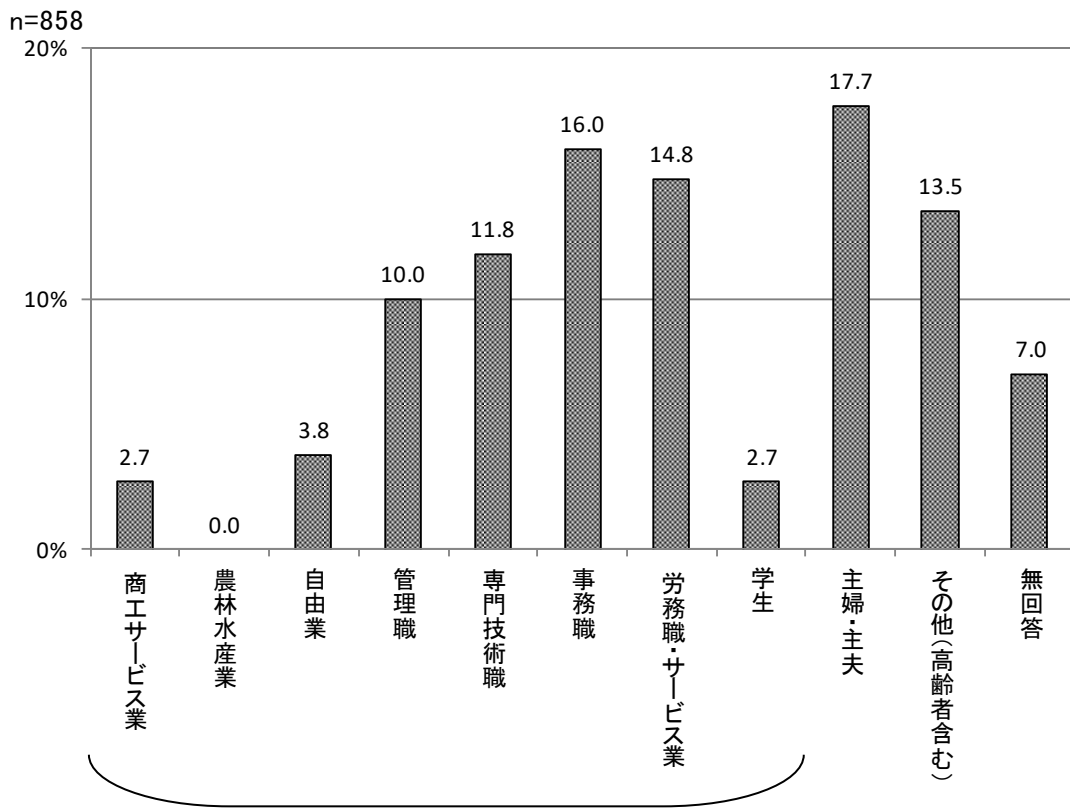
【家族構成】



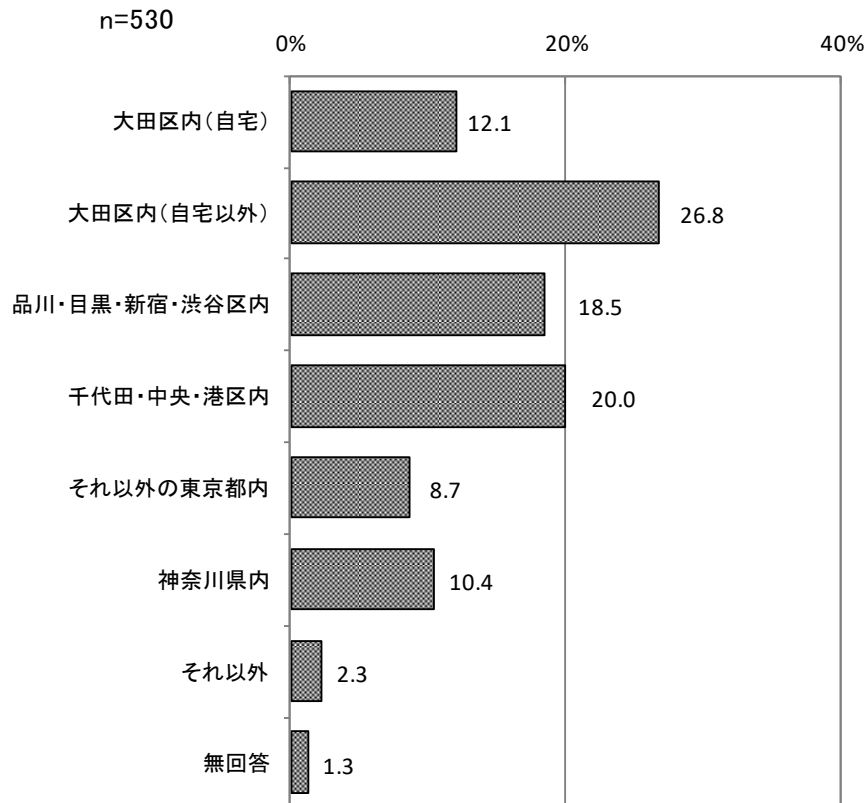
【住まいの種類】



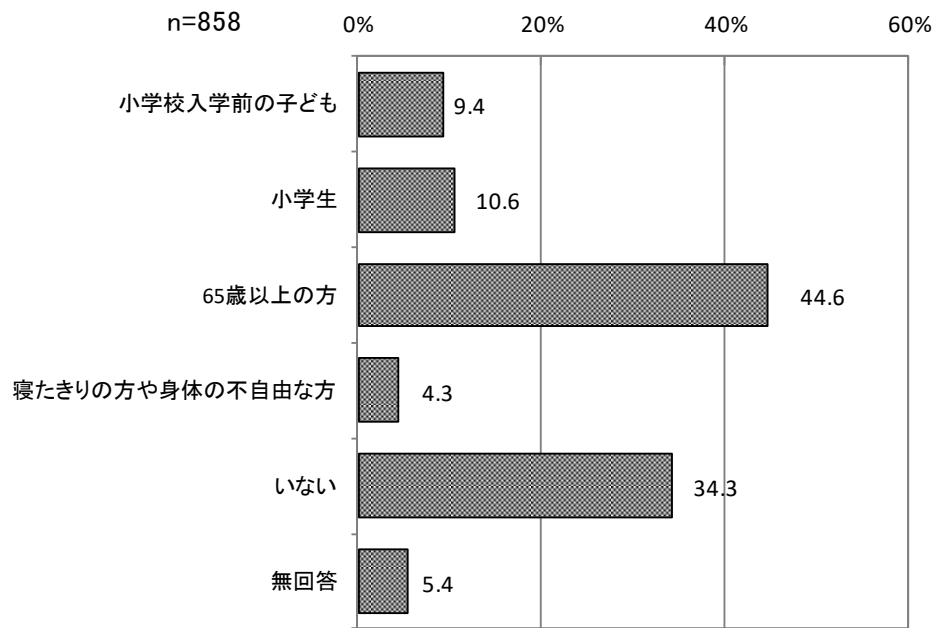
【職業】



【主な通勤・通学先】

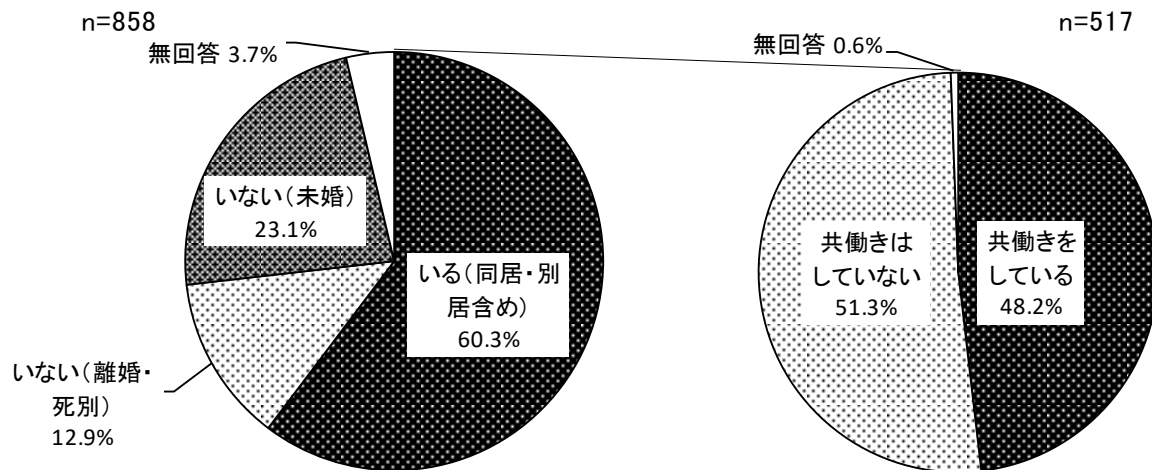


【同居家族】

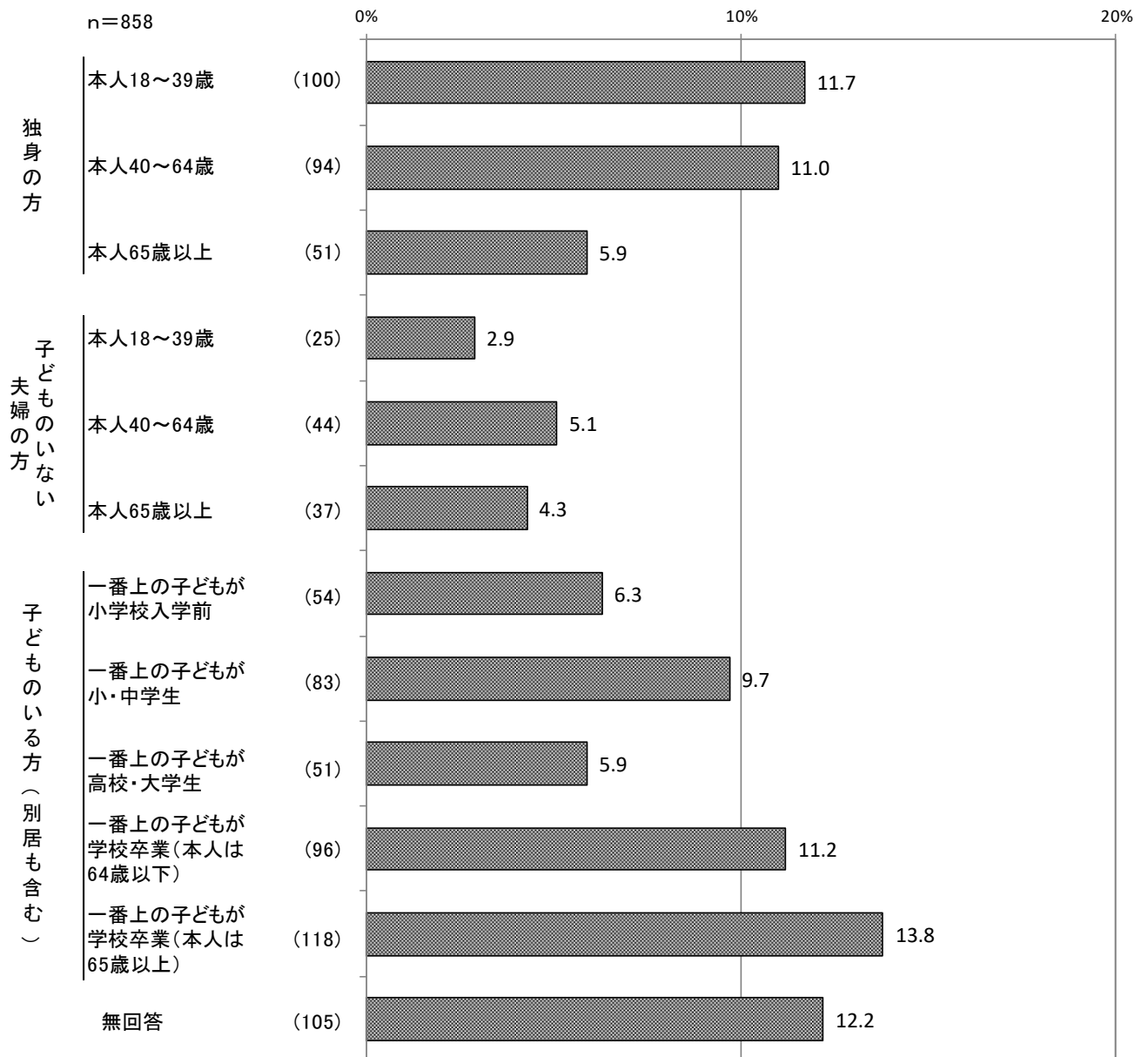


【配偶者の有無】

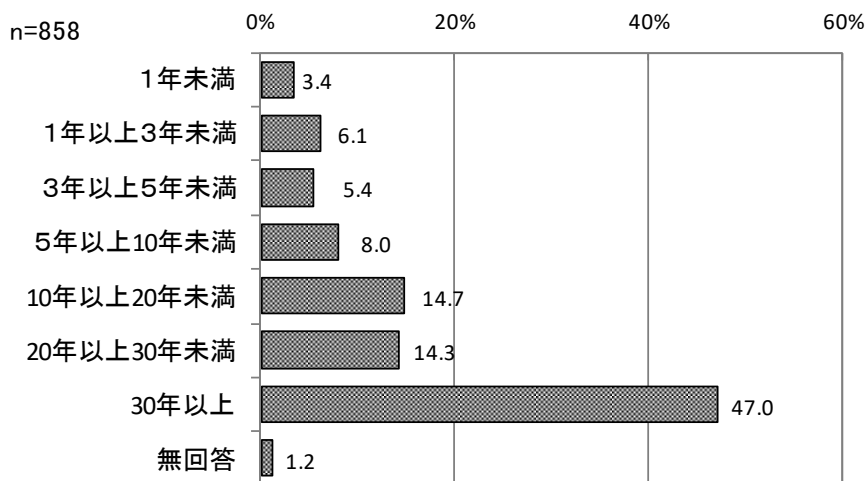
【(配偶者のいる方) 共働きについて】



【ご自身のステージ】



【大田区にお住まいの期間】



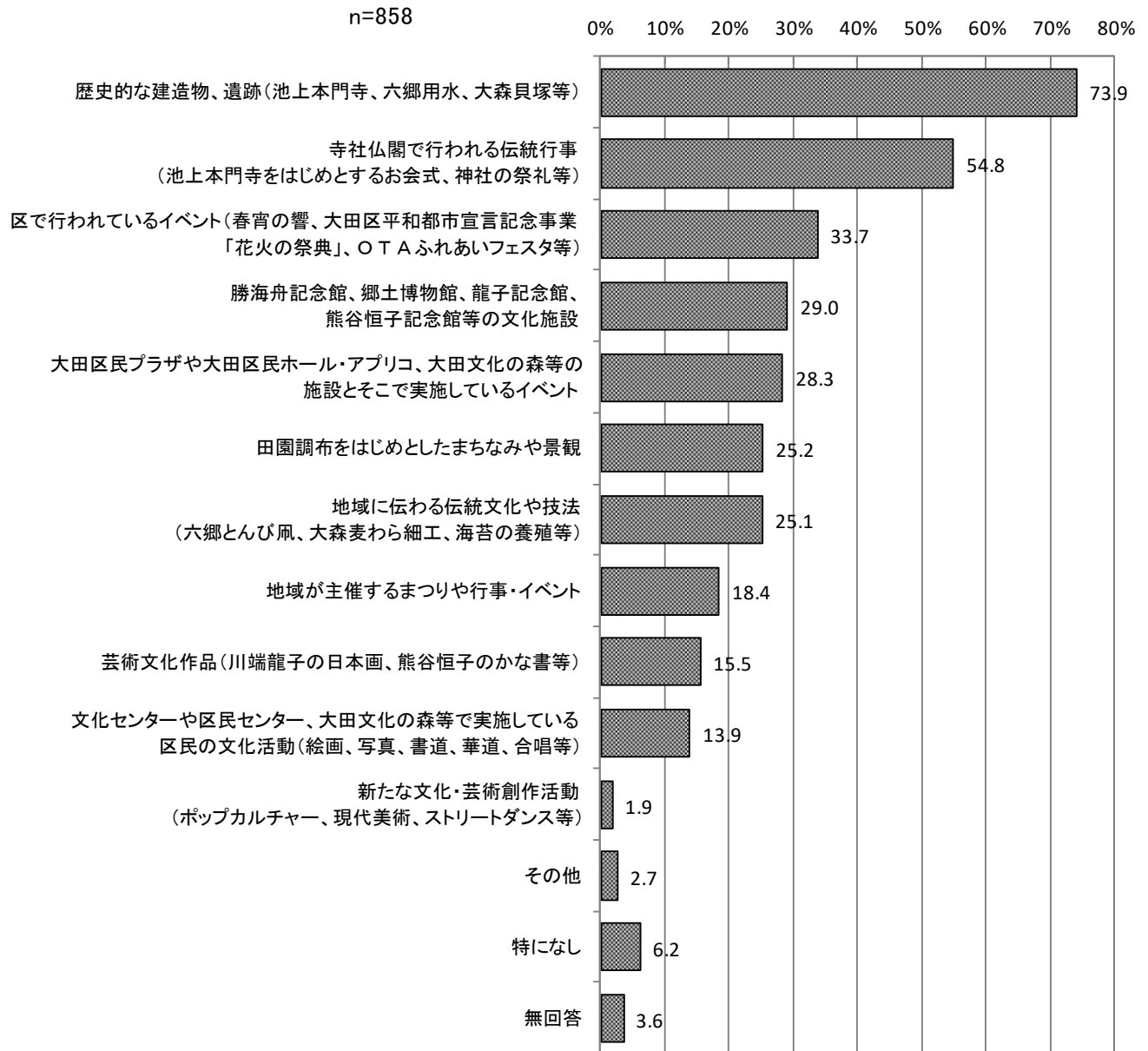
2 スポーツ・文化活動について

(1) 大田区の文化・芸術について

◎ 「歴史的な建造物、遺跡」が7割前半で最も高くなっている

問1 大田区の文化・芸術として思い浮かぶものはどのようなものですか。(〇はいくつでも)

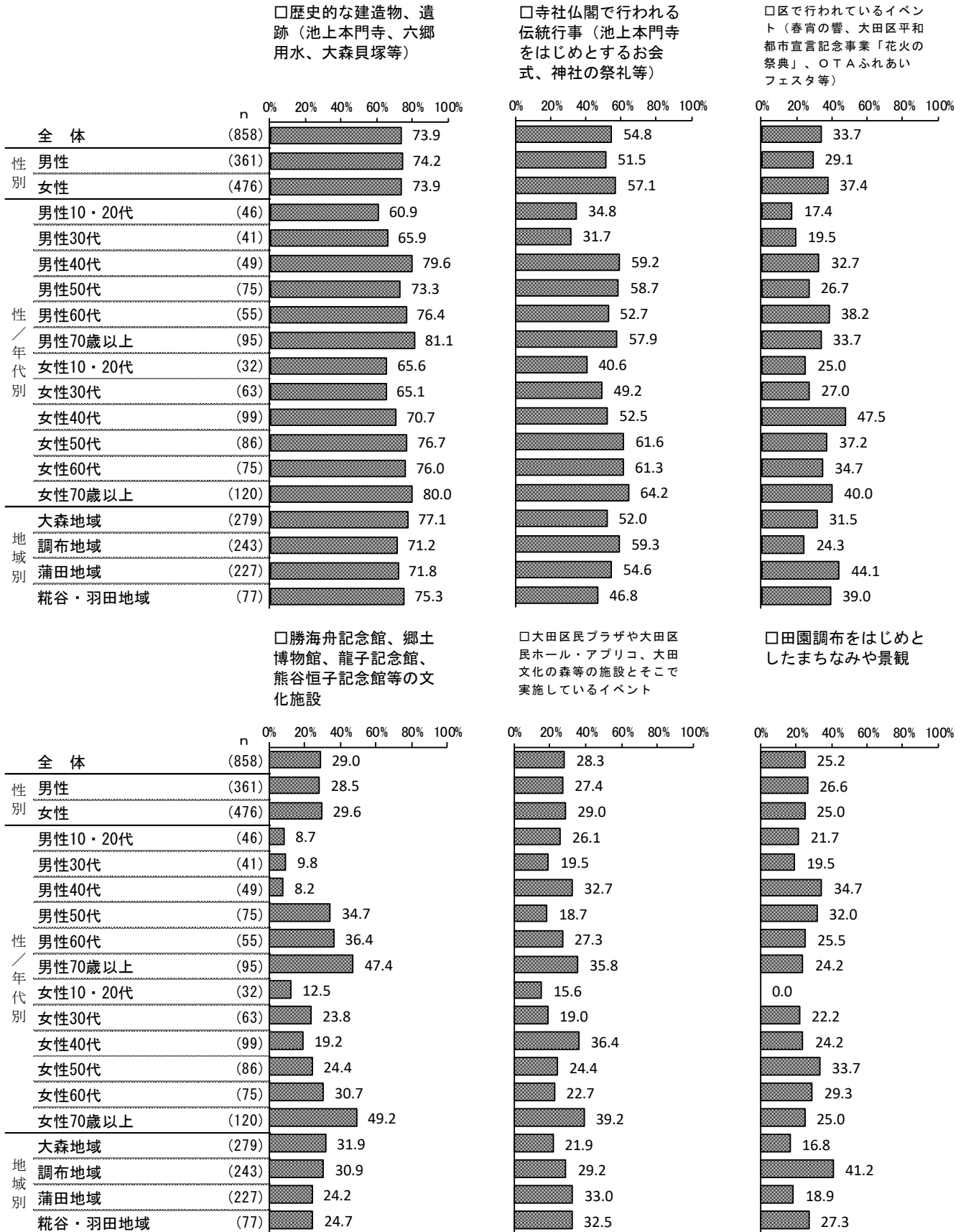
図表2-1 大田区の文化芸術について



大田区の文化・芸術として思い浮かぶものを聞いたところ、「歴史的な建造物、遺跡(池上本門寺、六郷用水、大森貝塚等)」が73.9%で最も高く、次いで、「寺社仏閣で行われる伝統行事(池上本門寺をはじめとするお会式、神社の祭礼等)」(54.8%)、「区で行われているイベント(春宵の響、大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」、OTAふれあいフェスタ等)」(33.7%)などとなっている。

一方、「特になし」は6.2%となっている。(図表2-1)

図表2-2 大田区の文化芸術について（性別・性／年代別・地域別 上位6項目）



大田区の文化芸術について、上位6項目を性別で見ると「歴史的な建造物、遺跡（池上本門寺、六郷用水、大森貝塚等）」では男女ともに7割台となっている。「区で行われているイベント（春宵の響、大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」、OTAふれあいフェスタ等）」では男性（29.1%）、女性（37.4%）と、女性が男性を8.3ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「歴史的な建造物、遺跡（池上本門寺、六郷用水、大森貝塚等）」では男女ともに70歳以上が8割台となっている。「勝海舟記念館、郷土博物館、龍子記念館、熊谷恒子記念館などの文化施設」は、男女ともに70歳以上で4割台となっている。

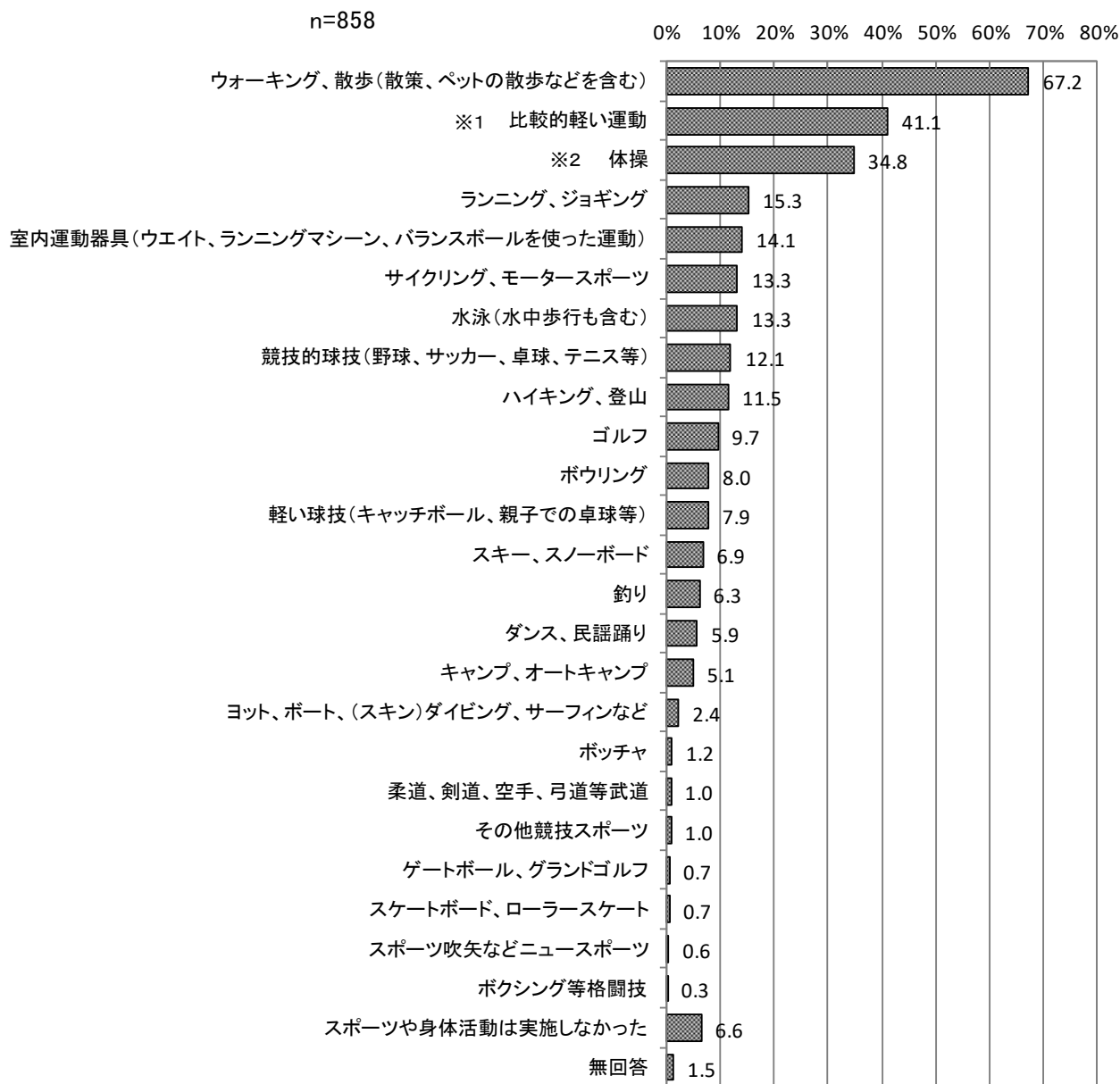
地域別で見ると、「歴史的な建造物、遺跡（池上本門寺、六郷用水、大森貝塚等）」では全ての地域で7割台となっている。「田園調布をはじめとしたまちなみや景観」では調布地域が41.2%となっている。（図表2-2）

(2) 最近1年間で行った運動・スポーツ

◎ 「ウォーキング、散歩」が6割後半で最も高くなっている

問2 この中にあなたが、この1年間で行ったスポーツや運動があれば、すべてお選びください。
(○はいくつでも)

図表2-3 最近1年間で行った運動・スポーツ



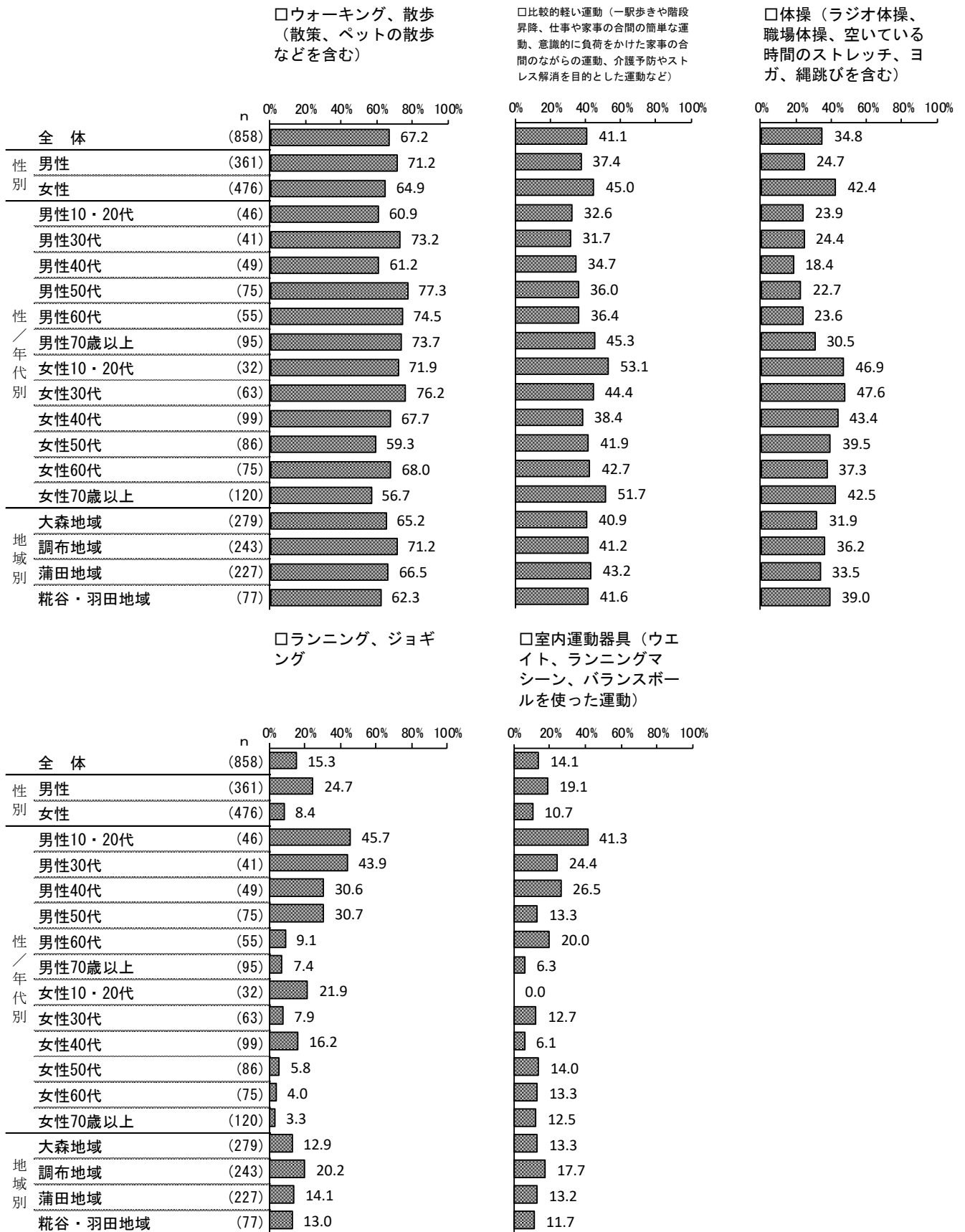
※1 比較的軽い運動(一駅歩きや階段昇降、仕事や家事の合間の簡単な運動、意識的に負荷をかけた家事の合間のながらの運動、介護予防やストレス解消を目的とした運動など)

※2 体操(ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、ヨガ、縄跳びを含む)

最近1年間で行った運動・スポーツを聞いたところ、「ウォーキング、散歩」が67.2%で最も高く、次いで、「比較的軽い運動」(41.1%)、「体操」(34.8%)などとなっている。

一方、「スポーツや身体活動は実施しなかった」は6.6%となっている。(図表2-3)

図表 2-4 最近 1 年間で行った運動・スポーツ（性別・性／年代別・地域別 上位 5 項目）



最近1年間で行った運動・スポーツについて、上位5項目を性別で見ると、「ウォーキング、散歩」では男女で大きな差異は見られない。「体操」では男性（24.7%）、女性（42.4%）と、女性が男性を17.7ポイント上回っている。「ランニング、ジョギング」では男性（24.7%）、女性（8.4%）と、男性が女性を16.3ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「ウォーキング、散歩」では男女ともに全ての年代で5割以上となっている。「ランニング、ジョギング」では男性10～30代が4割台と高く、全ての年代で男性が女性を上回っている。「室内運動器具」では男性の10・20代が4割台で他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「ウォーキング、散歩」は全ての地域で6割以上となっている。（図表2－4）

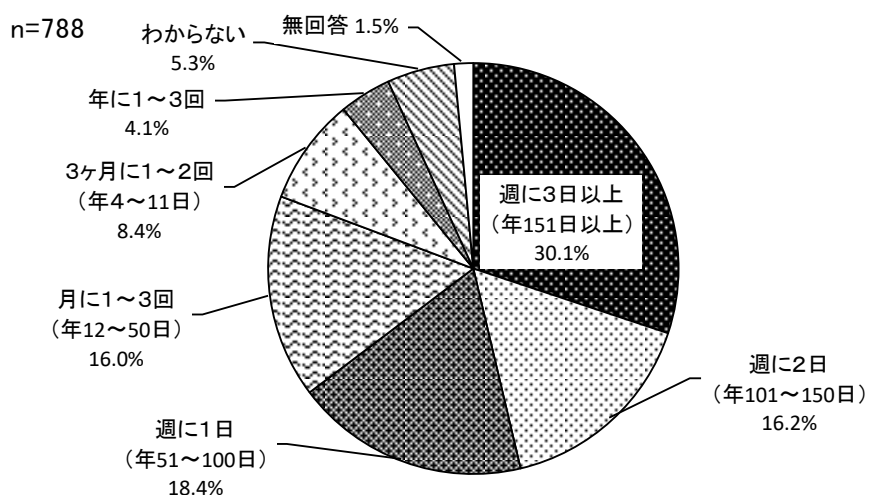
(3) 最近1年間の運動・スポーツの活動頻度

◎ 「週に3日以上（年151日以上）」が約3割で最も高くなっている

【問2で「1」～「24」を回答された方】

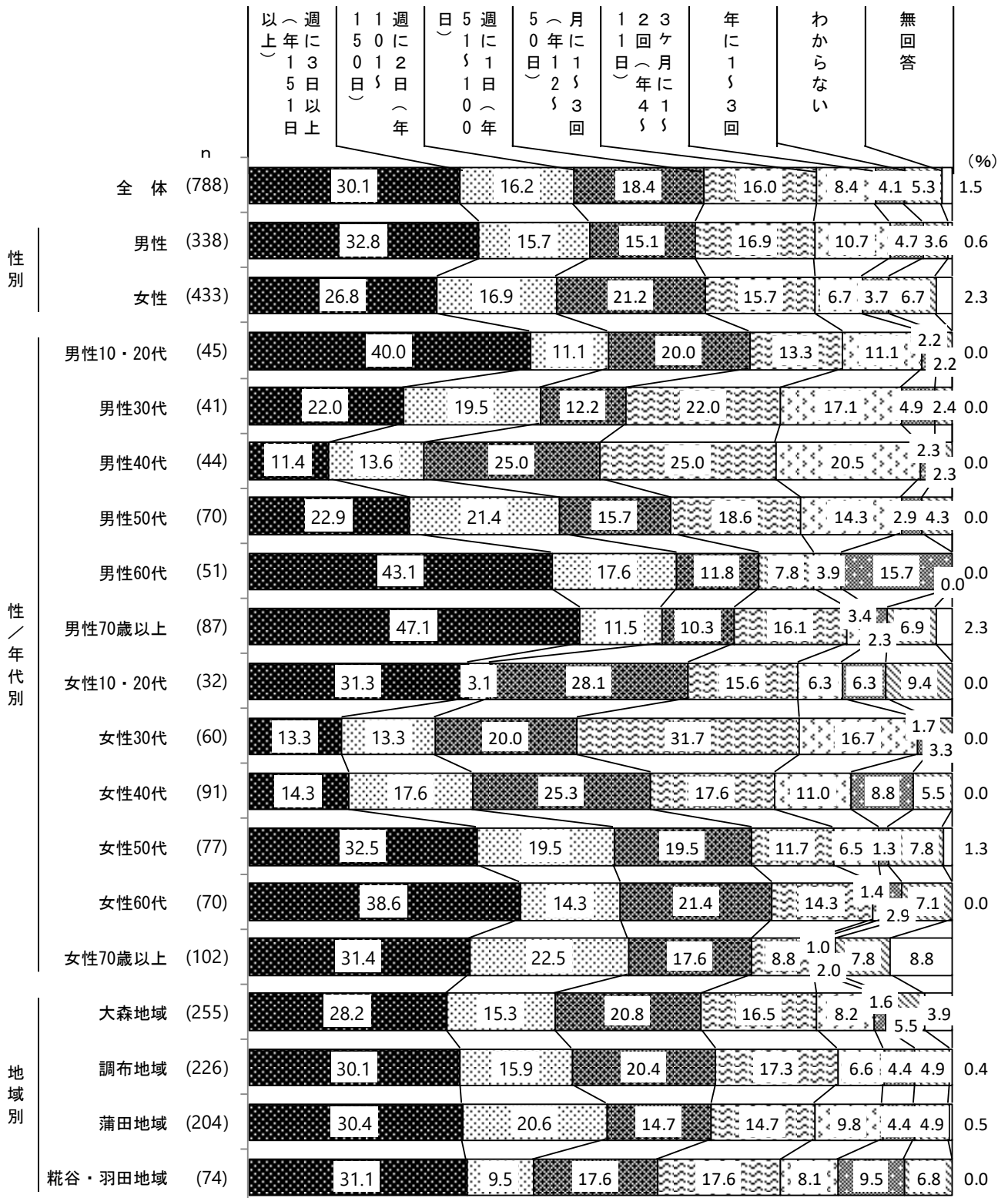
問2-1 この1年間に運動・スポーツ活動を実施した日数を全部合わせると、何日ぐらいになりますか。（○は1つ）

図表2-5 最近1年間の運動・スポーツの活動頻度



最近1年間に運動・スポーツを行った人に活動の頻度を聞いたところ、「週に3日以上（年151日以上）」が30.1%で最も高く、次いで、「週に1日（年51～100日）」（18.4%）、「週に2日（年101～150日）」（16.2%）などとなっている。（図表2-5）

図表2-6 最近1年間の運動・スポーツの活動頻度（性別・性/年代別・地域別）



最近1年間の運動・スポーツの活動頻度について、性別で見ると「週に3日以上（年151日以上）」が男女ともに最も高く、次いで、男性では「月に1～3回（年12～50日）」が16.9%、女性では「週に1日（年51～100日）」が21.2%となっている。

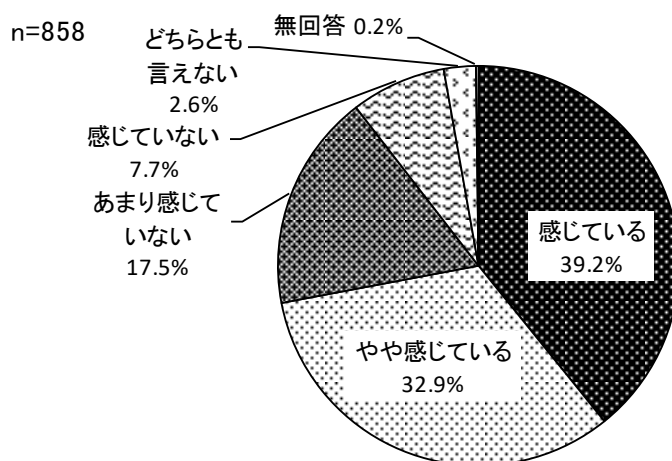
性／年代別で見ると、「週に3日以上（年151日以上）」は男性10・20代、60代、70歳以上で4割台と高くなっている。（図表2－6）

(4) 東京 2020 大会について

◎ 《感じている (合計)》が7割前半となっている

問3 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 (以下、東京 2020 大会) が身近になってきたと感じますか。(○は1つ)

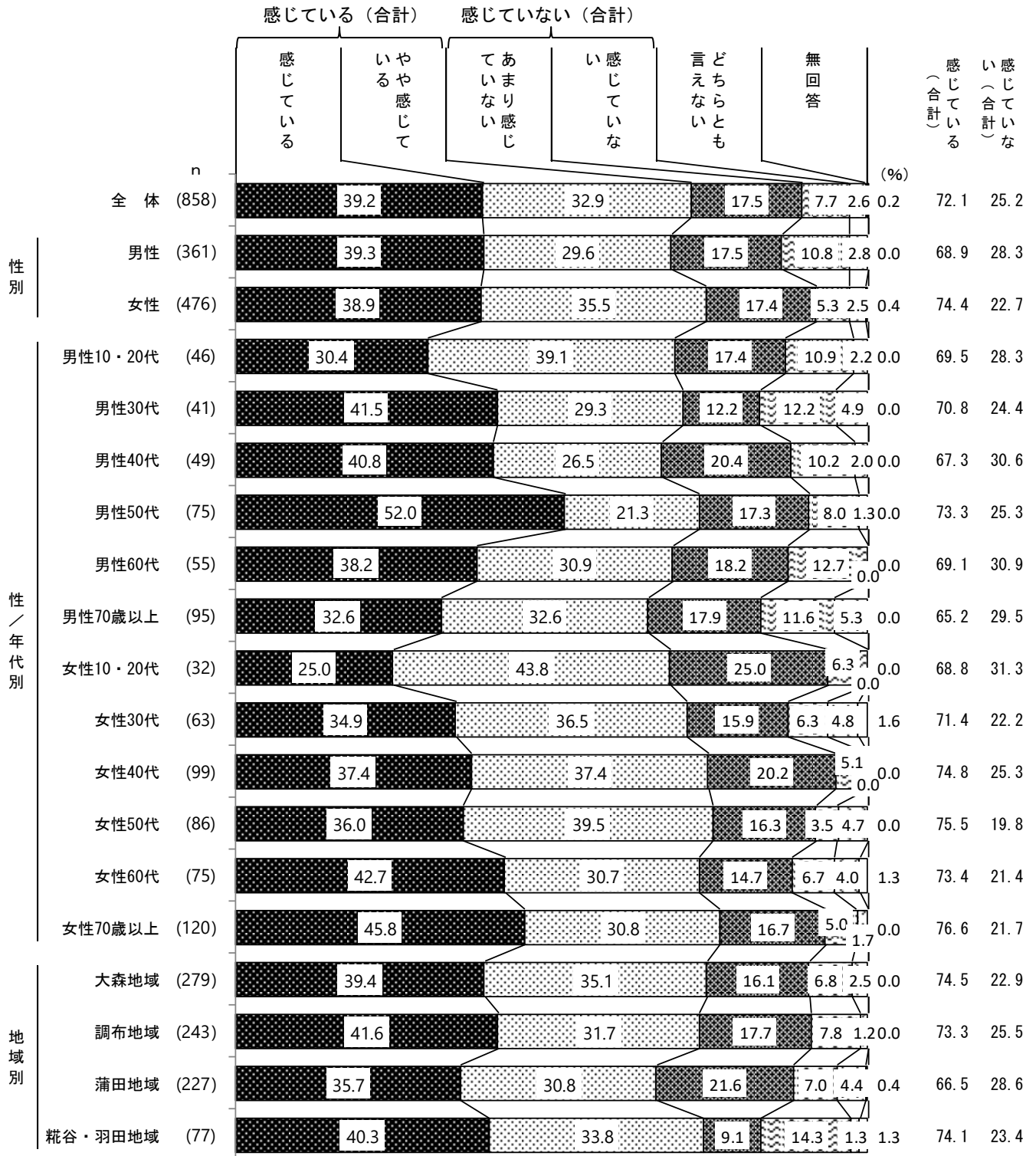
図表 2-7 東京 2020 大会について



東京 2020 大会が身近になってきたと感じるか聞いたところ、「感じている」が 39.2%で最も高くなっている。「やや感じている」(32.9%) と合わせた《感じている (合計)》は 72.1%となっている。

一方、「あまり感じていない」(17.5%) と「感じていない」(7.7%) を合わせた《感じていない (合計)》は 25.2%となっている。(図表 2-7)

図表 2-8 東京 2020 大会について（性別・性／年代別・地域別）



東京 2020 大会について、性別で見ると《感じていない (合計)》は男性 (68.9%)、女性 (74.4%) と、女性が男性を 5.5 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「感じていない」は男性 50 代が 52.0% と他の年代より高くなっている。

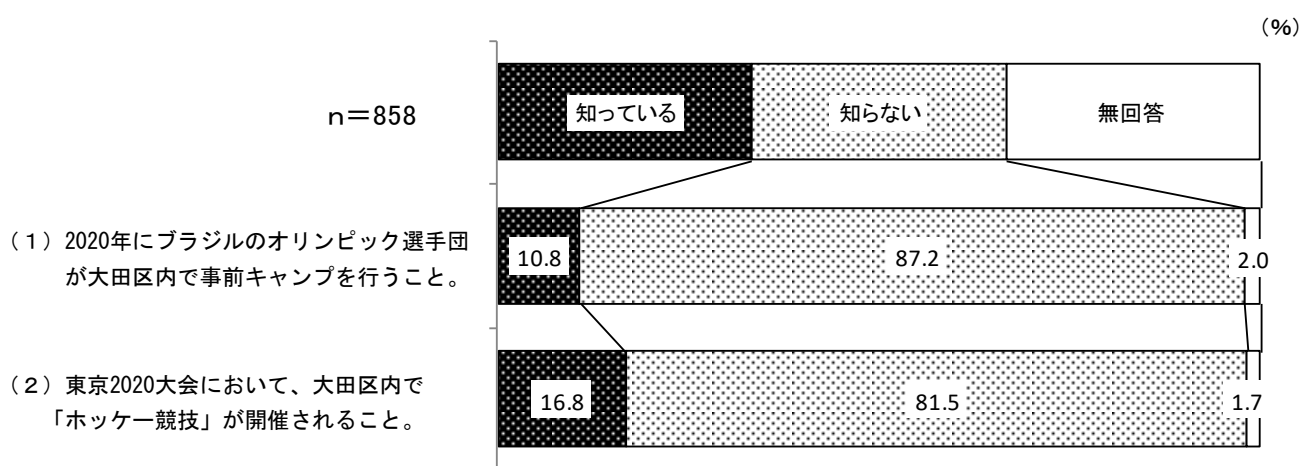
(図表 2-8)

(5) 大田区内での事前キャンプや競技開催の認知度

◎ 「知っている」は1割台となっている

- 問4 東京2020大会について、以下のことをご存知ですか。(○はそれぞれ1つ)
- (1) 2020年にブラジルのオリンピック選手団が大田区内で事前キャンプを行うこと。
- (2) 東京2020大会において、大田区内で「ホッケー競技」が開催されること。

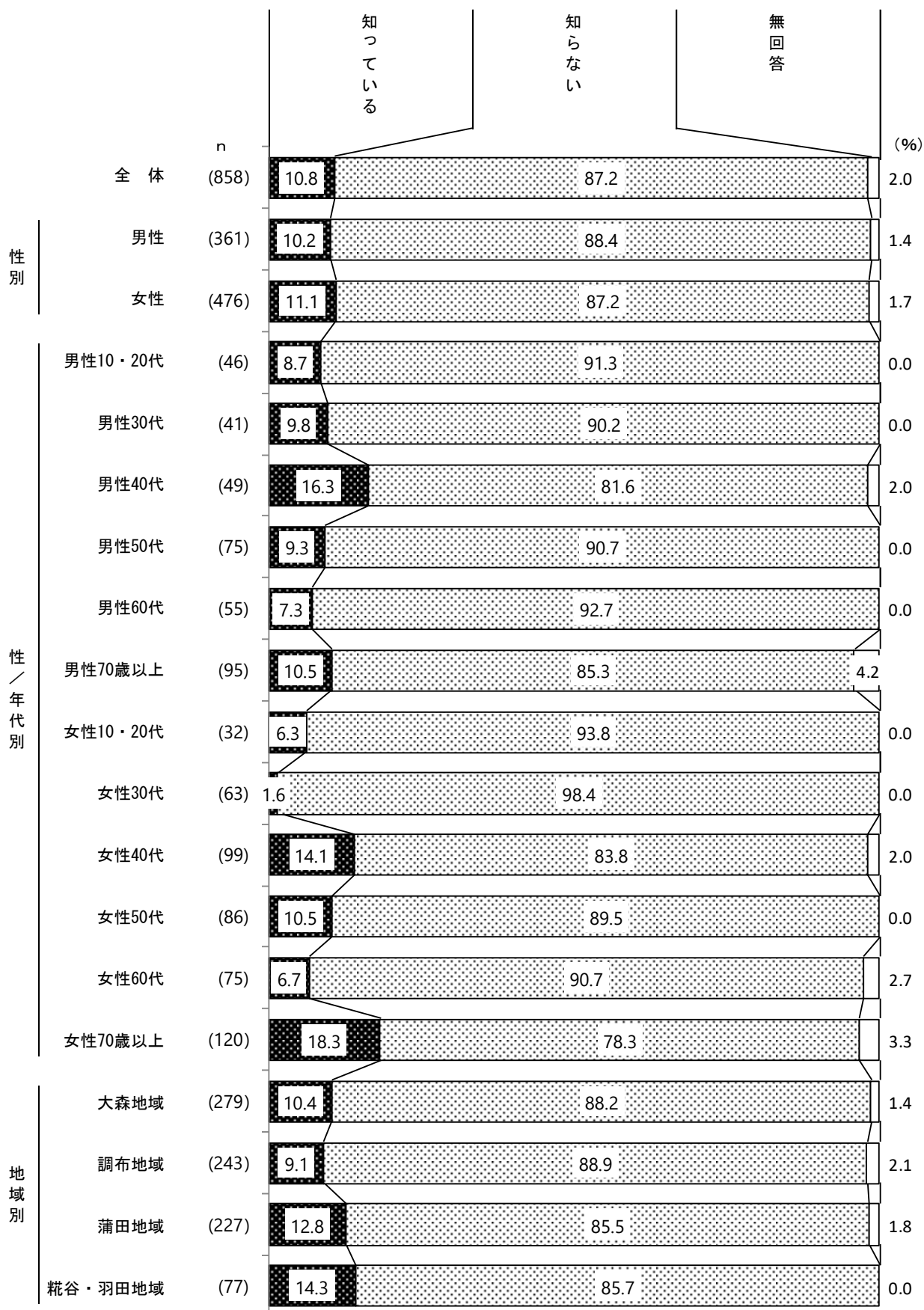
図表2-9 大田区内での事前キャンプや競技開催の認知度



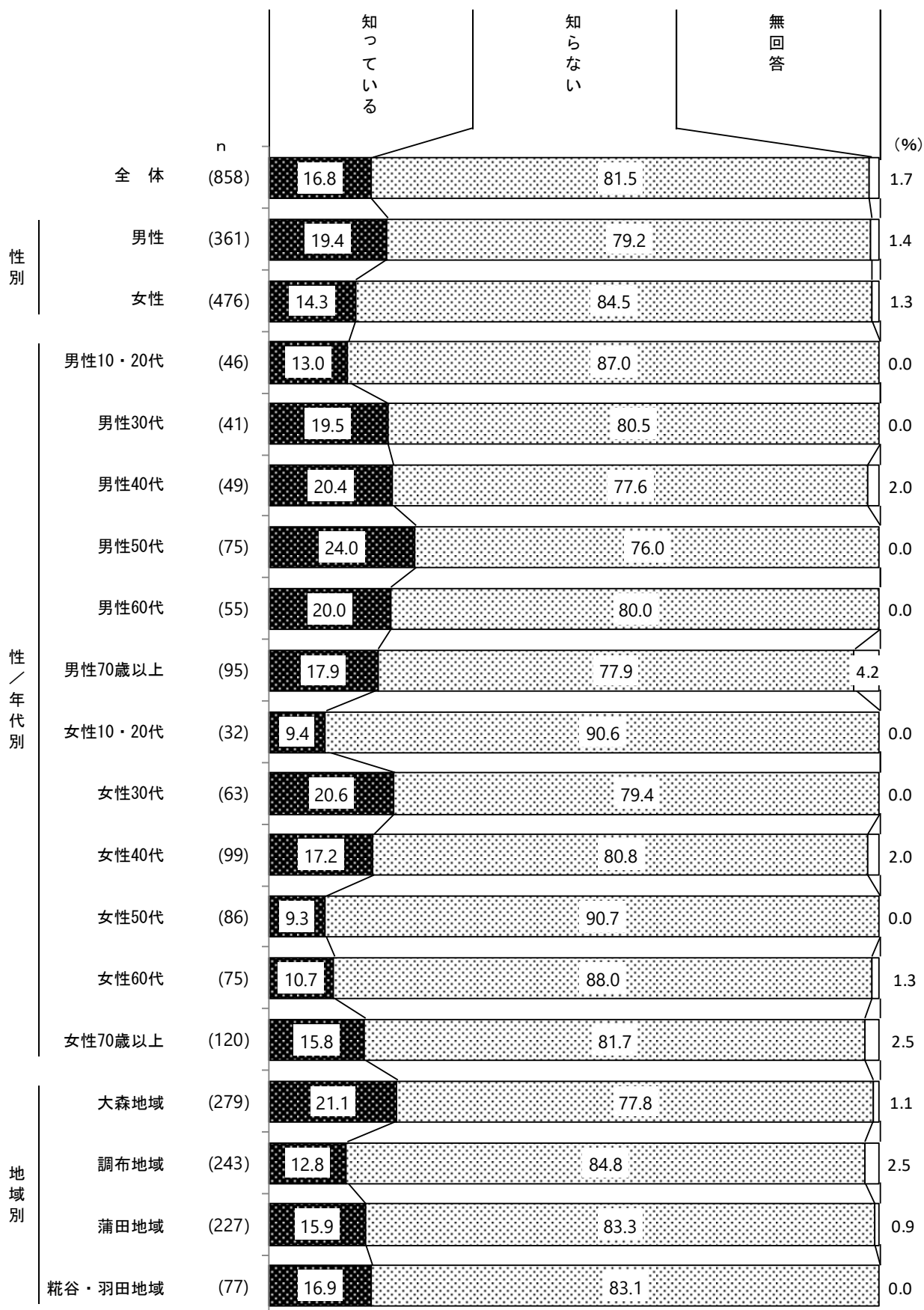
【2020年にブラジルのオリンピック選手団が大田区内で事前キャンプを行うこと】を知っているか聞いたところ、「知っている」は10.8%、「知らない」が87.2%となっている。

【東京2020大会において、大田区内で「ホッケー競技」が開催されること】を知っているか聞いたところ、「知っている」は16.8%、「知らない」が81.5%となっている。(図表2-9)

図表2-10 ブラジルの選手団の事前キャンプの認知度（性別・性／年代別・地域別）



図表 2-11 大田区内で「ホッケー競技」が行われることの認知度（性別・性／年代別・地域別）



【2020年にブラジルのオリンピック選手団が大田区内で事前キャンプを行うこと】の認知度について、性別で見ると大きな差異は見られない。

性／年代別で見ると、「知っている」は男性40歳で16.3%、女性70歳以上で18.3%と他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、大きな差異は見られなかった。(図表2-10)

【東京2020大会において、大田区内で「ホッケー競技」が開催されること】を知っているかについて、性別で見ると「知っている」は男性(19.4%)、女性(14.3%)と、男性が女性を5.1ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「知っている」は男性では50代が24.0%、女性では30代が20.6%で最も高くなっている。

地域別で見ると、「知っている」は大森地域が21.1%となっている。(図表2-11)

3 バリアフリー・福祉施策などについて

(1) 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度

◎ 《理解している（合計）》はバリアフリーが7割後半、ユニバーサルデザインが約5割

問5 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」という言葉をご存知ですか。

(○はそれぞれ1つ)

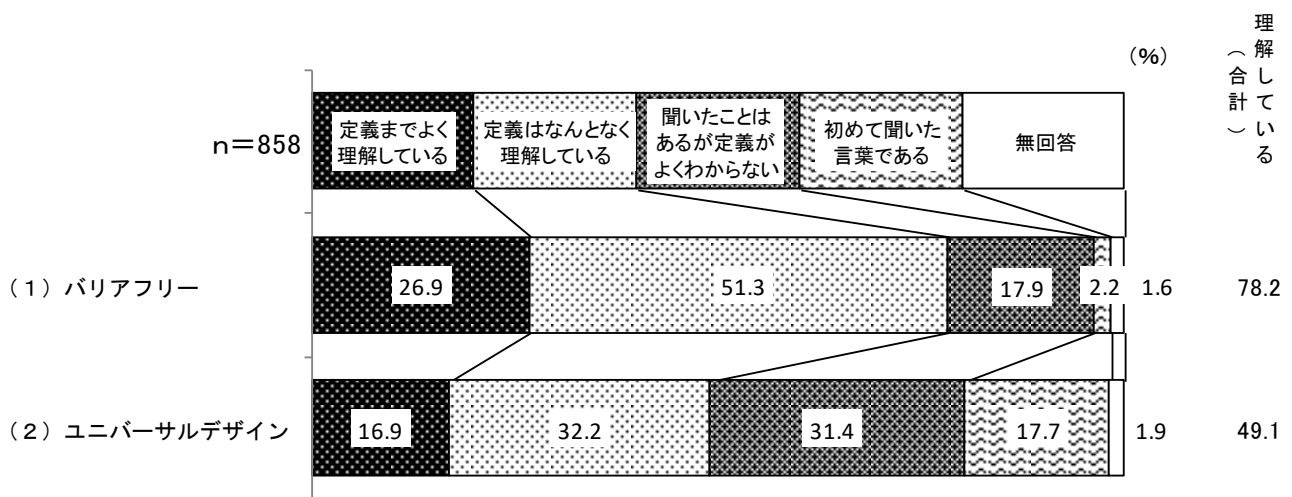
(1) バリアフリー

※高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁（バリア）を取り除く考え方

(2) ユニバーサルデザイン

※バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍（言語）、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの人が利用しやすいように生活環境を構築する考え方

図表3-1 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度



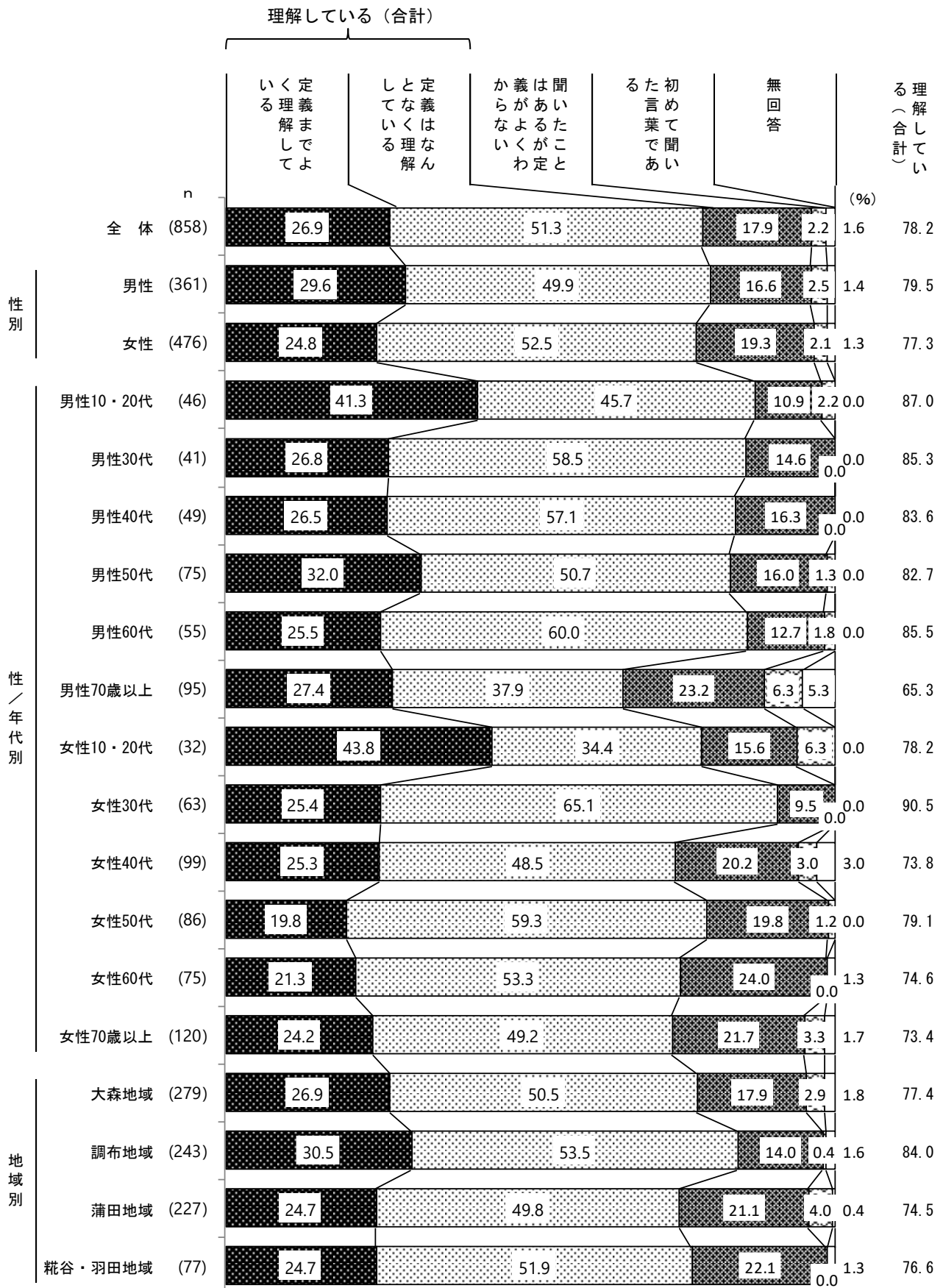
【バリアフリー】について聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」が51.3%で最も高くなっている。「定義までよく理解している」(26.9%)と合わせた《理解している（合計）》は78.2%となっている。

一方、「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は17.9%、「初めて聞いた言葉である」は2.2%となっている。

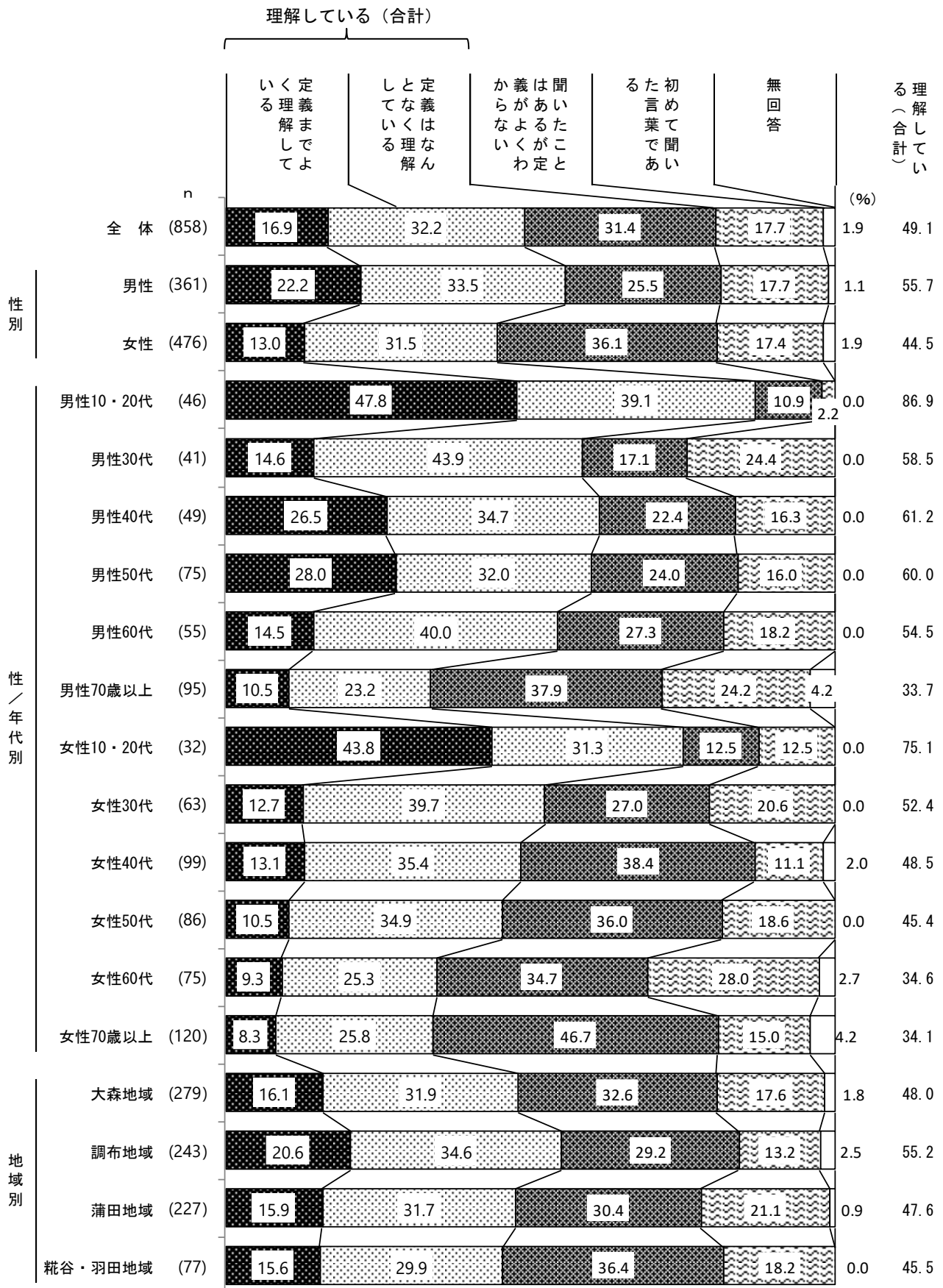
【ユニバーサルデザイン】について聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」が32.2%で最も高くなっている。「定義までよく理解している」(16.9%)と合わせた《理解している（合計）》は49.1%となっている。

一方、「聞いたことはあるが定義がよくわからない」は31.4%、「初めて聞いた言葉である」は17.7%となっている。(図表3-1)

図表3-2 「バリアフリー」の認知度（性別・性/年代別・地域別）



図表3-3 「ユニバーサルデザイン」の認知度（性別・性/年代別・地域別）



【バリアフリー】の認知度について、性別で見ると男女で大きな差異は見られない。

性／年代別で見ると、「定義までよく理解している」は男女ともに10・20代が4割台で他の年代より高くなっている。

地域別では、《理解している（合計）》は調布地域が84.0%となっている。（図表3-2）

【ユニバーサルデザイン】の認知度について、性別で見ると「定義までよく理解している」は男性（22.2%）、女性（13.0%）と、男性が女性を9.2ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「定義までよく理解している」は男女ともに10・20代が4割台と高くなっている。

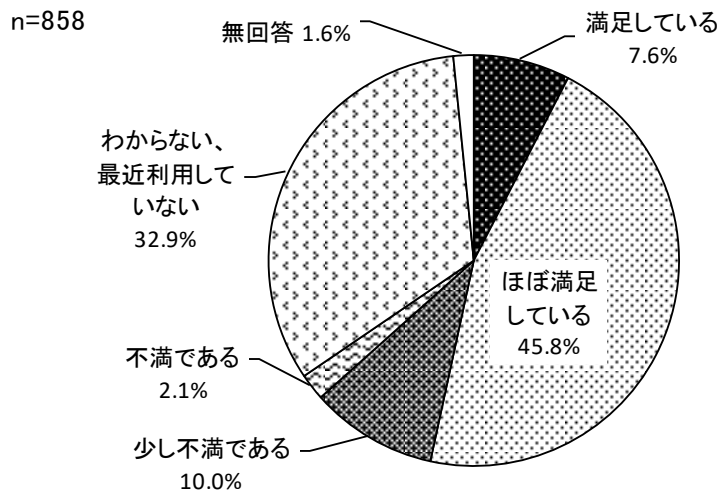
地域別では、《理解している（合計）》は調布地域が55.2%となっている。（図表3-3）

(2) 大田区役所内の案内表示について

◎ 「ほぼ満足している」が4割半ばとなっている

問6 大田区役所（本庁舎、地域庁舎、特別出張所など）を最近利用したときの、案内表示のわかりやすさについて、あなたのご意見に最も近いのはどれですか。（○は1つ）

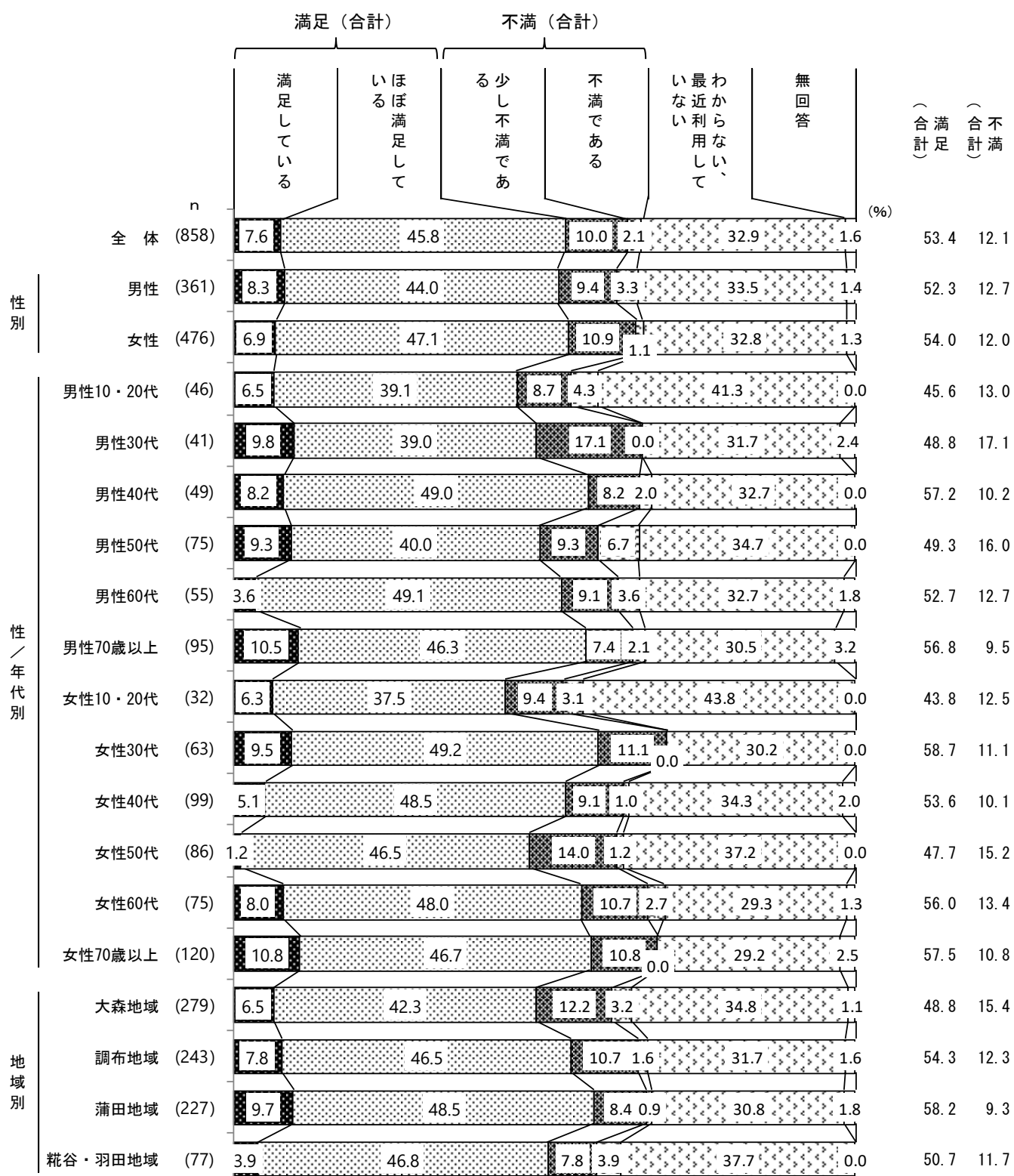
図表3-4 大田区役所内の案内表示について



大田区役所内の案内表示のわかりやすさについて聞いたところ、「ほぼ満足している」が45.8%で最も高くなっている。「満足している」(7.6%)と合わせた《満足(合計)》は53.4%となっている。

一方、「少し不満である」(10.0%)と「不満である」(2.1%)を合わせた《不満(合計)》は12.1%となっている。(図表3-4)

図表 3-5 大田区役所内の案内表示について（性別・性／年代別・地域別）



大田区役所内の案内表示のわかりやすさについて、性別で見ると大きな差異は見られない。

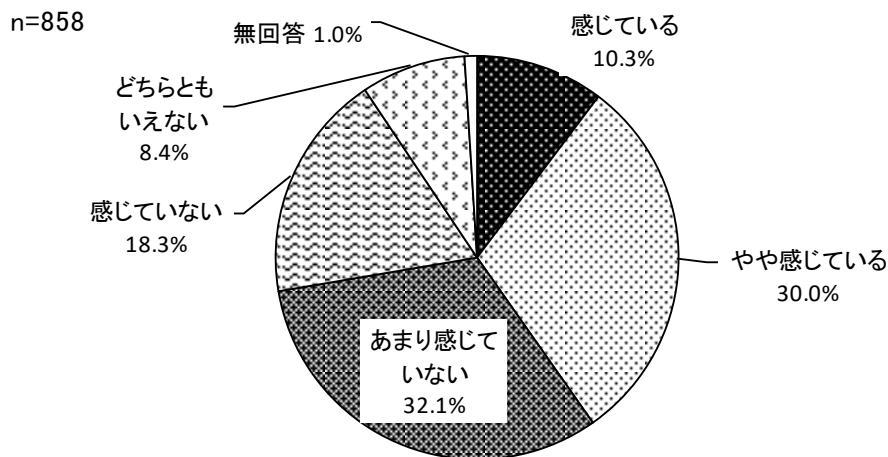
性／年代別で見ると、《満足 (合計)》は男性 40 代、60 代、70 歳以上、女性 30 代、40 代、60 代、70 歳以上で 5 割台となっている。(図表 3-5)

(3) 駅周辺のバリアフリー化について

◎ 「あまり感じていない」が3割前半で最も高くなっている

問7 駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じていますか。(○は1つ)

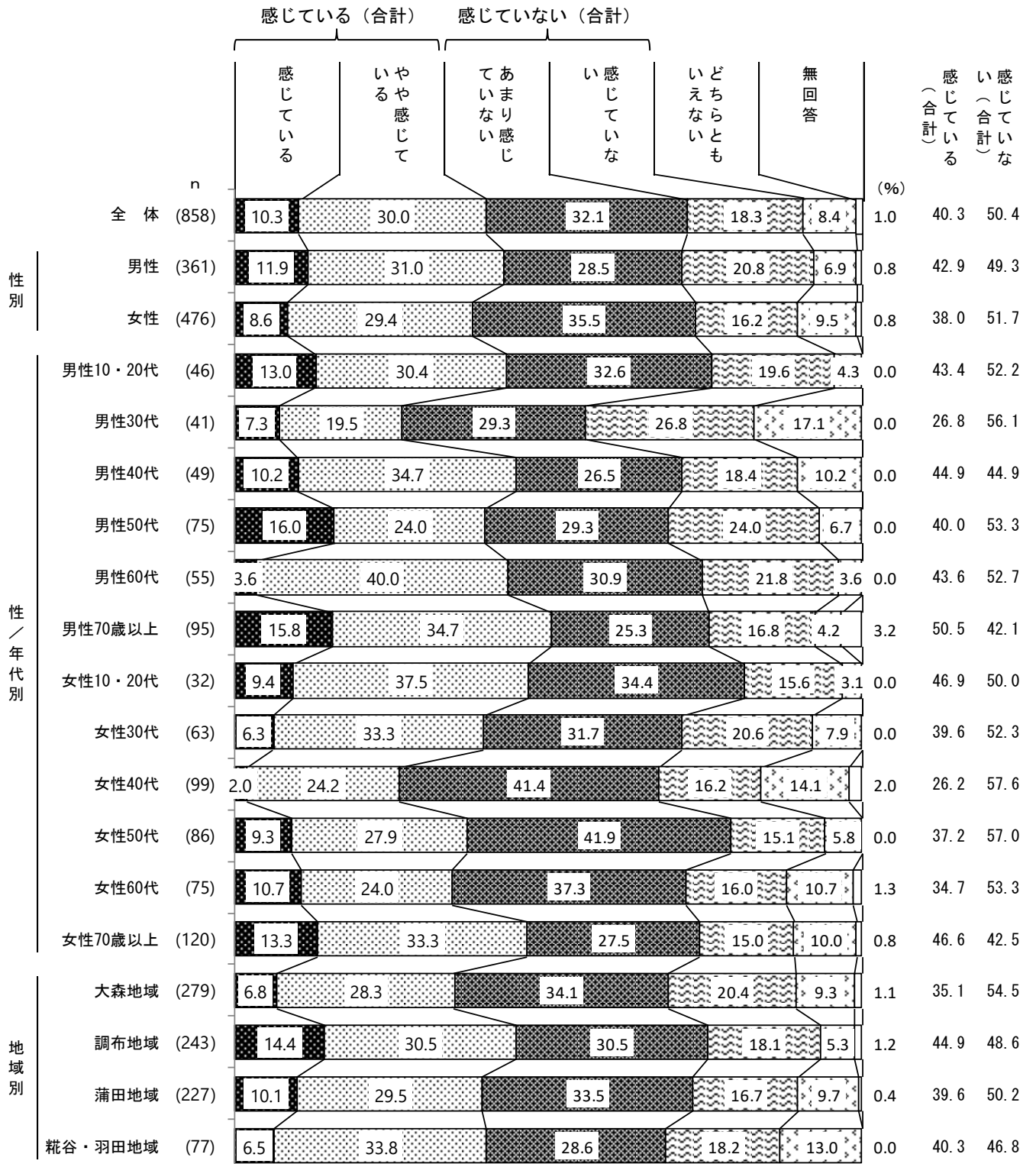
図表3-6 駅周辺のバリアフリー化について



駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じるか聞いたところ、「感じている」(10.3%)と「やや感じている」(30.0%)を合わせた《感じている(合計)》は40.3%となっている。

一方、「あまり感じていない」が32.1%と最も高く、「感じていない」(18.3%)と合わせた《感じていない(合計)》は50.4%となっている。(図表3-6)

図表3-7 駅周辺のバリアフリー化について（性別・性／年代別・地域別）



駅周辺のバリアフリーが進んだと感じるかについて、性別でみると男女で大きな差異は見られない。

性／年代別でみると、《感じている（合計）》は男性30代が26.8%、女性40代が26.2%と他の年代より低くなっている。

地域別では、《感じている（合計）》は調布地域が44.9%となっている。（図表3－7）

(4) 福祉施策等の認知度

◎ 「内容まで知っている」が成年後見制度で約3割

問8 以下の(1)～(5)の制度、計画、施設などをご存知ですか。(○はそれぞれ1つ)

(1) 障害者差別解消法

※障がいのある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながらともに生きる社会づくりを目指して、平成28年4月に施行された法律

(2) 成年後見制度

※認知症、知的障がいなどによって判断能力が不十分な方を法的に保護・支援する制度

(3) おおた子どもの生活応援プラン

※大田区の子どもの貧困対策に関する計画

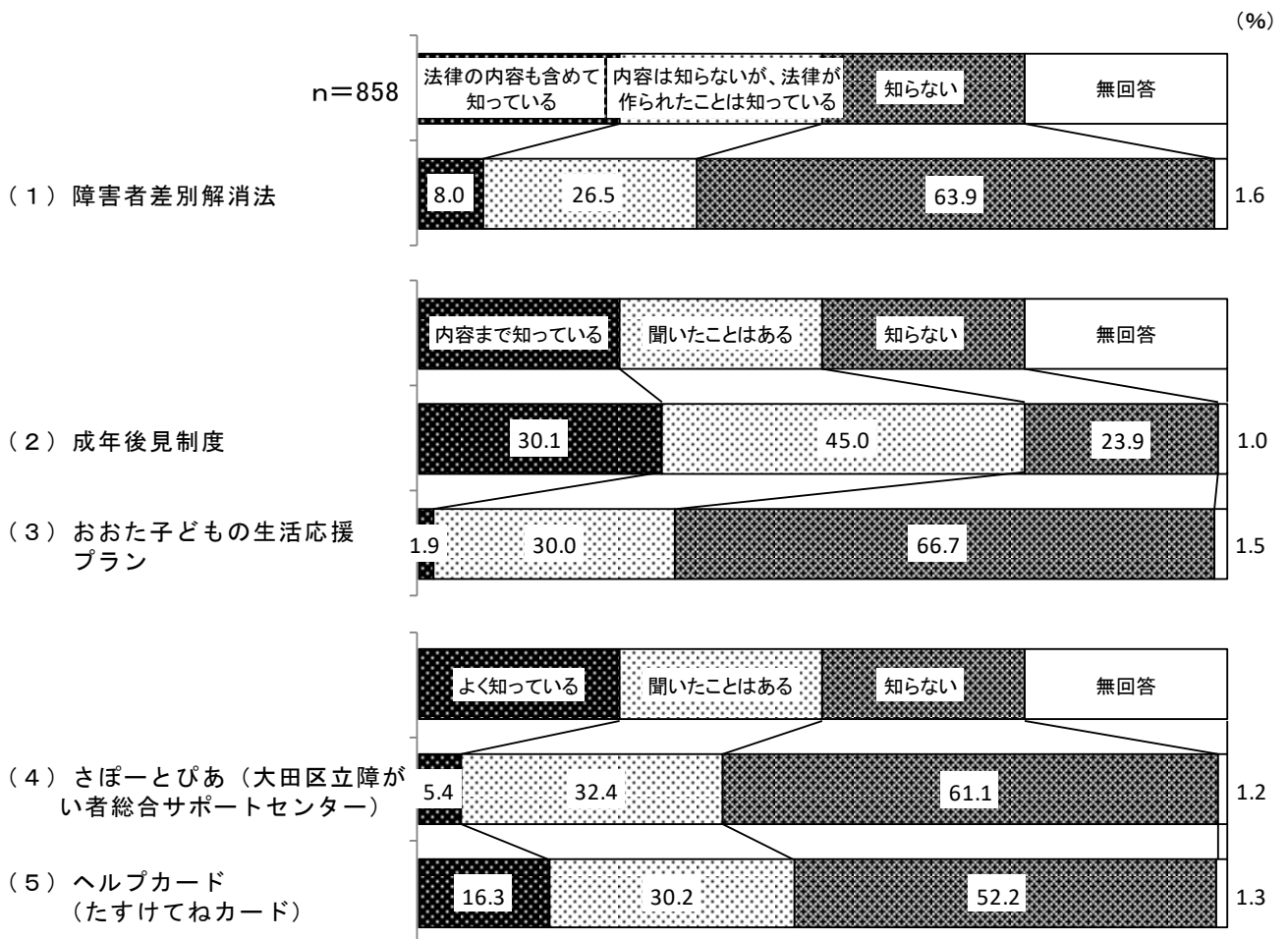
(4) さぽーとぴあ(大田区立障がい者総合サポートセンター)

※障がいのある方の暮らしを総合的にサポートする施設

(5) ヘルプカード(たすけてねカード)

※障がいのある方などが災害時や日常の外出先での緊急時に手助けを求めるためのカード(大田区が作成)

図表3-8 福祉施策等の認知度



【障害者差別解消法】を知っているか聞いたところ、「法律の内容も含めて知っている」が8.0%、「内容は知らないが、法律が作られたことは知っている」が26.5%、「知らない」が63.9%となっている。

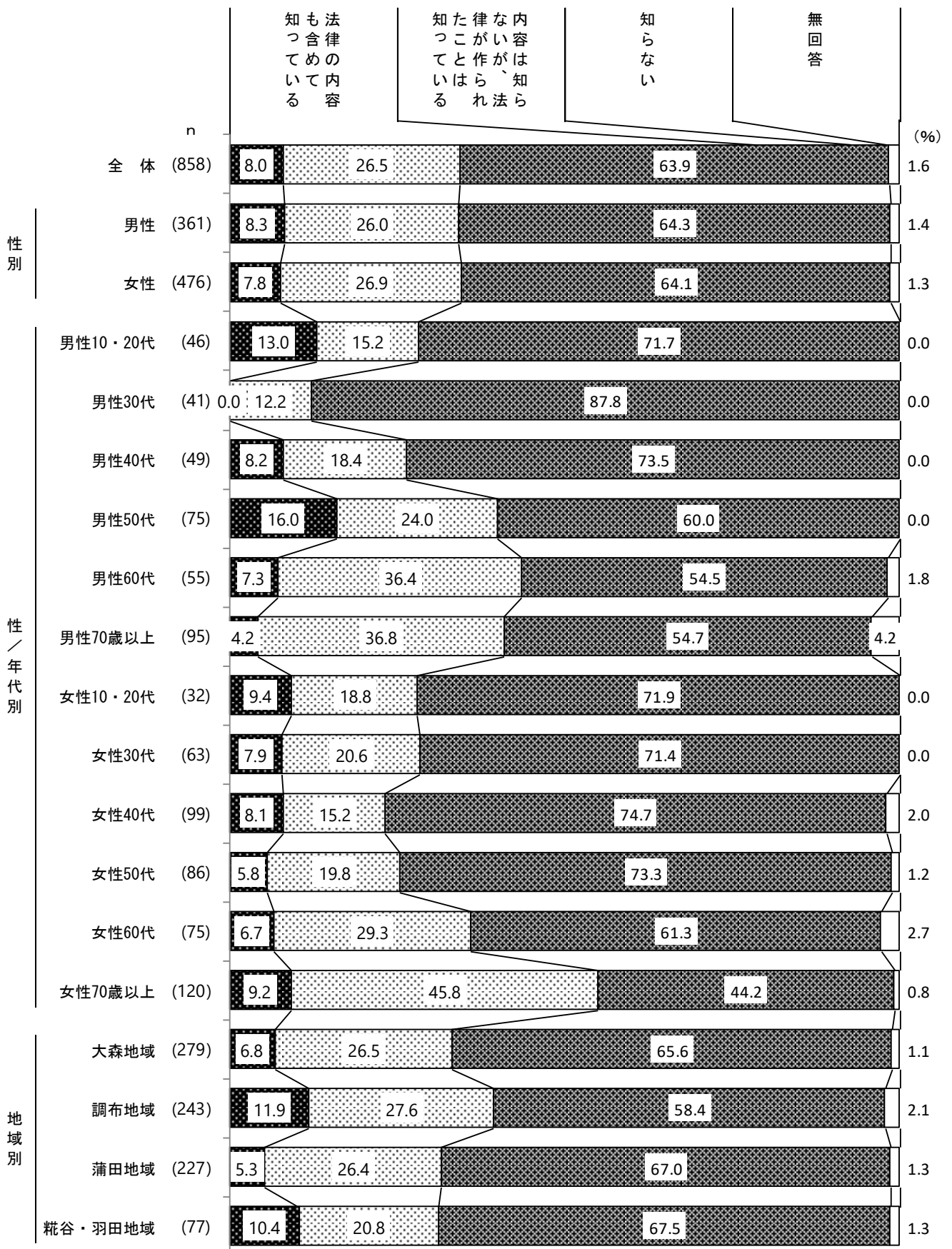
【成年後見制度】を知っているか聞いたところ、「内容まで知っている」が30.1%、「聞いたことはある」が45.0%、「知らない」が23.9%となっている。

【おおた子どもの生活応援プラン】を知っているか聞いたところ、「内容まで知っている」が1.9%、「聞いたことはある」が30.0%、「知らない」が66.7%となっている。

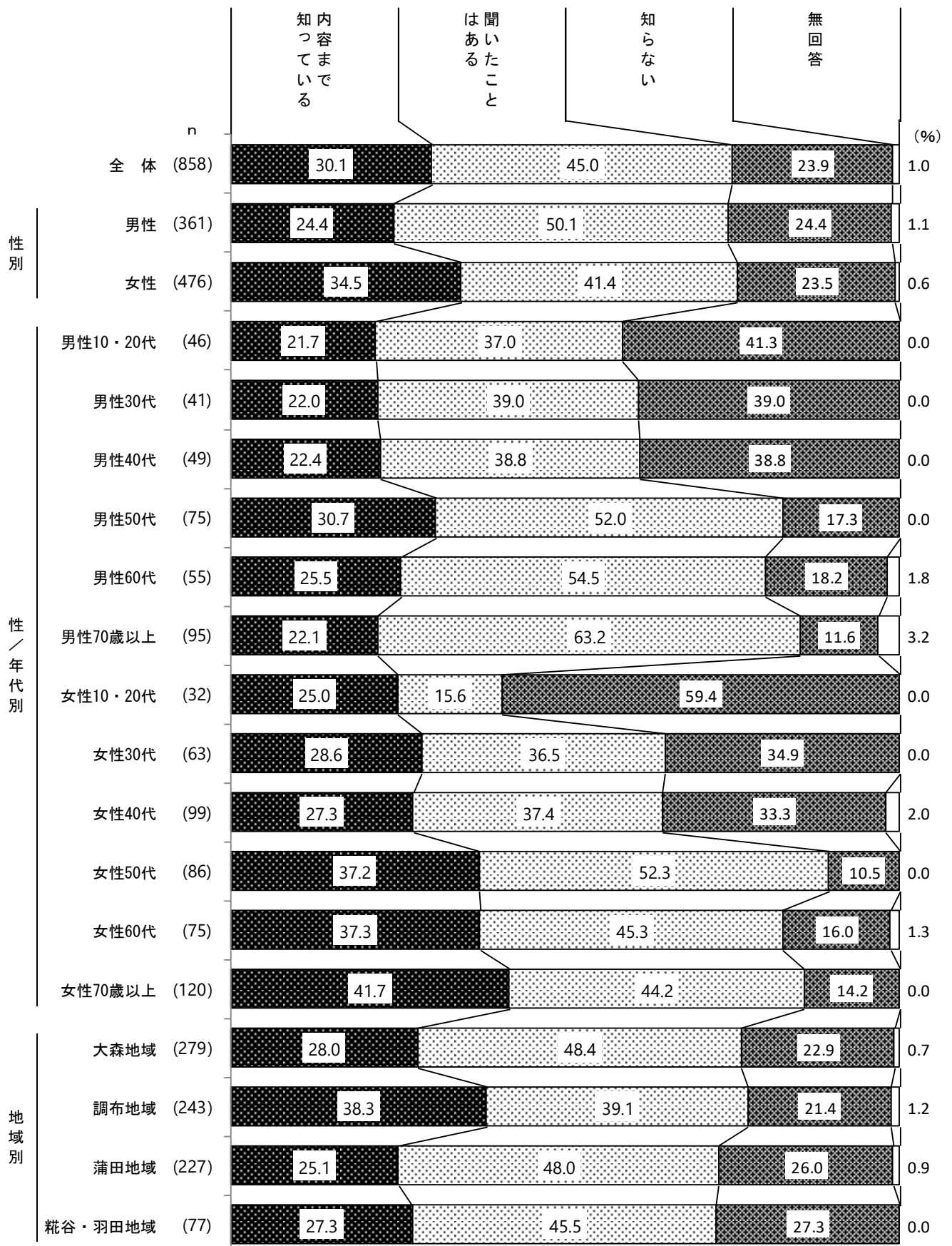
【さぽーとぴあ（大田区立障がい者総合サポートセンター）】を知っているか聞いたところ、「よく知っている」が5.4%、「聞いたことはある」が32.4%、「知らない」が61.1%となっている。

【ヘルプカード（たすけてねカード）】を知っているか聞いたところ、「よく知っている」が16.3%、「聞いたことはある」が30.2%、「知らない」が52.2%となっている。（図表3-8）

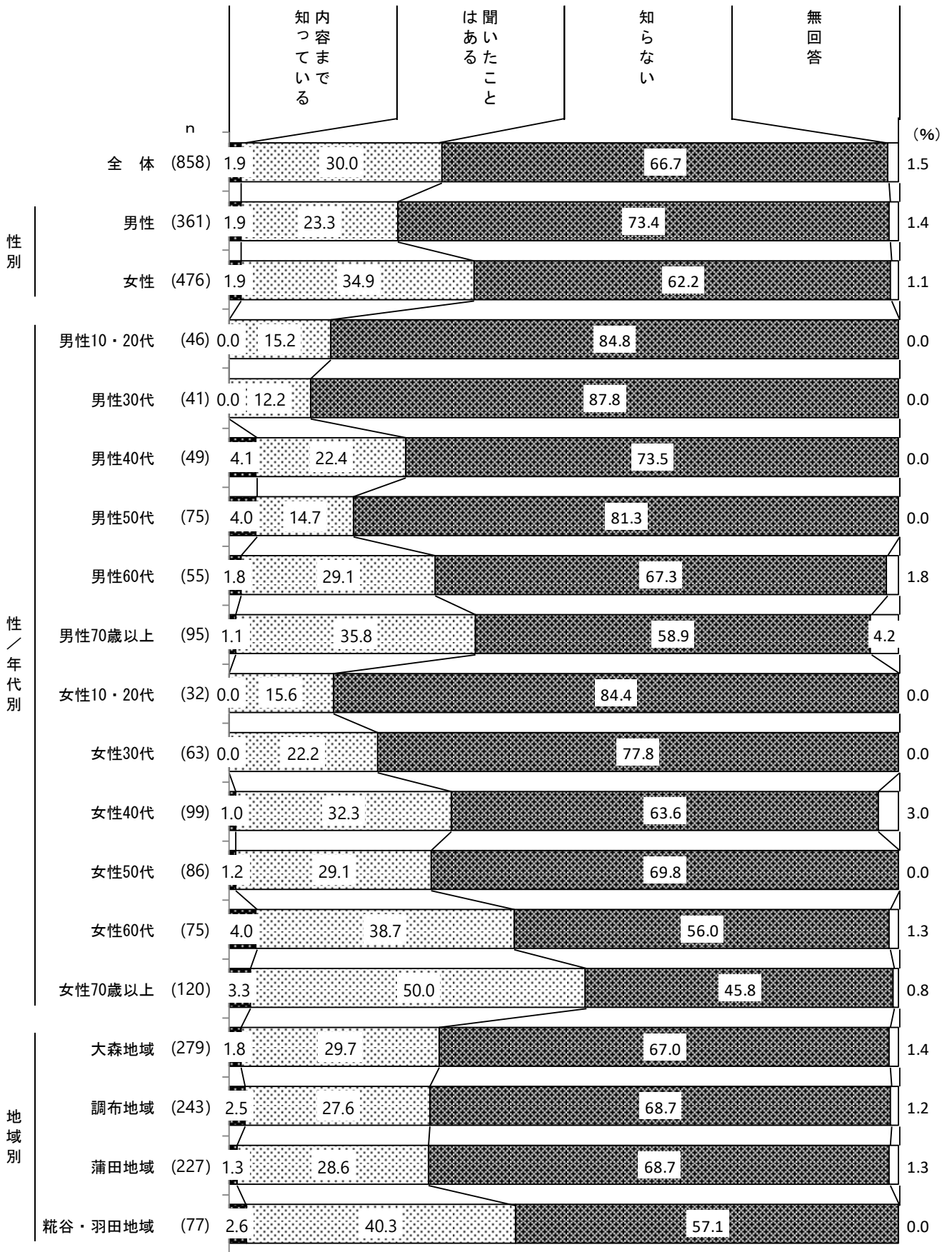
図表3-9 障害者差別解消法の認知度（性別・性/年代別・地域別）



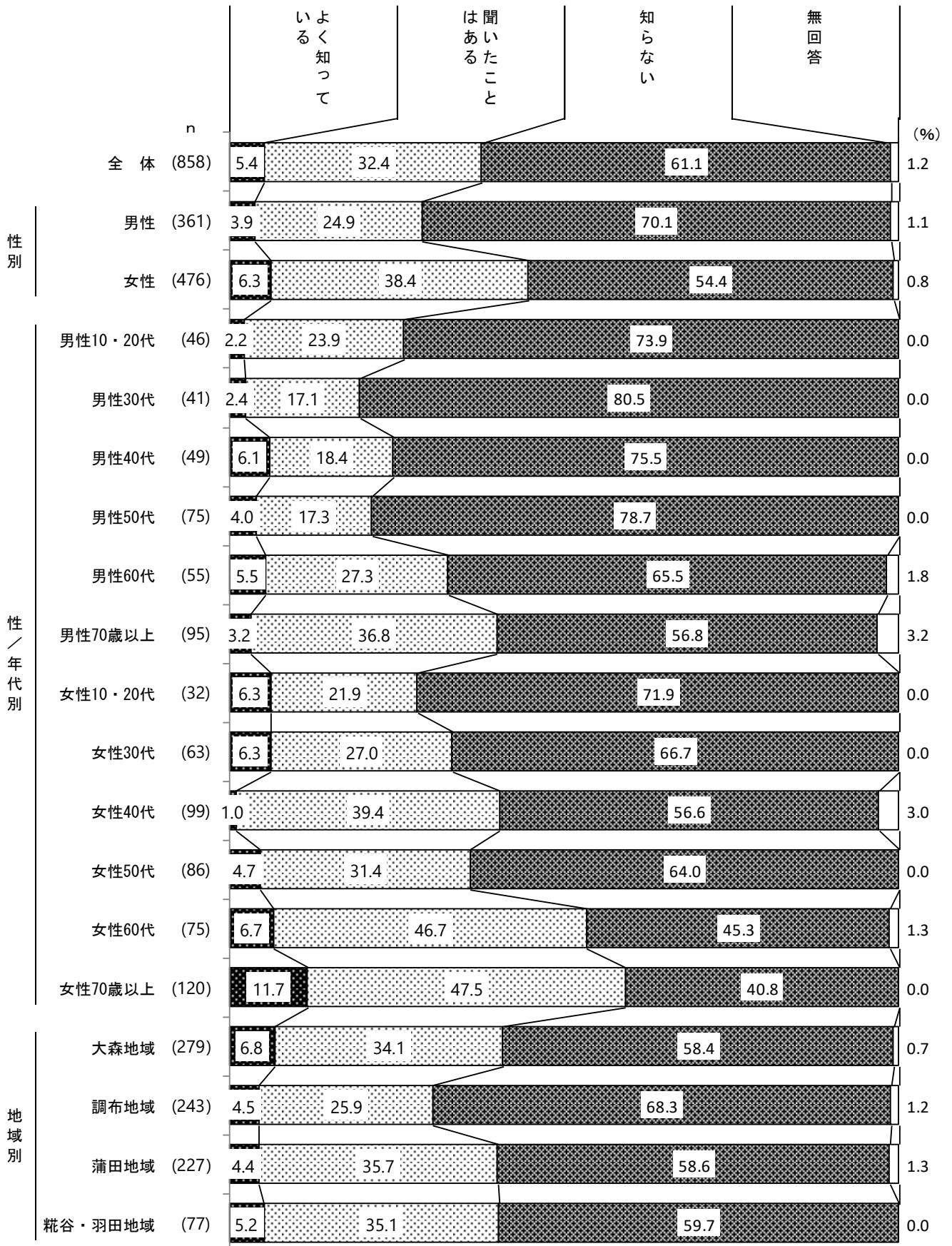
図表3-10 成年後見制度の認知度（性別・性／年代別・地域別）



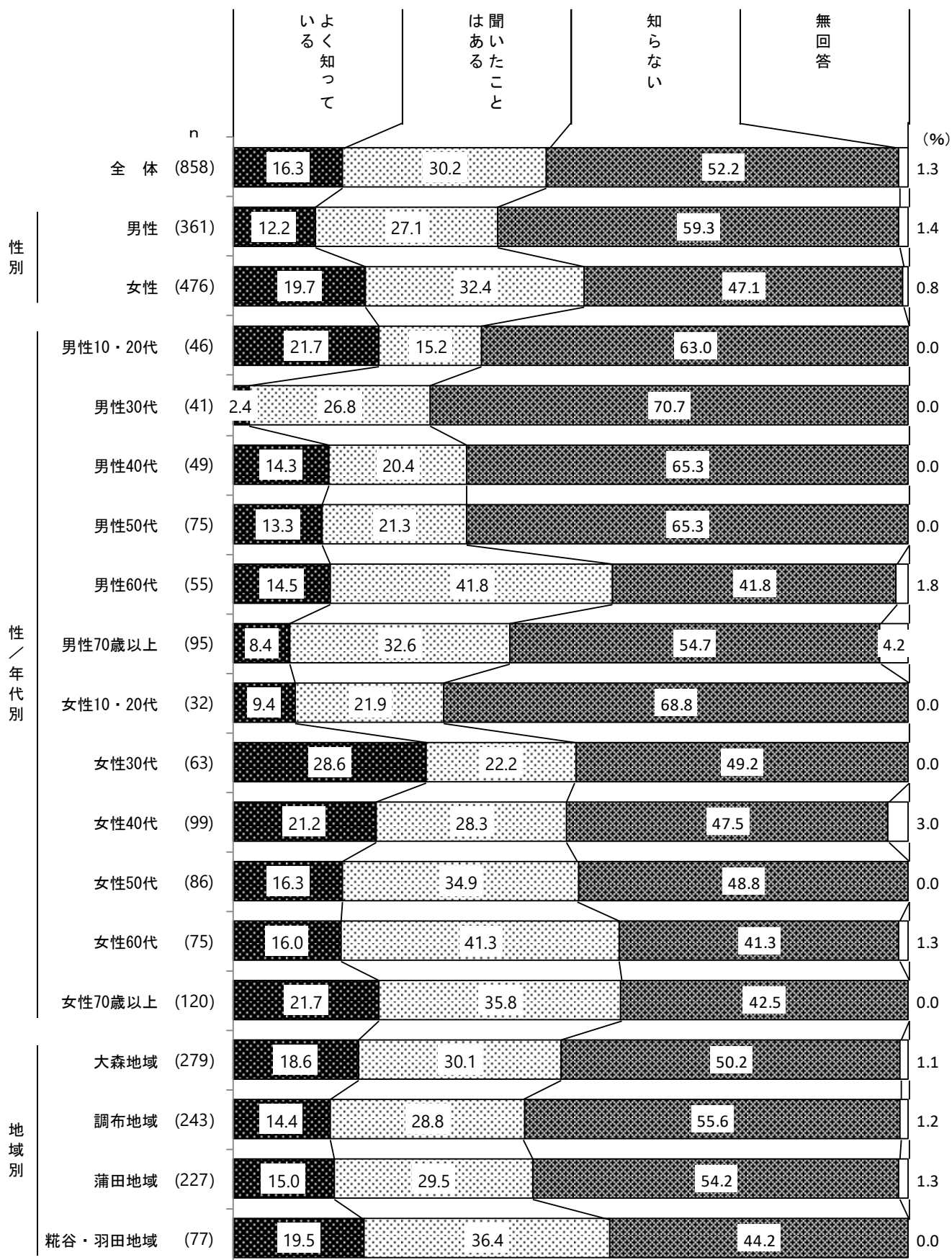
図表3-11 おおた子どもの生活応援プランの認知度（性別・性／年代別・地域別）



図表3-12 さぽーとぴあの認知度（性別・性／年代別・地域別）



図表3-13 ヘルプカード（たすけてねカード）の認知度（性別・性／年代別・地域別）



【障害者差別解消法】の認知度について、性別で見ると大きな差異は見られない。
性／年代別で見ると、「法律の内容も含めて知っている」は男性 50 代が 16.0%で他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「知らない」は調布地域が 5 割後半となっている。(図表 3-9)

【成年後見制度】の認知度について、性別で見ると「内容まで知っている」は男性 (24.4%)、女性 (34.5%) と、女性が男性を 10.1 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「内容まで知っている」は女性 70 歳以上が 4 割台、女性 50 代、60 代が 3 割後半と高くなっている。

地域別で見ると、「知っている」は調布地域が 38.3%となっている。(図表 3-10)

【おおた子どもの生活応援プラン】の認知度について、性別で見ると「聞いたことはある」は男性 (23.3%)、女性 (34.9%) と、女性が男性を 11.6 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「聞いたことはある」は女性 70 歳以上で 50.0%と他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「聞いたことはある」は糀谷・羽田地域が 40.3%となっている。(図表 3-11)

【さぽーとぴあ(大田区立障がい者総合サポートセンター)】の認知度について、性別で見ると「聞いたことはある」は男性 (24.9%)、女性 (38.4%) と、女性が男性を 13.5 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「聞いたことはある」は女性 60 代、70 歳以上で 4 割台と他の年代より高くなっている。(図表 3-12)

【ヘルプカード(たすけてねカード)】の認知度について、性別で見ると「よく知っている」は男性 (12.2%)、女性 (19.7%) と、女性が男性を 7.5 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「よく知っている」は女性 30 代が 28.6%と他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「知らない」は糀谷・羽田地域で 44.2%となっている。(図表 3-13)

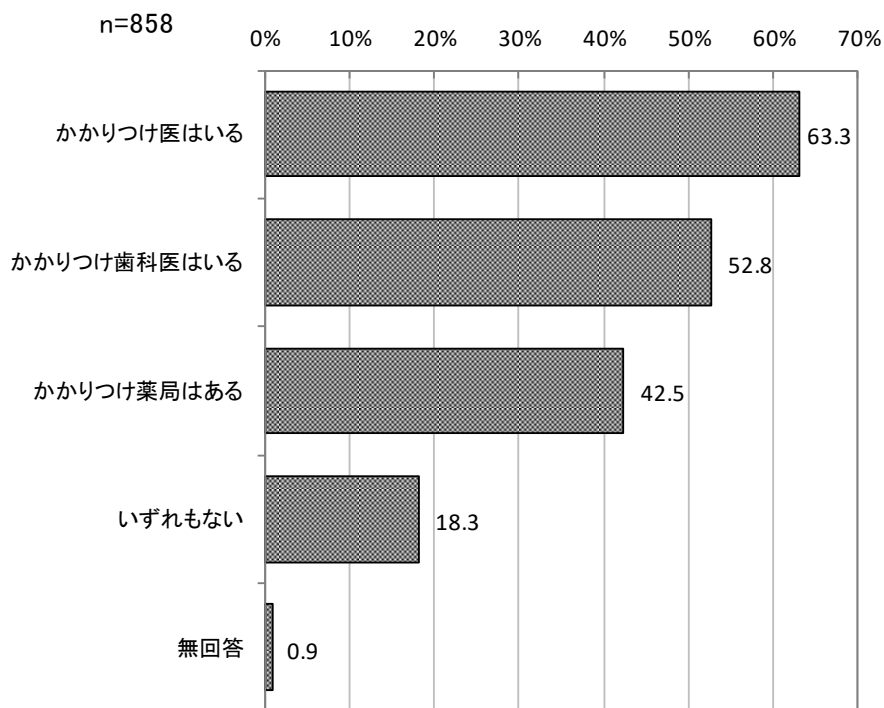
4 通院・喫煙について

(1) かかりつけの医療機関について

◎ 「かかりつけ医はいる」が6割前半で最も高くなっている

問9 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(〇はいくつでも)

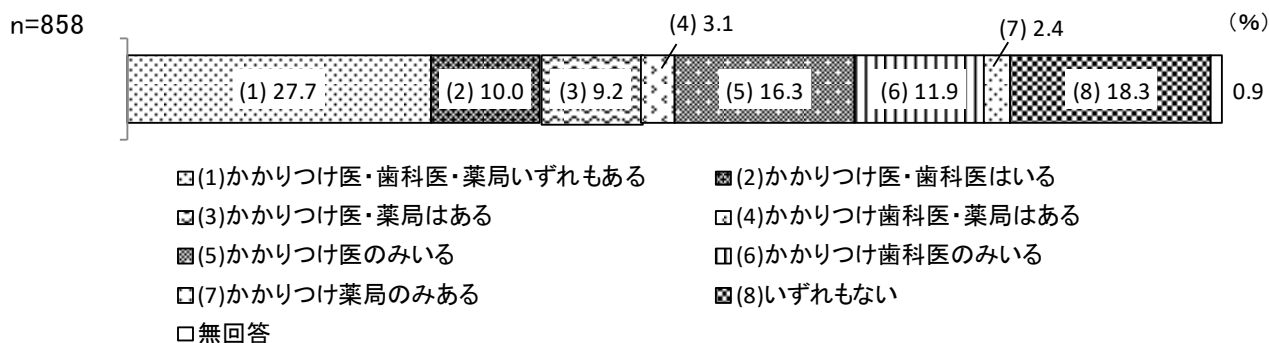
図表4-1 かかりつけ医療機関について



かかりつけの医療機関があるか聞いたところ、「かかりつけ医はいる」が63.3%で最も高く、次いで、「かかりつけ歯科医はいる」(52.8%)、「かかりつけ薬局はある」(42.5%)となっている。

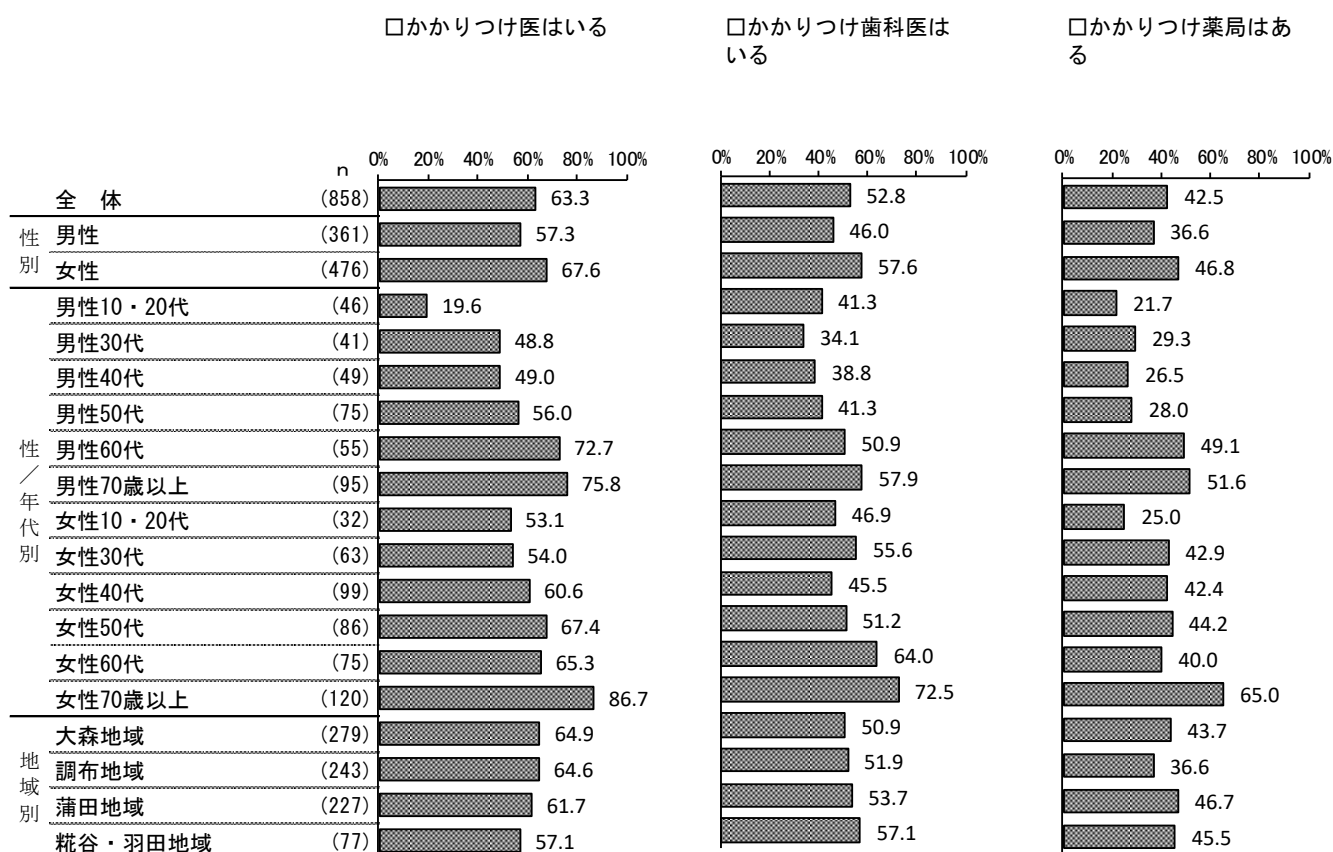
一方、「いずれもない」が18.3%となっている。(図表4-1)

図表4-2 かかりつけ医療機関について



また、「かかりつけ医・歯科医・薬局いずれもある」人(「かかりつけ医はいる」「かかりつけ歯科医はいる」「かかりつけ薬局はある」3つとも回答した人)は27.7%、「かかりつけ医のみいる」人(「かかりつけ医はいる」のみ回答した人)は16.3%となっている。(図表4-2)

図表 4-3 かかりつけ医療機関について（性別・性／年代別・地域別）



かかりつけ医療機関について、性別で見ると「かかりつけ医はいる」は男性(57.3%)、女性(67.6%)、「かかりつけ歯科医はいる」は男性(46.0%)、女性(57.6%)、「かかりつけ薬局はある」は男性(36.6%)、女性(46.8%)と、それぞれ女性が男性を10.3ポイント、11.6ポイント、10.2ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「かかりつけ医はいる」は女性70歳以上が8割台、男性60代、70歳以上が7割台で他の年代より高くなっている。「かかりつけ歯科医はいる」は女性70歳以上が72.5%と他の年代より高く、全ての年代で女性が男性を上回っている。「かかりつけ薬局はある」は女性70歳以上が6割半ば、男性60代、70歳以上が約5割で他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「かかりつけ医はいる」は大森地域、調布地域、蒲田地域が6割台、糀谷・羽田地域が5割後半となっている。(図表4-3)

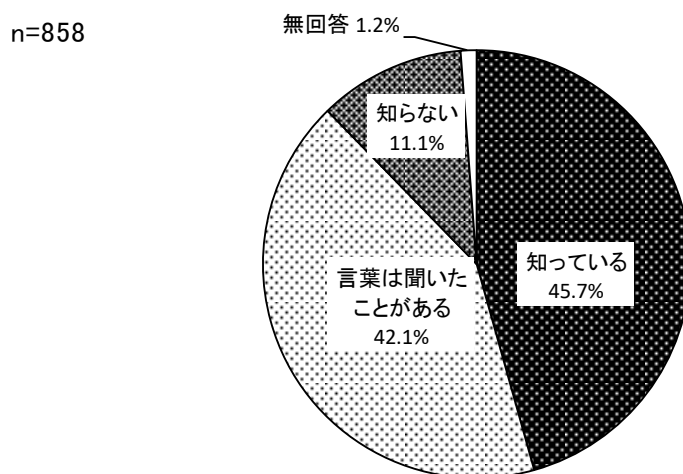
(2) 「在宅医療」の認知度

◎ 「知っている」が4割半ばとなっている

問10 「在宅医療」の制度や仕組みについて知っていますか。(○は1つ)

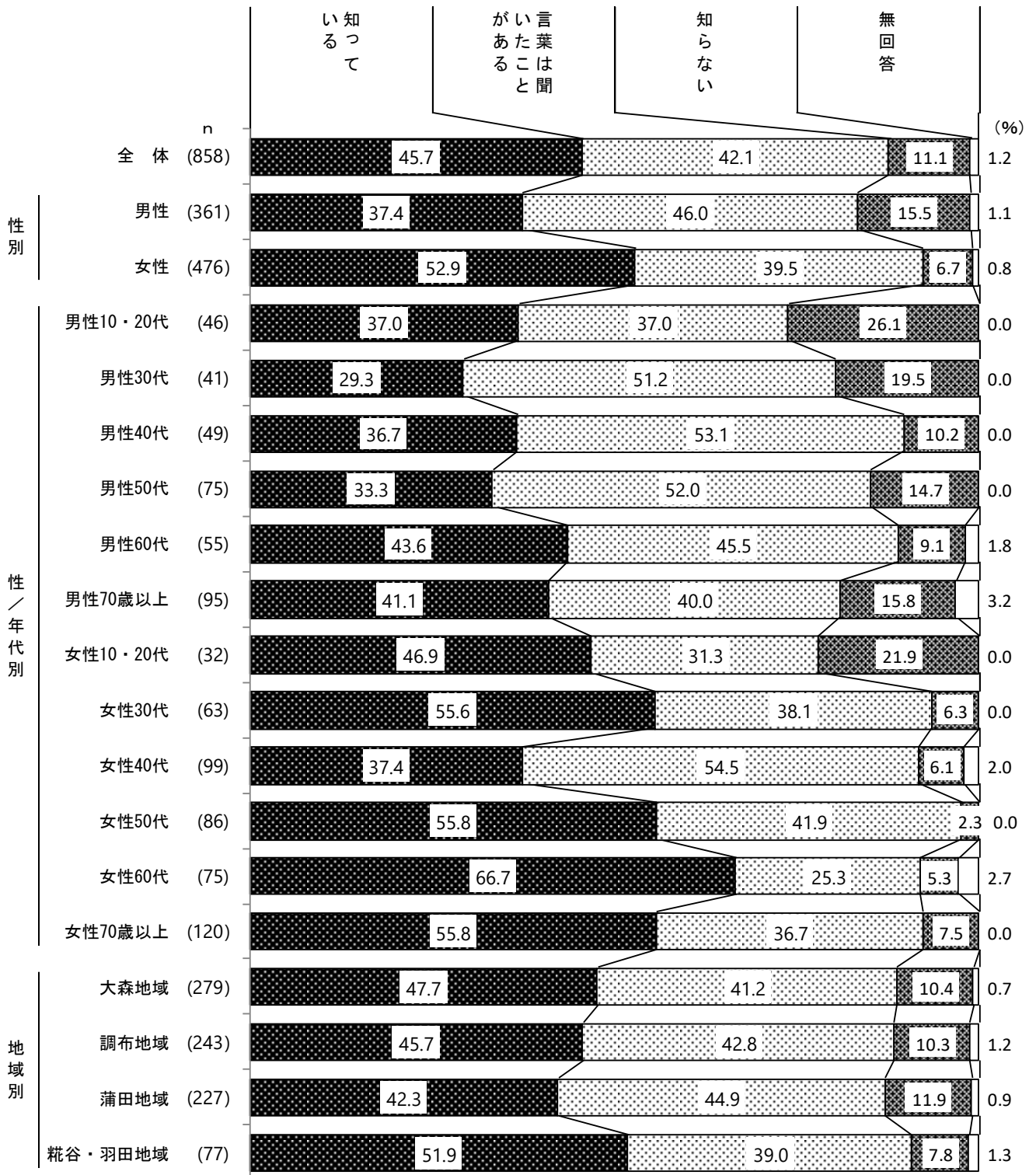
※在宅医療とは、自宅等において、医師の往診や治療、訪問看護などの医療サービスを受けながら、療養生活を送ること。

図表4-4 「在宅医療」の認知度



「在宅医療」の制度や仕組みを知っているか聞いたところ、「知っている」が45.7%、「言葉は聞いたことがある」が42.1%、「知らない」が11.1%となっている。(図表4-4)

図表 4-5 「在宅医療」の認知度（性別・性／年代別・地域別）



「在宅医療」の制度や仕組みを知っているかについて、性別で見ると「知っている」は男性(37.4%)、女性(52.9%)と、女性が男性を15.5ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「知っている」は女性60代が66.7%、女性30代、50代、70歳以上が5割半ばで、全ての年代で女性が男性を上回っている。

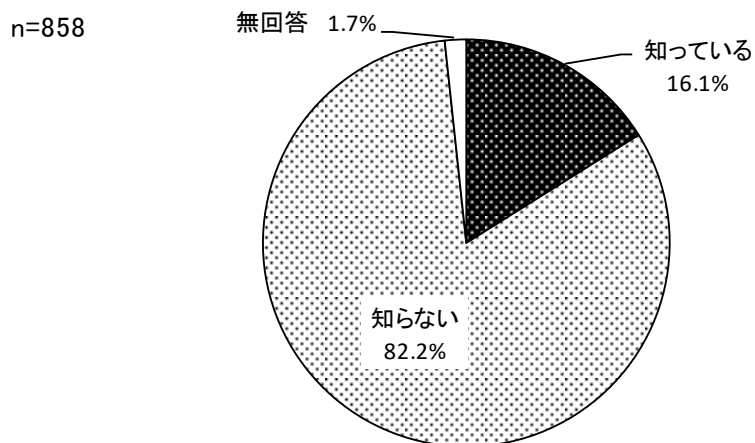
地域別で見ると、大きな差異は見られなかった。(図表4-5)

(3) 緊急医療救護所及び軽症者救護所の認知度

◎ 「知っている」は1割半ばとなっている

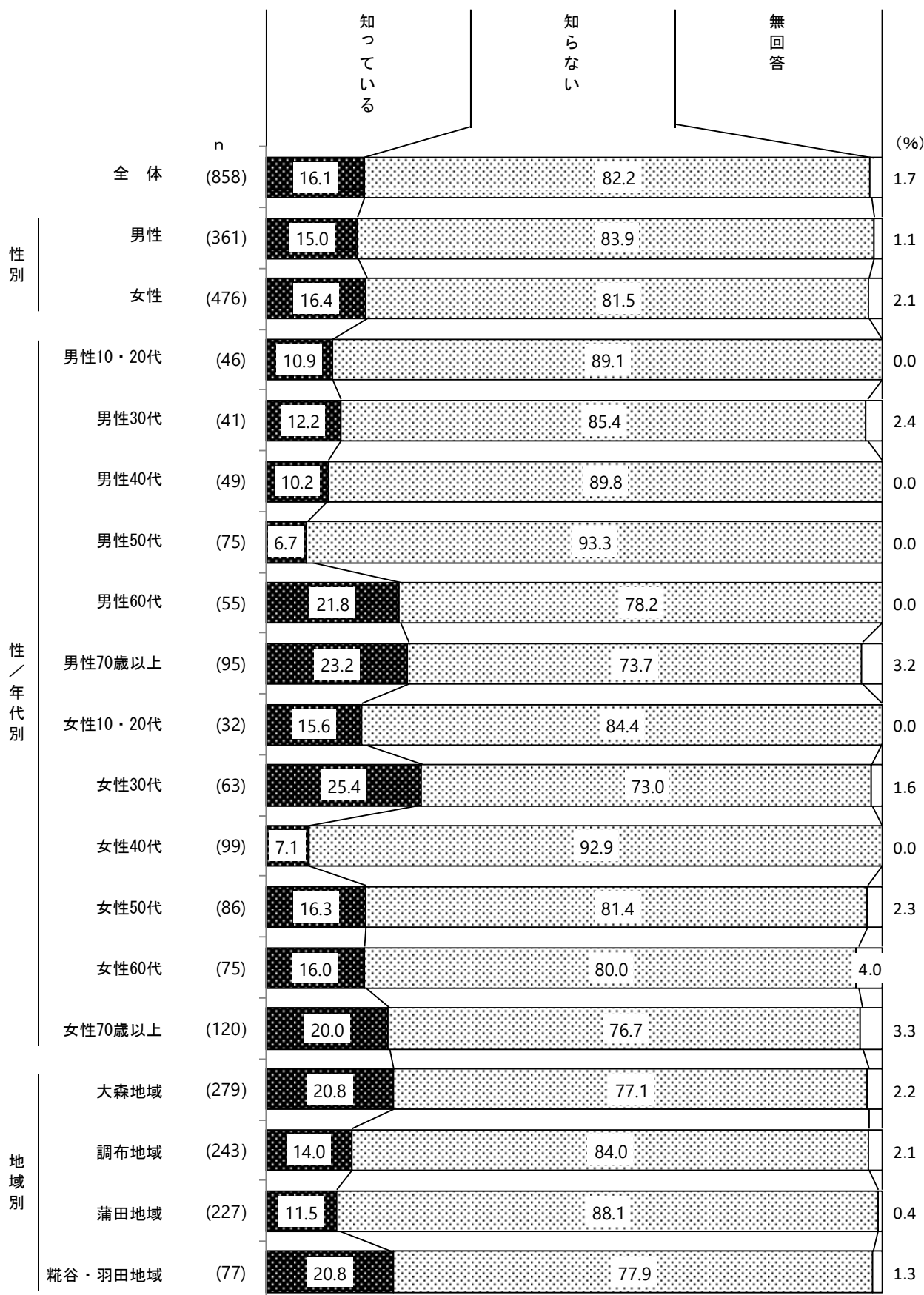
問 11 区内で震度6弱以上の大地震が発生し、ライフラインが停止した場合、診療所等は休診し、緊急医療救護所及び軽症者救護所を開設することになっています。ご存じですか。
(○は1つ)

図表 4-6 緊急医療救護所及び軽症者救護所の認知度



緊急医療救護所及び軽症者救護所について知っているか聞いたところ、「知っている」が16.1%、「知らない」が82.2%となっている。(図表4-6)

図表4-7 緊急医療救護所及び軽症者救護所の認知度（性別・性／年代別・地域別）



緊急医療救護所及び軽症者救護所の認知度について、性別でみると男女で大きな差異は見られない。

性／年代別でみると、「知っている」は男性では70歳以上が23.2%、女性では30代が25.4%でそれぞれ最も高くなっている。

地域別でみると、「知っている」は大森地域、糀谷・羽田地域で約2割となっている。

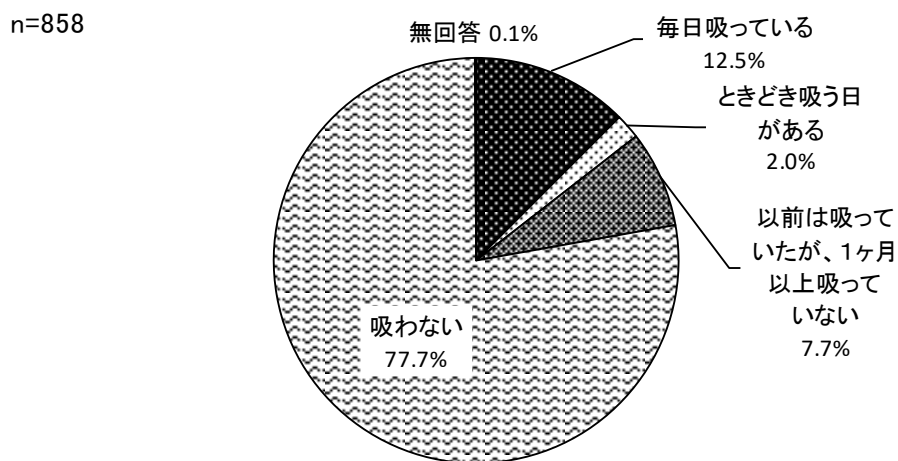
(図表4-7)

(4) 喫煙について

◎ 「吸わない」が7割後半となっている

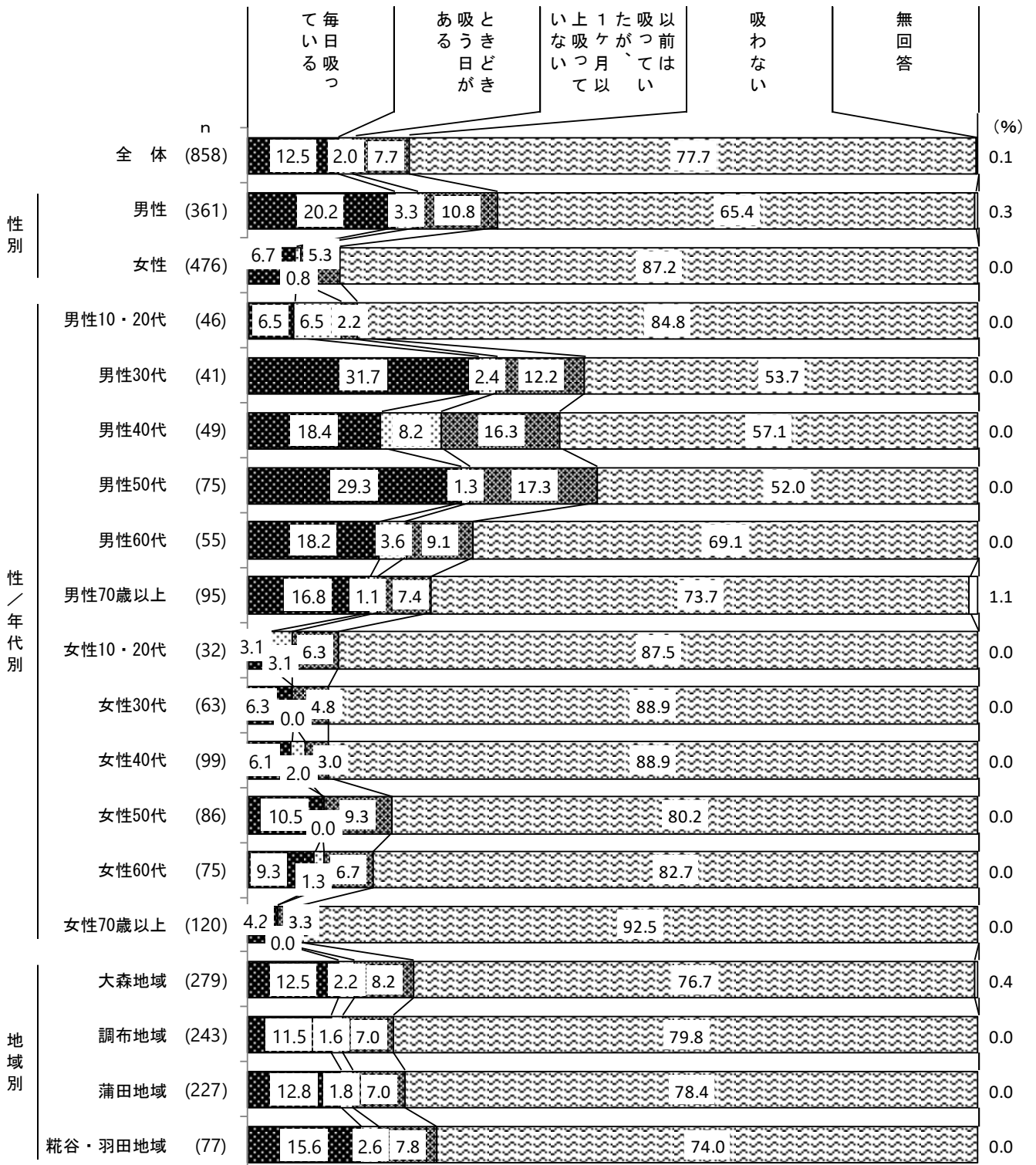
問12 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つ)

図表4-8 喫煙について



たばこを吸うか聞いたところ、「毎日吸っている」が12.5%、「ときどき吸う日がある」が2.0%、「以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない」が7.7%、「吸わない」が77.7%となっている。(図表4-8)

図表 4-9 喫煙について（性別・性／年代別・地域別）



喫煙について、性別で見ると「毎日吸っている」は男性（20.2%）、女性（6.7%）と、男性が女性を13.5ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「毎日吸っている」は男性30代が31.7%で最も高く、全ての年代で男性が女性を上回っている。

地域別で見ると、大きな差異は見られない。（図表4-9）

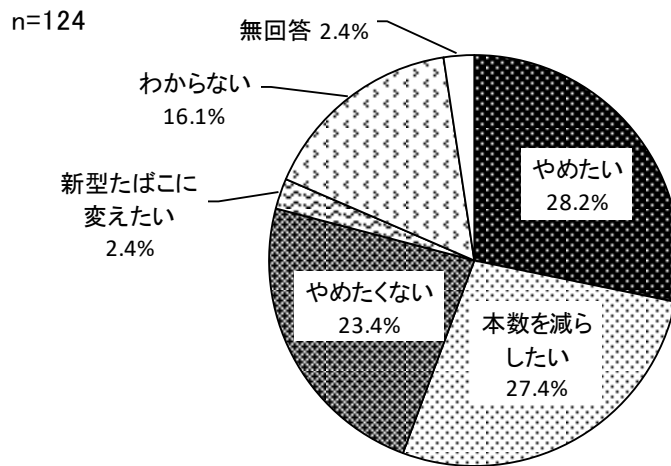
(5) 禁煙願望の有無

◎ 「やめたい」が2割後半となっている

【問12で「1. 毎日吸っている」または「2. ときどき吸う日がある」と回答された方】

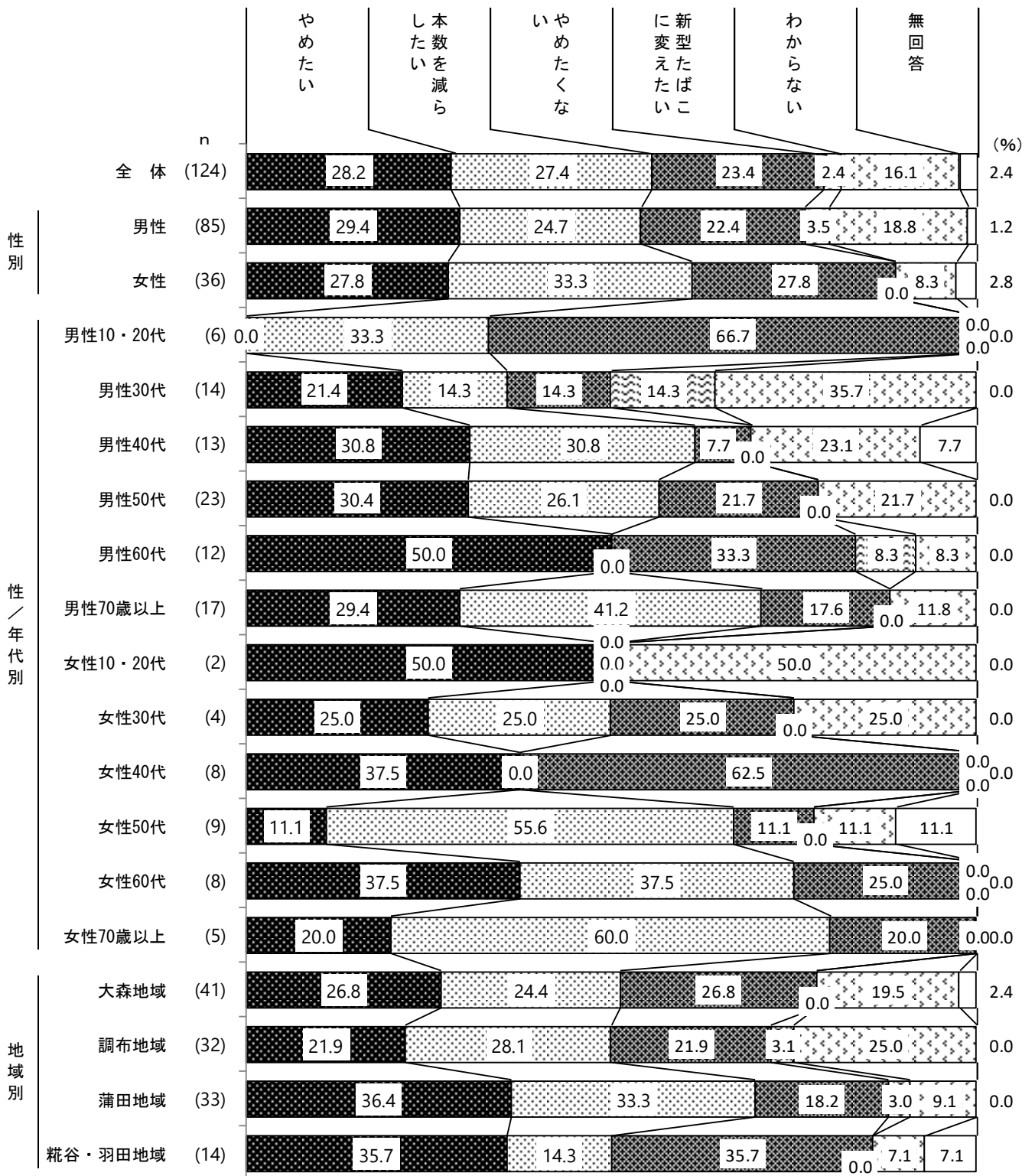
問12-1 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。(○は1つ)

図表4-10 禁煙願望の有無



たばこを吸う人に、たばこをやめたいと思うか聞いたところ、「やめたい」が28.2%、「本数を減らしたい」が27.4%、「やめたくない」が23.4%となっている。(図表4-10)

図表4-11 禁煙願望の有無（性別・性／年代別・地域別）



禁煙願望の有無について、性別でみると「本数を減らしたい」は男性（24.7%）、女性（33.3%）と、女性が男性を8.6ポイント上回っている。

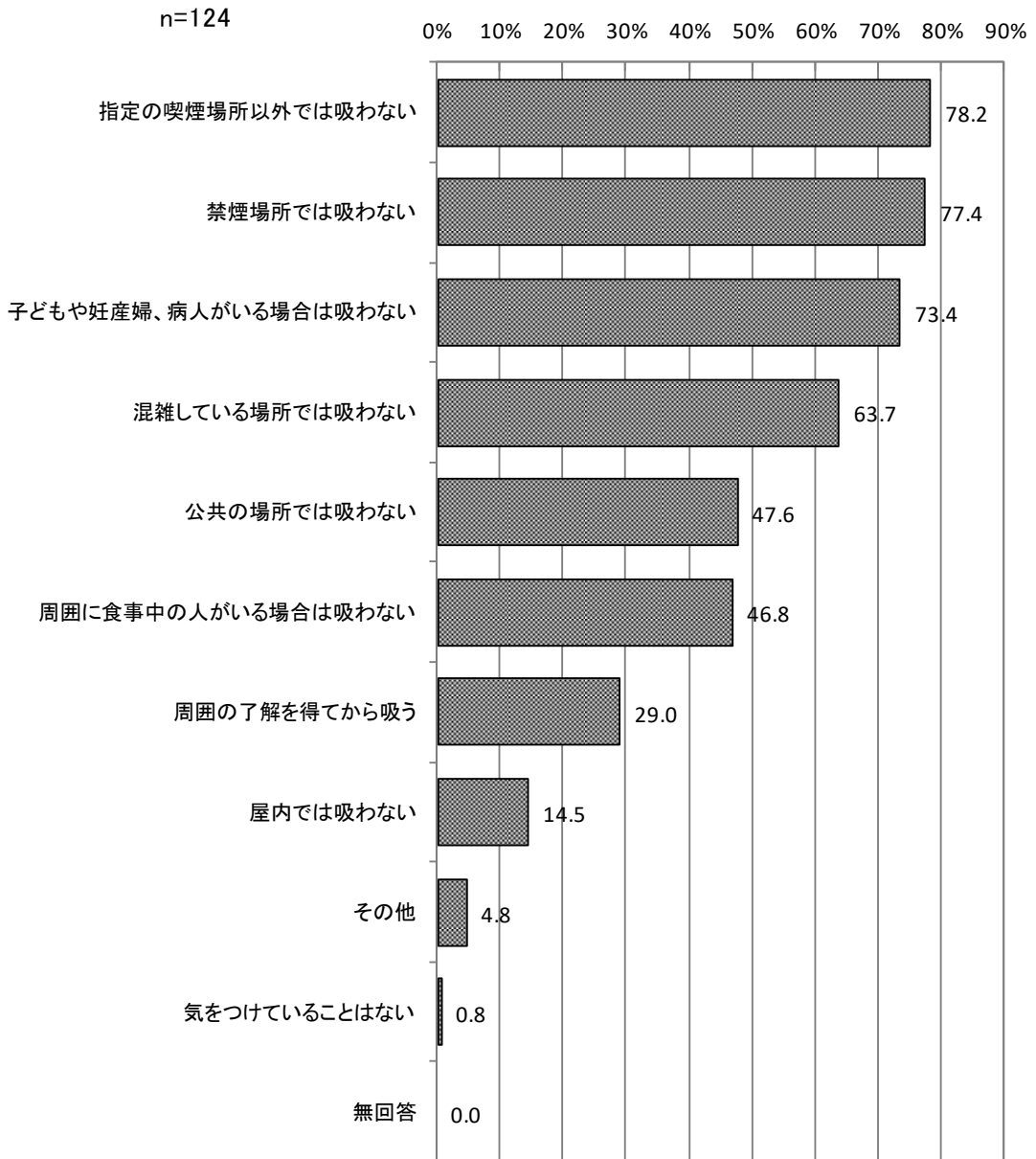
地域別でみると、蒲田地域は「やめたい」が36.4%、「本数を減らしたい」が33.3%となっている。（図表4-11）

(6) 喫煙時に注意していることについて

◎ 「指定の喫煙場所以外では吸わない」、「禁煙場所では吸わない」が7割後半

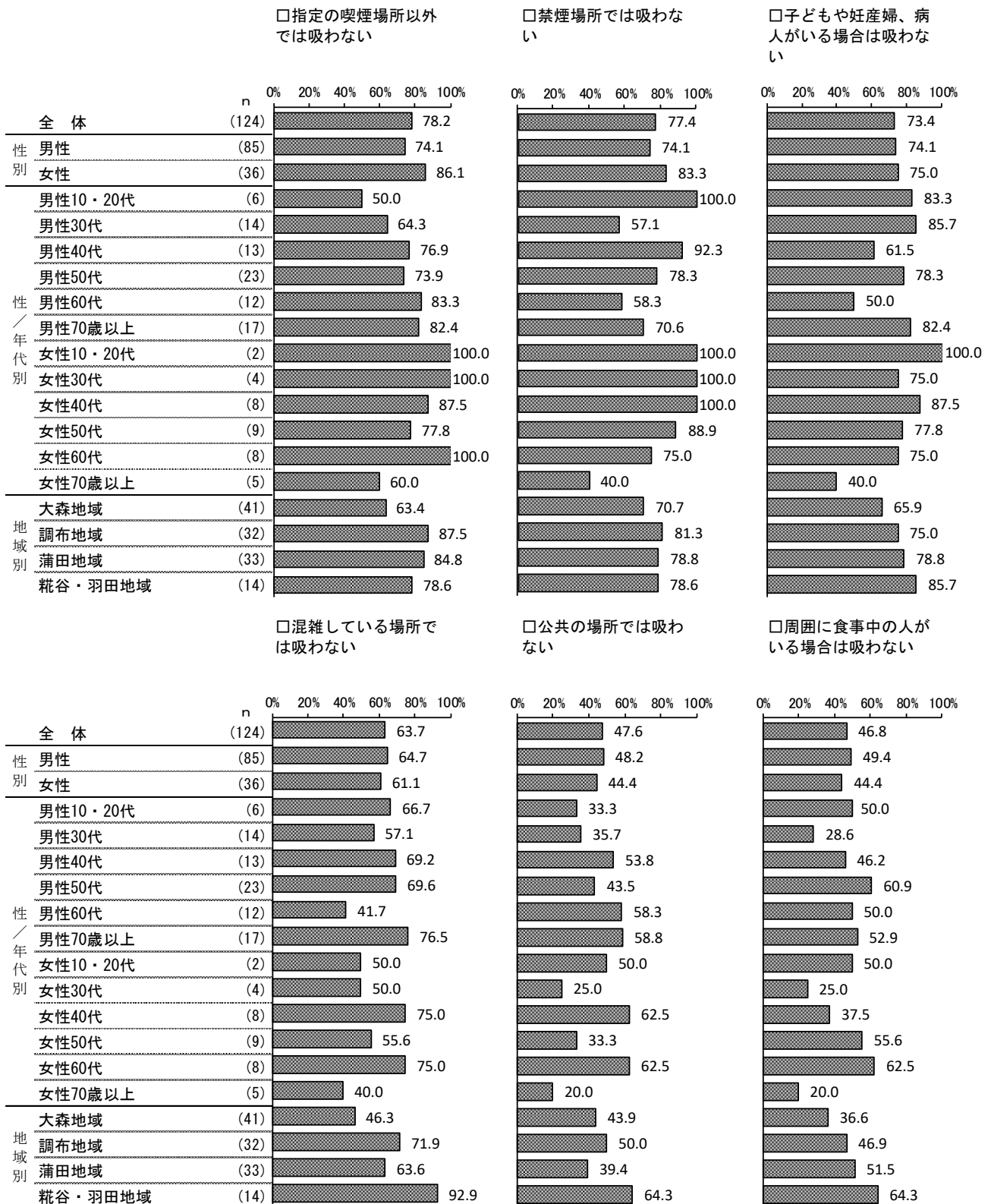
【問 12 で「1. 毎日吸っている」または「2. ときどき吸う日がある」と回答された方】
問 12-2 たばこを吸うときに気をつけていることはありますか。(〇はいくつでも)

図表 4-12 喫煙時に注意していることについて



たばこを吸う人に、気をつけていることを聞いたところ、「指定の喫煙場所以外では吸わない」が78.2%で最も高く、次いで、「禁煙場所では吸わない」(77.4%)、「子どもや妊産婦、病人がいる場所では吸わない」(73.4%)となっている。(図表 4-12)

図表 4-13 喫煙時に注意していることについて（性別・性／年代別・地域別 上位6項目）



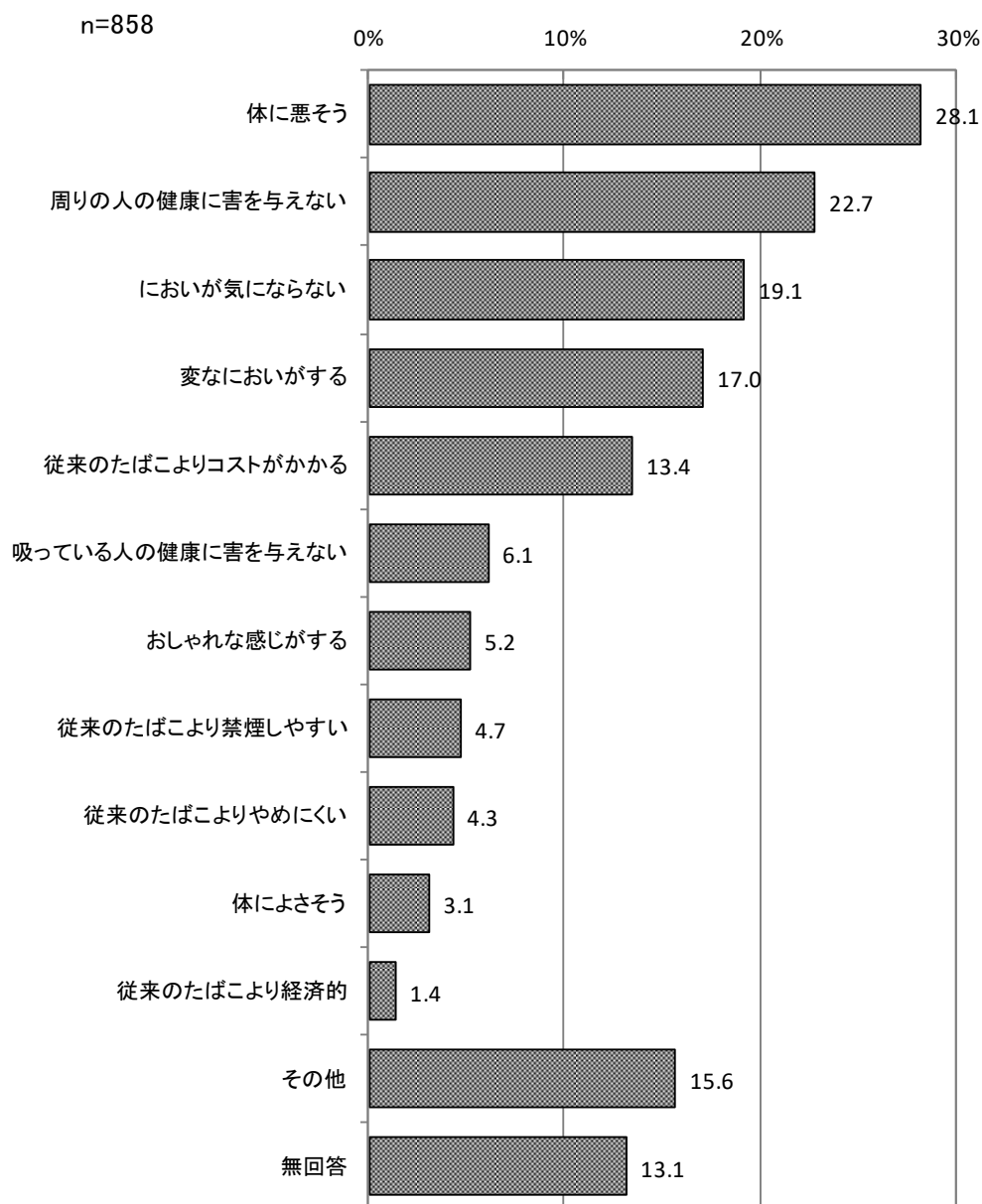
たばこを吸う際に気をつけていることについて、上位6項目を性別で見ると、「指定の喫煙場所以外では吸わない」では男性（74.1%）、女性（86.1%）、「禁煙場所では吸わない」では男性（74.1%）、女性（83.3%）と、それぞれ女性が男性を12.0ポイント、9.2ポイント上回っている。（図表4-13）

(7) 新型たばこのイメージ

◎ 「体に悪そう」が2割後半で最も高くなっている

問 13 新型たばこ（加熱式たばこ）についてあなたの持っているイメージであてはまるものはありますか。（○はいくつでも）

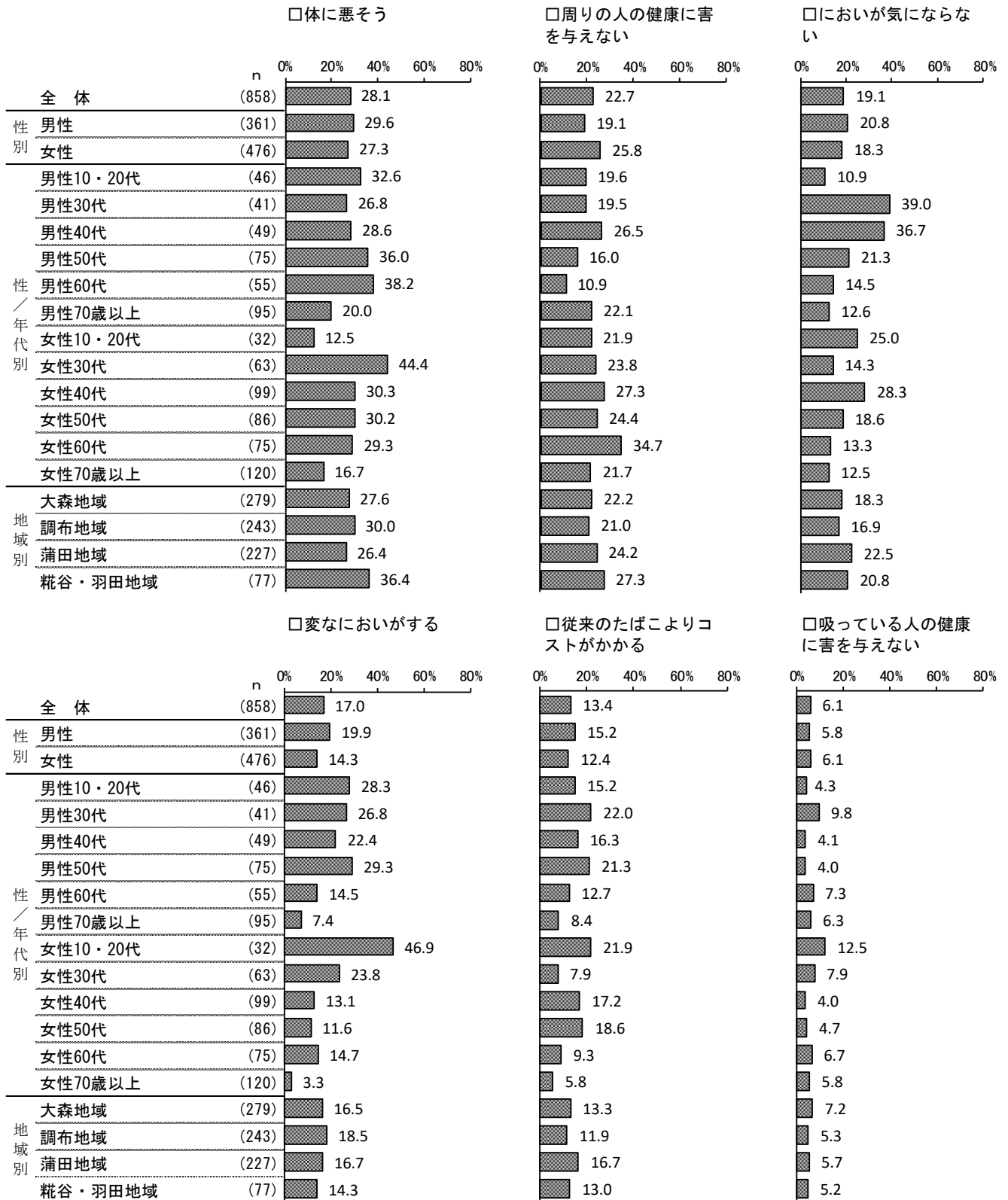
図表 4-14 新型たばこのイメージ



新型たばこのイメージを聞いたところ、「体に悪そう」が28.1%と最も高く、次いで、「周りの人の健康に害を与えない」(22.7%)、「においが気にならない」(19.1%) などとなっている。

(図表 4-14)

図表 4-15 新型たばこのイメージ（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



新型たばこのイメージについて、上位6項目を性別で見ると「体に悪そう」は男女ともに2割台で大きな差異は見られない。

性／年代別で見ると、「体に悪そう」は女性30代で44.4%と他の年代より高くなっている。「においが気にならない」は男性30代、40代で3割台と他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「体に悪そう」では糶谷・羽田地域で3割半ば、大森地域、調布地域、蒲田地域が2割半ばから3割となっている。(図表4-15)

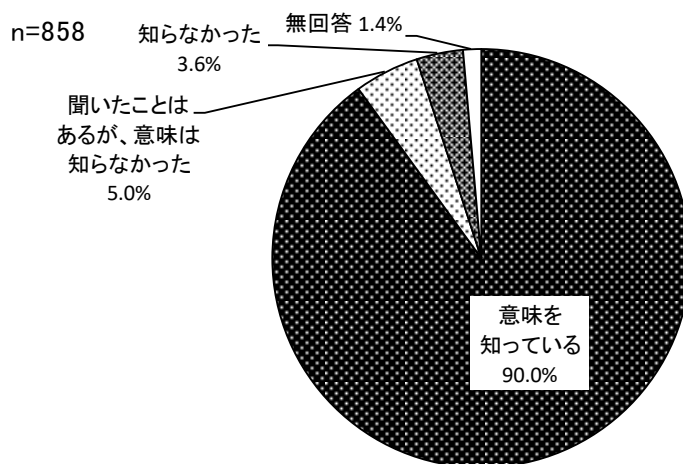
(8) 受動喫煙について

◎ 「意味を知っている」が9割

問 14 あなたは、「受動喫煙」という言葉をご存知ですか。(○は1つ)

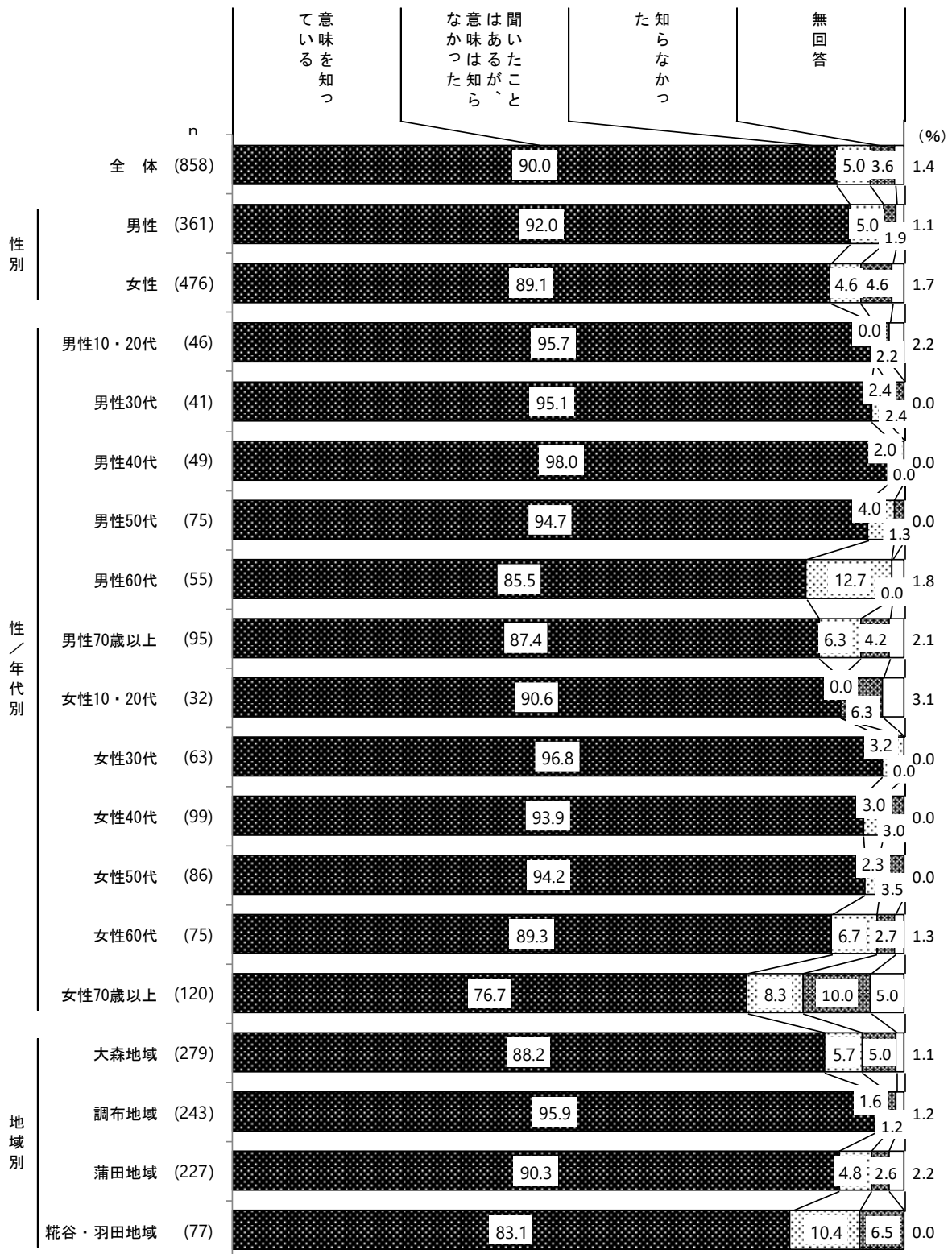
※受動喫煙とは、人が他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされること。

図表 4-16 受動喫煙について



「受動喫煙」という言葉を知っているか聞いたところ、「意味を知っている」が90.0%と最も高く、次いで、「聞いたことはあるが、意味は知らなかった」(5.0%)、「知らなかった」(3.6%)となっている。(図表 4-16)

図表 4-17 受動喫煙について（性別・性／年代別・地域別）



「受動喫煙」について、性別で見ると「意味を知っている」は男性（92.0%）、女性（89.1%）と大きな差異は見られない。

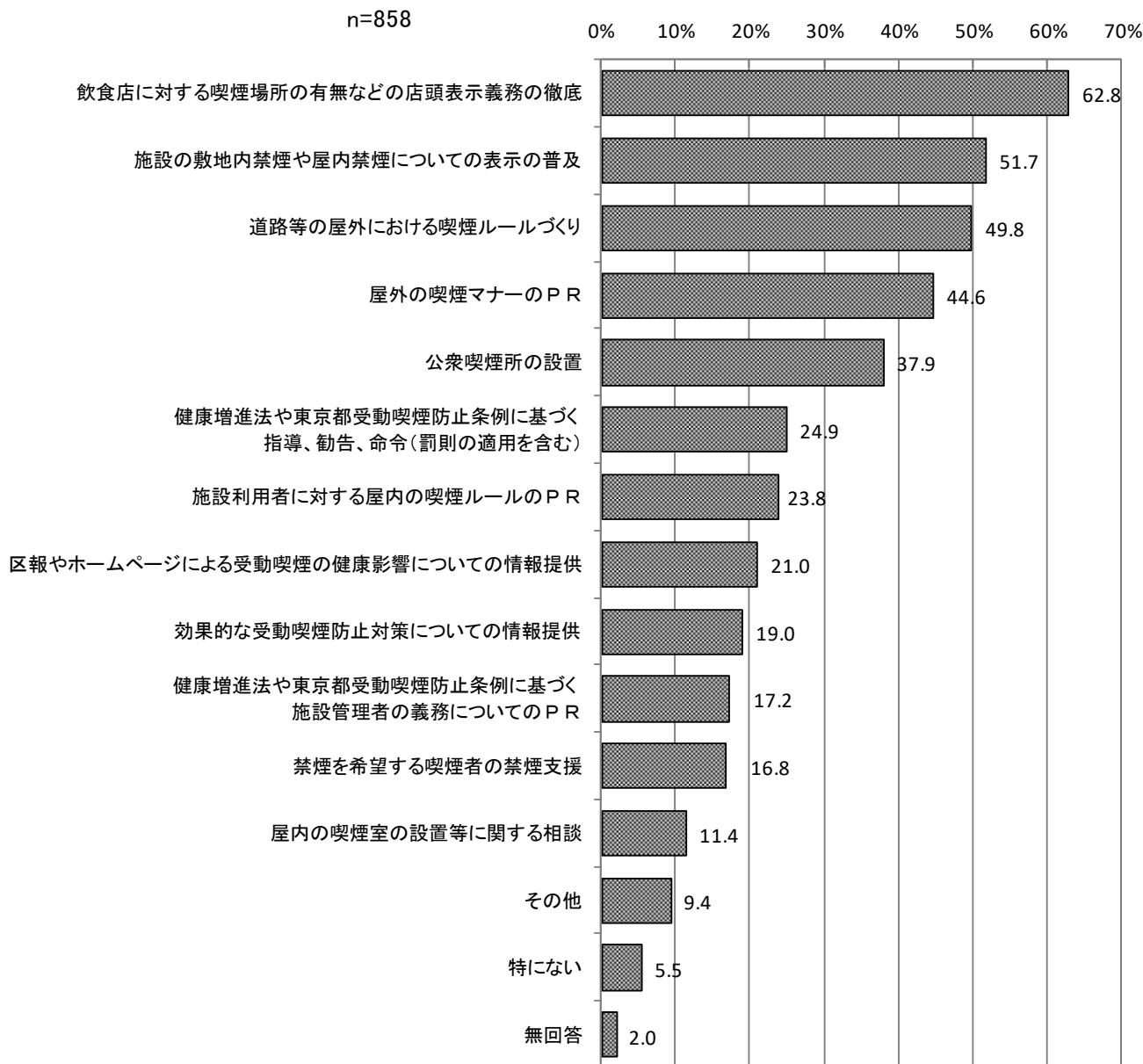
性／年代別で見ると、「意味を知っている」は男女ともに60～70歳以上を除いた年代で9割台となっている。（図表4-17）

(9) 受動喫煙防止に向け、大田区が推進すべき取り組みについて

◎ 「飲食店に対する喫煙場所の有無などの店頭表示義務の徹底」が6割台で最も高くなっている

問 15 受動喫煙防止のために大田区に望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

図表 4-18 受動喫煙防止に向け、大田区が推進すべき取り組みについて

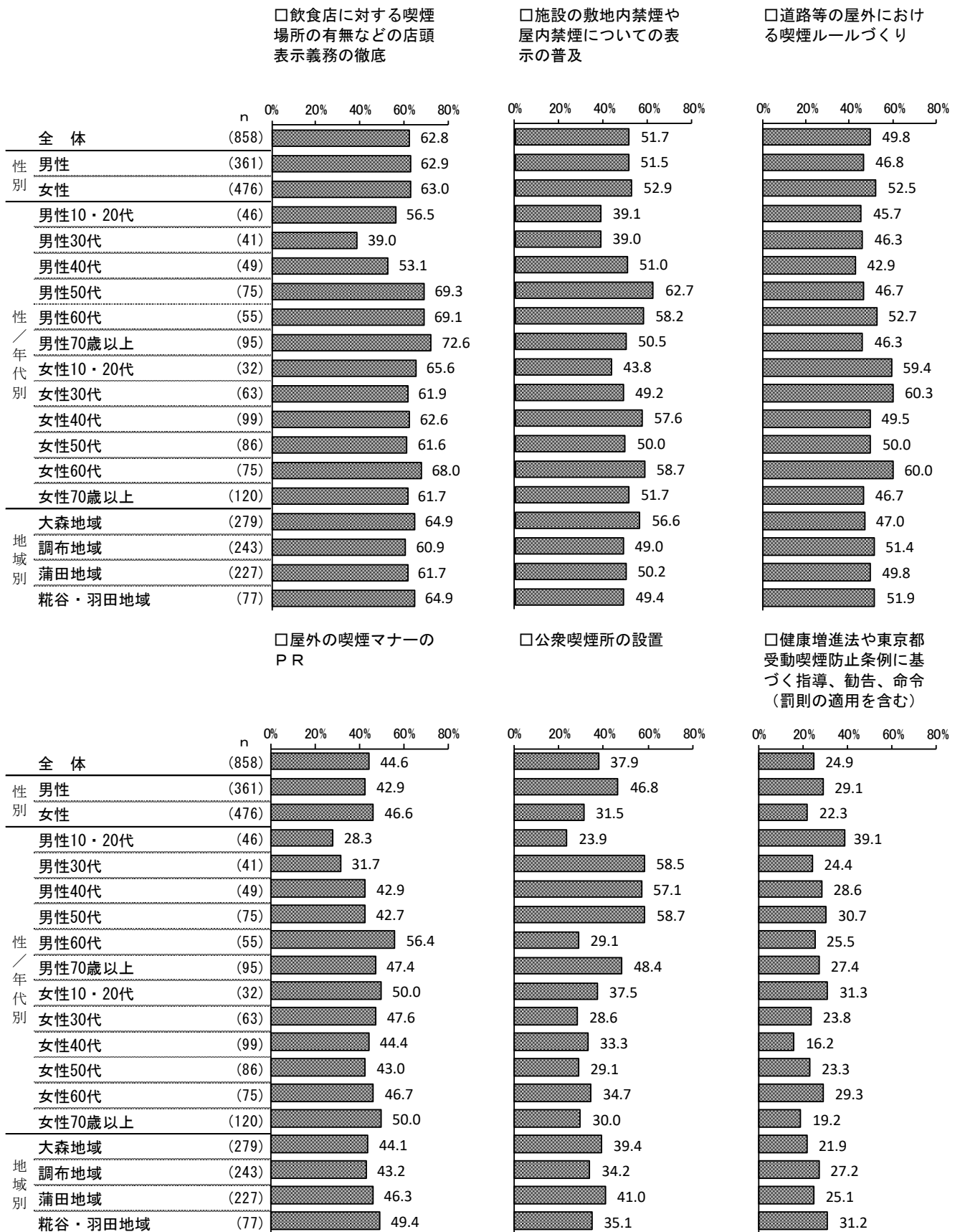


受動喫煙防止のため大田区に望むことを聞いたところ、「飲食店に対する喫煙場所の有無などの店頭表示義務の徹底」が62.8%で最も高く、次いで、「施設の敷地内禁煙や屋内禁煙についての表示の普及」(51.7%)、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」(49.8%)などとなっている。

(図表 4-18)

図表 4-19 受動喫煙防止に向け、大田区が推進すべき取り組みについて

(性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



受動喫煙防止のため大田区に望むことについて、上位6項目を性別で見ると「飲食店に対する喫煙場所の有無などの店頭表示義務の徹底」では男女ともに6割前半で大きな差異は見られない。「公衆喫煙所の設置」では男性（46.8%）、女性（31.5%）と、男性が女性を15.3ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「飲食店に対する喫煙場所の有無などの店頭表示義務の徹底」では男性70歳以上が72.6%と他の年代より高くなっている。「公衆喫煙所の設置」では男性30～50代が5割後半、男性70歳以上が4割後半と高くなっている。

地域別で見ると、「飲食店に対する喫煙場所の有無などの店頭表示義務の徹底」では全ての地域で6割台となっている。（図表4-19）

IV 18歳以上の区民の方が対象

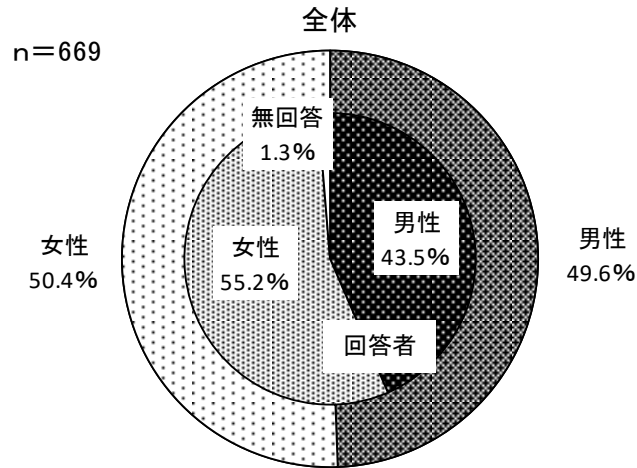
③産業分野の調査結果

1 回答者の属性

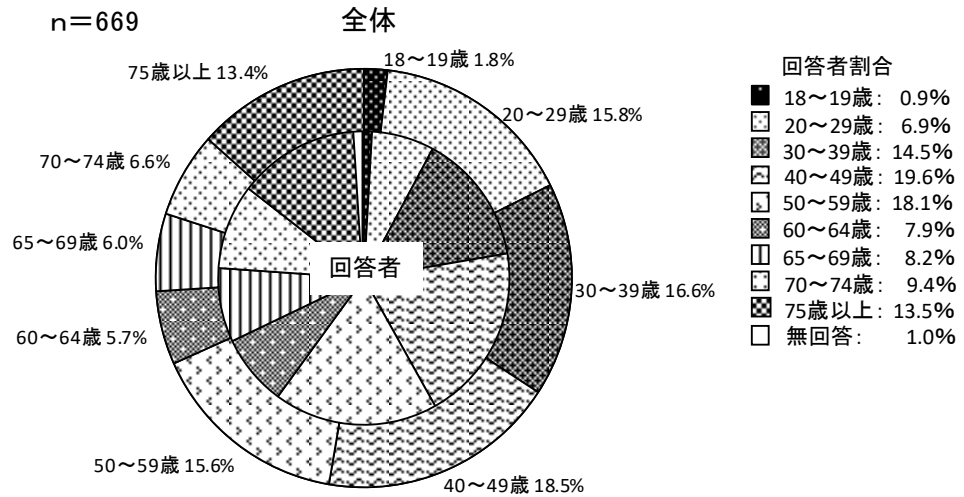
【性別】

全体：大田区の18歳以上の人口（n=638,789）※令和2年1月1日

回答者：有効回収数（n=669）

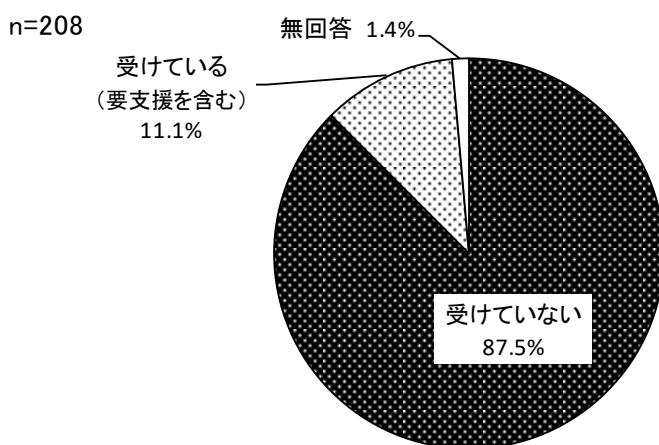


【年齢】

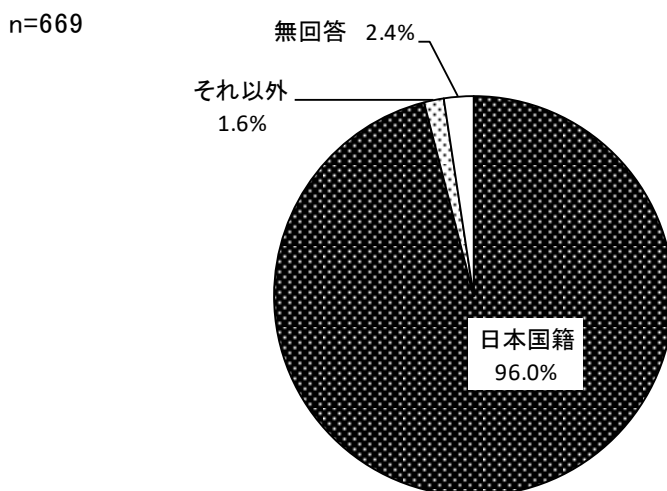


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和2年1月1日現在版

【介護保険制度の要介護認定を受けているか（65歳以上の方）】



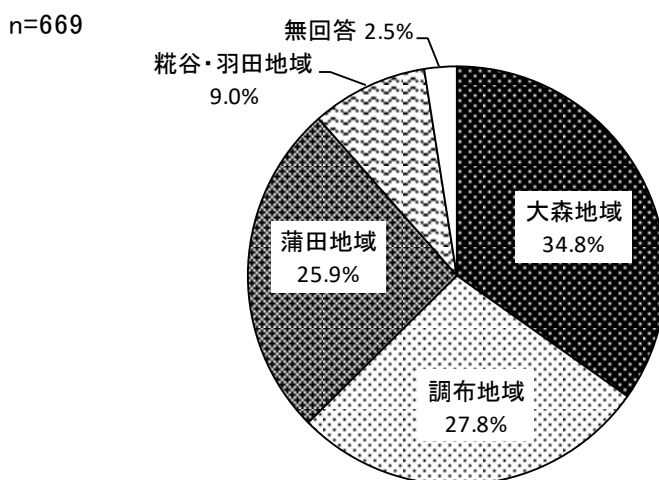
【国籍】



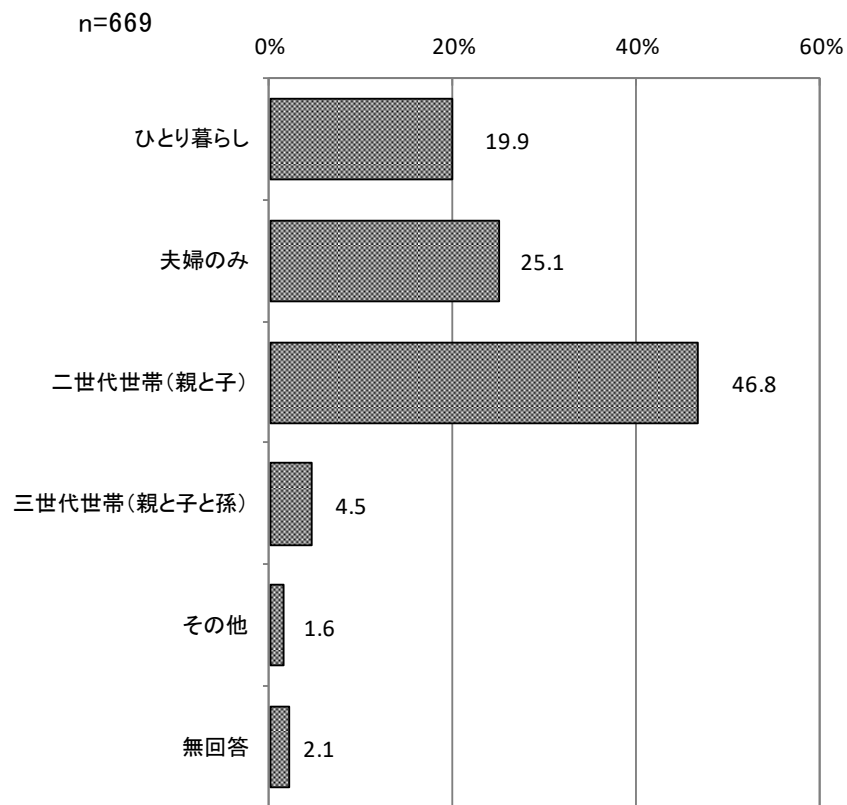
(日本国籍以外)

	中国	韓国	朝鮮	フィリピン	ネパール	シンガポール	アメリカ	無回答
人数	3	3	1	1	1	1	1	0

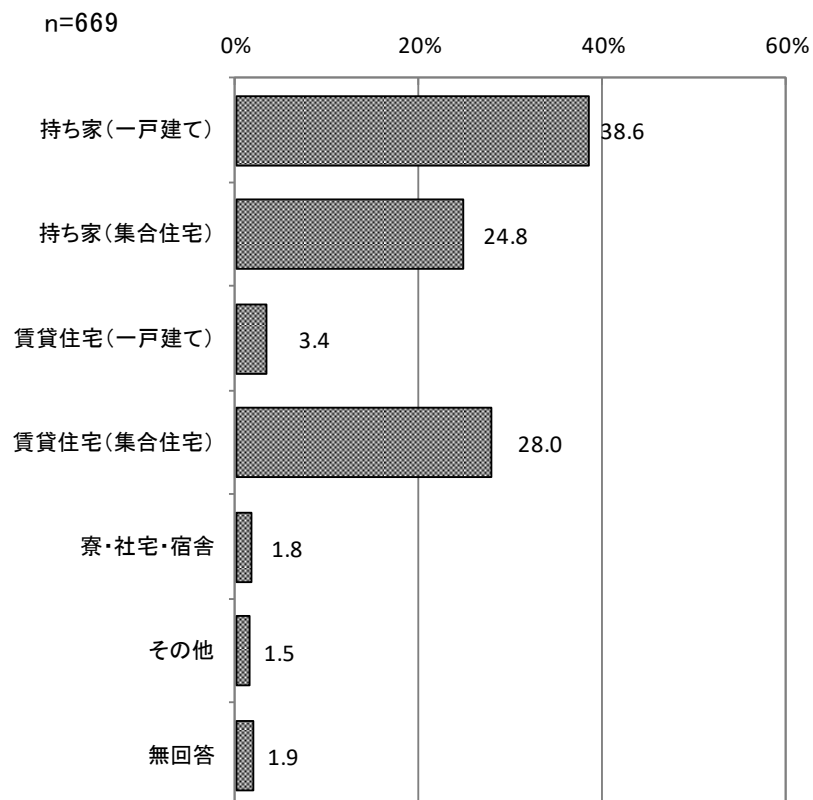
【住まいの地域】



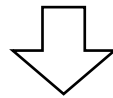
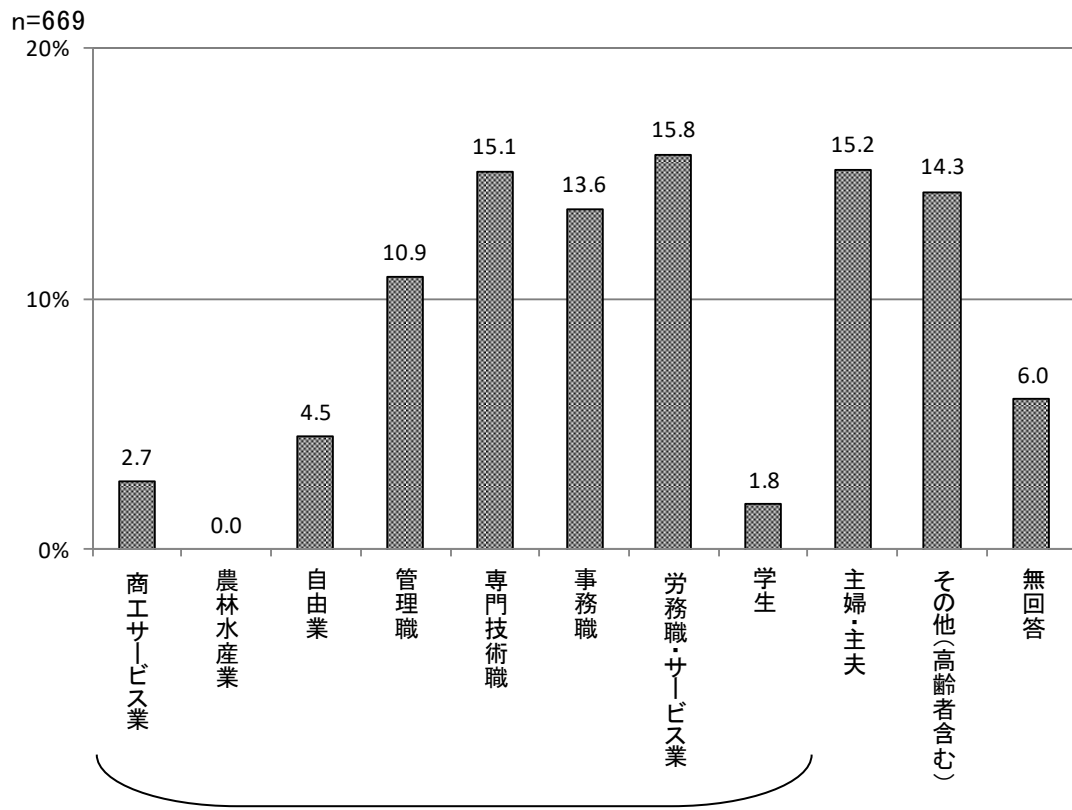
【家族構成】



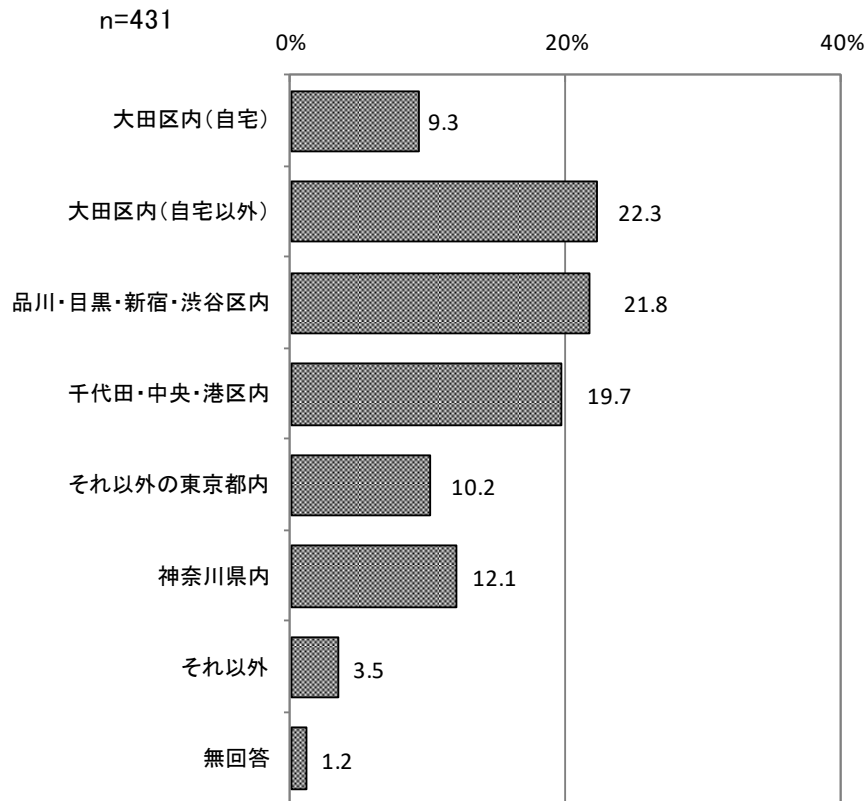
【住まいの種類】



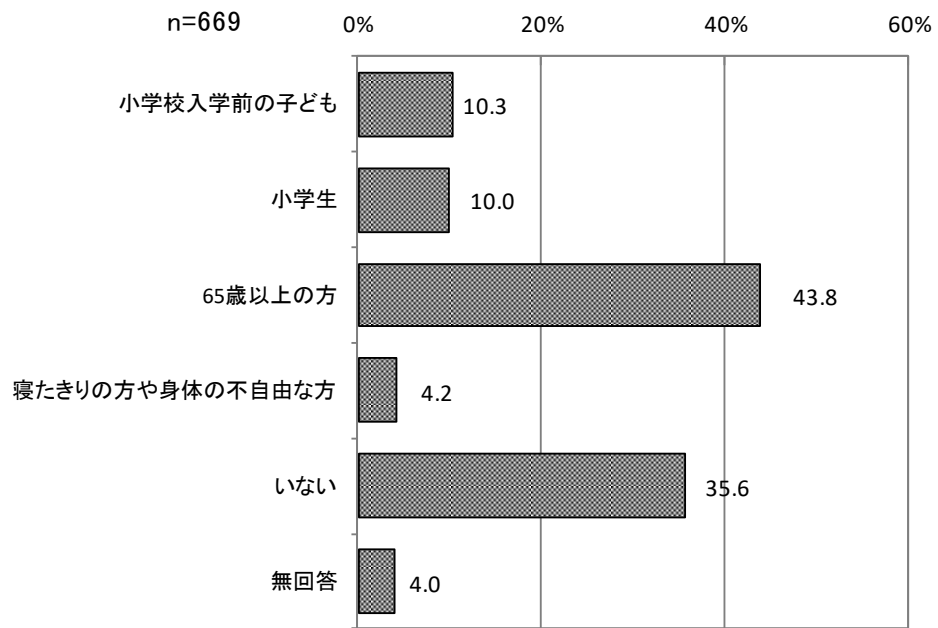
【職業】



【主な通勤・通学先】

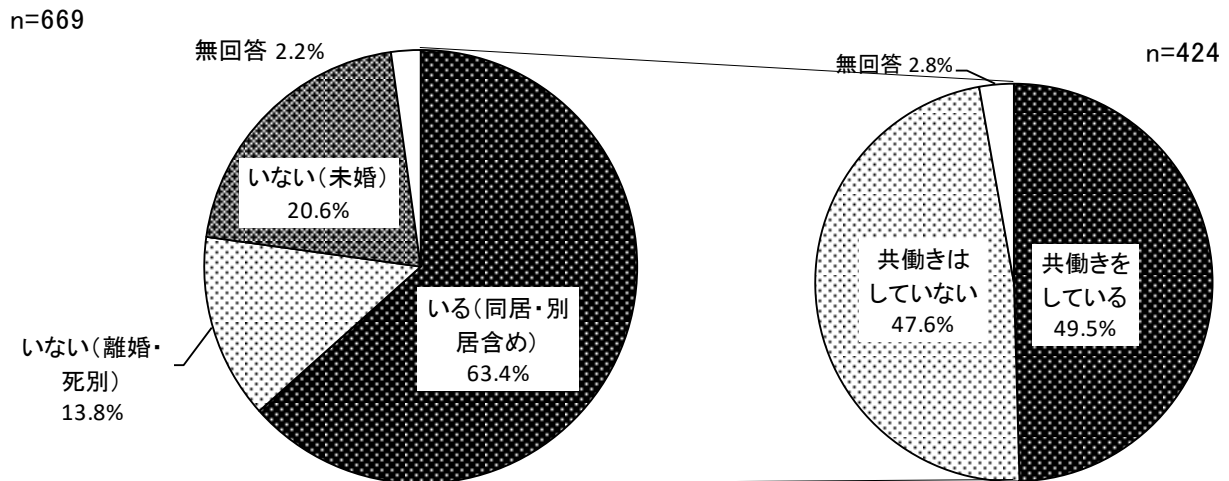


【同居家族】

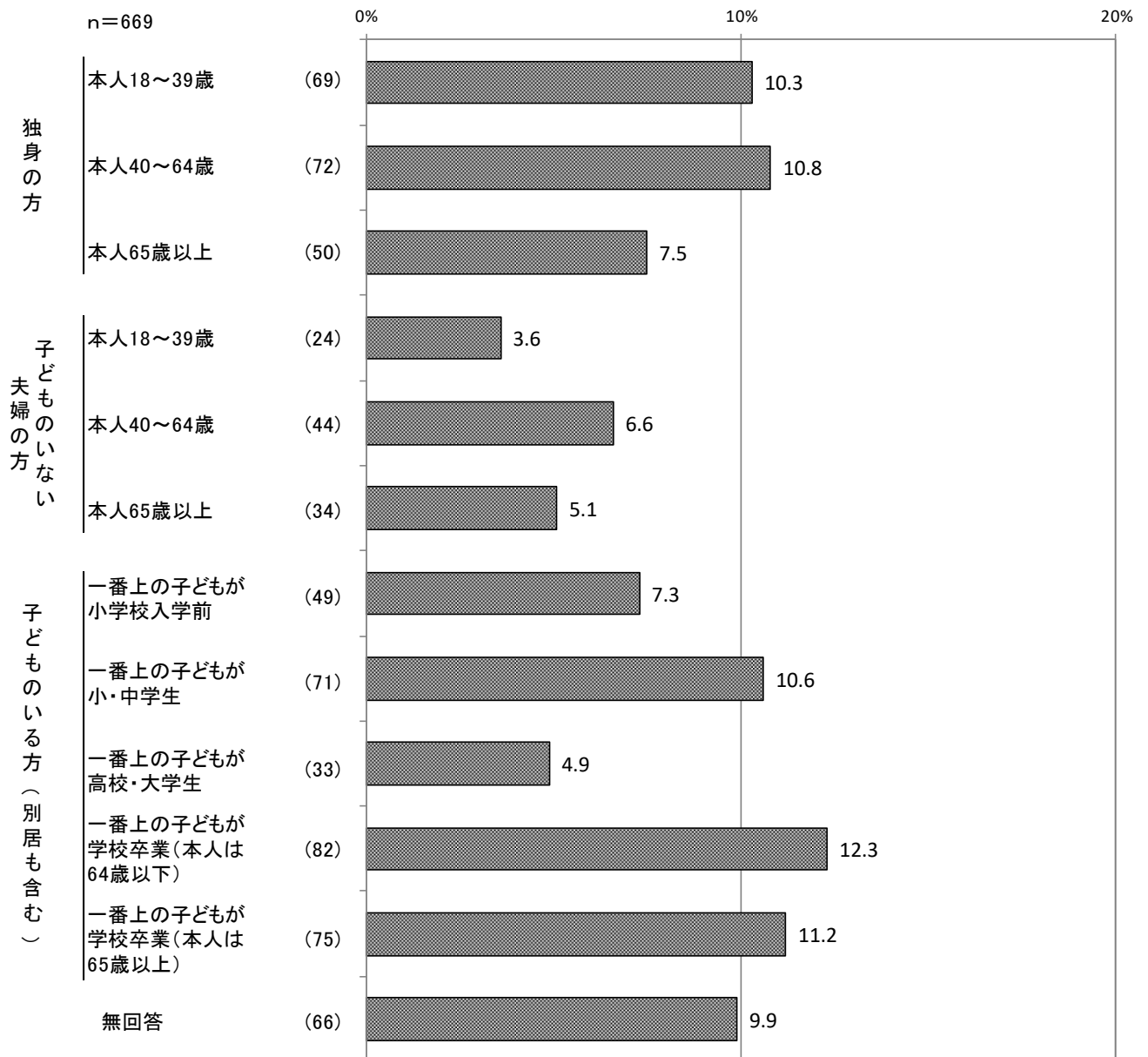


【配偶者の有無】

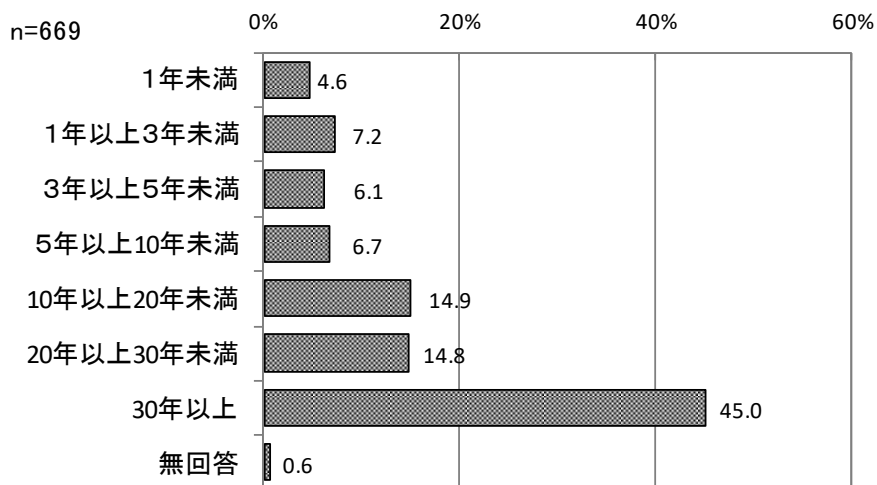
【(配偶者のいる方) 共働きについて】



【ご自身のステージ】



【大田区にお住まいの期間】



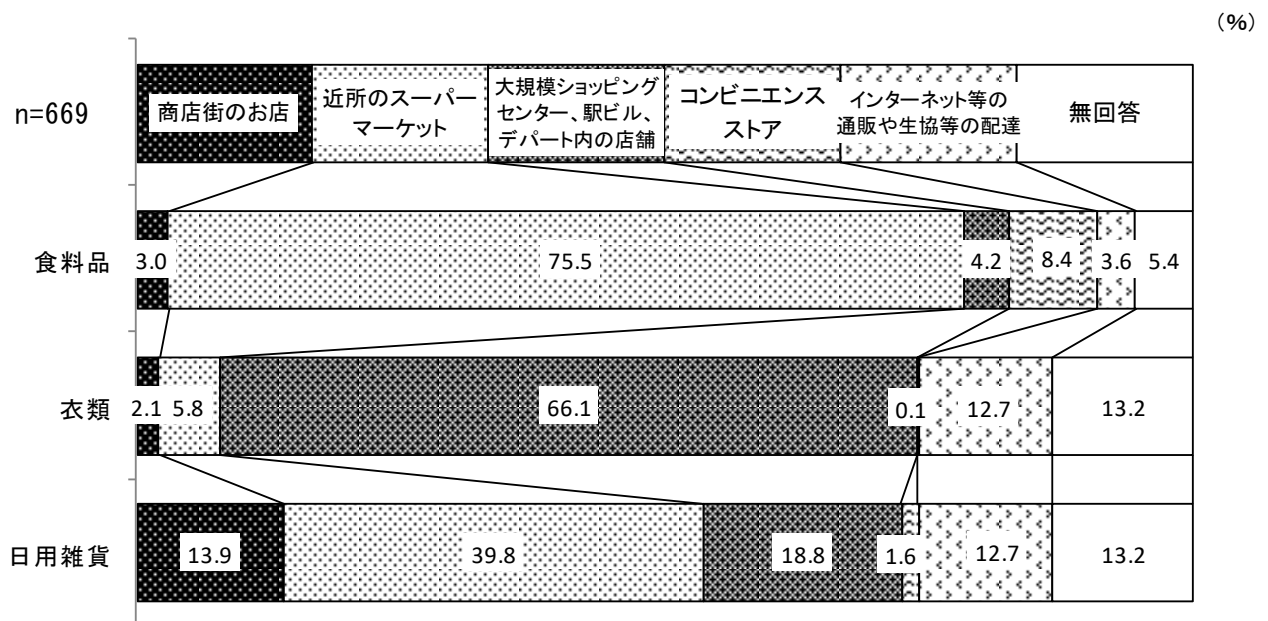
2 普段の買い物について

(1) 普段の買い物で利用するお店

◎ 食料品は「近所のスーパーマーケット」が7割半ば、衣類は「大規模ショッピングセンター等」が6割半ば、日用雑貨は「近所のスーパーマーケット」が約4割で、それぞれ最もよく利用されている

問1 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。項目ごとに最も多く利用する業態と、その理由をそれぞれ選択肢から1つ選んで番号を記入してください。

図表2-1 普段の買い物で利用するお店（業態）



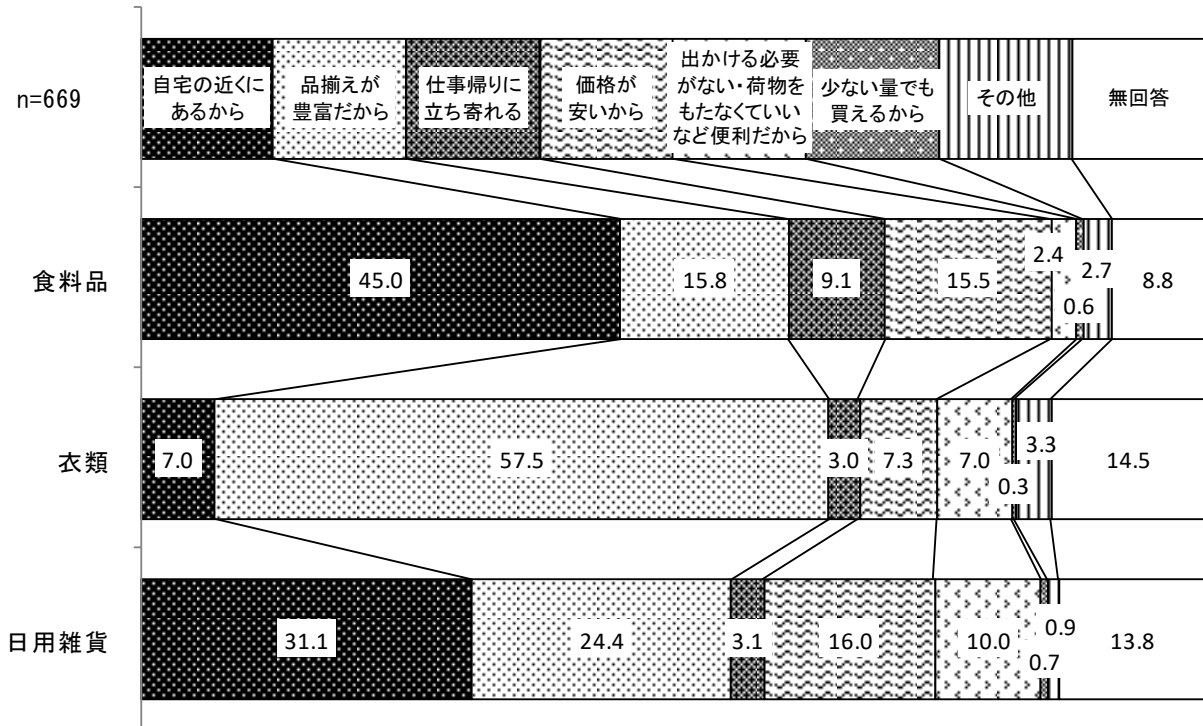
【食料品】を購入する際、普段の買い物で利用するお店の業態を聞いたところ、「近所のスーパーマーケット」が75.5%で最も高く、次いで「コンビニエンスストア」(8.4%)、「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」(4.2%) などとなっている。

【衣類】を購入する際、普段の買い物で利用するお店の業態を聞いたところ、「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」が66.1%で最も高く、次いで「インターネット等の通販や生協等の配達」(12.7%)、「近所のスーパーマーケット」(5.8%) などとなっている。

【日用雑貨】を購入する際、普段の買い物で利用するお店の業態を聞いたところ、「近所のスーパーマーケット」が39.8%で最も高く、次いで「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」(18.8%)、「商店街のお店」(13.9%) などとなっている。(図表2-1)

図表 2-2 普段の買い物で利用するお店（理由）

(%)



【食料品】を購入する際、普段の買い物で利用するお店を選ぶ理由について聞いたところ、「自宅の近くにあるから」が45.0%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」(15.8%)、「価格が安いから」(15.5%) などとなっている。

【衣類】を購入する際、普段の買い物で利用するお店を選ぶ理由について聞いたところ、「品揃えが豊富だから」が57.5%で最も高く、次いで「価格が安いから」(7.3%)、「自宅の近くにあるから」、「出かける必要がない・荷物をもたなくていいなど便利だから」(同率7.0%) などとなっている。

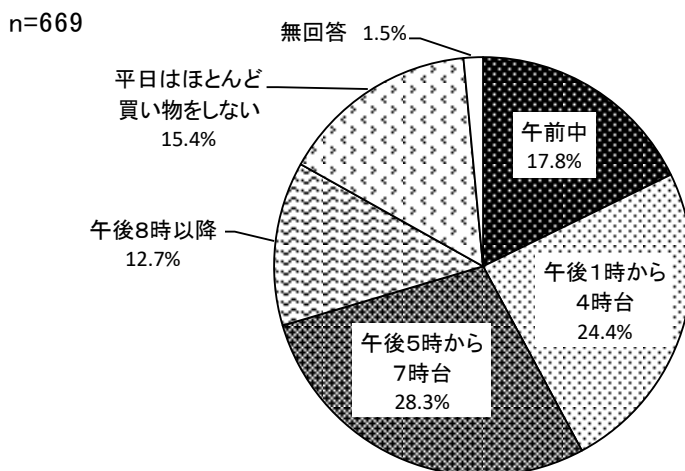
【日用雑貨】を購入する際、普段の買い物で利用するお店を選ぶ理由について聞いたところ、「自宅の近くにあるから」が31.1%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」(24.4%)、「価格が安いから」(16.0%) などとなっている。(図表2-2)

(2) 買い物をする時間帯について

◎ 「午後5時から7時台」が2割後半で最も高くなっている

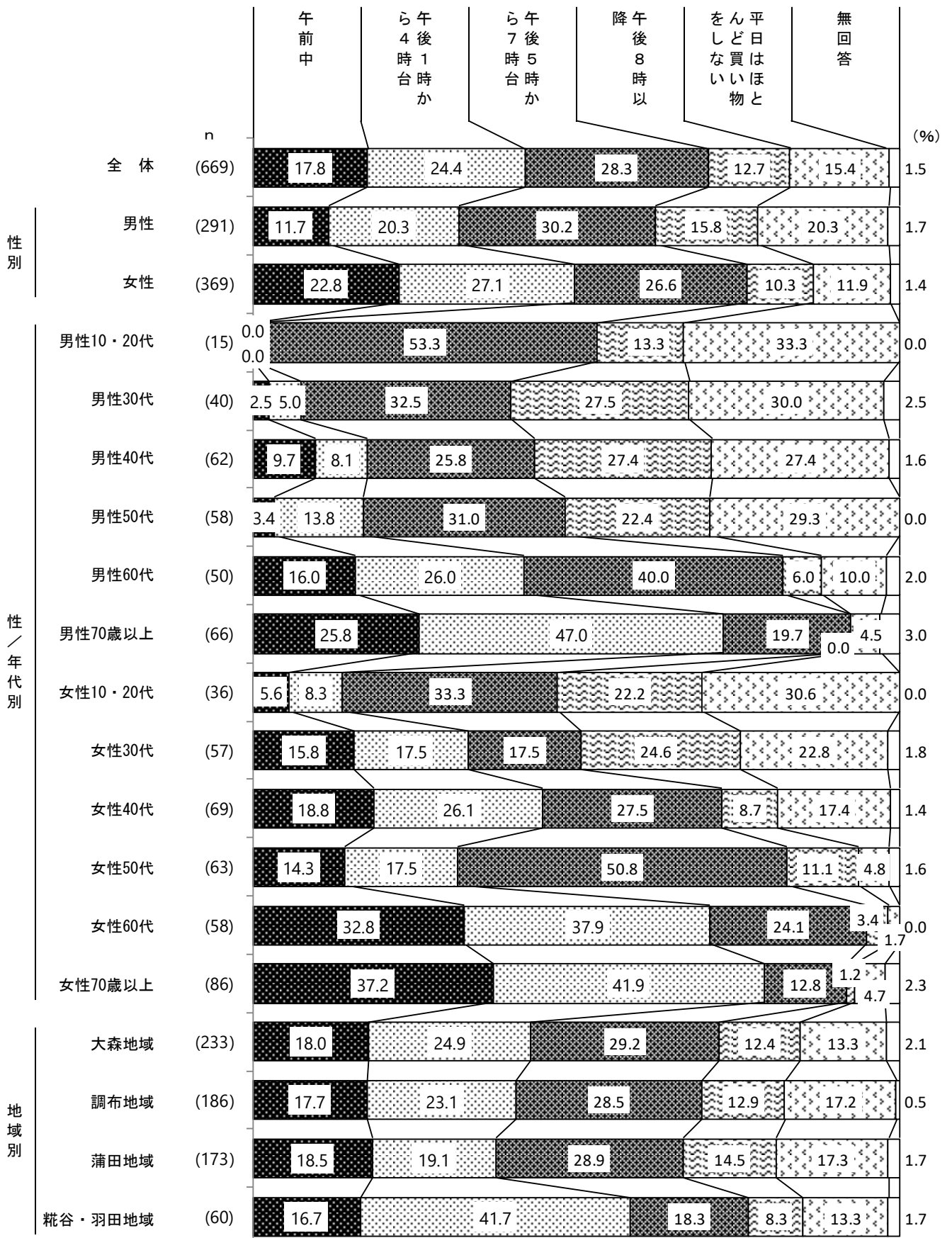
問2 平日に食料品の買い物をする時間帯はどれですか。最も多いものを選んでください。
(○は1つ)

図表2-3 買い物をする時間帯について



食料品や日用品の買い物をする時間を聞いたところ、「午後5時から7時台」が28.3%で最も高く、次いで「午後1時から4時台」(24.4%)、「午前中」(17.8%)などとなっている。(図表2-3)

図表2-4 買い物をする時間帯について（性別・性/年代別・地域別）



買い物をする時間帯について、性別で見ると、男性は「午後5時から7時台」が30.2%で最も高く、女性は「午後1時から4時台」が27.1%で最も高くなっている。「平日はほとんど買い物をしない」では男性（20.3%）、女性（11.9%）と、男性が女性を8.4ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、男性10～50代は「平日はほとんど買い物をしない」が2割後半から3割前半であるが、男性60歳以上では1割以下と大幅に減少している。女性50代は「午後5時から7時台」が約5割となっている。女性60歳以上は「午前中」と「午後1時から4時台」が急激に増加し、この2項目で7割以上となっている。

地域別で見ると、糀谷・羽田地域では「午後1時から4時台」が41.7%で最も高くなっている。「平日はほとんど買い物をしない」ではどの地域も1割台で、大きな差異は見られない。

（図表2-4）

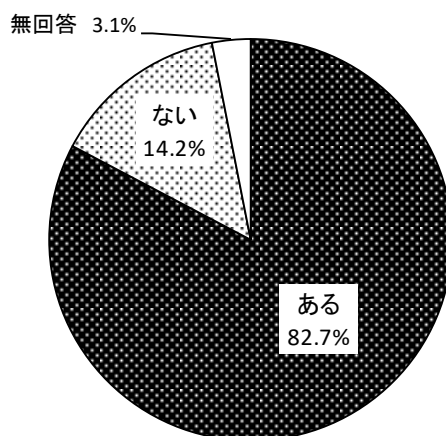
(3) 「ずっと残ってほしい」と思うお店の有無

◎ ずっと残ってほしいと思うお店が「ある」が8割前半となっている

問3 お住まいの近くにある個店で、「今後もずっと残ってほしい」と思うお店はありますか。
「ある」と回答された方は、店名を1つ挙げて、業種と場所をそれぞれ選択肢から選んでください。(業態、場所それぞれ○は1つ)

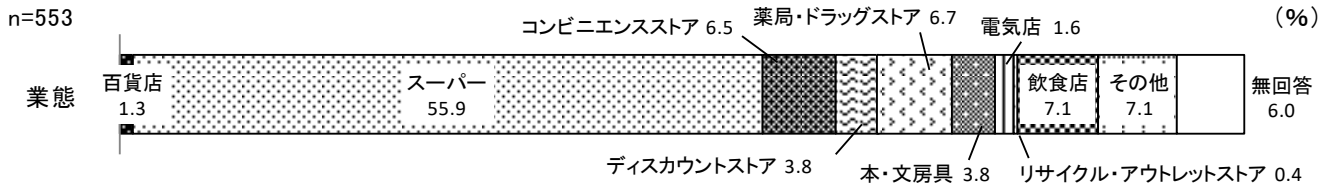
図表2-5 「ずっと残ってほしい」と思うお店の有無

n=669



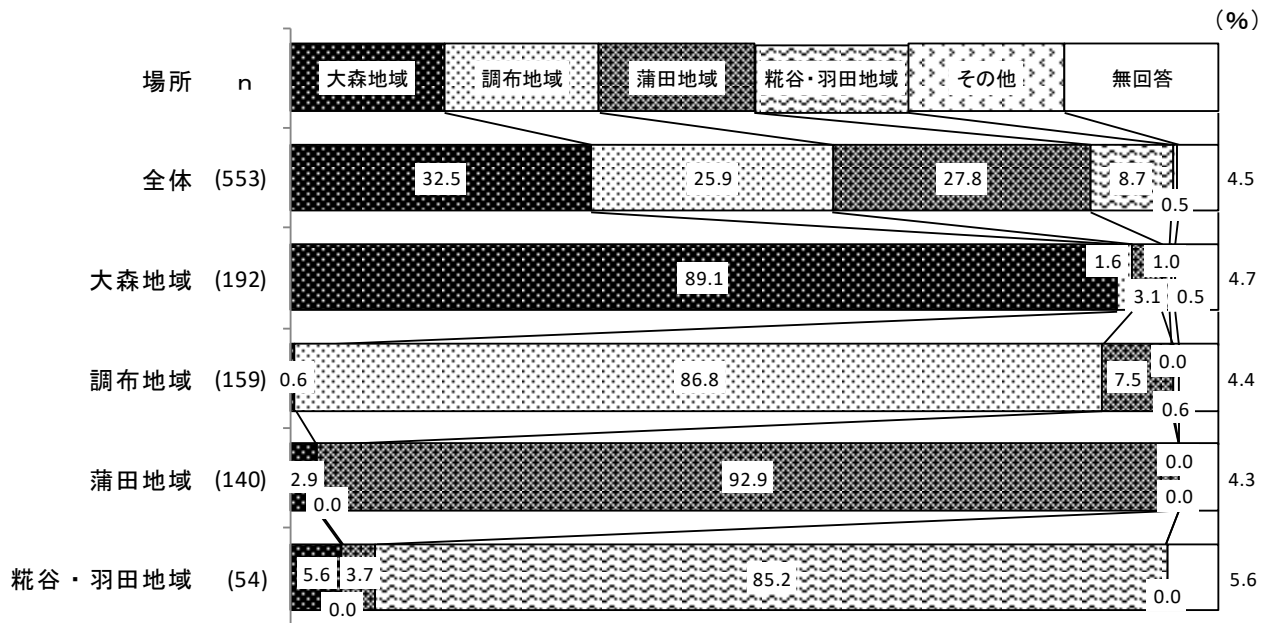
住まいの近くに「今後もずっと残ってほしい」と思うお店があるか聞いたところ、「ある」が82.7%、「ない」が14.2%となっている。(図表2-5)

図表 2-6 「ずっと残ってほしい」と思うお店の業態



「ずっと残ってほしい」と思うお店の【業態】は、「スーパー」が55.9%で最も高く、次いで「飲食店」(7.1%)、「薬局・ドラッグストア」(6.7%) などとなっている。(図表 2-6)

図表 2-7 「ずっと残ってほしい」と思うお店の場所



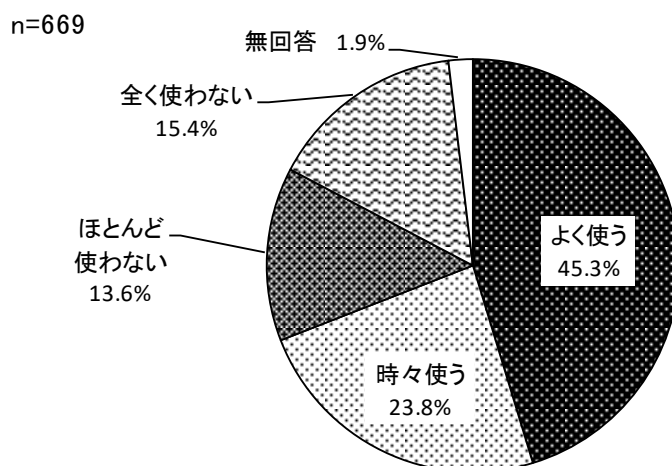
「ずっと残ってほしい」と思うお店の【場所】は、居住している地域が8割以上となっている。(図表 2-7)

(4) キャッシュレス支払いの利用状況

◎ 《使う（合計）》が約7割となっている

問4 あなたは普段の買い物でキャッシュレス（クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなど）による支払い方法を使っていますか。（○は1つ）

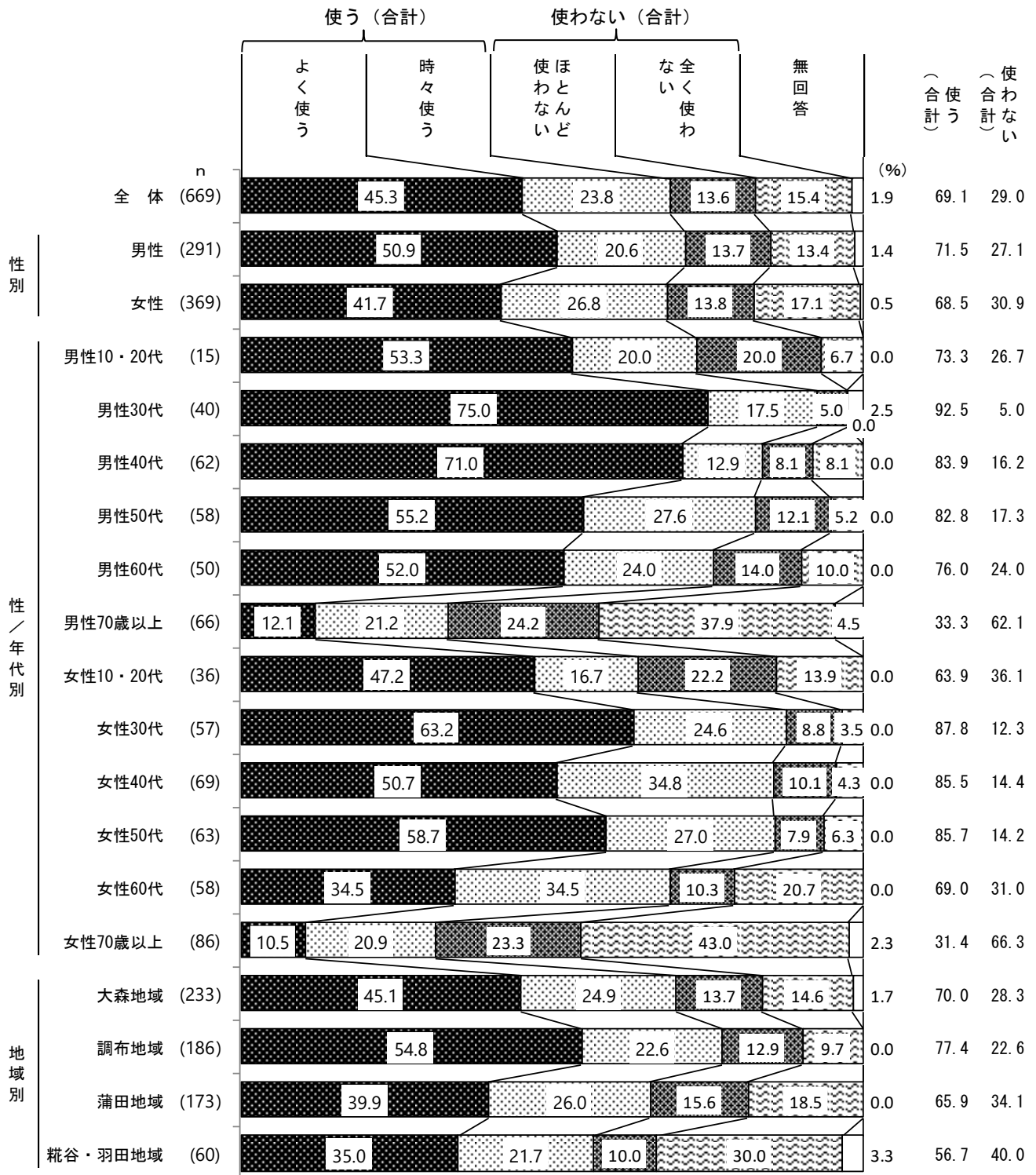
図表2-8 キャッシュレス支払いの利用状況



キャッシュレスによる支払い方法を使っているか聞いたところ、「よく使う」が45.3%で最も高くなっている。「時々使う」(23.8%)と合わせた《使う（合計）》は69.1%となっている。

一方、「ほとんど使わない」(13.6%)と「全く使わない」(15.4%)と合わせた《使わない（合計）》は29.0%となっている。(図表2-8)

図表 2-9 キャッシュレス支払いの利用状況（性別・性/年代別・地域別）



キャッシュレス支払いの利用状況について、性別で見ると「よく使う」は男性（50.9%）、女性（41.7%）と、男性が女性を9.2ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「よく使う」は男性30代、40代で7割台、女性30代で6割前半と高くなっている。一方、「全く使わない」は男女ともに70歳以上で高くなっている。

地域別で見ると、「よく使う」は調布地域で54.8%となっている。（図表2-9）

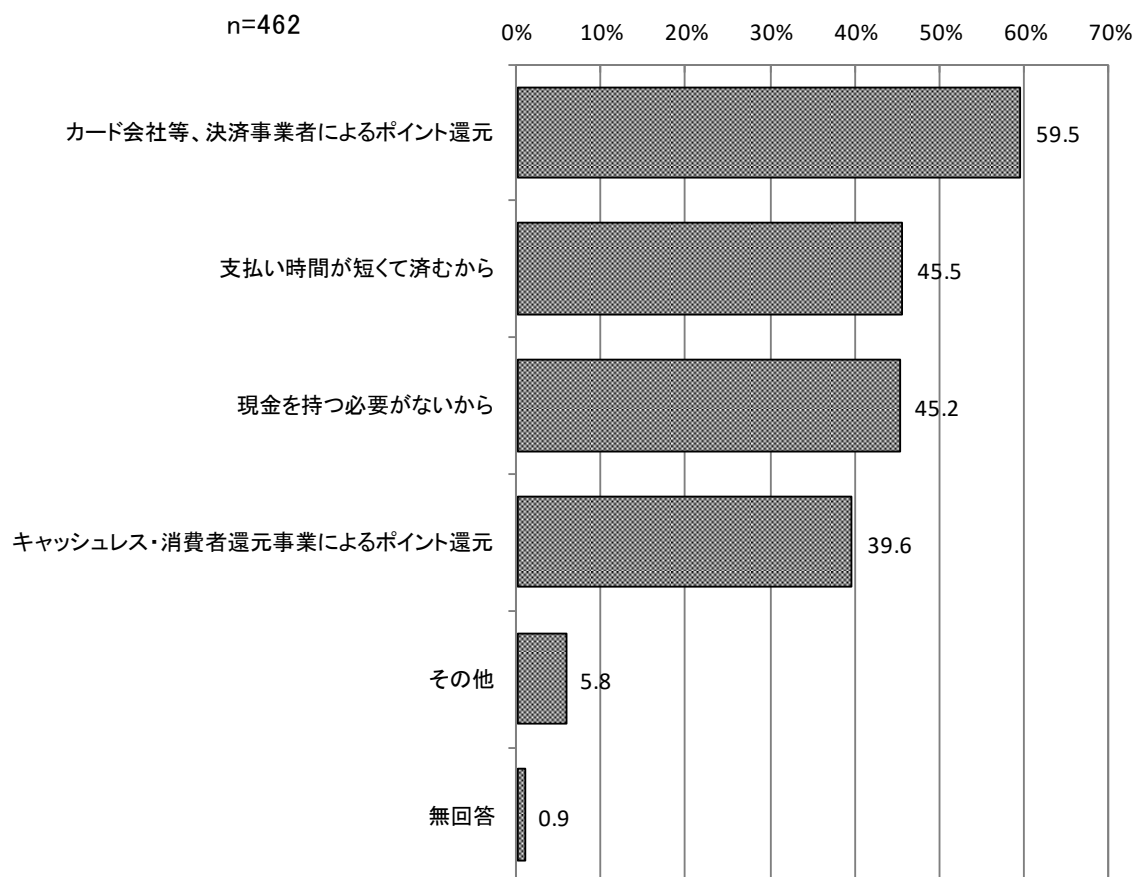
(5) キャッシュレス支払いを使用する理由

◎ 「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が約6割で最も高くなっている

【問4で「1. よく使う」「2. 時々使う」と回答された方】

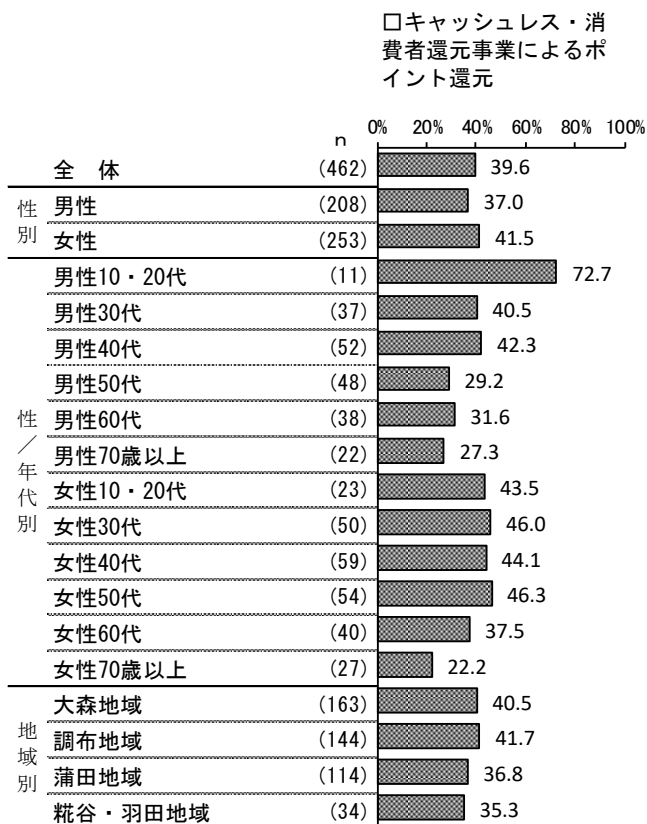
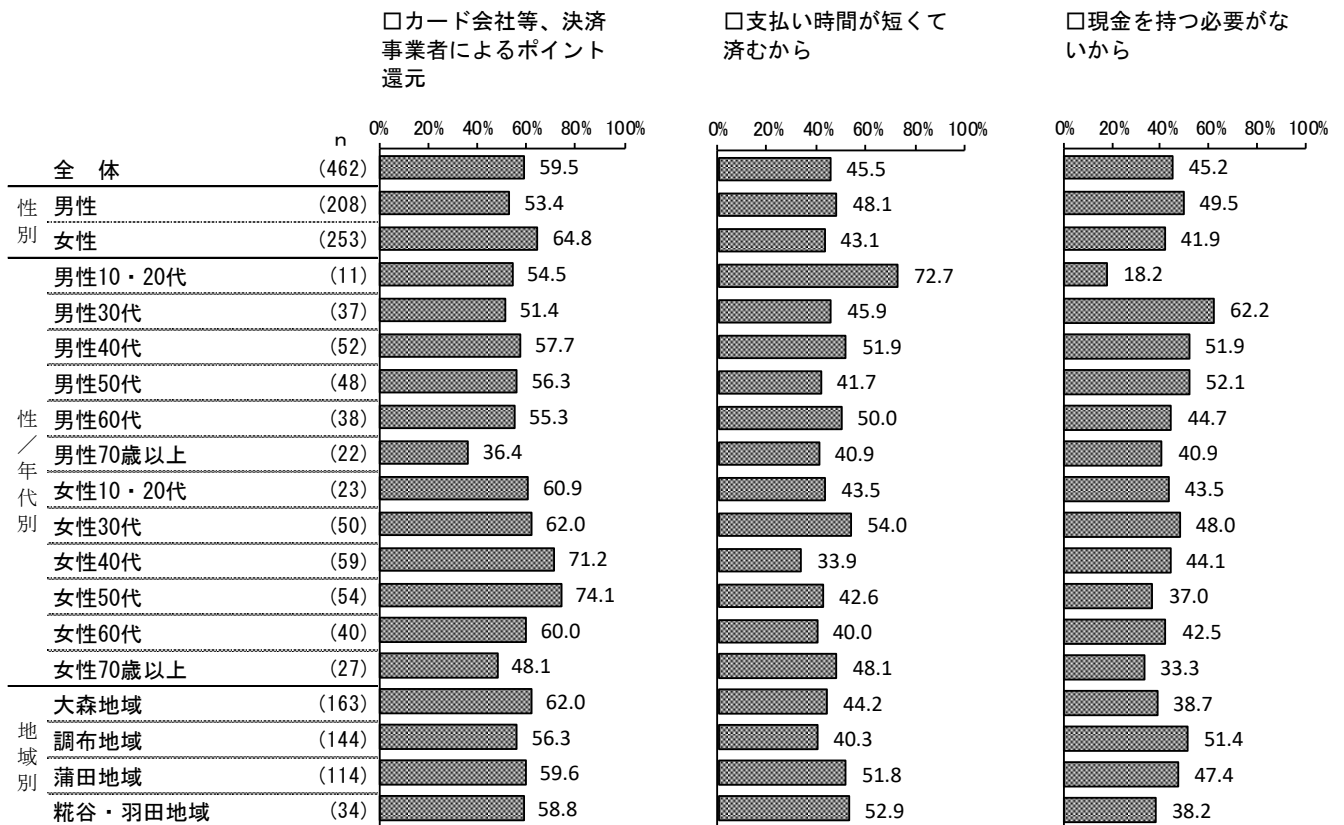
問5 キャッシュレス支払いを使用する理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

図表2-10 キャッシュレス支払いを使用する理由



キャッシュレス支払いを使う人に、使用する理由を聞いたところ、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」が59.5%で最も高く、次いで「支払い時間が短くて済むから」(45.5%)、「現金を持つ必要がないから」(45.2%) などとなっている。(図表2-10)

図表2-11 キャッシュレス支払いを使用する理由（性別・性/年代別・地域別 上位4項目）



キャッシュレス支払いを利用する理由について、上位4項目を性別で見ると「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」では男性（53.4%）、女性（64.8%）と、女性が男性を11.4ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」では女性40代、50代が7割台となっている。

地域別で見ると、「カード会社等、決済事業者によるポイント還元」では全ての地域で5割以上となっている。（図表2-11）

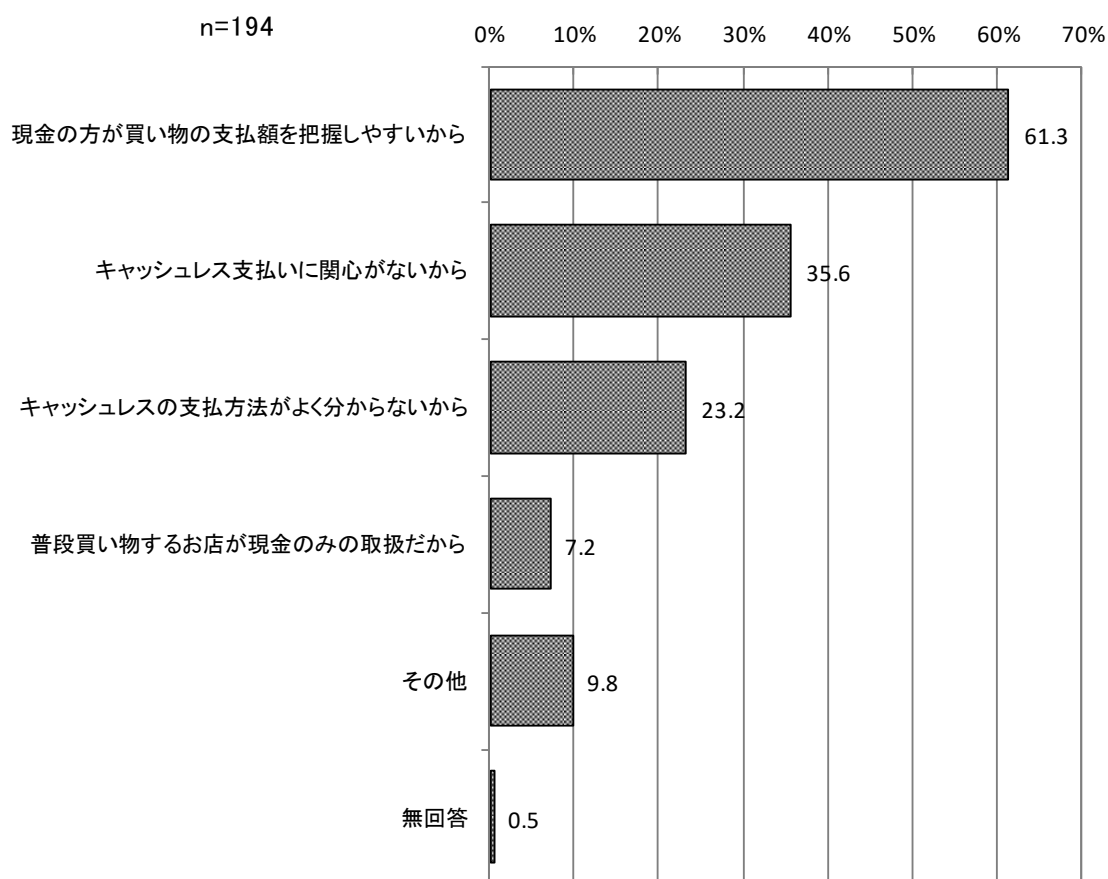
(6) キャッシュレス支払いを使用しない理由

◎ 「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が約6割で最も高くなっている

【問4で「3. ほとんど使わない」「4. 全く使わない」と回答された方】

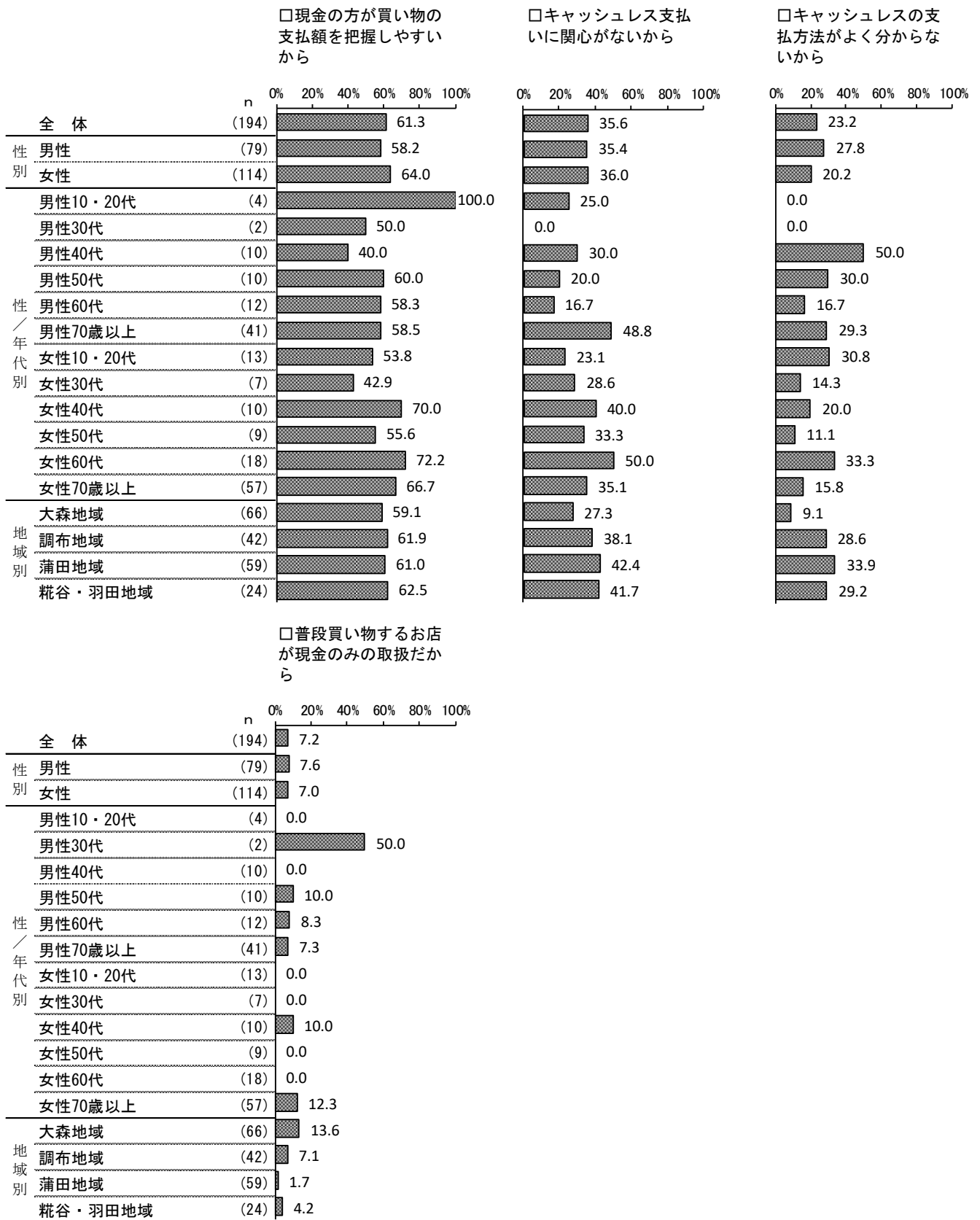
問6 キャッシュレスを使わない（あまり使わない）理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図表2-12 キャッシュレス支払いを使用しない理由



キャッシュレスを使わない人に使わない理由を聞いたところ、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が61.3%で最も高く、次いで「キャッシュレス支払いに関心がないから」(35.6%)、「キャッシュレスの支払方法がよく分からないから」(23.2%) などとなっている。(図表2-12)

図表2-13 キャッシュレス支払いを使用しない理由（性別・性/年代別・地域別 上位4項目）



キャッシュレス支払いを使用しない理由について、上位4項目を性別で見ると「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」は男女ともに5割を超えている。「キャッシュレスの支払方法がよく分からないから」は男性(27.8%)、女性(20.2%)と、男性が女性を7.6ポイント上回っている。

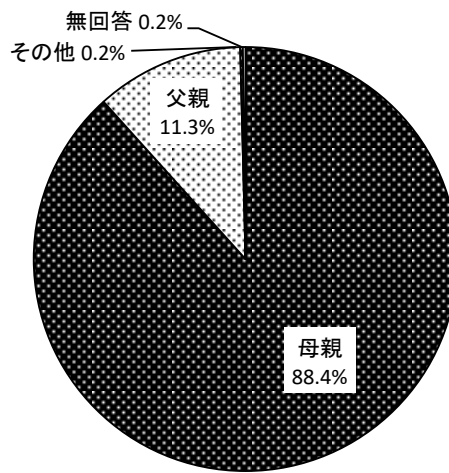
地域別で見ると、「キャッシュレス支払いに関心がないから」、「キャッシュレスの支払方法がよく分からないから」では、それぞれ大森地域が低くなっている。(図表2-13)

V 小学生以下のお子様の保護者の方が対象の調査

1 回答者の属性

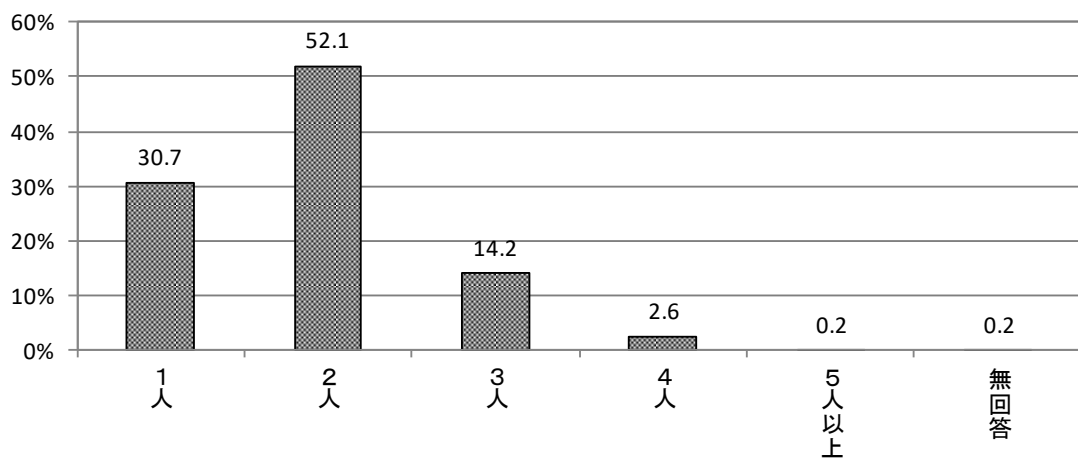
【続柄】

n=1,252



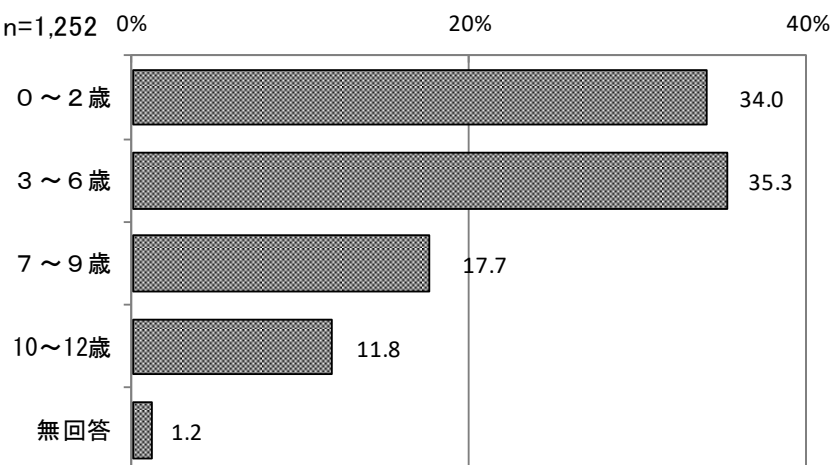
【子どもの人数】

n=1,252

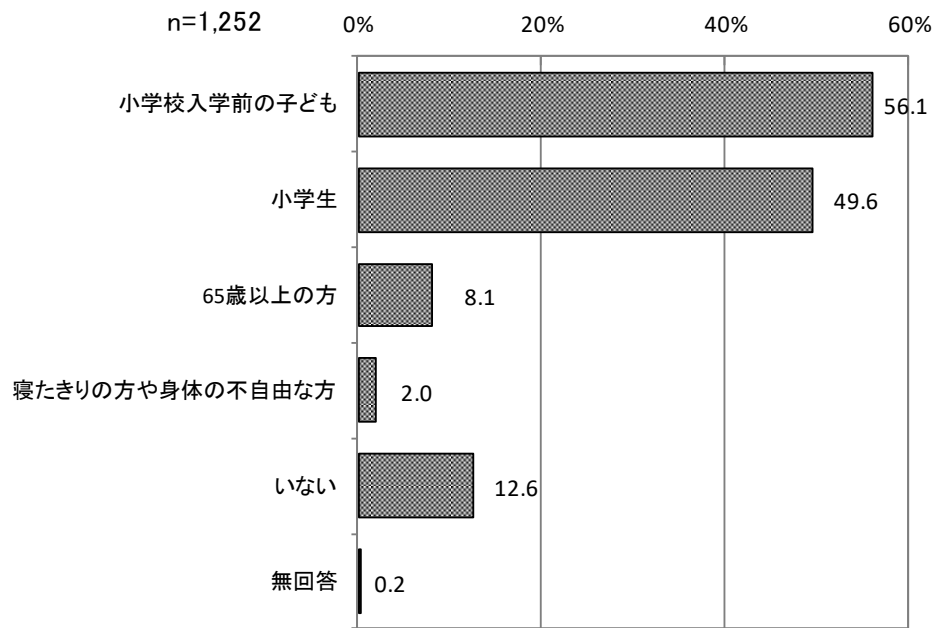


【末子の年齢】

n=1,252

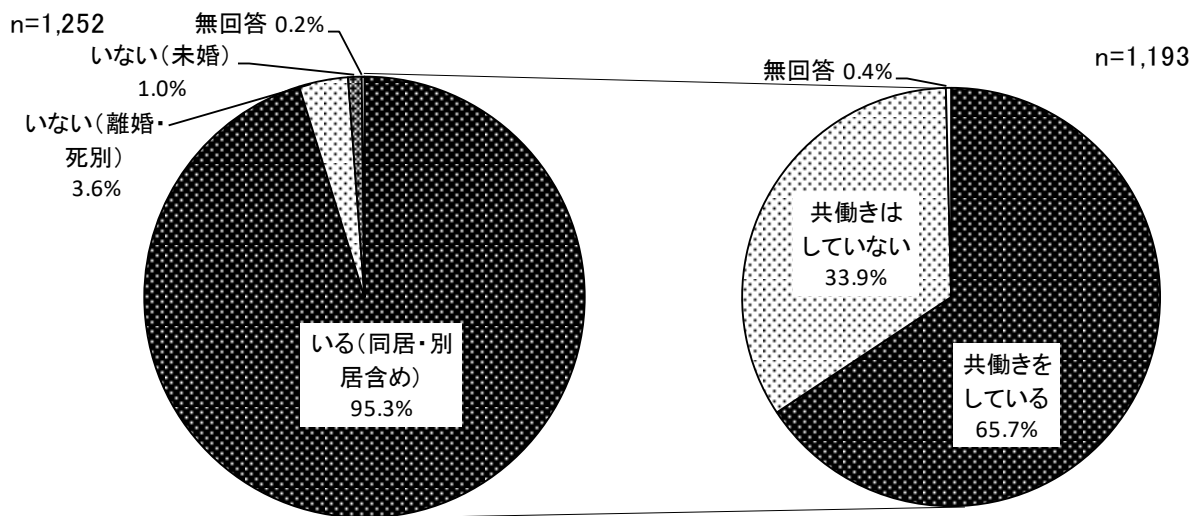


【同居家族】

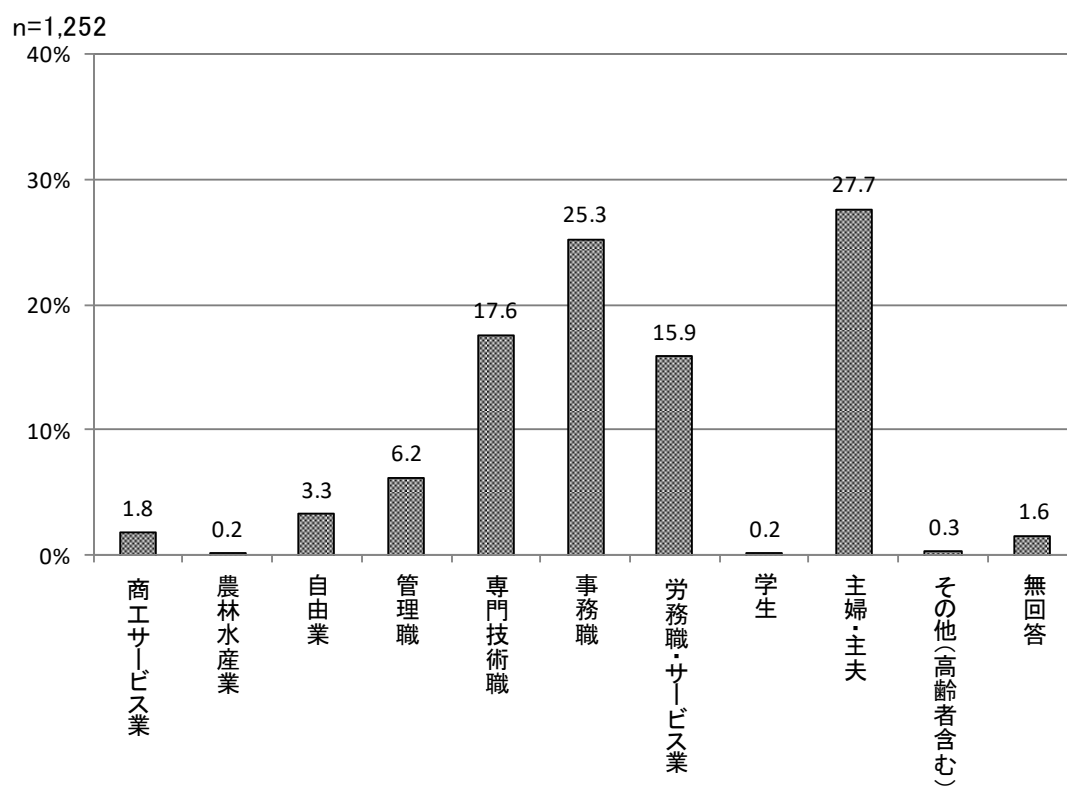


【配偶者の有無】

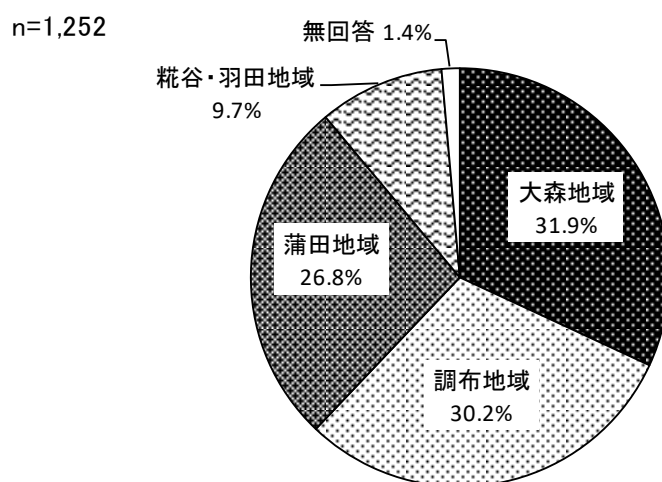
【(配偶者のいる方) 共働きについて】



【職業】



【住まいの地域】



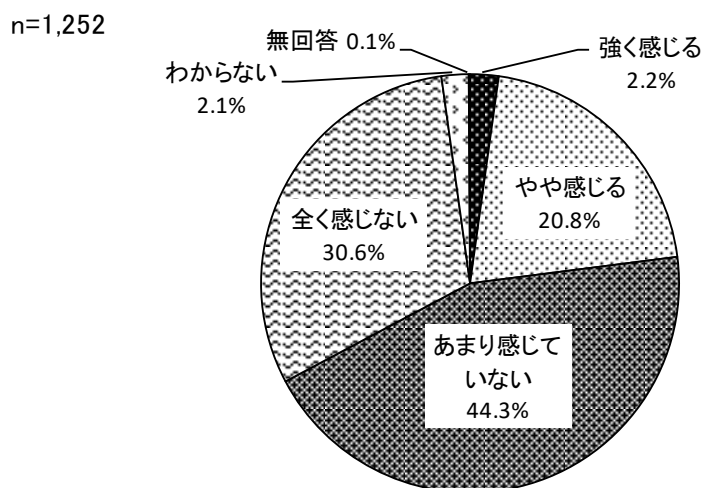
2 子育ての相談相手などについて

(1) 子育てにおける孤独感について

◎ 《感じる（合計）》は2割前半

問1 子育てに関して孤立感を感じていますか。(○は1つ)

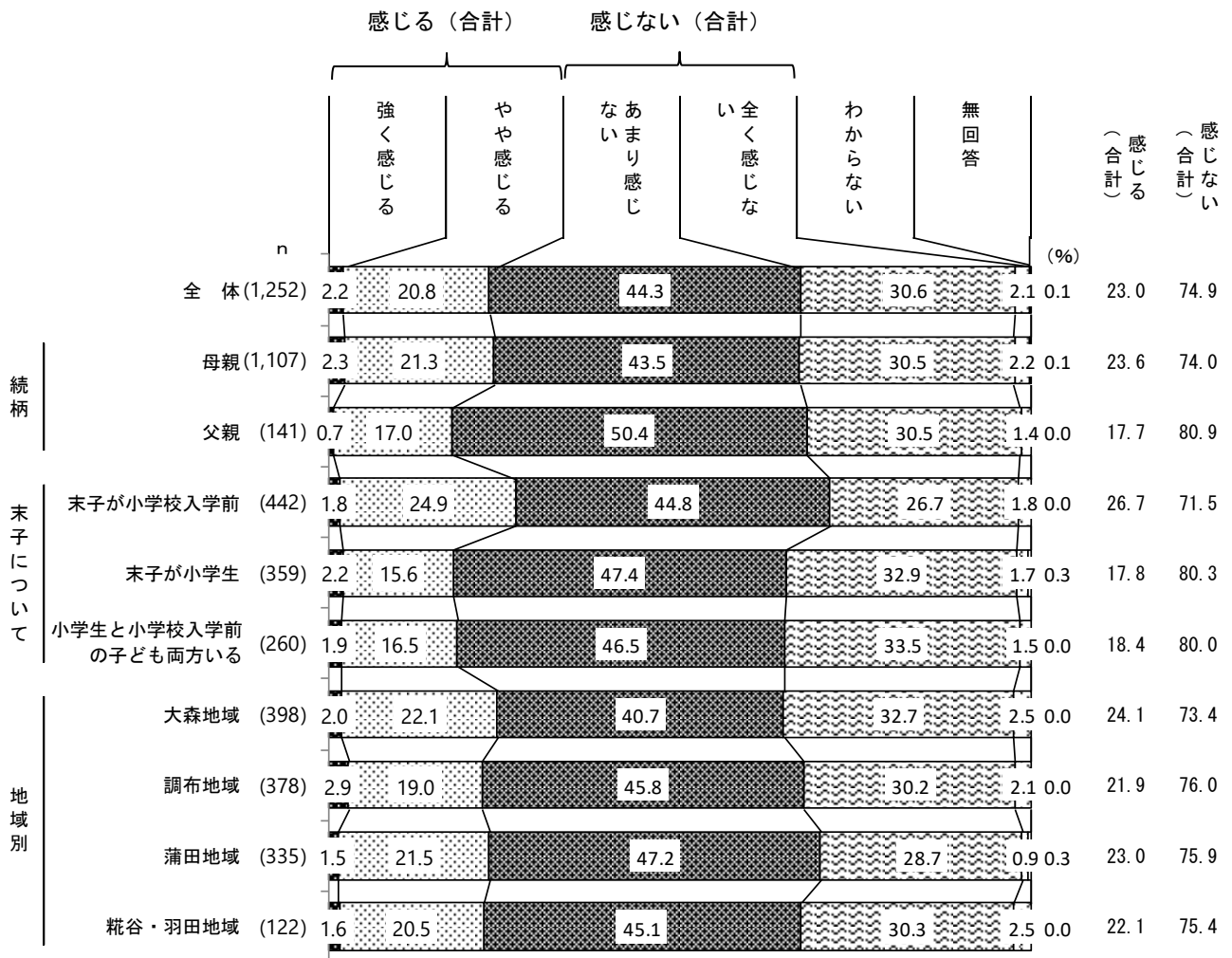
図表2-1 子育てにおける孤独感について



子育てに関して孤立感を感じているか聞いたところ、「強く感じる」(2.2%)と「やや感じる」(20.8%)を合わせた《感じる(合計)》は23.0%となっている。

一方、「あまり感じていない」が44.3%で最も高く、「全く感じない」(30.6%)と合わせた《感じない(合計)》は74.9%となっている。(図表2-1)

図表 2-2 子育てにおける孤独感について（続柄・末子について・地域別）



子育てにおける孤独感について、続柄でみると「やや感じる」では『母親』(21.3%)、『父親』(17.0%)と、『母親』が『父親』を4.3ポイント上回っている。

末子についてみると、「やや感じる」で『末子が小学校入学前』(24.9%)が、『末子が小学生』(15.6%)を9.3ポイント上回っている。(図表2-2)

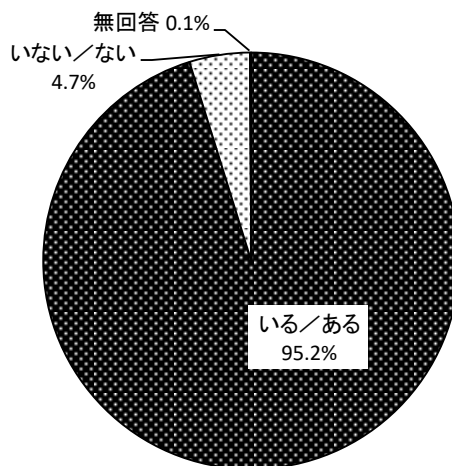
(2) 子育ての相談ができる相手・場所の有無

◎ 「いる／ある」が9割半ば

問2 子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。
(○は1つ)

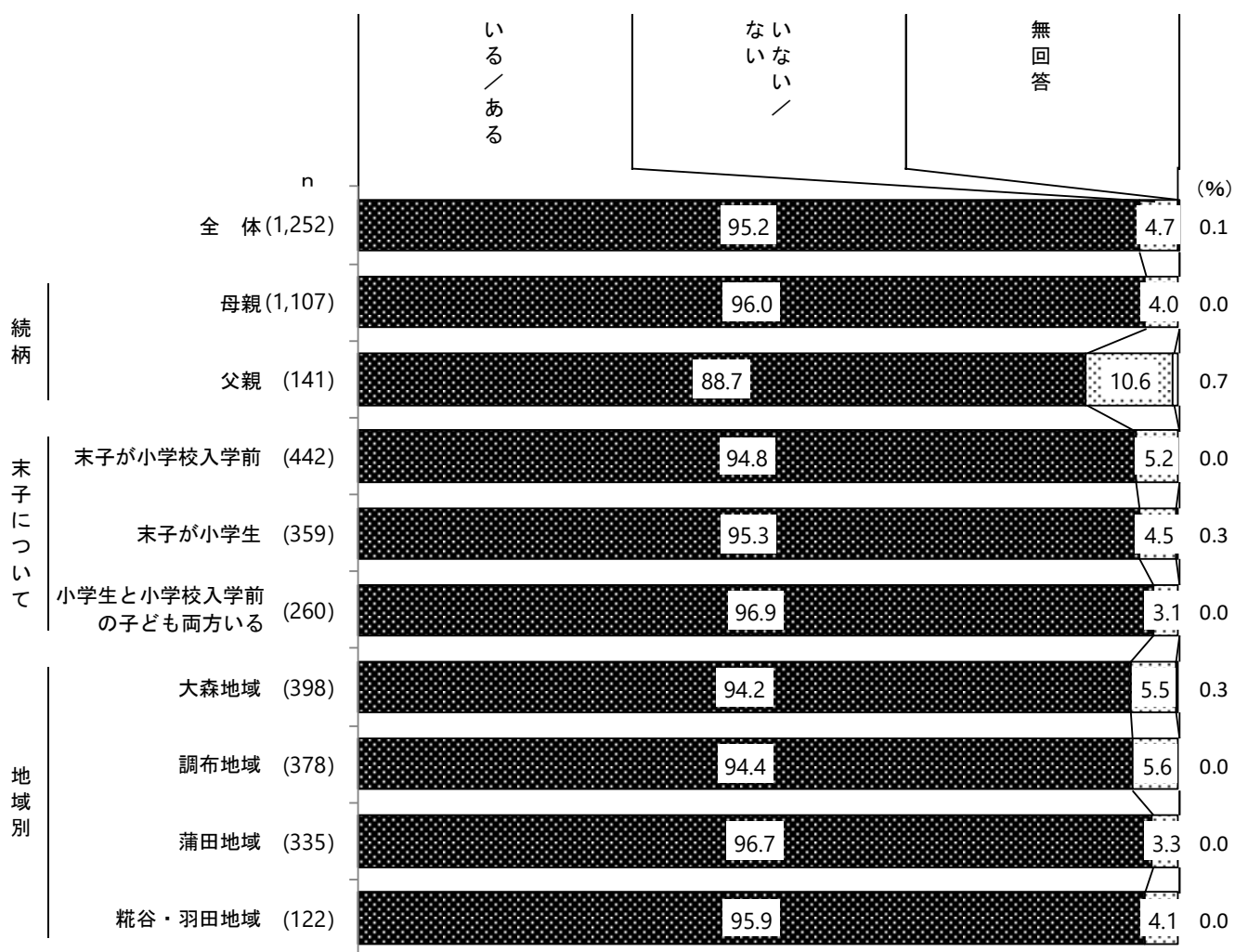
図表2-3 子育ての相談ができる相手・場所の有無

n=1,252



子育てについて気軽に相談できる相手・場所があるか聞いたところ、「いる／ある」が95.2%、「いない／ない」が4.7%となっている。(図表2-3)

図表 2-4 子育ての相談ができる相手・場所の有無（続柄・末子について・地域別）



子育てについて気軽に相談できる相手・場所の有無について、続柄で見ると「いる／ある」では『母親』（96.0%）、『父親』（88.7%）と、『母親』が『父親』を7.3ポイント上回っている。（図表 2-4）

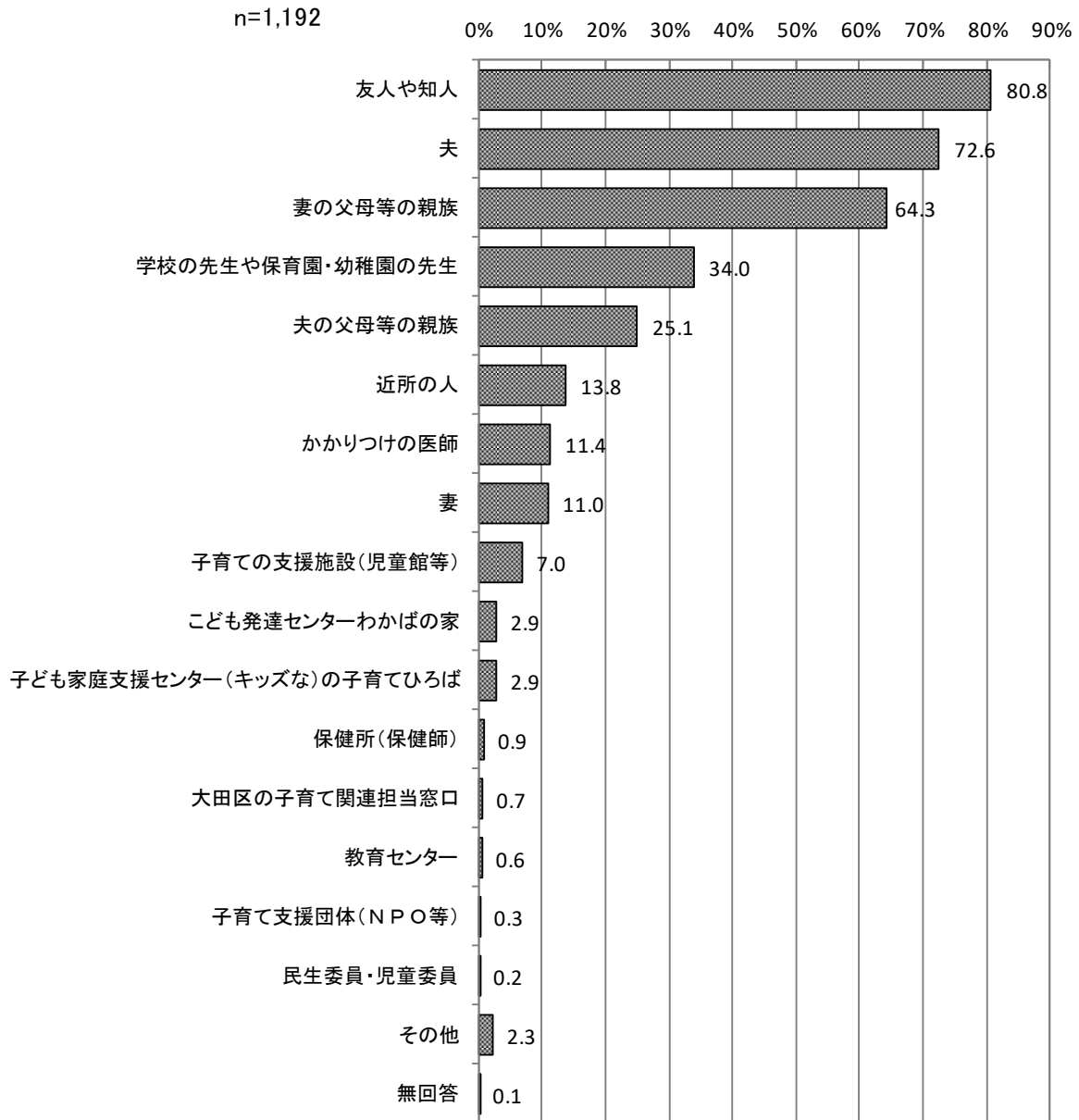
(3) 子育ての相談ができる相手・場所について

◎ 「友人や知人」が約8割で最も高くなっている

【問2で「1. いる／ある」と回答された方】

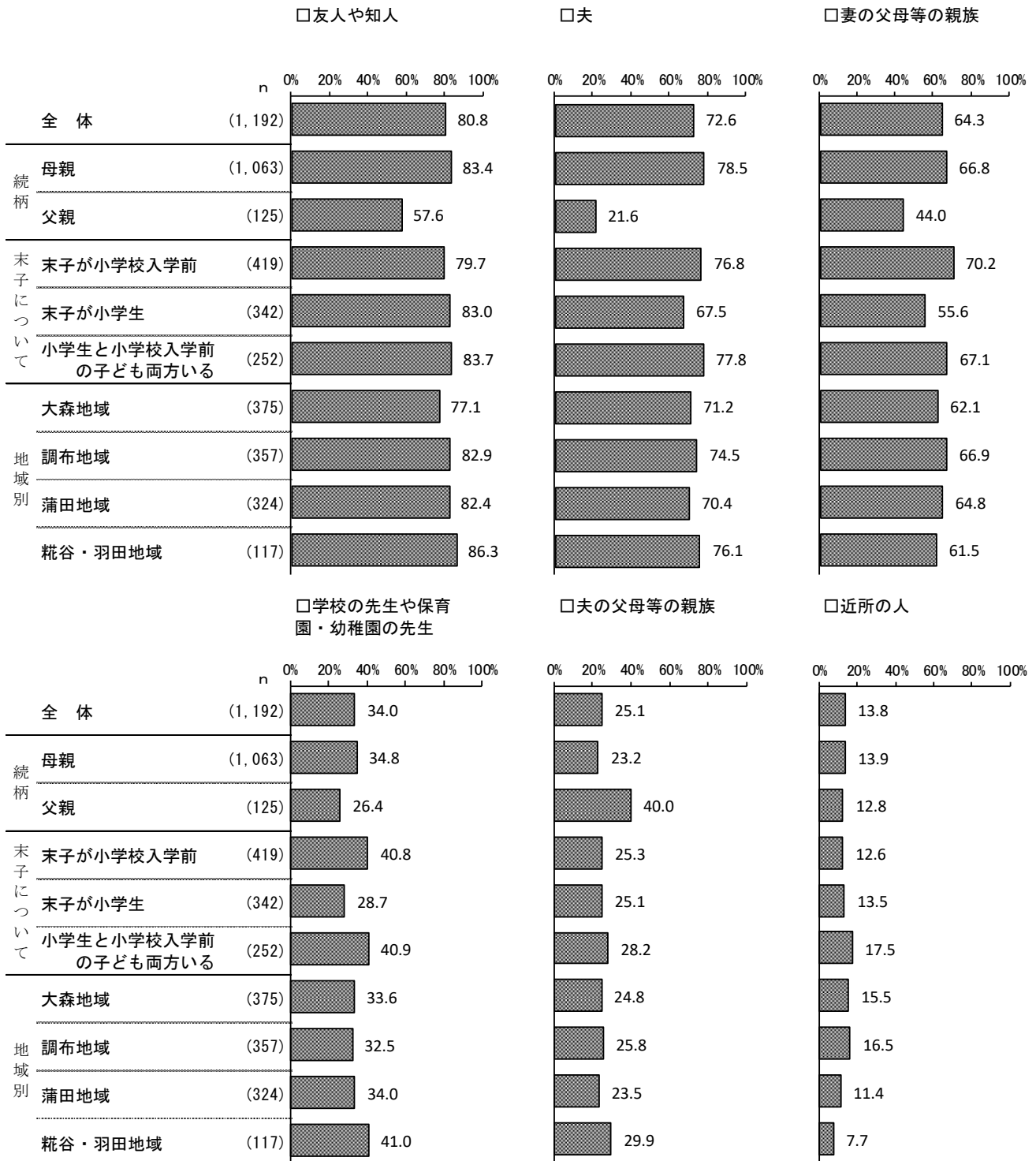
問2-1 気軽に相談できる相手は誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

図表2-5 子育ての相談ができる相手・場所について



気軽に相談できる相手・場所について聞いたところ、「友人や知人」が80.8%で最も高く、次いで「夫」(72.6%)、「妻の父母等の親族」(64.3%) などとなっている。(図表2-5)

図表2-6 子育ての相談ができる相手・場所について
(続柄・末子について・地域別 上位6項目)



気軽に相談できる相手・場所について、上位6項目を続柄でみると「友人や知人」では『母親』(83.4%)、『父親』(57.6%)と、『母親』が『父親』を25.8ポイント上回っている。

末子についてみると、「学校の先生や保育園・幼稚園の先生」では『末子が小学校入学前』(40.8%)が、『末子が小学生』(28.7%)を12.1ポイント上回っている。(図表2-6)

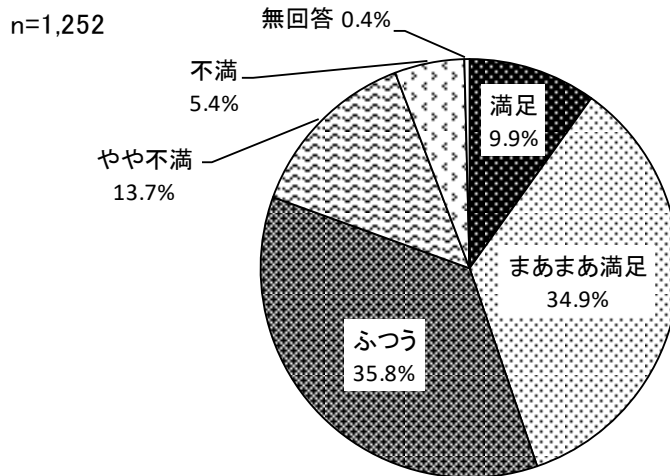
3 子育ての環境や支援などについて

(1) 区の子育て環境や支援の満足度

◎ 「ふつう」が3割半ばで最も高くなっている

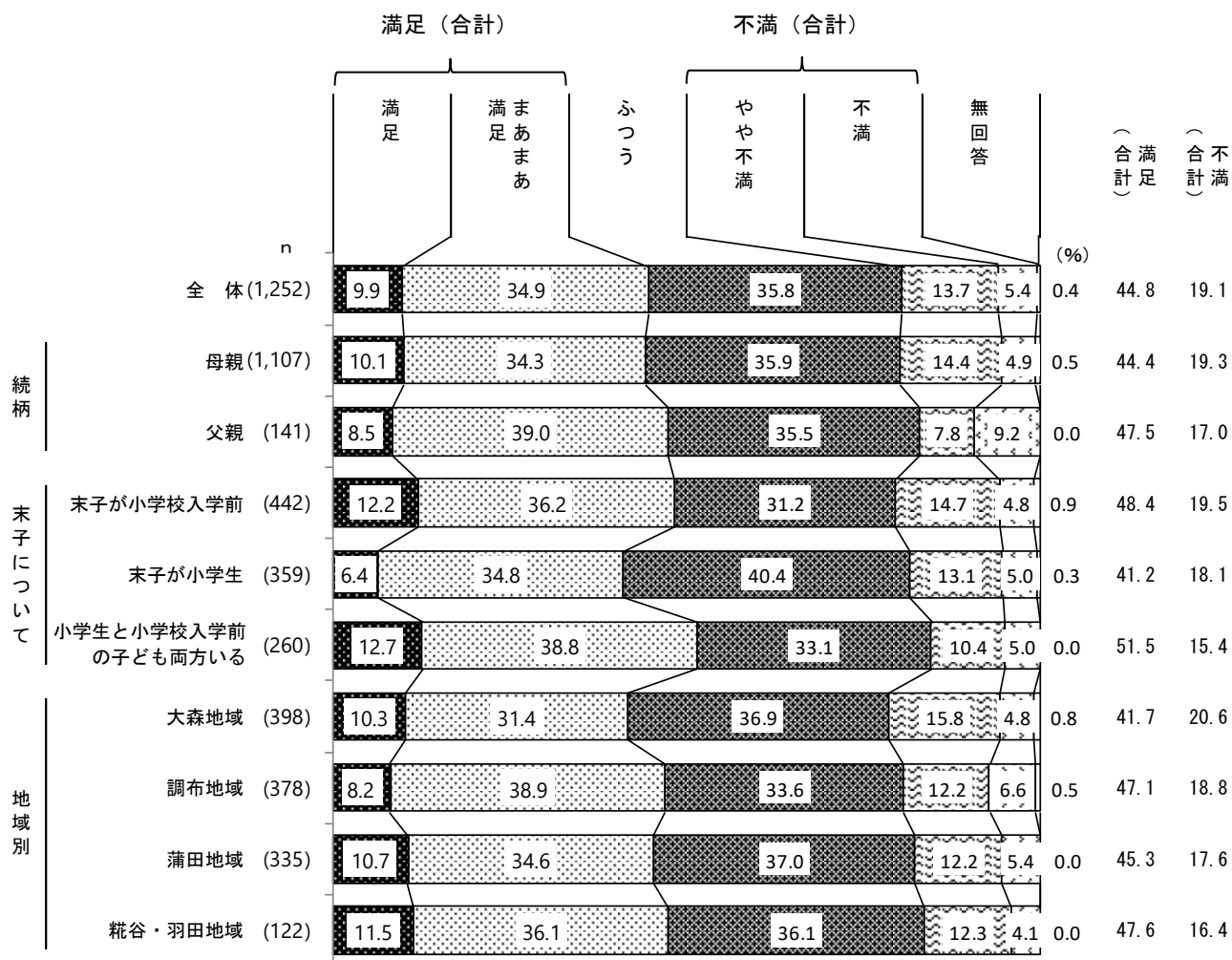
問3 区の子育て環境や支援に満足していますか。(○は1つ)

図表3-1 区の子育て環境や支援の満足度



区の子育て環境や支援に満足しているか聞いたところ、「ふつう」が35.8%で最も高くなっている。「満足」(9.9%)と「まあまあ満足」(34.9%)を合わせた《満足(合計)》は44.8%、「やや不満」(13.7%)と「不満」(5.4%)を合わせた《不満(合計)》は19.1%となっている。(図表3-1)

図表 3-2 区の子育て環境や支援の満足度（続柄・末子について・地域別）



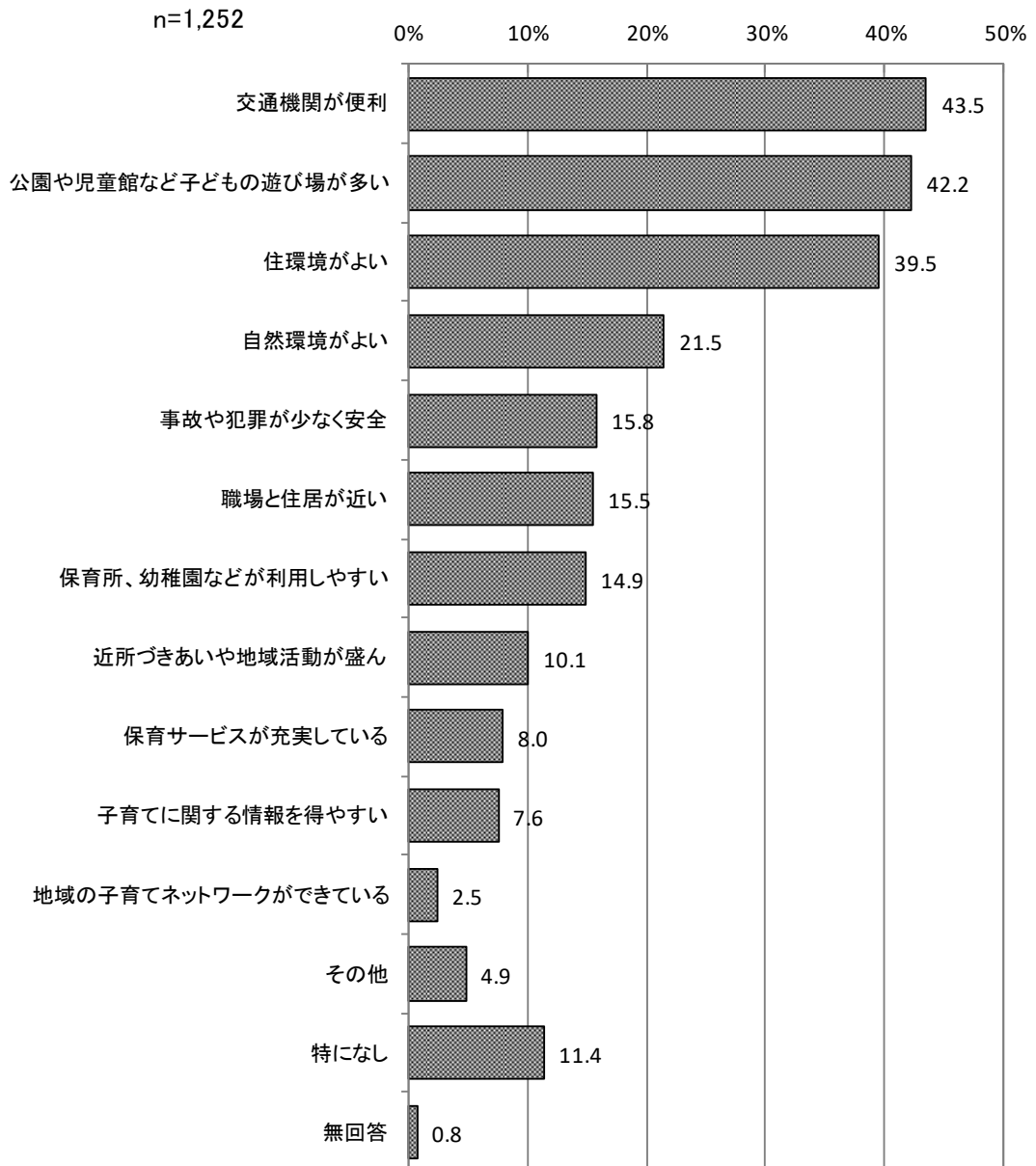
区の子育て環境や支援の満足度について、末子についてでみると《満足 (合計)》では『末子が小学校入学前』(48.4%)が、『末子が小学生』(41.2%)を7.2ポイント上回っている。(図表3-2)

(2) 大田区の子育て環境・支援で満足している点について

◎ 「交通機関が便利」が4割前半で最も高くなっている

問4 区の子育て環境や支援で満足している点はなんですか。(〇はいくつでも)

図表3-3 大田区の子育て環境・支援で満足している点について

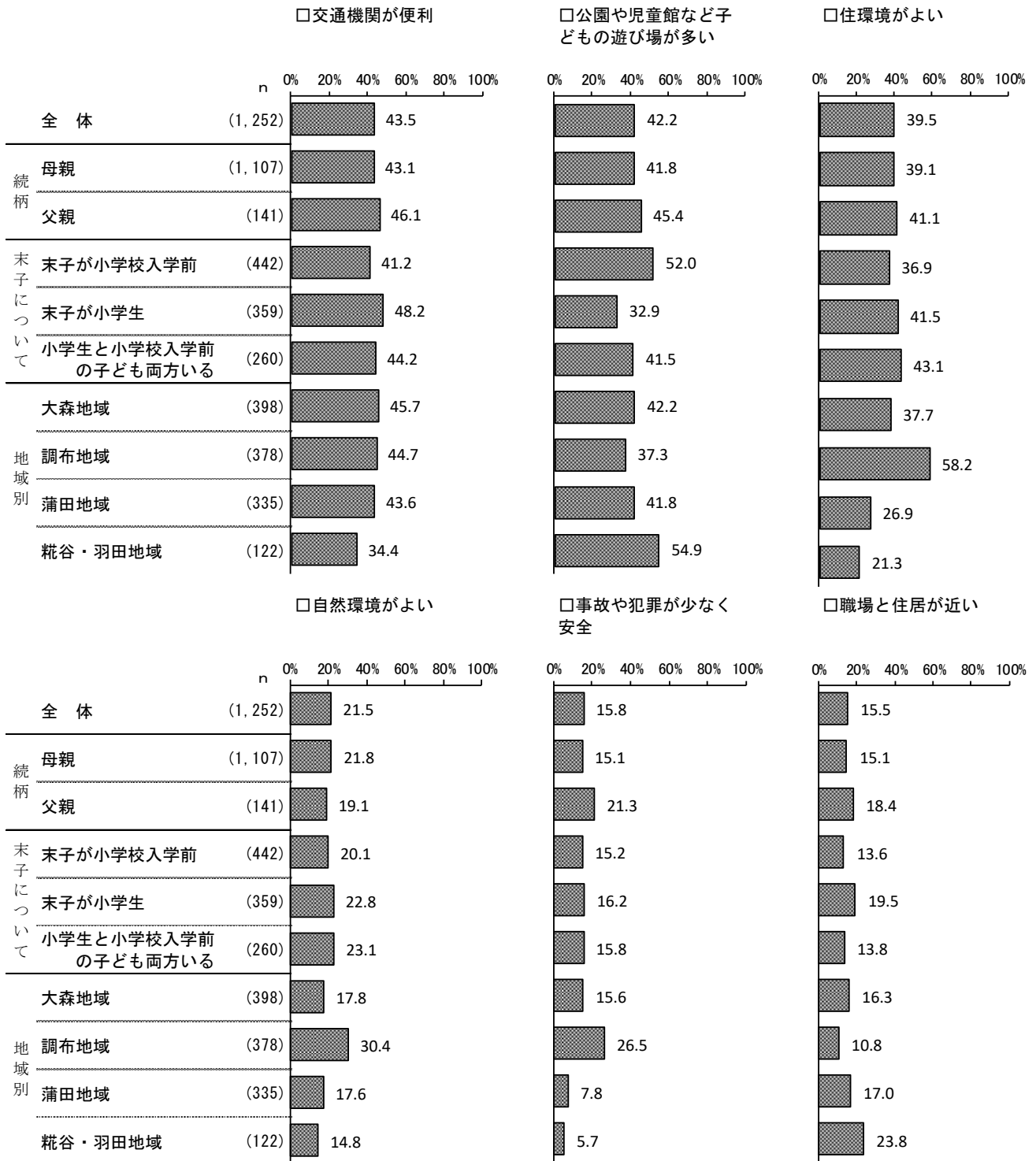


区の子育て環境や支援で満足している点を聞いたところ、「交通機関が便利」が43.5%で最も高く、次いで「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」(42.2%)、「住環境がよい」(39.5%)などとなっている。

一方、「特になし」は11.4%となっている。(図表3-3)

図表3-4 大田区の子育て環境・支援で満足している点について

(続柄・末子について・地域別 上位6項目)



大田区の子育て環境・支援で満足している点について、上位6項目を地域別でみると「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」では『糎谷・羽田地域』が54.9%となっている。「住環境がよい」、「自然環境がよい」、「事故や犯罪が少なく安全」では、『調布地域』がそれぞれ58.2%、30.4%、26.5%となっている。(図表3-4)

VI 資料編

～ 大田区からのお願い ～

**区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
(18歳以上の区民の方対象)
(地域力・まちづくり・環境分野などの調査)**

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住いの18歳以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月

大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

- ① 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請については、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。

【申請者ID】 _____ 【パスワード】 _____

- ② ご記入は、あて名のご本人にお願いいたします。
- ③ お答えは、1つだけ回答していただくものと、複数(あてはまるものすべて)回答していただくものがありますので、説明に従って回答してください。
また、○印は、番号を囲むようにつけてください。 例)
- ④ お答えが「その他」にあてはまる場合は、
() 内にその内容を具体的に記入してください。 ①
- ⑤ 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、
令和元年12月6日(金)までにポストに投函してください。

◆この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。



大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目 13 番 14 号

電話：03-5744-1444

受付時間：平日 9：00～17：00 (土・日・祝日を除く)

地域活動・生涯学習について

問1 豊かで魅力に満ちたまちづくりを進めるための連携や協働をするにあたり、どのようなことが重要だとお考えですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1. お互いの立場を尊重し、理解し合うこと | |
| 2. 地域の課題や取組の目的を話し合い、共有すること | |
| 3. お互いの役割分担をよく話し合い、それぞれの長が活かされる活動をする | |
| 4. 活動の場においては、対等な協力関係を築くこと | |
| 5. 連携・協働する相手に依存することなく、自分の役割を果たすこと | |
| 6. 連携・協働して取組んでいる活動の内容が、地域住民にわかるようにすること | |
| 7. その他(具体的に: _____) |) |
| 8. わからない | |

問2 今まで、大田区内の地域活動に一度でも参加したことがありますか。参加したことがある活動をお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|---------------------------|
| 1. 清掃やリサイクル活動 | 10. 国際交流 |
| 2. お祭りや地域行事 | 11. 募金 |
| 3. 文化・スポーツ・レクリエーション | 12. 献血 |
| 4. 地域の防災訓練 | 13. 学校、児童館などが開いた講座・教室や催し物 |
| 5. 子育てや子どもの健全育成 | 14. 自治会・町会活動 |
| 6. 交通安全 | 15. PTA活動 |
| 7. 通学路や公園などでの子どもの見守りや、
地域安全・安心パトロールなどの活動 | 16. ボランティア活動 |
| 8. 高齢者や障がいのある方に対する支援 | 17. その他 (具体的に: _____) |
| 9. 地域のまちづくり | 18. 参加したことがない |

【問2で「1」～「17」と回答された方(大田区内の地域活動に参加したことがある方)】

問2-1 現在、地域活動に参加していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない |
|-----------|------------|

【問2で「18. 参加したことがない」と回答された方】

問2-2 地域活動に参加していない最も大きな理由は何ですか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 参加したいが、仕事や家事が忙しく時間がない | |
| 2. 参加したいが健康面に不安がある | |
| 3. 参加したいが、参加するきっかけがない | |
| 4. 地域活動に興味が無く、参加したいと思わない | |
| 5. その他(具体的に: _____) |) |

問3 地域活動の情報を発信する区民活動情報サイト「オーちゃんネット」を知っていますか。

(○は1つ)

1. 知っている	2. 聞いたことはある	3. 知らない
----------	-------------	---------

【問3で「1. 知っている」と回答された方】

問3-1 区民活動情報サイト「オーちゃんネット」で大田区内の地域活動の情報を調べたことがありますか。(○は1つ)

1. 地域活動の情報を調べ、その活動に参加した
2. 地域活動の情報は調べたが活動には参加していない
3. 地域活動の情報は調べていない

問4 あなたは、最近1年間にどのような生涯学習の活動を行いましたか。また、新たに始めてみたいことはありますか。該当する番号に○を付けてください。(「①最近1年間で行ったもの」「②新たに始めたいもの」、それぞれ○はいくつでも)

活動内容	①最近1年間で 行ったもの	②新たに 始めた もの
自分の趣味・実益に関するもの（文化〔例 音楽、美術、文芸など〕）	1	1
自分の趣味・実益に関するもの（スポーツ〔例 球技、体操、武道、ダンスなど〕）	2	2
自分の教養を高めるもの（文学、歴史、科学、語学など）	3	3
社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境問題など）	4	4
地域社会に関するもの（地域の歴史、自然、文化など）	5	5
健康づくりに関するもの（講座、講演会など）	6	6
子育て、教育に関するもの	7	7
パソコン、インターネットやスマートフォンの知識や技術	8	8
ボランティア活動のために必要な知識や技能	9	9
その他①（具体的に： ②（具体的に：	10	10
特になし	11	11

【問4①最近1年間で行ったもので「1」～「10」と回答された方】

問4-1 あなたは生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 自分の人生がより豊かになっている | 5. 地域や社会での活動に活かしている |
| 2. 家庭・日常の生活に活かしている | 6. その他 |
| 3. 自分の健康を維持・増進している | (具体的に) |
| 4. 仕事や就職に活かしている | 7. 活かしていない |

【問4①最近1年間で行ったもので「11. 特になし」と回答された方】

問4-2 生涯学習の活動をされていない理由は何ですか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 興味がない |
| 2. 興味はあるが何が、いつ、どこで行われているかわからない |
| 3. 興味はあるが時間に余裕がない |
| 4. 興味はあるがきっかけがない |
| 5. その他(具体的に:) |

問5 生涯学習情報紙「WaKuWaKuおおた(わくわくおおた)」を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

【問5で「1. 知っている」と回答された方】

問5-1 生涯学習情報紙「WaKuWaKuおおた(わくわくおおた)」を読みどのように感じましたか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1. 生涯学習に興味をもった |
| 2. 掲載のイベント、講座やサークル等に参加した |
| 3. 興味がある記事はなかった |
| 4. その他(具体的に:) |

公共交通機関・耐震改修について

問6 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. とても利用しやすい | 3. あまり利用しやすすくない |
| 2. まあまあ利用しやすい | 4. 不便である |

問7 大田区内の公共交通網に満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. とても満足している | 3. あまり満足していない |
| 2. まあまあ満足している | 4. 満足していない |

問8 区内の公共交通について、改善を望むものがありますか。(〇はいくつでも)

1. 鉄道路線の充実(蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む)
2. バス路線の充実
3. 端末交通(タクシー等)の充実
4. 公共交通機関のバリアフリー化
5. その他(具体的に:)

問9 あなたは、現在のお住まいや所有している建物の耐震改修を行いましたか。(〇は1つ)

1. 行った
2. 現在、耐震改修を予定している
3. 行っていない

【問9で「3. 行っていない」と回答された方】

問9-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 改修工事を行う費用がない
2. 方法、手段がわからない
3. 工法や費用が適切かわからない
4. 工事を行うと生活に支障が生じる
5. 所有者が複数いるため、合意を得るのが難しい
6. 助成金申請の手続きが煩雑である
7. 建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している
8. その他(具体的に:)

問10 大田区は昭和56年5月31日以前に新築着工した建物を耐震改修する場合、経費の一部を負担する助成制度を設けています。助成制度があることをご存知でしたか。(〇は1つ)

1. 助成制度を利用した
2. 助成制度を知っている
3. 知らなかった

自転車の利用について

問11 あなたは大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることを知っていますか。

(〇は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

【問11で「1. 知っている」と回答された方】

問11-1 あなたはコミュニティサイクルを利用したことがありますか。(〇は1つ)

1. 大田区のコミュニティサイクルを利用したことがある
2. 大田区では利用したことはないが、大田区以外のコミュニティサイクルを利用したことがある
3. 利用したことはないが、今後利用してみたい
4. 利用したことはなく、今後も利用する予定はない

【問 11-1 で「1」または「2」と回答された方】

問 11-1-1 コミュニティサイクルの利用目的は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. 観光、レジャー | 3. 仕事・通勤、通学 |
| 2. 買い物、飲食 | 4. その他（具体的に： _____） |

【問 11-1 で「3」または「4」と回答された方】

問 11-1-2 コミュニティサイクルを利用しない（利用したことがない）理由を教えてください。
(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 自分の自転車を利用している | 4. 利用料金が高い |
| 2. 設置場所が少ない | 5. 必要と感じない |
| 3. 利用方法が複雑である | 6. その他（具体的に： _____） |

問 12 あなたは、普段から自転車を使いますか。(○は1つ)

- | | | | | |
|---------|----------|--------------|-----------|---------|
| 1. よく使う | 2. たまに使う | ⇒問 13～問 16 へ | 3. 全く使わない | ⇒問 17 へ |
|---------|----------|--------------|-----------|---------|

問 13 あなたは、過去に自転車を盗まれたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 盗まれたことがある | 2. 盗まれたことがない |
|--------------|--------------|

問 14 あなたは、普段自転車から降りた後、鍵をかけますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|----------------|--------------|
| 1. 必ず鍵をかける | 2. 鍵をかけないときもある | 3. いつも鍵をかけない |
|------------|----------------|--------------|

【問 14 で「2. 鍵をかけないときもある」と回答された方】

問 14-1 あなたが自転車の鍵をかけないのは、どのような場所ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 自宅に駐輪するとき | 3. 特に場所は気にしない |
| 2. 自転車駐輪場に駐輪するとき | |

問 15 駅周辺の自転車駐輪場の数は、足りていると感じますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 足りている | 2. 足りていない |
|----------|-----------|

【問 15 で「2. 足りていない」と回答された方】

問 15-1 何駅周辺で不足していると感じますか。(最大3つまでご記入ください)

	駅
	駅
	駅

問 16 買い物や飲食のために駅まで使った自転車は、駐輪場を利用していますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 利用する | 2. 利用しない |
|---------|----------|

【問 16 で「2. 利用しない」と回答された方】

問 16-1 あなたが利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 駐輪場自体がない | 4. 短時間駐輪のため |
| 2. 駐輪場に空きがない | 5. 路上においても撤去されにくい |
| 3. 利用料がかかる | |

食品ロス・フードドライブについて

問 17 あなたは、食生活の中で「もったいない」と意識したことがあるのはどんなときですか。

(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 期限切れ等で食べずに捨ててしまうとき |
| 2. レストラン等で他人の食べ残したのを見たとき |
| 3. あなた又はあなたの家族等が食べ残したのを見たとき |
| 4. ごみ（特に生ごみ）を捨てる時 |
| 5. その他（具体的に： _____） |
| 6. 意識したことはない |

問 18 あなたは、「食品ロス」という言葉をご存知ですか。(〇は1つ)

※食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品

- | |
|---------------------------|
| 1. 言葉の意味まで良く理解していた |
| 2. 聞いたことはあるが、言葉の意味は知らなかった |
| 3. 知らなかった |

問 19 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。

(〇はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする |
| 2. 賞味期限だけで判断せず、見た目や臭い等で食べられるか判断する |
| 3. 日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する |
| 4. 出された料理を残さず食べきる |
| 5. 食べきれなかったものを他の料理に作り替える |
| 6. 料理を作り過ぎない |
| 7. 野菜の皮や芯を料理に使うなど、食材を無駄なく使う |
| 8. 飲食店等で注文し過ぎない |
| 9. その他（具体的に： _____） |
| 10. 特にない |

問 20 外食をするとき、食べ残しをしないためにお店にして欲しいことは何ですか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 小盛りメニューの導入 | 4. 量の表示 |
| 2. 食べきれなかった料理の持ち帰り | 5. その他 (具体的に:) |
| 3. 白飯などの量の調整 | 6. 特にない |

問 21 食品ロス削減に取り組む飲食店や食料品小売店等の情報があれば、そのお店を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 利用したいと思います | 2. 利用したいと思わない |
|---------------|---------------|

問 22 ご家庭の未利用食品を集めて、必要としている団体等に提供する活動を「フードドライブ」といいます。あなたの家で未利用食品が出た際、フードドライブに提供したいと思いますか。

(〇は1つ)

※フードドライブに提供できる食品・・・主に米などの穀類、調味料、缶詰、インスタント食品など

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 提供したいと思います | 2. 提供したいと思わない |
|---------------|---------------|

【問 22 で「1. 提供したいと思います」と回答された方】

問 22-1 フードドライブに提供する際、あなたが重要と思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 手続きが簡単で分かり易いこと | 4. 提供先が信頼できる団体であること |
| 2. 提供できる場所が近くにあること | 5. その他 |
| 3. 提供場所の開設時間が長いこと | (具体的に:) |

【問 22 で「2. 提供したいと思わない」と回答された方】

問 22-2 フードドライブに提供したいと思わないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 提供方法が分からないから | 4. 余っている食品がないから |
| 2. 提供できる場所が分からないから | 5. その他 |
| 3. 提供するまでの手続きが面倒と思うから | (具体的に:) |

あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 4. 40～49 歳 | 7. 65～69 歳 |
| 2. 20～29 歳 | 5. 50～59 歳 | 8. 70～74 歳 |
| 3. 30～39 歳 | 6. 60～64 歳 | 9. 75 歳以上 |

【F 2で「7」～「9」と回答された方（65歳以上の方）】

F 2-1 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 受けていない | 2. 受けている（要支援含む） |
|-----------|-----------------|

F 3 あなたの国籍を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------|--------------------|
| 1. 日本国籍 | 2. それ以外（国籍名：_____） |
|---------|--------------------|

F 4 あなたのお住まいを教えてください。各地域の（ ）内は、管轄する特別出張所です。

(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 大森地域（大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿） |
| 2. 調布地域（嶺町、田園調布、鶉の木、久が原、雪谷、千束） |
| 3. 蒲田地域（六郷、矢口、蒲田西、蒲田東） |
| 4. 糀谷・羽田地域（糀谷、羽田） |

F 5 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし | 4. 三世代世帯（親と子と孫） |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他 |
| 3. 二世帯世帯（親と子） | （具体的に：_____） |

F 6 あなたのお住いの種類は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 4. 賃貸住宅（集合住宅） |
| 2. 持ち家（集合住宅） | 5. 寮・社宅・宿舎 |
| 3. 賃貸住宅（一戸建て） | 6. その他（具体的に：_____） |

F10 現在のあなたご自身は、この中のどれにあたりますか。(○は1つ)

独身の方	1. 本人 18～39 歳 2. 本人 40～64 歳 3. 本人 65 歳以上
子どものいない 夫婦の方	4. 本人 18～39 歳 5. 本人 40～64 歳 6. 本人 65 歳以上
子どものいる方 (別居も含む)	7. 一番上の子どもが小学校入学前 8. 一番上の子どもが小・中学生 9. 一番上の子どもが高校・大学生 10. 一番上の子どもが学校卒業 (本人は 64 歳以下) 11. 一番上の子どもが学校卒業 (本人は 65 歳以上)

F11 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

1. 1年未満	5. 10年以上 20年未満
2. 1年以上 3年未満	6. 20年以上 30年未満
3. 3年以上 5年未満	7. 30年以上
4. 5年以上 10年未満	

これで調査は終了です。

最後までご協力いただきまして、ありがとうございました。

～ 大田区からのお願い ～

**区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
(18歳以上の区民の方対象)
(スポーツ・福祉・保健分野などの調査)**

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住いの18歳以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月

大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

- ① 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請については、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。

【申請者ID】 _____ 【パスワード】 _____

- ② ご記入は、あて名のご本人にお願いいたします。
- ③ お答えは、1つだけ回答していただくものと、複数(あてはまるものすべて)回答していただくものがありますので、説明に従って回答してください。
また、○印は、番号を囲むようにつけてください。 例)
- ④ お答えが「その他」にあてはまる場合は、
() 内にその内容を具体的に記入してください。
- ⑤ 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。

1

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、

令和元年12月6日(金)までにポストに投函してください。

◆この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。



大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目 13 番 14 号

電話：03-5744-1444

受付時間：平日 9：00～17：00 (土・日・祝日を除く)

スポーツ・文化活動について

問1 大田区の文化・芸術として思い浮かぶものはどのようなものですか。(〇はいくつでも)

1. 歴史的な建造物、遺跡(池上本門寺、六郷用水、大森貝塚等)
2. 田園調布をはじめとしたまちなみや景観
3. 地域に伝わる伝統文化や技法(六郷とんび凧、大森麦わら細工、海苔の養殖等)
4. 寺社仏閣で行われる伝統行事(池上本門寺をはじめとするお会式、神社の祭礼等)
5. 地域が主催するまつりや行事・イベント
6. 区で行われているイベント(春宵の響、大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」、OTAふれあいフェスタ等)
7. 芸術文化作品(川端龍子の日本画、熊谷恒子のかな書等)
8. 勝海舟記念館、郷土博物館、龍子記念館、熊谷恒子記念館等の文化施設
9. 大田区民プラザや大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森等の施設とそこで実施しているイベント(下丸子JAZZ倶楽部、下丸子らくご倶楽部、アプリコみんなの音楽祭、大田区在住作家美術展等)
10. 文化センターや区民センター、大田文化の森等で実施している区民の文化活動(絵画、写真、書道、華道、合唱等)
11. 新たな文化・芸術創作活動(ポップカルチャー、現代美術、ストリートダンス等)
12. その他(具体的に：)
13. 特になし

問2 この中にあなたが、この1年間で行ったスポーツや運動があれば、すべてお選びください。

(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. ウォーキング、散歩
(散策、ペットの散歩などを含む) | 14. ゴルフ |
| 2. ランニング、ジョギング | 15. ハイキング、登山 |
| 3. サイクリング、モータースポーツ | 16. スキー、スノーボード |
| 4. 体操(ラジオ体操、職場体操、空いている
時間のストレッチ、ヨガ、縄跳びを含む) | 17. スケートボード、ローラースケート |
| 5. ダンス、民謡踊り | 18. 釣り |
| 6. 室内運動器具(ウェイト、ランニング
マシン、バランスボールを使った運動) | 19. キャンプ、オートキャンプ |
| 7. 水泳(水中歩行も含む) | 20. ヨット、ボート、(スキン)ダイビング、
サーフィンなど |
| 8. 軽い球技
(キャッチボール、親子での卓球等) | 21. 柔道、剣道、空手、弓道等武道 |
| 9. 競技的球技
(野球、サッカー、卓球、テニス等) | 22. ボクシング等格闘技 |
| 10. ボッチャ | 23. その他競技スポーツ |
| 11. ボウリング | 24. 比較的軽い運動(一駅歩きや階段昇降、仕
事や家事の合間の簡単な運動、意識的に負
荷をかけた家事の合間のながらの運動、介
護予防やストレス解消を目的とした運動な
ど) |
| 12. ゲートボール、グランドゴルフ | 25. スポーツや身体活動は実施しなかった |
| 13. スポーツ吹矢などニュースポーツ | |

【問2で「1」～「24」を回答された方】

問2-1 この1年間に運動・スポーツ活動を実施した日数を全部合わせると、何日ぐらいになりますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 週に3日以上(年151日以上) | 5. 3ヶ月に1～2回(年4～11日) |
| 2. 週に2日(年101～150日) | 6. 年に1～3回 |
| 3. 週に1日(年51～100日) | 7. わからない |
| 4. 月に1～3回(年12～50日) | |

問3 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、東京2020大会)が身近になってきたと感じますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 感じている | 4. 感じていない |
| 2. やや感じている | 5. どちらとも言えない |
| 3. あまり感じていない | |

問4 東京2020大会について、以下のことをご存知ですか。(○はそれぞれ1つ)

(1) 2020年にブラジルのオリンピック選手団が大田区内で事前キャンプを行うこと。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

(2) 東京2020大会において、大田区内で「ホッケー競技」が開催されること。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

バリアフリー・福祉施策などについて

問5 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」という言葉をご存知ですか。(○はそれぞれ1つ)

(1) バリアフリー

※高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁(バリア)を取り除く考え方

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 定義までよく理解している | 3. 聞いたことはあるが定義がよくわからない |
| 2. 定義はなんとなく理解している | 4. 初めて聞いた言葉である |

(2) ユニバーサルデザイン

※バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍(言語)、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの方が利用しやすいように生活環境を構築する考え方

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 定義までよく理解している | 3. 聞いたことはあるが定義がよくわからない |
| 2. 定義はなんとなく理解している | 4. 初めて聞いた言葉である |

問6 大田区役所(本庁舎、地域庁舎、特別出張所など)を最近利用したときの、案内表示のわかりやすさについて、あなたのご意見に最も近いのはどれですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 満足している | 4. 不満である |
| 2. ほぼ満足している | 5. わからない、最近利用していない |
| 3. 少し不満である | |

問7 駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 感じている | 4. 感じていない |
| 2. やや感じている | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり感じていない | |

問8 以下の(1)～(5)の制度、計画、施設などをご存知ですか。(○はそれぞれ1つ)

(1) 障害者差別解消法

※障がいのある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながらともに生きる社会づくりを目指して、平成28年4月に施行された法律

- | |
|-----------------------------|
| 1. 法律の内容も含めて知っている |
| 2. 内容は知らないが、法律が作られたことは知っている |
| 3. 知らない |

(2) 成年後見制度

※認知症、知的障がいなどによって判断能力が不十分な方を法的に保護・支援する制度

- | | | |
|--------------|-------------|---------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らない |
|--------------|-------------|---------|

(3) おおた 子どもの生活応援プラン

※大田区の子どもの貧困対策に関する計画

- | | | |
|--------------|-------------|---------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らない |
|--------------|-------------|---------|

(4) さぽーとぴあ(大田区立障がい者総合サポートセンター)

※障がいのある方の暮らしを総合的にサポートする施設

- | | | |
|------------|-------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らない |
|------------|-------------|---------|

(5) ヘルプカード(たすけてねカード)

※障がいのある方などが災害時や日常の外出先での緊急時に手助けを求めるためのカード(大田区が作成)

- | | | |
|------------|-------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らない |
|------------|-------------|---------|

通院・喫煙について

問9 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. かかりつけ医はいる | 3. かかりつけ薬局はある |
| 2. かかりつけ歯科医はいる | 4. いずれもない |

問10 「在宅医療」の制度や仕組みについて知っていますか。(○は1つ)

※在宅医療とは、自宅等において、医師の往診や治療、訪問看護などの医療サービスを受けながら、療養生活を送ること。

- | | | |
|----------|----------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 言葉は聞いたことがある | 3. 知らない |
|----------|----------------|---------|

問 11 区内で震度 6 弱以上の大地震が発生し、ライフラインが停止した場合、診療所等は休診し、緊急医療救護所及び軽症者救護所を開設することになっています。ご存じですか。

(○は 1 つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 12 あなたは、たばこを吸いますか。(○は 1 つ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 毎日吸っている |
| 2. ときどき吸う日がある |
| 3. 以前は吸っていたが、1 ヶ月以上吸っていない |
| 4. 吸わない |

【問 12 で「1. 毎日吸っている」または「2. ときどき吸う日がある」と回答された方】

問 12-1 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。(○は 1 つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. やめたい | 4. 新型たばこに変えたい |
| 2. 本数を減らしたい | 5. わからない |
| 3. やめたくない | |

【問 12 で「1. 毎日吸っている」または「2. ときどき吸う日がある」と回答された方】

問 12-2 たばこを吸うときに気をつけていることはありますか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1. 指定の喫煙場所以外では吸わない |
| 2. 禁煙場所では吸わない |
| 3. 子どもや妊産婦、病人がいる場合は吸わない |
| 4. 混雑している場所では吸わない |
| 5. 公共の場所では吸わない |
| 6. 周囲に食事の人がいる場合は吸わない |
| 7. 屋内では吸わない |
| 8. 周囲の了解を得てから吸う |
| 9. その他 (具体的に: _____) |
| 10. 気をつけていることはない |

問 13 新型たばこ (加熱式たばこ) についてあなたの持っているイメージであてはまるものがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 体によさそう | 8. 従来のたばこより経済的 |
| 2. 体に悪そう | 9. 従来のたばこよりコストがかかる |
| 3. においが気にならない | 10. 従来のたばこより禁煙しやすい |
| 4. 変なにおいがする | 11. 従来のたばこよりやめにくい |
| 5. おしゃれな感じがする | 12. その他 |
| 6. 吸っている人の健康に害を与えない | (具体的に: _____) |
| 7. 周りの人の健康に害を与えない | |

問 14 あなたは、「受動喫煙」という言葉をご存知ですか。(○は1つ)

※受動喫煙とは、人が他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされること。

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1. 意味を知っている | 3. 知らなかった |
| 2. 聞いたことはあるが、意味は知らなかった | |

問 15 受動喫煙防止のために大田区に望むことは何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 飲食店に対する喫煙場所の有無などの店頭表示義務の徹底 |
| 2. 施設の敷地内禁煙や屋内禁煙についての表示の普及 |
| 3. 区報やホームページによる受動喫煙の健康影響についての情報提供 |
| 4. 効果的な受動喫煙防止対策についての情報提供 |
| 5. 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例に基づく施設管理者の義務についてのPR |
| 6. 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例に基づく指導、勧告、命令(罰則の適用を含む) |
| 7. 屋内の喫煙室の設置等に関する相談 |
| 8. 施設利用者に対する屋内の喫煙ルールのPR |
| 9. 公衆喫煙所の設置 |
| 10. 屋外の喫煙マナーのPR |
| 11. 禁煙を希望する喫煙者の禁煙支援 |
| 12. 道路等の屋外における喫煙ルールづくり |
| 13. その他(具体的に: _____) |
| 14. 特にない |

あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 4. 40～49 歳 | 7. 65～69 歳 |
| 2. 20～29 歳 | 5. 50～59 歳 | 8. 70～74 歳 |
| 3. 30～39 歳 | 6. 60～64 歳 | 9. 75 歳以上 |

【F 2で「7」～「9」と回答された方(65歳以上の方)】

F 2-1 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 受けていない | 2. 受けている(要支援含む) |
|-----------|-----------------|

F 3 あなたの国籍を教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|---------|----------------|
| 1. 日本国籍 | 2. それ以外(国籍名:) |
|---------|----------------|

F 4 あなたのお住まいを教えてください。各地域の()内は、管轄する特別出張所です。

(〇は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 大森地域(大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿) |
| 2. 調布地域(嶺町、田園調布、鶉の木、久が原、雪谷、千束) |
| 3. 蒲田地域(六郷、矢口、蒲田西、蒲田東) |
| 4. 糎谷・羽田地域(糎谷、羽田) |

F 5 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし | 4. 三世代世帯(親と子と孫) |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他 |
| 3. 二世帯世帯(親と子) | (具体的に:) |

F 6 あなたのお住いの種類は次のどれにあたりますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) | 4. 賃貸住宅(集合住宅) |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 5. 寮・社宅・宿舍 |
| 3. 賃貸住宅(一戸建て) | 6. その他(具体的に:) |

F7 あなたのご職業を教えてください。(○は1つ)

自営業	1. 商工サービス業 2. 農林水産業 3. 自由業
勤め人／パート・アルバイト含む	4. 管理職 5. 専門技術職 6. 事務職 7. 労務職・サービス業
無職	8. 学生 9. 主婦・主夫 10. その他(高齢者含む)

【F7で「1」～「8」と回答された方】

F7-1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(○は1つ)

1. 大田区内(自宅)	5. それ以外の東京都内
2. 大田区内(自宅以外)	6. 神奈川県内
3. 品川・目黒・新宿・渋谷区内	7. それ以外
4. 千代田・中央・港区内	(具体的に:)

F8 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方をすべてあげてください。(○はいくつでも)

1. 小学校入学前の子ども	4. 寝たきりの方や身体の不自由な方
2. 小学生	5. いない
3. 65歳以上の方	

F9 配偶者の方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

1. いる(同居・別居含め)	2. いない(離婚・死別)	3. いない(未婚)
----------------	---------------	------------

【F9で「1. いる(同居・別居含め)」と回答された方】

F9-1 共働きをしていますか。(○は1つ)

1. 共働きをしている	2. 共働きはしていない
-------------	--------------

F10 現在のあなたご自身は、この中のどれにあたりますか。(○は1つ)

独身の方	1. 本人 18～39 歳 2. 本人 40～64 歳 3. 本人 65 歳以上
子どものいない 夫婦の方	4. 本人 18～39 歳 5. 本人 40～64 歳 6. 本人 65 歳以上
子どものいる方 (別居も含む)	7. 一番上の子どもが小学校入学前 8. 一番上の子どもが小・中学生 9. 一番上の子どもが高校・大学生 10. 一番上の子どもが学校卒業 (本人は 64 歳以下) 11. 一番上の子どもが学校卒業 (本人は 65 歳以上)

F11 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

1. 1年未満	5. 10年以上 20年未満
2. 1年以上 3年未満	6. 20年以上 30年未満
3. 3年以上 5年未満	7. 30年以上
4. 5年以上 10年未満	

これで調査は終了です。

最後までご協力いただきまして、ありがとうございました。

問3 お住まいの近くにある個店で、「今後もずっと残ってほしい」と思うお店はありますか。
 「ある」と回答された方は、店名を1つ挙げて、業種と場所をそれぞれ選択肢から選んでください。(業態、場所それぞれ○は1つ)

1. ある	2. ない			
→				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">店名</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 【業種選択肢】 1. 百貨店 2. スーパー 3. コンビニエンスストア 4. ディスカウントストア 5. 薬局・ドラッグストア 6. 本・文房具 7. 電気店 8. リサイクル・アウトレットストア 9. 飲食店 10. その他(具体的に) </td> </tr> </table>	店名	【業種選択肢】 1. 百貨店 2. スーパー 3. コンビニエンスストア 4. ディスカウントストア 5. 薬局・ドラッグストア 6. 本・文房具 7. 電気店 8. リサイクル・アウトレットストア 9. 飲食店 10. その他(具体的に)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;"> 【場所選択肢】 1. 大森地域 2. 調布地域 3. 蒲田地域 4. 糎谷・羽田地域 5. その他(具体的に :) </td> </tr> </table>	【場所選択肢】 1. 大森地域 2. 調布地域 3. 蒲田地域 4. 糎谷・羽田地域 5. その他(具体的に :)
店名				
【業種選択肢】 1. 百貨店 2. スーパー 3. コンビニエンスストア 4. ディスカウントストア 5. 薬局・ドラッグストア 6. 本・文房具 7. 電気店 8. リサイクル・アウトレットストア 9. 飲食店 10. その他(具体的に)				
【場所選択肢】 1. 大森地域 2. 調布地域 3. 蒲田地域 4. 糎谷・羽田地域 5. その他(具体的に :)				

問4 あなたは普段の買い物でキャッシュレス(クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなど)による支払い方法を使っていますか。(○は1つ)

1. よく使う	3. ほとんど使わない
2. 時々使う	4. 全く使わない
⇒問5へ	⇒問6へ

【問4で「1. よく使う」「2. 時々使う」と回答された方】

問5 キャッシュレス支払いを使用する理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. カード会社等、決済事業者によるポイント還元 2. キャッシュレス・消費者還元事業によるポイント還元 3. 現金を持つ必要がないから 4. 支払い時間が短くて済むから 5. その他(具体的に :)

【問4で「3. ほとんど使わない」「4. 全く使わない」と回答された方】

問6 キャッシュレスを使わない(あまり使わない)理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 普段買い物するお店が現金のみの取扱だから 2. 現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから 3. キャッシュレスの支払方法がよく分からないから 4. キャッシュレス支払いに関心がないから 5. その他(具体的に :)
--

あなたご自身について

F1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F 2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

1. 18～19 歳	4. 40～49 歳	7. 65～69 歳
2. 20～29 歳	5. 50～59 歳	8. 70～74 歳
3. 30～39 歳	6. 60～64 歳	9. 75 歳以上

【F 2で「7」～「9」と回答された方 (65 歳以上の方)】

F 2-1 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(○は1つ)

1. 受けていない	2. 受けている (要支援含む)
-----------	------------------

F 3 あなたの国籍を教えてください。(○は1つ)

1. 日本国籍	2. それ以外 (国籍名: _____)
---------	----------------------

F 4 あなたのお住まいを教えてください。各地域の () 内は、管轄する特別出張所です。

(○は1つ)

1. 大森地域 (大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿)
2. 調布地域 (嶺町、田園調布、鶉の木、久が原、雪谷、千束)
3. 蒲田地域 (六郷、矢口、蒲田西、蒲田東)
4. 糀谷・羽田地域 (糀谷、羽田)

F 5 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. ひとり暮らし	4. 三世帯世帯 (親と子と孫)
2. 夫婦のみ	5. その他
3. 二世帯世帯 (親と子)	(具体的に: _____)

F 6 あなたのお住いの種類は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 持ち家 (一戸建て)	4. 賃貸住宅 (集合住宅)
2. 持ち家 (集合住宅)	5. 寮・社宅・宿舎
3. 賃貸住宅 (一戸建て)	6. その他 (具体的に: _____)

F 7 あなたのご職業を教えてください。(○は1つ)

自営業	1. 商工サービス業 2. 農林水産業 3. 自由業
勤め人／パート・アルバイト含む	4. 管理職 5. 専門技術職 6. 事務職 7. 労務職・サービス業
無 職	8. 学生 9. 主婦・主夫 10. その他 (高齢者含む)

【F7で「1」～「8」と回答された方】

F7-1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(○は1つ)

1. 大田区内 (自宅)	5. それ以外の東京都内
2. 大田区内 (自宅以外)	6. 神奈川県内
3. 品川・目黒・新宿・渋谷区内	7. それ以外
4. 千代田・中央・港区内	(具体的に: _____)

F8 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方をすべてあげてください。(○はいくつでも)

1. 小学校入学前の子ども	4. 寝たきりの方や身体の不自由な方
2. 小学生	5. いない
3. 65歳以上の方	

F9 配偶者の方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

1. いる (同居・別居含め)	2. いない (離婚・死別)	3. いない (未婚)
-----------------	----------------	-------------

【F9で「1. いる (同居・別居含め)」と回答された方】

F9-1 共働きをしていますか。(○は1つ)

1. 共働きをしている	2. 共働きはしていない
-------------	--------------

F10 現在のあなたご自身は、この中のどれにあたりますか。(○は1つ)

独身の方	1. 本人 18～39 歳 2. 本人 40～64 歳 3. 本人 65 歳以上
子どものいない夫婦の方	4. 本人 18～39 歳 5. 本人 40～64 歳 6. 本人 65 歳以上
子どものいる方 (別居も含む)	7. 一番上の子どもが小学校入学前 8. 一番上の子どもが小・中学生 9. 一番上の子どもが高校・大学生 10. 一番上の子どもが学校卒業 (本人は 64 歳以下) 11. 一番上の子どもが学校卒業 (本人は 65 歳以上)

F11 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

1. 1年未満	5. 10年以上 20年未満
2. 1年以上 3年未満	6. 20年以上 30年未満
3. 3年以上 5年未満	7. 30年以上
4. 5年以上 10年未満	

これで調査は終了です。

最後までご協力いただきまして、ありがとうございました。

～ 大田区からのお願い ～

**区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
(小学生以下のお子様の保護者の方対象)**

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に資することを目的とし、大田区にお住いの小学生以下のお子様を無作為に2,000名選ばせていただき、保護者の方にご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年 11 月

大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

- ① 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請については、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。

【申請者 ID】 _____ 【パスワード】 _____

- ② ご記入は、あて名のお子様の保護者の方をお願いいたします。
- ③ お答えは、1つだけ回答していただくものと、複数（あてはまるものすべて）回答していただくものがありますので、説明に従って回答してください。
また、○印は、番号を囲むようにつけてください。 例)
- ④ お答えが「その他」にあてはまる場合は、
() 内にその内容を具体的に記入してください。
- ⑤ 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。

1

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

令和元年12月6日（金）までにポストに投函してください。

◆この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。



大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目 13 番 14 号

電話：03-5744-1444

受付時間：平日 9：00～17：00（土・日・祝日を除く）

子育ての相談相手などについて

問1 子育てに関して孤立感を感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 強く感じる | 4. 全く感じない |
| 2. やや感じる | 5. わからない |
| 3. あまり感じない | |

問2 子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. いる／ある | 2. いない／ない |
|----------|-----------|

【問2で「1. いる／ある」と回答された方】

問2-1 気軽に相談できる相手は誰(どこ)ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 1. 夫 | 11. 教育センター |
| 2. 妻 | 12. 学校の先生や保育園・幼稚園の先生 |
| 3. 夫の父母等の親族 | 13. 民生委員・児童委員 |
| 4. 妻の父母等の親族 | 14. かかりつけの医師 |
| 5. 友人や知人 | 15. 大田区の子育て関連担当窓口 |
| 6. 近所の人 | 16. 子ども家庭支援センター(キッズな)の子育てひろば |
| 7. 子育ての支援施設(児童館等) | 17. その他 |
| 8. 子育て支援団体(NPO等) | (具体的に:) |
| 9. 保健所(保健師) | |
| 10. こども発達センターわかばの家 | |

子育ての環境や支援などについて

問3 区の子育て環境や支援に満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 満足 | 4. やや不満 |
| 2. まあまあ満足 | 5. 不満 |
| 3. ふつう | |

問4 区の子育て環境や支援で満足している点はなんですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 住環境がよい | 8. 近所づきあいや地域活動が盛ん |
| 2. 自然環境がよい | 9. 地域の子育てネットワークができています |
| 3. 交通機関が便利 | 10. 子育てに関する情報を得やすい |
| 4. 保育サービスが充実している | 11. 事故や犯罪が少なく安全 |
| 5. 保育所、幼稚園などが利用しやすい | 12. その他 |
| 6. 職場と住居が近い | (具体的に:) |
| 7. 公園や児童館など子どもの遊び場が多い | 13. 特になし |

保護者であるあなたご自身について

F 1 あなたとあて名のお子様の続柄を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|---------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他(具体的に: _____) |
|-------|-------|---------------------|

F 2 お子様は何人いらっしゃいますか。あて名のお子様を含めた数でお答えください。また、末子の年齢はおいくつですか。満年齢でお答えください。

_____人 満 _____歳

F 3 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方をすべてあげてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 小学生入学前の子ども | 4. 寝たきりの方や身体が不自由な方 |
| 2. 小学生 | 5. いない |
| 3. 65歳以上の方 | |

F 4 配偶者の方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|------------|
| 1. いる(同居・別居含め) | 2. いない(離婚・死別) | 3. いない(未婚) |
|----------------|---------------|------------|

【F 4で「1. いる(同居・別居含め)」と回答された方】

F 4-1 共働きをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 共働きをしている | 2. 共働きはしていない |
|-------------|--------------|

F 5 あなたのご職業を教えてください。(○は1つ)

自営業	1. 商工サービス業 2. 農林水産業 3. 自由業
勤め人/パート・アルバイト含む	4. 管理職 5. 専門技術職 6. 事務職 7. 労務職・サービス業
無職	8. 学生 9. 主婦・主夫 10. その他(高齢者含む)

F 6 あなたのお住まいを教えてください。各地域の（ ）内は、管轄する特別出張所です。

(○は1つ)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 大森地域 (大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿)2. 調布地域 (嶺町、田園調布、鶉の木、久が原、雪谷、千束)3. 蒲田地域 (六郷、矢口、蒲田西、蒲田東)4. 糺谷・羽田地域 (糺谷、羽田) |
|--|

これで調査は終了です。

最後までご協力いただきまして、ありがとうございました。

令和元年度

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

報告書

令和2年2月発行

【発行】大田区企画経営部企画課

〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号

電話 (03) 5744-1444 (直通)

FAX (03) 5744-1502
